

しの ぎ の 遺 跡  
篠 木 野

(2・3・4・5区)

び わ ばる 遺 跡  
毘 毘 原

(2・3区)

平成5年3月

佐賀市教育委員会

# 発刊にあたって

この報告書は、平成3年度農業基盤整備事業の施工に先立ち、佐賀市教育委員会が平成3年度に発掘調査を実施した篠木野遺跡2～5区・琵琶原遺跡2～3区の発掘調査報告書であります。

今回の調査の結果、篠木野遺跡では縄文時代から江戸時代にかけての遺構・遺物を検出しました。検出した主な遺構は、掘立柱建物・井戸・土壇・溝・甕棺墓などがあります。特に中世に属する溝は、周辺に所在する当時期の集落をめぐる可能性があるものであり、近世に属する遺構・遺物は集落及び生活の様子を知ることのできる発見でした。

また琵琶原遺跡では、昭和55年度に実施した発掘調査で検出した弥生時代の集落の一部である遺構を検出し、土壇からは甕・壺・鉢等の一括資料として良好な弥生土器が大量に出土しました。

この報告書に収録されたこれらの貴重な資料が、郷土の歴史研究や文化財に対する認識と理解に少しでも役立てれば幸いです。

最後になりましたが、調査を行なうに際しまして多大なるご協力をいただきました地元の方々はじめ関係各位に対しまして、心から厚く御礼申し上げます。

平成5年3月

佐賀市教育委員会

教育長 野口 健

## 例 言

1. 本書は、久保泉西部地区の農業基盤整備事業に伴い、平成3年度に実施した篠木野遺跡2区・3区・4区・5区、琵琶原遺跡2区・3区の発掘調査報告書である。
2. 調査は、佐賀県農林部の委託と国庫補助を受けて、佐賀市教育委員会が実施した。
3. 調査地の所在及び規模などは、以下のとおり。

### 篠木野遺跡

遺跡登録番号	2036・3053・5022	遺跡略号	SGN-2・3・4・5
調査地	佐賀市久保泉町大字上和泉	開発面積	428,000㎡
調査対象面積	16,610㎡	調査実施面積	2,340㎡
調査期間	平成3年6月26日~同年10月16日		

### 琵琶原遺跡

遺跡登録番号	1023・2029・3027・5015	遺跡略号	BWB-2・3
調査地	佐賀市久保泉町大字川久保	開発面積	428,000㎡
調査対象面積	16,610㎡	調査実施面積	780㎡
調査期間	平成3年7月3日~同年11月11日		

4. 発掘調査・整理作業・報告書作成の分担は、以下のとおり。

表土除去：山豊建設株式会社

全体遺構実測：新栄地研工業株式会社

個別遺構実測：角信一郎

空中写真：有限会社空中写真企画

遺構・遺物写真：角信一郎

遺物復元：西ノ首金子

遺物実測：大木和子

製図：大木和子

5. 調査記録類・出土遺物は、佐賀市文化財資料館（佐賀市本庄町大字本庄1121番地）で一括保管している。
6. 本書の執筆・編集は、角がこれにあたった。

## 凡 例

1. 遺構については略記号を用いる。調査遺跡毎に連番号をつけ、番号の前に遺構分類記号をつけた。分類は以下のとおり。

SB：掘立柱建物	SD：溝	SE：井戸	SK：土壙
SJ：甕棺墓	SX：不明遺構	P：小穴	SA：柵列

2. 原則として、遺構の測定値はm単位、遺物のそれはcm単位とした。
3. 表示した方位は、すべて座標北（G. N.）である。
4. 土器類の実測図のうち、断面白ヌキのものは土師器、瓦器、陶磁器、黒ヌキのものは須恵器としている。

# 本文目次

I. 序 説	1	a) 甕棺墓と出土遺物	69
1. 調査にいたる経過	1	(3) その他の遺構と包含層出土遺物	72
2. 調査の組織	1	a) 掘立柱建物	72
II. 遺跡の位置と環境	3	b) 包含層出土遺物	74
1. 遺跡の位置	3	6. 調査の記録 -5区-	77
2. 歴史的環境	3	(1) 縄文時代の遺構と出土遺物	77
III. 篠木野遺跡 -2・3・4・5区-	8	a) 土壌と出土遺物	77
1. 調査の概要	8	(2) 古墳時代の遺構と出土遺物	78
2. 遺跡の概要	8	a) 土壌と出土遺物	78
3. 調査の記録 -2区-	13	b) 井戸と出土遺物	79
(1) 中世の遺構と出土遺物	13	(3) その他の出土遺物	82
a) 柵列状遺構	13	a) 縄文時代の遺物	82
b) 溝と出土遺物	13	b) 古墳時代の遺物	84
(2) 近世の遺構と出土遺物	19	IV. 琵琶原遺跡 -2・3区-	86
a) 掘立柱建物	19	1. 調査の概要	86
b) 土壌と出土遺物	24	2. 遺跡の概要	86
c) 井戸と出土遺物	40	3. 調査の記録 -2区-	88
d) 溝と出土遺物	41	(1) 弥生時代の遺構と遺物	88
(3) その他の遺構と出土遺物	54	a) 土壌と出土遺物	88
a) 土壌と出土遺物	54	(2) 近世の遺構と出土遺物	103
(4) 遺物包含層とその他の出土遺物	59	a) 溝と出土遺物	103
a) 遺物包含層	59	(3) 谷地形部の層序とその他の出土遺物	107
b) その他の出土遺物	59	a) 谷地形部の層序	107
4. 調査の記録 -3区-	64	b) その他の出土遺物	107
(1) 古墳時代の遺構と出土遺物	64	4. 調査の記録 -3区-	115
a) 土壌と出土遺物	64	(1) 谷地形部の層序と出土遺物	115
(2) その他の出土遺物	66	a) 谷地形部の層序	115
5. 調査の記録 -4区-	69	b) 包含層出土遺物	115
(1) 4区の基本層序	69		
(2) 弥生時代の遺構と遺物	69		

## 挿 図 目 次

Fig. 1	久保泉西部地区遺跡位置図……………2	Fig. 32	S K042出土遺物……………37
Fig. 2	周辺主要遺跡分布図……………4	Fig. 33	S K043土壙実測図……………38
Fig. 3	篠木野遺跡調査区設定図……………9	Fig. 34	S K043出土遺物……………38
Fig. 4	篠木野遺跡2区遺構配置図……………11~12	Fig. 35	S K049土壙出土遺物……………39
Fig. 5	S A105柵列実測図……………13	Fig. 36	S K049出土遺物……………39
Fig. 6	S D001溝出土遺物実測図……………14	Fig. 37	S E020井戸実測図……………40
Fig. 7	S D002溝出土遺物実測図……………15	Fig. 38	S E020出土遺物……………40
Fig. 8	S D003溝実測図……………17	Fig. 39	S E040井戸実測図……………41
Fig. 9	S D003溝出土遺物実測図①……………18	Fig. 40	S D004溝出土遺物実測図①……………44
Fig. 10	S D003溝出土遺物実測図②……………19	Fig. 41	S D004溝出土遺物実測図②……………45
Fig. 11	S B101掘立柱建物実測図……………20	Fig. 42	S D004溝出土遺物実測図③……………46
Fig. 12	S B102掘立柱建物実測図……………21	Fig. 43	S D004溝出土遺物実測図④……………47
Fig. 13	S B102掘立柱建物出土遺物実測図22	Fig. 44	S D004溝出土遺物実測図⑤……………48
Fig. 14	S B103掘立柱建物実測図……………23	Fig. 45	S D004溝出土遺物実測図⑥……………49
Fig. 15	S B103掘立柱建物出土遺物実測図23	Fig. 46	S D014溝出土遺物実測図……………49
Fig. 16	S B104掘立柱建物実測図……………24	Fig. 47	S D015溝出土遺物実測図……………49
Fig. 17	S K005土壙実測図……………25	Fig. 48	S D033溝出土遺物実測図①……………51
Fig. 18	S K005出土遺物……………25	Fig. 49	S D033溝出土遺物実測図②……………52
Fig. 19	S K006土壙実測図……………26	Fig. 50	S D037溝出土遺物実測図……………53
Fig. 20	S K006出土遺物……………26	Fig. 51	S K032土壙実測図……………54
Fig. 21	S K007土壙実測図……………27	Fig. 52	S K032出土遺物実測図……………55
Fig. 22	S K016土壙実測図……………28	Fig. 53	S K035土壙実測図……………55
Fig. 23	S K016出土遺物実測図……………29	Fig. 54	S K035出土遺物実測図……………56
Fig. 24	S K018土壙実測図……………30	Fig. 55	S K036土壙実測図……………57
Fig. 25	S K018出土遺物実測図①……………31	Fig. 56	S K036出土遺物実測図……………57
Fig. 26	S K018出土遺物実測図②……………32	Fig. 57	S K045土壙実測図……………58
Fig. 27	S K019土壙実測図……………33	Fig. 58	S K045出土遺物実測図……………58
Fig. 28	S K019出土遺物実測図……………34	Fig. 59	縄文時代の遺物……………59
Fig. 29	S K041土壙実測図……………35	Fig. 60	古墳時代の遺物①……………61
Fig. 30	S K041出土遺物実測図……………36	Fig. 61	古墳時代の遺物②……………62
Fig. 31	S K042土壙実測図……………37	Fig. 62	篠木野遺跡3区遺構配置図……………63

Fig. 63	S K004土壌実測図	64	Fig. 96	S K002出土遺物実測図	97
Fig. 64	S K004出土遺物実測図	65	Fig. 97	S K003土壌実測図	98
Fig. 65	S K005土壌実測図	65	Fig. 98	S K003出土遺物実測図①	99
Fig. 66	S K005出土遺物実測図	65	Fig. 99	S K003出土遺物実測図②	100
Fig. 67	その他の出土遺物実測図	67	Fig. 100	S K003出土遺物実測図③	101
Fig. 68	篠木野遺跡 4区遺構配置図	68	Fig. 101	S K003出土遺物実測図④	102
Fig. 69	4区基本層序	69	Fig. 102	S D004出土遺物実測図①	105
Fig. 70	S J 101甕棺墓実測図	69	Fig. 103	S D004出土遺物実測図②	106
Fig. 71	S J 102甕棺墓実測図	70	Fig. 104	谷地形部土層断面図	108
Fig. 72	S J 103甕棺墓実測図	70	Fig. 105	その他の出土遺物実測図①	109
Fig. 73	S J 104甕棺墓実測図	71	Fig. 106	その他の出土遺物実測図②	110
Fig. 74	S J 105甕棺墓実測図	71	Fig. 107	その他の出土遺物実測図③	111
Fig. 75	S J 106甕棺墓実測図	72	Fig. 108	その他の出土遺物実測図④	112
Fig. 76	甕棺実測図	73	Fig. 109	その他の出土遺物実測図⑤	113
Fig. 77	S B001掘立柱建物実測図	74	Fig. 110	琵琶原遺跡 3区遺構配置図	115
Fig. 78	包含層出土遺物実測図	75	Fig. 111	No. 1・2・3サブトレンチ 土層断面実測図	116
Fig. 79	篠木野遺跡 5区遺構配置図	76	Fig. 112	包含層出土遺物実測図①	118
Fig. 80	S K002土壌実測図	77	Fig. 113	包含層出土遺物実測図②	119
Fig. 81	S K002出土遺物実測図	78	Fig. 114	包含層出土遺物実測図③	120
Fig. 82	S K003土壌実測図	79			
Fig. 83	S K003出土遺物実測図	79			
Fig. 84	S E001井戸実測図	80			
Fig. 85	S E001出土遺物実測図	81			
Fig. 86	縄文土器実測図	82			
Fig. 87	古墳時代の遺物実測図	83			
Fig. 88	琵琶原遺跡調査区設定図	87			
Fig. 89	琵琶原遺跡 2区遺構配置図	89~90			
Fig. 90	S K001土壌実測図	88			
Fig. 91	S K001出土遺物実測図①	92			
Fig. 92	S K001出土遺物実測図②	93			
Fig. 93	S K001出土遺物実測図③	94			
Fig. 94	S K001出土遺物実測図④	95			
Fig. 95	S K002土壌実測図	96			

## 図 版

- PL. 1 1. 篠木野遺跡 2 区調査区全景 2. SK041土壙・南から 3. SE040井戸・南から
- PL. 2 1・2. SD001 3・4・5. SD002 6・7. SD003 8・9・10・11・12・13. SD004
- PL. 3 14. SD004 15. SD033 16-1・2. SK032 16-3~7. SK035 17-1~3. SK036 17-4~6  
SK045
- PL. 4 1. 篠木野遺跡 3 区調査区全景・西から 2. 篠木野遺跡 4 区調査区全景・北から
- PL. 5 1. 篠木野遺跡 4 区調査区全景・東から 2. SJ101甕棺墓・西から
- PL. 6 1. SJ102甕棺墓・東から 2. SJ103甕棺墓・東から 3. SJ104甕棺墓・東から 4.  
SJ105甕棺墓・西から 5. SJ106甕棺墓・南から
- PL. 7 1・2・3. 3区その他の出土遺物 4・5・6. 4区包含層出土遺物
- PL. 8 1. 篠木野遺跡 5 区調査区全景・南から 2. SE001井戸・南から 3. SE001井戸遺物出  
土状況・南から
- PL. 9 1・2・3. SE001 4・8・9古墳時代の遺物 5・7. 縄文土器 6. SK001
- PL. 10 1. 琵琶原遺跡 2 区調査区全景南側・北から 2. 中・南から 3. 北側・北から
- PL. 11 1. SK001土壙・西から 2. SK003土壙・東から 3. 琵琶原遺跡 3 区調査区全景・南か  
ら
- PL. 12 1~10. SK001
- PL. 13 1~11. SK003
- PL. 14 1~11. その他の出土遺物
- PL. 15 1~9. 3区包含層出土遺物



## I. 序 説

# I. 序 説

### 1. 調査にいたる経過

平成3年度の久保泉西部地区における農業基盤整備事業は42.8haという広範囲で施工計画がなされた。これに先立ち、平成2年11月に当該地区の埋蔵文化財の確認調査を実施した。調査は掘削計画にある水路予定地や高畑部分を中心に行なった。試掘坑の掘削は基本的に掘削機で行なったが、掘削機の搬入が不可能な箇所は人力によって行なった。この調査の結果篠木野遺跡と琵琶原遺跡で16,610㎡にわたる遺跡の広がりを確認した。この調査結果をもとに佐賀県農林部、佐賀県文化課（現文化財課）、佐賀市土地改良課、佐賀市教育委員会の4者で埋蔵文化財の保護に関する協議を実施した。その結果、水路建設により止むおぼえず削平される3,120㎡（篠木野遺跡2,340㎡・琵琶原遺跡780㎡）について発掘調査を実施することになった。

発掘調査地は篠木野遺跡で4地点（2～5区）、琵琶原遺跡で2地点（2～3区）計6地点にまたがることになった。発掘調査は平成3年6月26日から開始し、平成4年1月22日にすべての現場作業を終了した。また、4区の発掘調査を実施中、近接した工事計画箇所（調査対象地外）で、甕棺墓が検出されたため調査を実施し、4区の調査記録として本書に収録した。出土遺物の整理作業および発掘調査報告書作成は佐賀市文化財資料館で行なった。

### 2. 調査の組織

調査主体 佐賀市教育委員会

平成3年度（発掘調査）

事務局 佐賀市教育委員会 文化課  
文化課長 中野和彦  
文化係長 野口義通（庶務担当）  
文化財係長 福田義彦  
事務吏員 甲木亮一（庶務担当）  
角信一郎（調査担当）

平成4年度（報告書作成）

事務局 佐賀市教育委員会 文化課  
文化課長 中野和彦  
文化係長 野口義通（庶務担当）  
文化財係長 福田義彦  
事務吏員 増田耕輔（庶務担当）  
角信一郎（報告書担当）

発掘作業員 井上ミツエ・江口ケサエ・宮地富子・小副川勝美・小副川富子・鳥谷ヨシノ・杉町スミ子・野中ツタエ・松林キミ子・杉町英子・金崎タキヨ・福田スマ子・前山澄江・野田富子

調査協力 佐賀県教育委員会・佐賀県農林部・佐賀市土地改良課・久保泉土地改良課・地元各位

I. 序説

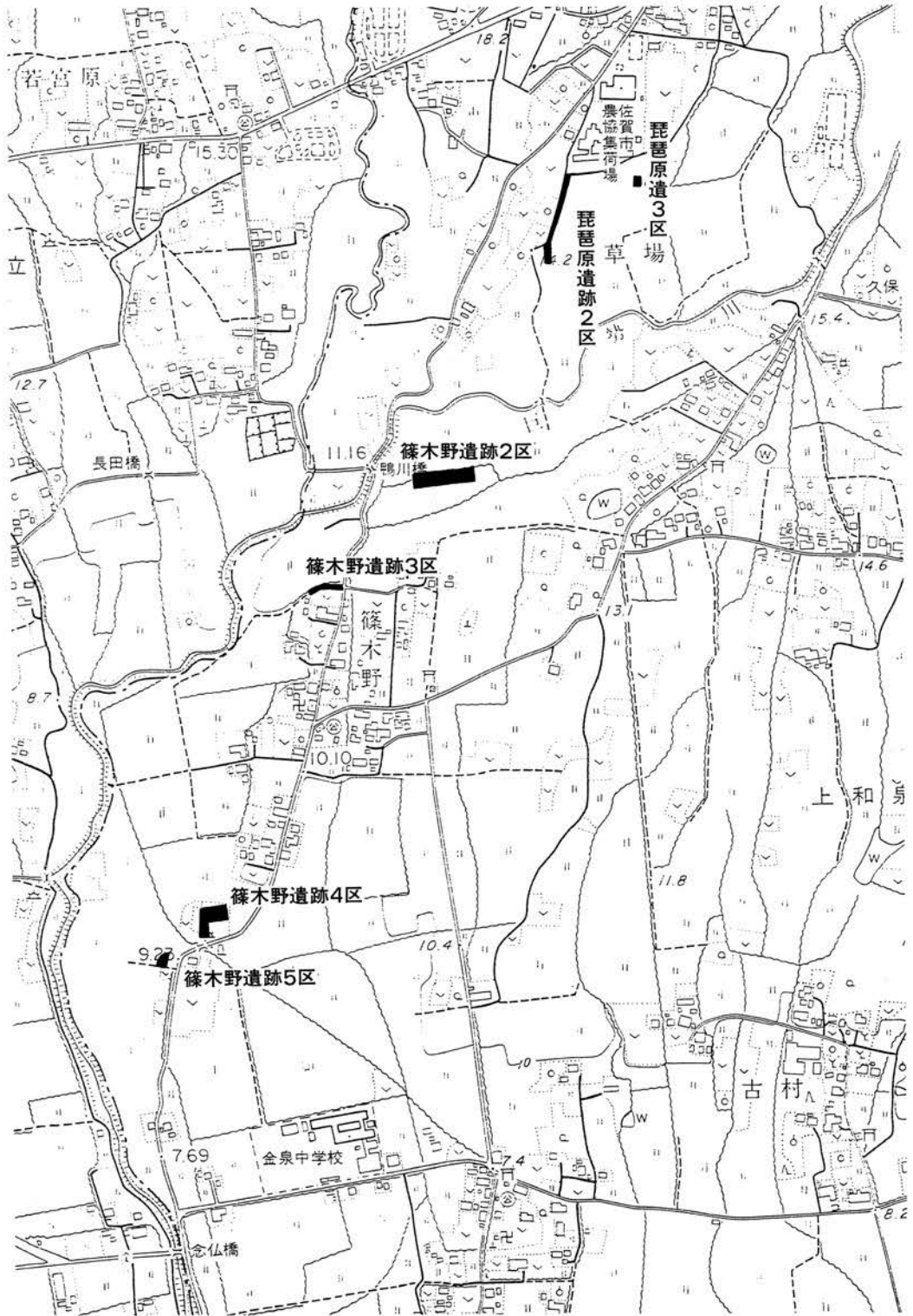


Fig 1 久保泉西部地区遺跡位置図

## II. 遺跡の位置と環境

### 1. 遺跡の位置

佐賀市は佐賀県の東南部に位置し、東は神埼・千代田・諸富町、西は大和・三日月町、北は大和町、南は東与賀・川副・諸富町と接している。市の北部には脊振山系が連なっており、その南麓には舌状丘陵が派生している。また南には沖積平野が有明海沿岸まで広がっている。今回調査を行なった篠木野遺跡と琵琶原遺跡は、北東から南西へ流路をとる巨勢川により、南と北に分割され、南に篠木野遺跡、北に琵琶原遺跡が位置している。

篠木野遺跡は、前述した丘陵の先端部、または微高地状高まり及びその縁辺部に位置し、琵琶原遺跡は、丘陵の縁辺部に位置し、北西から南東にむかって傾斜している。

遺跡の所在する久保泉町は、佐賀市の北東部にあたり開発の手はほとんど及んでおらず、大部分は田、畑等の農地として利用されている。

### 2. 歴史的環境

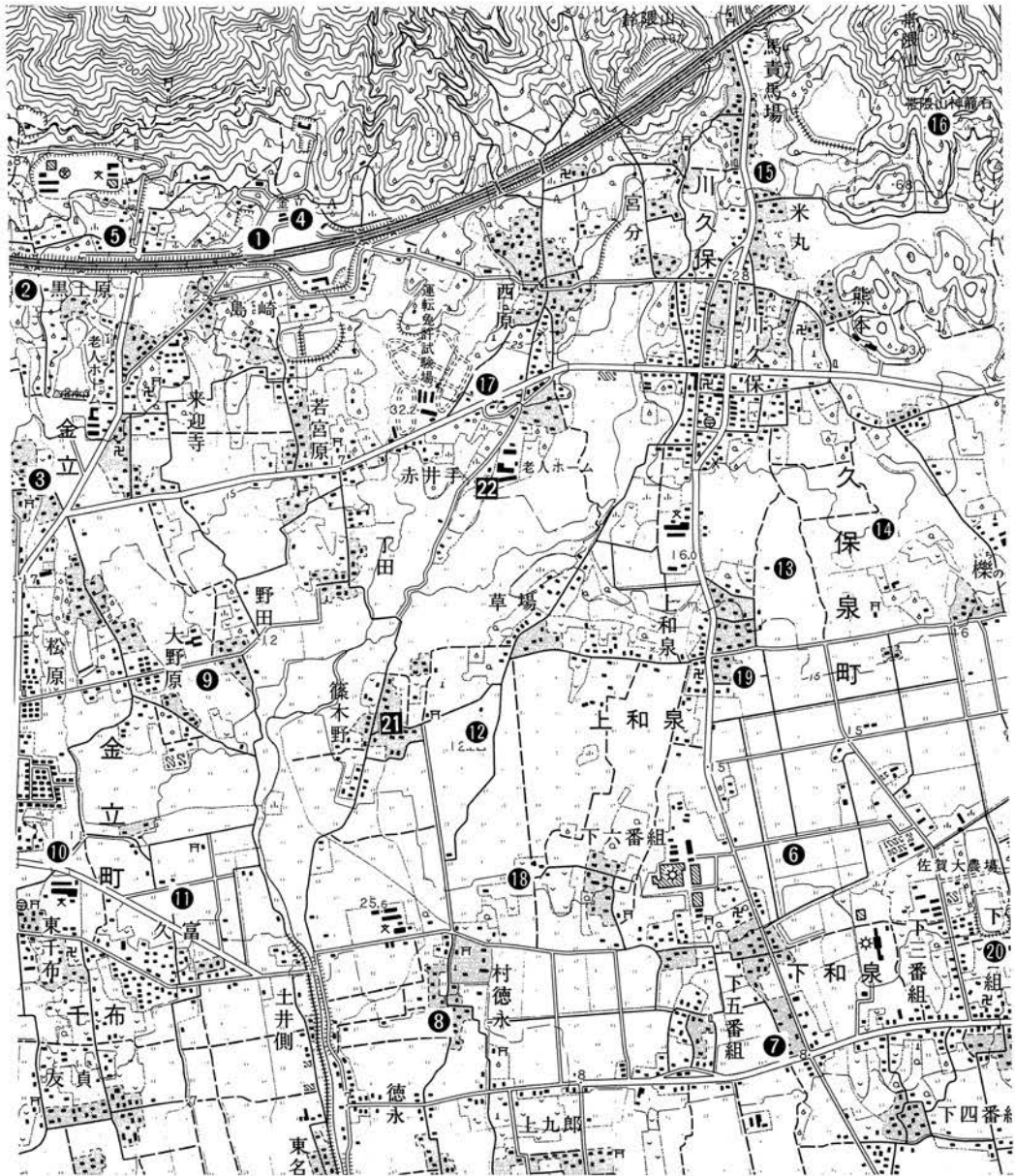
佐賀市内には数多くの遺跡が存在しているが、その大半は市内北部の脊振山麓部一帯及びそこから南に広がる平野部に集中している。

縄文時代の遺跡は、金立開拓遺跡<sup>1)</sup>（早期・前期・後期）、大門遺跡<sup>2)</sup>（前期・後期・晩期）、来迎寺遺跡<sup>3)</sup>（中期・後期）で調査が行なわれ、各時期の土器・石器が検出されている。丸山遺跡<sup>4)</sup>、黒土原遺跡<sup>5)</sup>では、晩期の埋葬施設である支石墓群が検出されている。支石墓については、村徳永遺跡に近年まで存在していたらしく、また今回調査を行なった篠木野遺跡3区に接する畑にも支石墓が現存している。

弥生時代になると遺跡数は増加し、遺跡の分布も山麓部一帯から平野部南域まで広がる。琵琶原遺跡<sup>6)</sup>（後期）、泉三本栗遺跡<sup>7)</sup>（前期～中期）、立野遺跡<sup>8)</sup>（中期）、村徳永遺跡<sup>9)</sup>（中期～後期）、大野原遺跡<sup>10)</sup>（後期）で各時期の集落遺跡が調査されており、とくに琵琶原遺跡では50軒を超える竪穴住居を検出し、村徳永遺跡では多数の竪穴住居及び、100棟を超える掘立柱建物が検出されている。また、埋葬遺跡として、東千布遺跡<sup>11)</sup>（中期）、増田遺跡<sup>12)</sup>・津留遺跡<sup>13)</sup>（前期末～中期）では現在までに500基を超える甕棺墓群が検出されており、とくに津留遺跡では、朝鮮系無文土器を用いた甕棺墓、三連式・四連式甕棺墓などの外に数例の特殊な埋葬形態が確認されている。その他、鍋島本村南遺跡<sup>14)</sup>では、擬朝鮮系無文土器・細形銅剣・石製把頭飾・細形銅か鑄型が検出されている。

古墳時代では、琵琶原遺跡、泉三本栗遺跡、久富遺跡<sup>15)</sup>、徳永遺跡<sup>16)</sup>、大野原遺跡、原ノ町遺跡<sup>17)</sup>、東高田遺跡<sup>18)</sup>などで集落遺跡の調査が行なわれている。とくに東高田遺跡では、後期に属する竪穴住居、掘立柱建物を多数検出している。墳墓には、銚子塚古墳<sup>19)</sup>・関行丸古墳<sup>20)</sup>（以上前方後円墳）、舟形石棺を検出した熊本山古墳<sup>21)</sup>、西隈古墳<sup>22)</sup>、円墳群の丸

## II. 遺跡の位置と環境



- ①金立開拓遺跡 ②大門遺跡 ③来迎寺遺跡 ④丸山遺跡 ⑤黒土原遺跡 ⑥泉三本栗遺跡  
 ⑦立野遺跡 ⑧村徳永遺跡 ⑨大野原遺跡 ⑩東千布遺跡 ⑪久富遺跡 ⑫徳永遺跡  
 ⑬原ノ町遺跡 ⑭東高田遺跡 ⑮関行丸古墳 ⑯帯限山神籠石 ⑰大日遺跡 ⑱古村遺跡  
 ⑲上和泉遺跡 ⑳北宿遺跡 ㉑篠木野遺跡 ㉒琵琶原遺跡

Fig. 2 周辺主要遺跡分布図(1/25,000)

## II. 遺跡の位置と環境

山遺跡など外に脊振山系南麓一帯には多くの古墳が存在している。これらの他に、朝鮮式の山城とされている帯隈山神籠石がある。

奈良時代では、大日遺跡<sup>23)</sup>、古村遺跡<sup>24)</sup>、原ノ町遺跡<sup>25)</sup>、東高田遺跡などで集落遺跡が調査されている。その中で、大日遺跡は、竪穴住居を伴わない掘立柱建物群が、原ノ町遺跡では整然と配列された掘立柱建物群が検出されており、これらの集落は同時期の他の集落遺跡と様相を異にしている。

平安時代では、上和泉遺跡<sup>26)</sup>、泉三本栗遺跡、古村遺跡、徳永遺跡などで集落遺跡の調査が行なわれている。特に徳永遺跡1区では、10数棟の掘立柱建物に伴って畑状の遺構を検出しており、当時の集落の様相をうかがい知る事のできる資料として注目される。

中世については、近年調査例が増加している。村徳永遺跡や本村遺跡では、館がある屋敷地を区画するような溝が検出されている。また徳永遺跡2区では、一辺100～130mを測る比較的大規模な溝が方形に巡る館跡が検出されており今後の調査成果に非常に興味もたれる。

近世については、篠木野遺跡1区<sup>27)</sup>、北宿遺跡<sup>28)</sup>、草場遺跡<sup>29)</sup>で調査が行なわれおり、草場遺跡では屋敷地を区画すると思われる溝及びそれに伴う土塁や、寺院などの特殊な施設の存在を示すような遺構・遺物が検出されている。

### [註]

- 1) 佐賀市教育委員会1975;『金立開拓遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第10集  
佐賀県教育委員会1984;『九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(4)金立開拓遺跡』:佐賀県文化財調査報告書第77集
- 2) 佐賀市教育委員会1972;『大門遺跡-1次調査-』:佐賀市文化財調査報告書第8集  
佐賀市教育委員会1973;『大門遺跡-2次調査-』:佐賀市文化財調査報告書第9集
- 3) 佐賀市教育委員会1990;『来迎寺遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第27集
- 4) 佐賀県教育委員会1986;『九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(5)久保丸山遺跡』:佐賀県文化財調査報告書第84集
- 5) 佐賀市教育委員会1987;『黒土原遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第19集
- 6) 佐賀市教育委員会1981;『琵琶原遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第13集
- 7) 佐賀市教育委員会1987;『泉三本栗遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第18集
- 8) 佐賀市教育委員会1989;『立野遺跡・村徳永遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第27集
- 9) 佐賀市教育委員会1989;『村徳永遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第26集  
佐賀市教育委員会1989;『立野遺跡・村徳永遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第27集  
佐賀市教育委員会1990;『村徳永遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第32集  
佐賀市教育委員会1991;『村徳永遺跡』:佐賀市文化財調査報告書第34集

## II. 遺跡の位置と環境

- 佐賀市教育委員会1992; 『村徳永遺跡・徳木野遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第37集
- 佐賀市教育委員会1992; 『村徳永遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第42集
- 10) 佐賀市教育委員会1993; 『大野原遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第48集
- 11) 佐賀市教育委員会1985; 『東千布遺跡(東千布遺跡・久富遺跡)』: 佐賀市文化財調査報告書第15集
- 12) 佐賀市教育委員会1993; 『増田遺跡2区』: 佐賀市文化財調査報告書第43集
- 3区: 佐賀市教育委員会が平成3年に発掘調査実施
- 13) 佐賀市教育委員会が平成3年に発掘調査実施
- 14) 佐賀市教育委員会; 1991 『鍋島本村南遺跡-1・2区の調査-』: 佐賀市文化財調査報告書第35集
- 15) 佐賀市教育委員会; 1992 『久富遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第38集
- 16) 佐賀市教育委員会が平成3年より発掘調査実施
- 17) 佐賀市教育委員会; 1992 『原の町遺跡・東高田遺跡・榎木遺跡・北宿遺跡・南宿遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第38集
- 18) 佐賀市教育委員会; 1992 『原の町遺跡・東高田遺跡・榎木遺跡・北宿遺跡・南宿遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第38集
- 19) 佐賀市教育委員会; 『鎌子塚』木下之祐編1976
- 20) 佐賀県教育委員会1958; 『佐賀市関行丸古墳』: 史蹟名勝天然記念物調査報告書第七輯
- 21) 佐賀県教育委員会1967; 『熊本山舟型石棺墓』『帯櫻山神籬石とその周辺』: 佐賀県文化財調査報告書第16集
- 22) 佐賀市教育委員会1975; 『西隈古墳』: 佐賀市教育委員会編
- 23) 佐賀市教育委員会1989; 『大日遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第25集
- 24) 佐賀市教育委員会1990; 『古村遺跡ほか』: 佐賀市文化財調査報告書第28集
- 25) 佐賀市教育委員会1992; 『原の町遺跡・東高田遺跡・榎木遺跡・北宿遺跡・南宿遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第38集
- 26) 佐賀市教育委員会1988; 『上和泉遺跡-A・B・C地区-』: 佐賀市文化財調査報告書第20集
- 『上和泉遺跡-D・E地区-』: 佐賀市文化財調査報告書第21集
- 27) 佐賀市教育委員会; 『村徳永遺跡-K地区-・徳木野遺跡1区』: 佐賀市文化財調査報告書第37集
- 28) 佐賀市教育委員会1992; 『原の町遺跡・東高田遺跡・榎木遺跡・北宿遺跡・南宿遺跡』: 佐賀市文化財調査報告書第38集
- 29) 佐賀市教育委員会が平成3年に発掘調査実施

篠木野遺跡2・3・4・5区

(SGN-2・3・4・5)

### Ⅲ. 篠木野遺跡-2・3・4・5区-

#### 1. 調査の概要

調査は掘削機による表土除去作業から開始した。表土は高畑部分の4区で100cm程を測ったほかは30~40cm程度で、基盤は褐色及び黄褐色の砂質土であった。

表土除去後、2区から3区、4区、5区の順に人力による掘削及び記録調査に入った。

調査は、まず調査区全体に国土座標を基準に5m方眼の基準杭を設定した。この5m方眼を1/100の遺構配置図、1/20の全体遺構図作成時の基準とした。方眼の名称は2・3・4・5区全体を包括できるように最も南に位置する5区のX=+34K310・Y=-63K885の交点を基準とし、そこから東にAA・AB・AC・・・、北に1・2・3・・・として各区画をAA-1・AB-2・AC-3のように表示した。

遺構検出が終了した部分から1/100の遺構配置図を作成し、遺構番号の設定、遺物の取り上げに利用した。完掘した遺構は1/20の全体遺構図に記録し、特に必要な遺構は1/20及び1/10の個別遺構実測を行なった。

#### 2. 遺跡の概要

2区 水田下であり、耕作土直下30cm程で黄褐色粘質及び砂質土の基盤を検出し、遺構埋土は褐色、黒褐色、灰褐色土で検出した。また、調査区のほぼ東半分は自然の落ち込みになっており、暗褐色土の遺物包含層が堆積していた。その上に埋土が灰褐色土の遺構が切り込んでいた。遺構検出面の標高は調査区全域でほぼ11.7m程を測る。検出した遺構は土壙、溝、井戸、掘立柱建物、柵列状遺構、小穴等であり、縄文時代、弥生時代、中・近世の時期に属するものであるが、開墾時による削平をかなり受けており遺構の残存状況は良好といえるものではなかった。

縄文時代の遺構は土壙のみを検出した。これらの土壙には遺物を検出できなかったものがほとんどであったが、底面のほぼ直上で遺物を検出した土壙と平面・断面形及び埋土状況が類似する遺構を当該期の土壙としてとらえることとした。

弥生時代の遺構には甕棺墓があるが、そのほとんどが削平され下半部の一部が残存しているだけのものであった。

中世の遺構は溝、柵列状遺構を検出した。建物の存在は確認できなかった。溝はいずれも調査区外に展開するためその規模及び性格を把握することはできなかったが、周辺に所在する当

2. 遺跡の概要

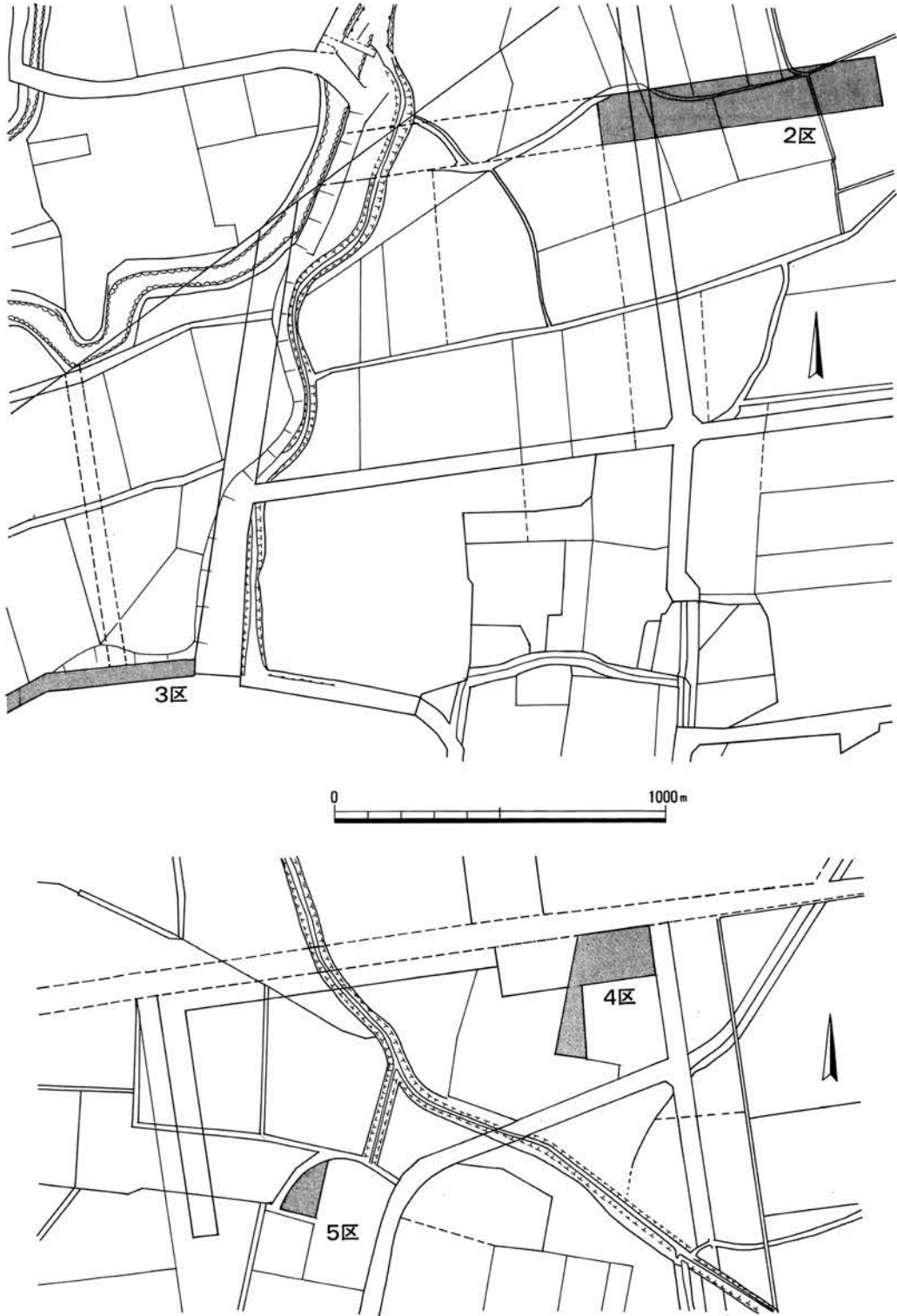


Fig. 3 篠木野遺跡調査区設定図(1/20,000)

## 2. 遺跡の概要

該期の集落を区画する溝である可能性が高い。

近世の遺構は土壙、溝、掘立柱建物を検出した。特に溝は南北及び東西に延びる溝で当該期の集落を区画する溝であることが考えられる。また土壙には溜め外としての性格を有すると思われるものもある。

以上遺構の概略を述べてきたが、2区の主体をなすのは中世から近世にかけて営まれた集落跡と言うことがいえる。

3区 畑地下にあり、耕作土から30cmから50cmで暗黄褐色土の基盤を検出し、遺構は埋土が黒褐色、褐色土で検出した。検出面の標高は10mから10.2mを測り、南が高く北で低くなっている。幅5mほどの東西に細長い調査区であるため検出した遺構も少なく古墳時代に属する土壙を3基検出したにすぎなかった。

4区 高畑部分にあり、耕作土から約50cmのところ旧耕作面と思われる層が20cm堆積しておりその下に1層はさんで暗黒褐色土の遺物包含層が約30cm堆積している。包含層直下で褐色土の基盤を検出し、遺構は黒褐色・暗褐色土で検出した。検出面の標高は10.3m~10.4mを測り南で高く北で低くなっている。検出した遺構は掘立柱建物と小穴のみである。また調査区に近接した地点で弥生時代の甕棺墓を6基検出した。すべて上半部を削平されており残存状況は良好とはいえなかった。甕棺墓は隣接した4区内では検出されておらず、甕棺墓群の主体は現篠木野集落内に展開すると思われる。

5区 畑地下にあり、耕作土か30cmから40cmで暗黄褐色土の基盤を検出し、遺構埋土は暗褐色土で検出した。検出面の標高は8.2mから8.3mで西側がやや低くなっている。検出した遺構は縄文時代、古墳時代に属する土壙、井戸、小穴である。調査範囲が狭いため検出した遺構も少なく遺構の一部は耕作等により攪乱を受けており、遺構の残存状態は良好とはいえなかった。

3. 調査の記録 (2区)

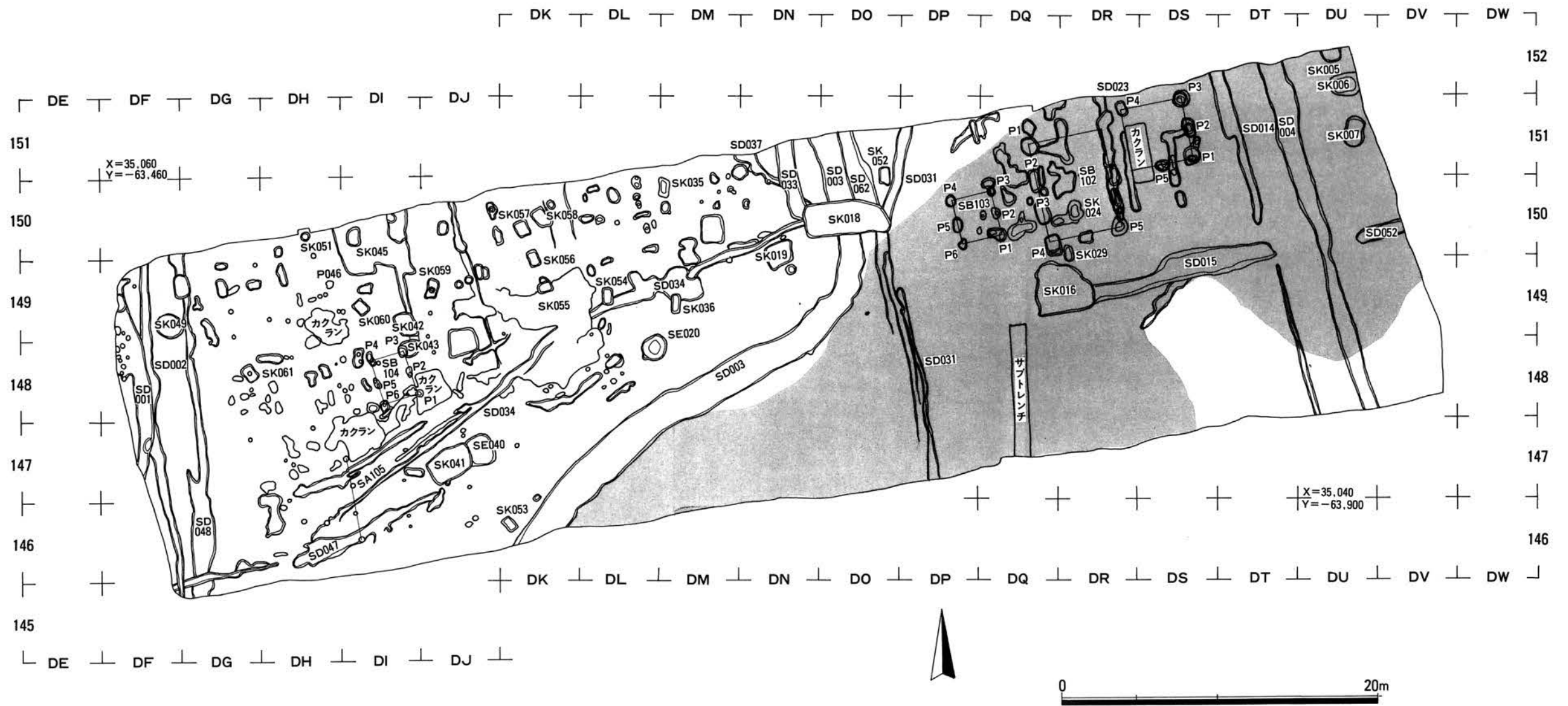


Fig. 4 篠木野遺跡 2区遺構配置図

### 3. 調査の記録 (2区)

#### 3. 調査の記録 - 2区 -

##### (1) 中世の遺構と出土遺物

##### a) 柵列状遺構

###### SA105 (Fig. 5)

DH・DI-146・147グリットで検出した。SD009・SD048と切り合い関係にあり本遺構が切られている。掘立柱建物の柱穴と思われたが並列する小穴は確認できなかった。全長は5mで柱穴の掘方平面形は直径0.2~0.3mの円形を呈し、深さは0.4m前後である。埋土は褐色を基調としている。遺物は検出していないが、埋土状況から当該期遺構と判断した。

##### b) 溝と出土遺物

###### SD001 (Fig. 4)

DF-147~DF-149グリットにかけて検出した。SD002と切り合い関係にあり本遺構が後出する。一部のみを検出でその大部分が調査区外に展開する。検出面の標高は11.7m前後である。幅1m~1.5m、深さ0.1m~0.2mを測り、断面形は逆台形状を呈し、壁は緩く立ち上がる。埋土は上層から暗褐色土・褐色土の2層に大別でき自然堆積による埋没状況を示している。埋土中から土師器・瓦器・青磁器を検出した。

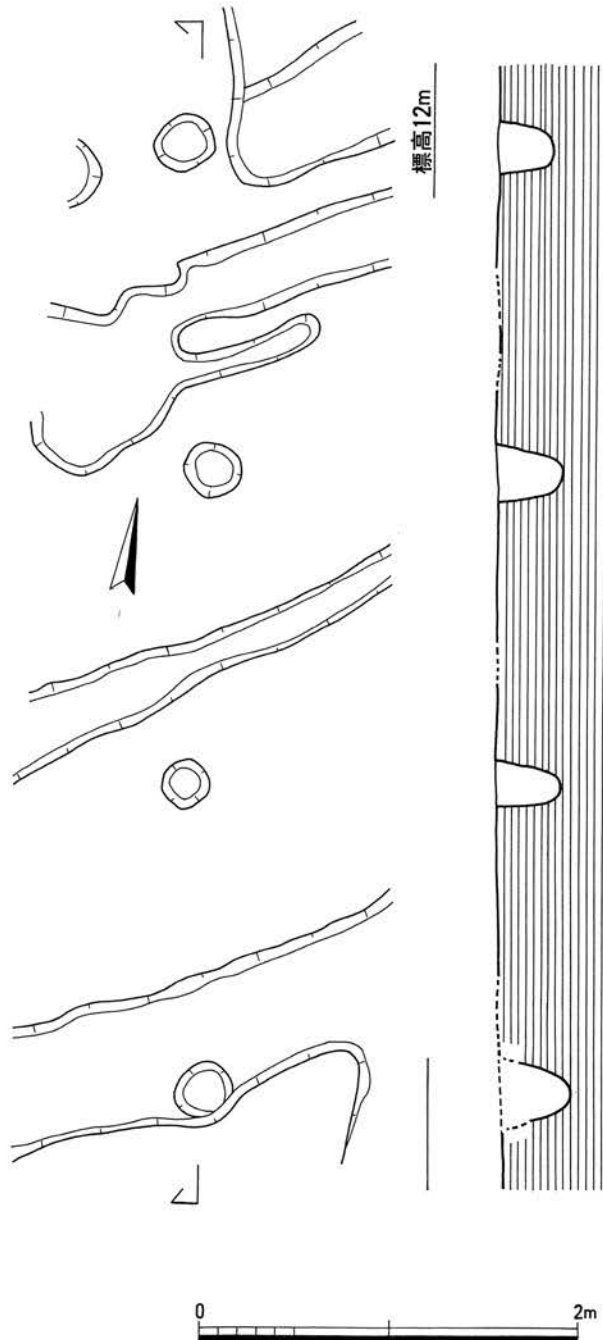


Fig. 5 SA105柵列実測図 (1/40)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

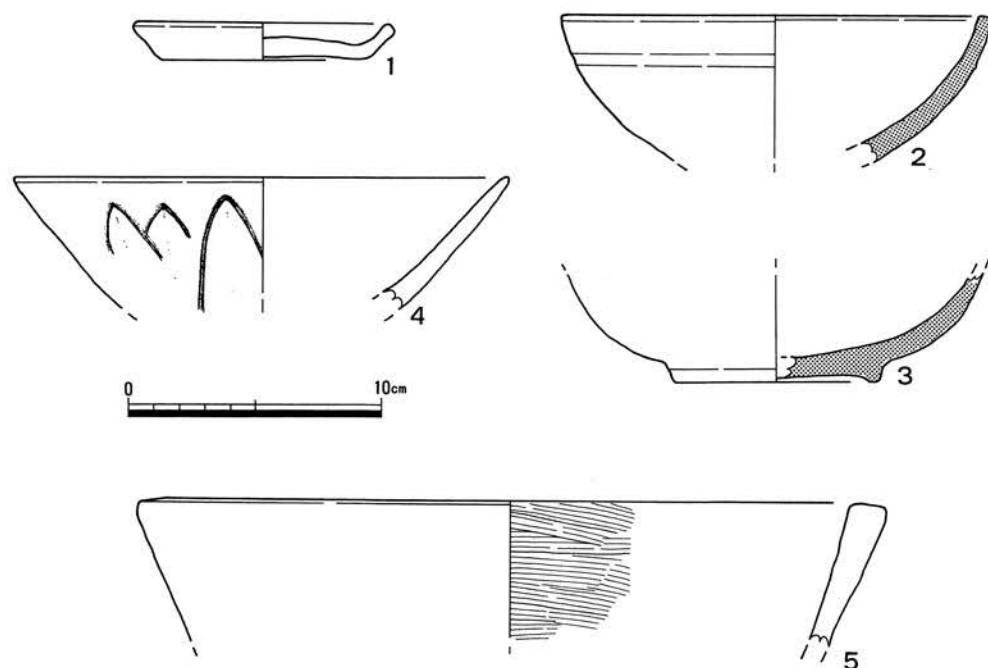


Fig. 6 SD001出土遺物実測図 (1/3)

#### SD001出土遺物(Fig. 6)

土師器皿(1) 口径8.5cm、底径6.8cm、器高1.2cm。体部内外面に横ナデ調整、内底にナデ調整。回転糸切り底である。黄白色を呈する。

瓦器碗(2・3) 2は復元口径14.3cm。器面調整は口縁部内外面に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整。3は復元高台径6.8cm。器面調整は内外底にナデ調整、高台部に横ナデ調整。2は淡灰色、3は灰黄色を呈する。

青磁碗(4) 龍泉窯系鎗蓮弁文碗である。復元口径16.6cm、釉色は暗緑色である。

鉢(5) 瓦質の鉢である。復元口径25cm。器面調整は端部に横ナデ調整、体部外面にナデ調整、内部にハケ目調整。外面灰黄色、内面暗褐色を呈する。

#### SD002(Fig. 4)

DF・DG-145～DF-149グリットで検出した。SD001と切り合い関係にあり本遺構が後出する。南北に延び、やや北西にふれる溝であり、調査区外に展開している。検出面の標高は11.7m前後である。幅0.6m前後、深さ0.3m～0.4m、底面の幅0.2m前後を図り、断面形は逆台形状を呈している。埋土は3層に大別でき自然堆積による埋没状況を示している。埋土中から土師器・瓦器・須恵器等を検出した。

3. 調査の記録 (2区)

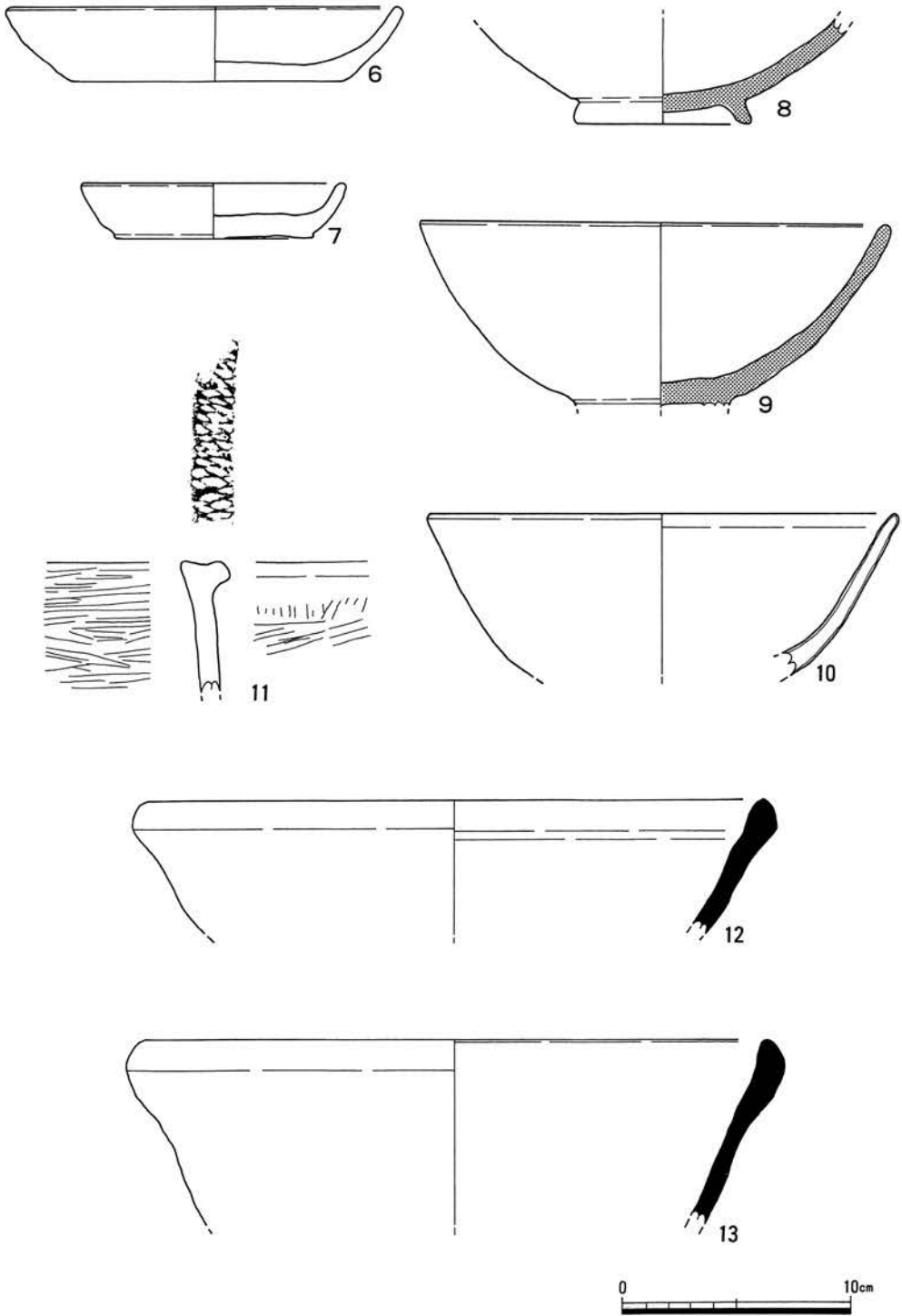


Fig. 7 SD002出土遺物実測図 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

#### SD002 出土遺物 (Fig. 7)

土師器杯(6・7) 6は復元口径14.3cm、復元底径9.9cm、器高2.7cm。端部及び体部外面に横ナデ調整、内底にナデ調整後の指押さえ痕を有する。回転糸切り底で板状圧痕を有する。7は復元口径9.1cm、復元底径6.6cm、器高2cm。内外面ナデ調整。回転糸きり底で板状圧痕を有する。6は淡褐色、7は淡黄褐色を呈する。

瓦器椀(8・9) 8は復元高台径6.9cm。器面調整は内外面にナデ調整、高台部に横ナデ調整。外面淡褐色、内面暗褐色を呈する。9は復元口径17.3cm。端部から体部外面に横ナデ調整、内面ナデ調整。内外面に黒斑を有する。淡褐色を呈する。

青磁碗(10) 復元口径17.2cm。釉色は暗緑色である。

鍋(11) 土師器の鍋である。体部外面は斜め及び縦方向のハケ目調整、内面は斜め及び横方向にハケ目調整。口縁上部に回転縄文を施す。暗褐色を呈する。

鉢(12・13) いずれも須恵器である。12は復元口径22.6cm。器面調整は端部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整。淡灰褐色を呈する。13は復元口径23cm。器面調整は端部横ナデ調整、体部内外面ナデ調整。端部から体部外面に釉がかかる。暗灰褐色を呈する。

#### SD003 (Fig. 8)

DK-146~DN・DO-151グリットで検出した。調査区のほぼ中央を南西から北東方向に蛇行しながら延びる溝であり、調査区外へさらに展開している。SK016と切り合い関係にあり、本遺構が前出する。検出面の標高は、11.6m~11.7m程である。幅1.7m~2.3m、深さ0.3m~0.4mを測る。断面形は逆台形状を呈しており壁は緩く立ち上がる。埋土は4層に大別でき自然堆積による埋没状況を示している。埋土中から瓦器・青磁器等を検出した。

#### SD003 出土遺物 (Fig. 9・10)

土師器皿(14) 復元底径8.5cm。器面調整は内外面ナデ調整。回転糸切り底である。淡黄褐色を呈する。

瓦器椀(15) 復元口径16.4cm、高台径5.4cm、器高5.7cm。器面調整は端部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整、高台部に横ナデ調整。体部内外面に黒斑を有する。淡灰色を呈する。

鍋(16・17・18) 土師器の鍋である。器面調整はいずれも体部外面斜め及び縦方向にハケ目調整、体部外面に斜め及び横方向にハケ目調整。口縁上部に16・18は植物の茎状のもので押圧してあり、17は回転縄目文を施す。

石鍋(19) 滑石製である。復元口径36cm。暗褐色を呈する。

青磁皿(20・21) 20は復元口径8.5cm、底径3.4cm、器高3.7cm。外面底部以外は全面施釉されている。釉色は淡緑色を呈する。21は復元口径10.2cm、底径4.9cm、器高2.3cm。外面底部以外は全面施釉されている。釉色は暗緑色を呈する。

青磁碗(22・23・24・25) 22は復元口径16.1cm。内外面に施釉されている。釉色は淡緑色を呈

### 3. 調査の記録 (2区)

する。23は外面に蓮弁文を持つ。復元口径15cm。釉色は暗緑色を呈する。24は復元高台径5.8cm。内外面に施釉されている。釉色は暗緑色を呈する。25は復元高台径5.6cm。内面から高台畳付部まで施釉されている。釉色は暗緑色を呈する。

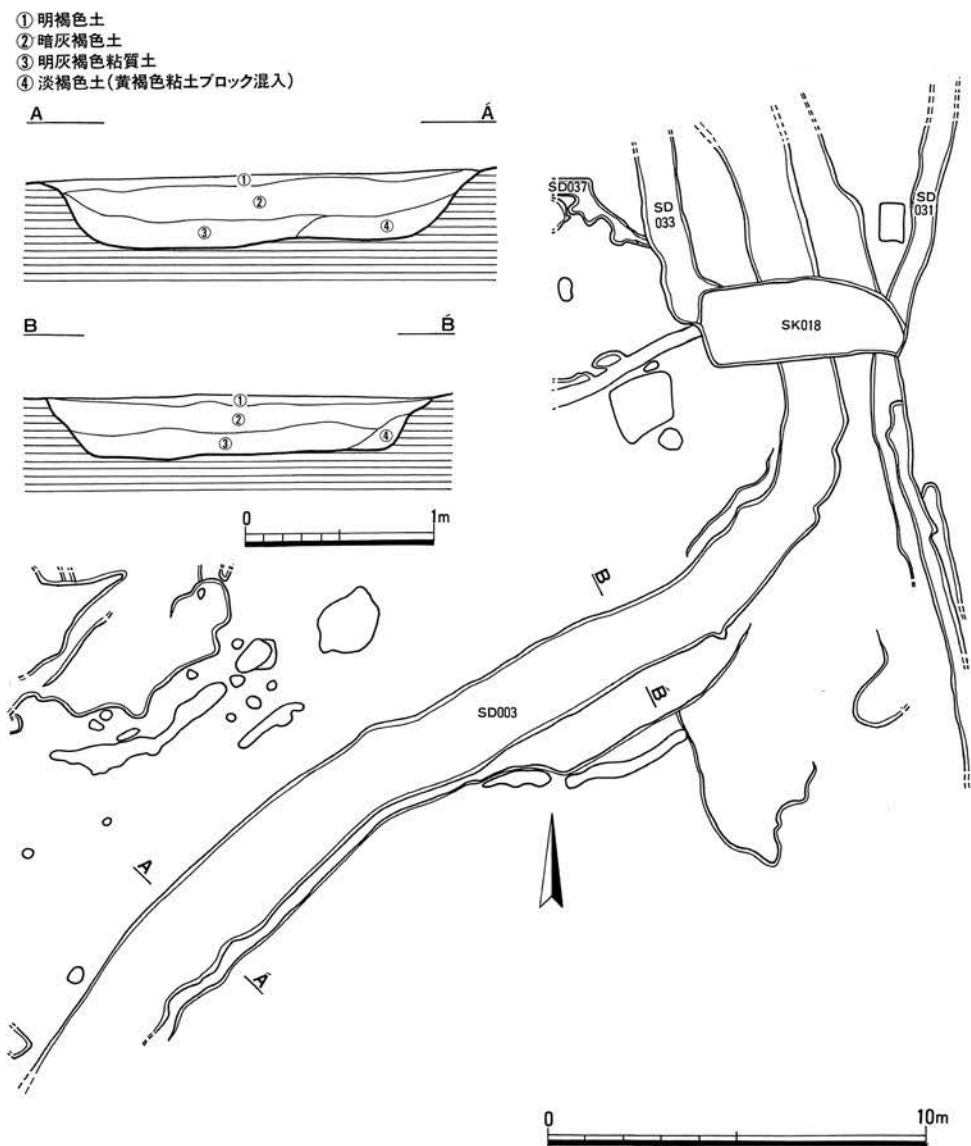


Fig. 8 SD003溝実測図 (1/40・1/200)

Ⅲ. 篠木野遺跡

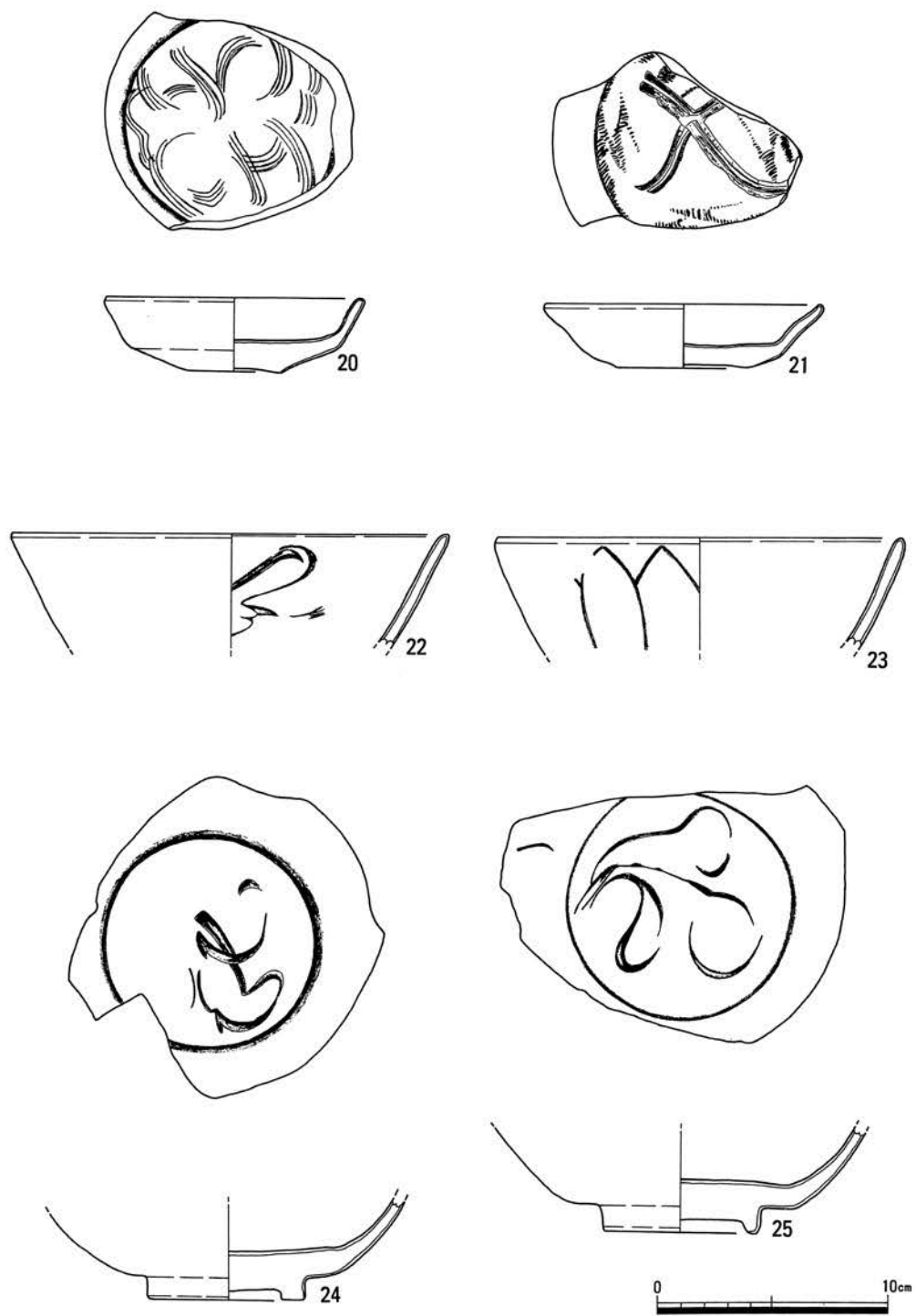


Fig. 9 SD003 溝出土遺物実測図① (1/3)

3. 調査の記録 (2区)

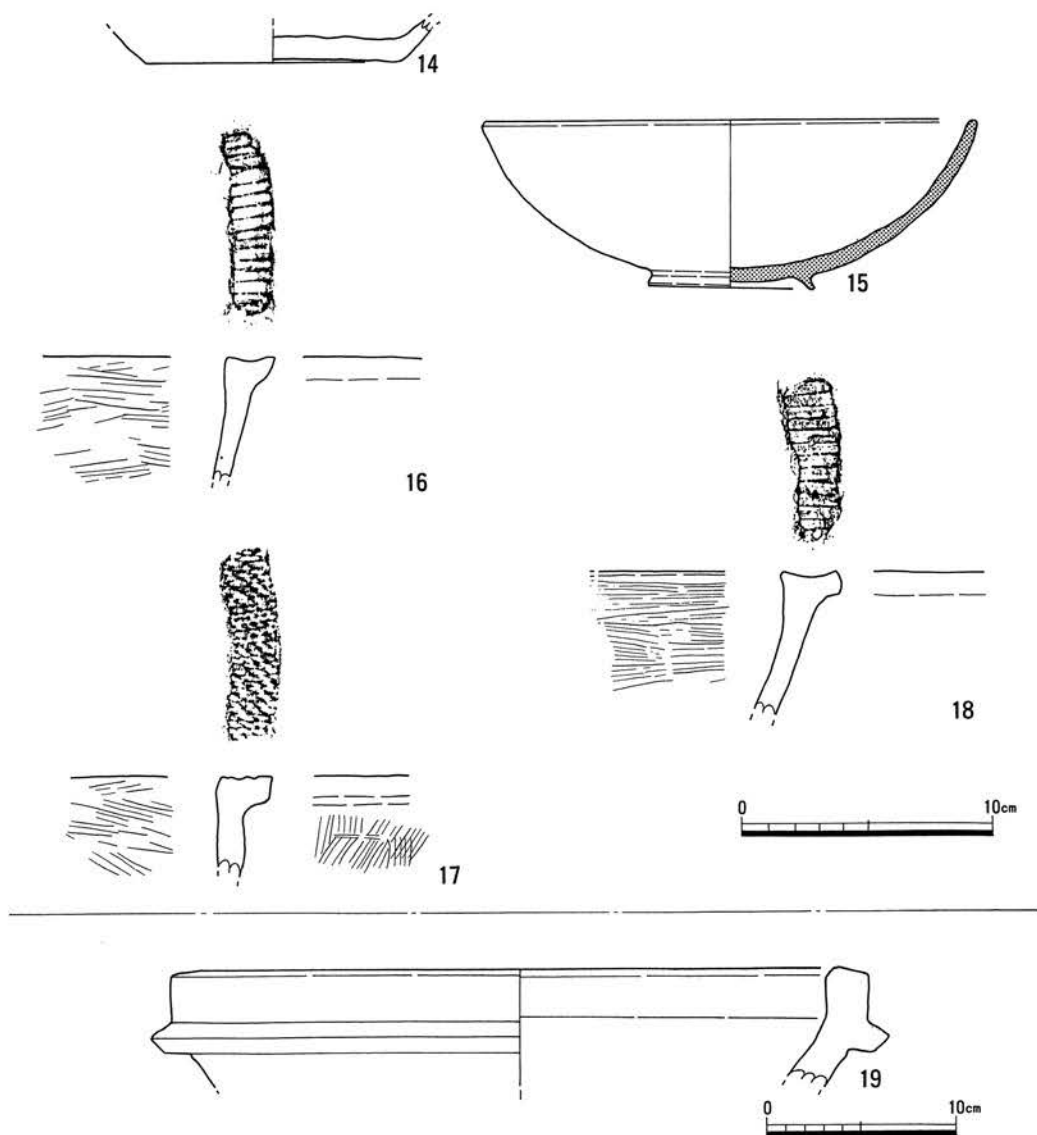


Fig. 10 SD003 溝出土遺物実測図② (1/3・1/4)

(2) 近世の遺構と出土遺物

a) 掘立柱建物と出土遺物

SB101 (Fig. 11)

DR・DS-150~152グリットで検出した。南西部の柱穴2個は溝、攪乱により削平されており確認できなかった。検出面の標高は11.6m~11.7mを測る梁行2間・桁行3間以上の南北棟建

### Ⅲ. 篠木野遺跡

物で、更に北に展開すると思われる。主軸をN-12'-Wにとる。各柱穴の平面形は長軸0.9~1.3mを測る不整形な隅丸長方形を呈し、掘り方は深さ0.3~0.4mを測る素掘り、2段掘りである。柱穴掘り方埋土は灰褐色、柱痕の埋土は暗灰色を基調としている。柱穴掘り方より陶器片を検出したが図化できるものはなかった。

#### SB102 (Fig. 12)

DQ・DR-150・151グリットで検出した。東側、桁行方向の柱穴は後出するSD023に削られており確認できなかった。検出面の標高は11.8m前後である。梁行2間・桁行3間の南北棟の建物であり、主軸をN-14'-Wにとる。各柱穴の平面形は長軸1.3~1.5m、短軸1m前後を測る

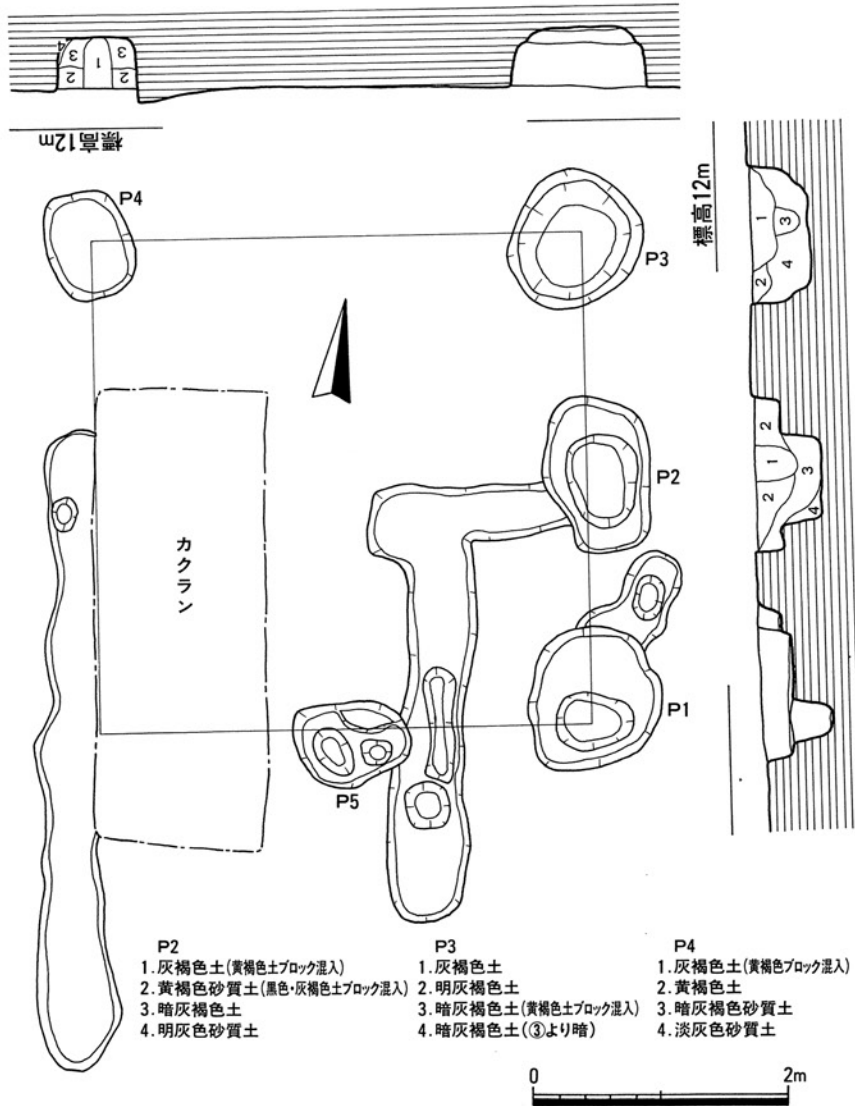


Fig. 1 1 SB101 掘立柱建物実測図 (1/60)

### 3. 調査の記録 (2区)

隅丸長方形を基調としており、長軸を桁行方向にとる。掘り方は深さ0.3~0.5mを測る素堀のものである。柱穴掘方の埋土は暗灰褐色土及び黄褐色砂質土で柱痕の埋土は明灰褐色を基調としている。柱穴掘方の埋土より陶器、瓦質土器を検出した。

#### 出土遺物(Fig. 13)

壺?(66) 瓦質土器。復元口径16.2cm。器面調整は内面から口縁下位にかけて横ナデ調整、

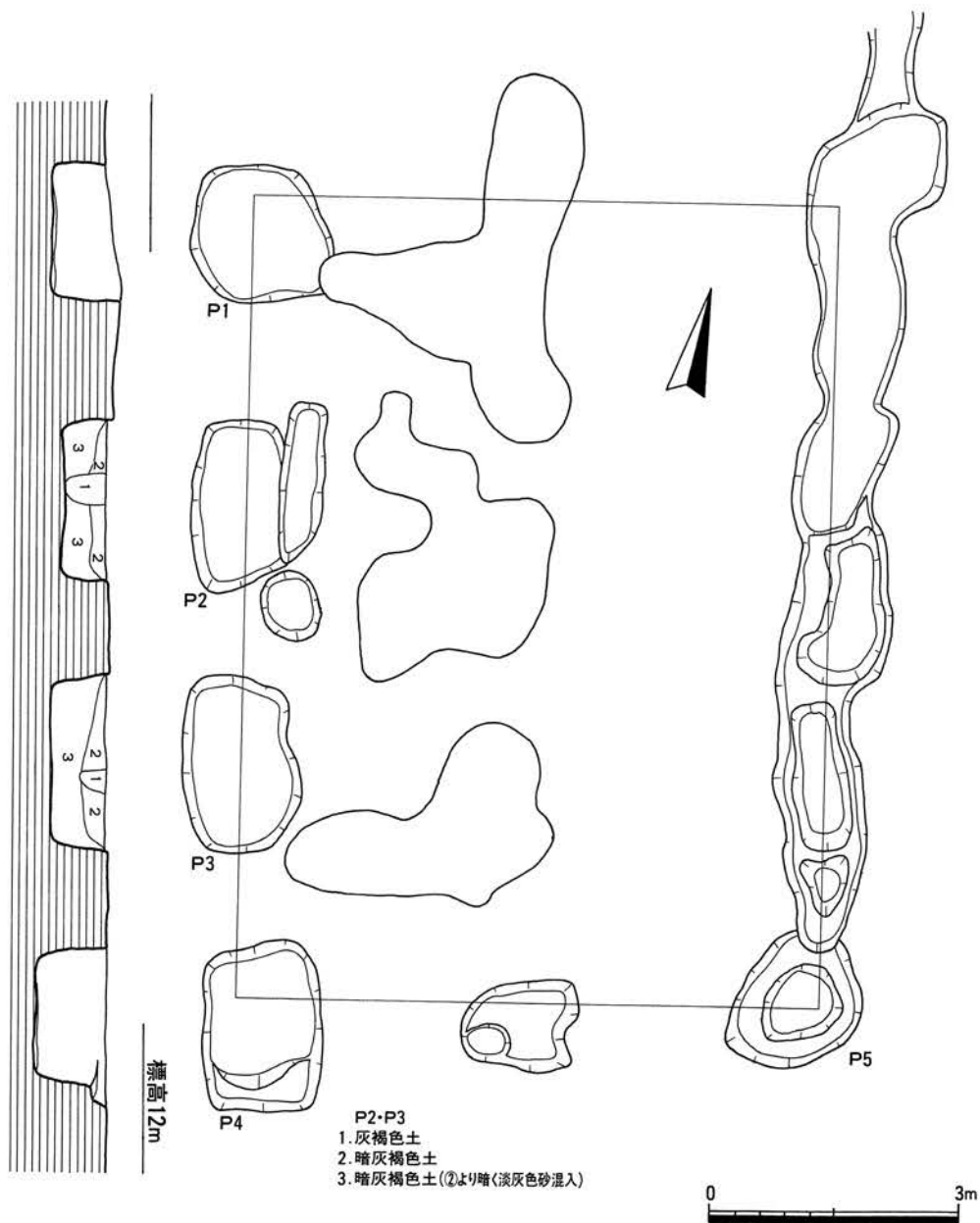


Fig. 12 SB 102 掘立柱建物実測図 (1/60)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

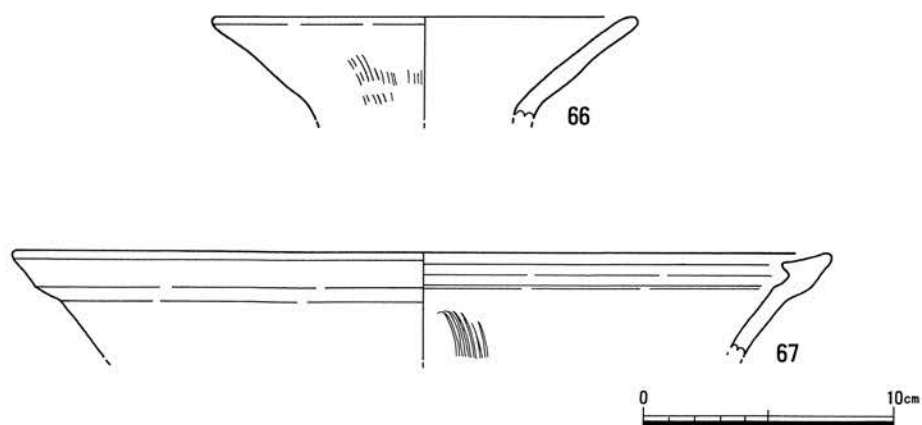


Fig. 13 SB102 掘立柱建物出土遺物実測図 (1/3)

その下位にハケ目調整の後に横ナデ調整。色調は褐色を呈する。

陶器播鉢(67) 復元口径31.2cm。口縁部だけに施釉されている。器面調整は内外面に回転横ナデ調整の後、内面に約8本単位の播り目を施している。

#### SB103 (Fig. 14)

DP・DQ-151グリットで検出した。P1の切り合い前後関係は不明。検出面の標高は11.7m前後である。梁行1間・桁行2間の南北棟建物で、主軸をN-14'-Wにとる。各柱穴の平面形は長軸0.7~0.9m、短軸0.6~0.7mを測る不整形な楕円形を呈する。掘り方は深さ0.2~0.5mを測る素掘りおよび2段掘りのものである。柱穴掘方の埋土は灰褐色を基調としている。土師器陶器、瓦質土器片を検出した。

#### 出土遺物(Fig. 15)

鉢(68) 瓦質土器である。底径37.4cm。器面調整は体部内面に横方向にハケ目調整、外面に縦方向にハケ目調整、底部内外面に不定方向にハケ目調整。色調は暗灰褐色を呈する。

#### SB104 (Fig. 16)

DI-148グリットで検出した。P1が攪乱を受け上半部が削平されており、P3がSK043と切り合い関係にあり本遺構が後出する。検出面の標高は11.6m前後である。梁行1間・桁行2間の南北棟建物である。主軸をN-16'-Wにとる。柱穴の平面形は長軸0.6~0.8m・短軸0.3~0.5mを測る隅丸長方形を基調としており、長軸は桁行方向にとる。柱穴掘り方は深さ0.3~0.4mを測り、素掘り、2段掘りのものである。柱穴掘方の埋土は灰褐色度を基調としている。遺物は検出していない。

3. 調査の記録 (2区)

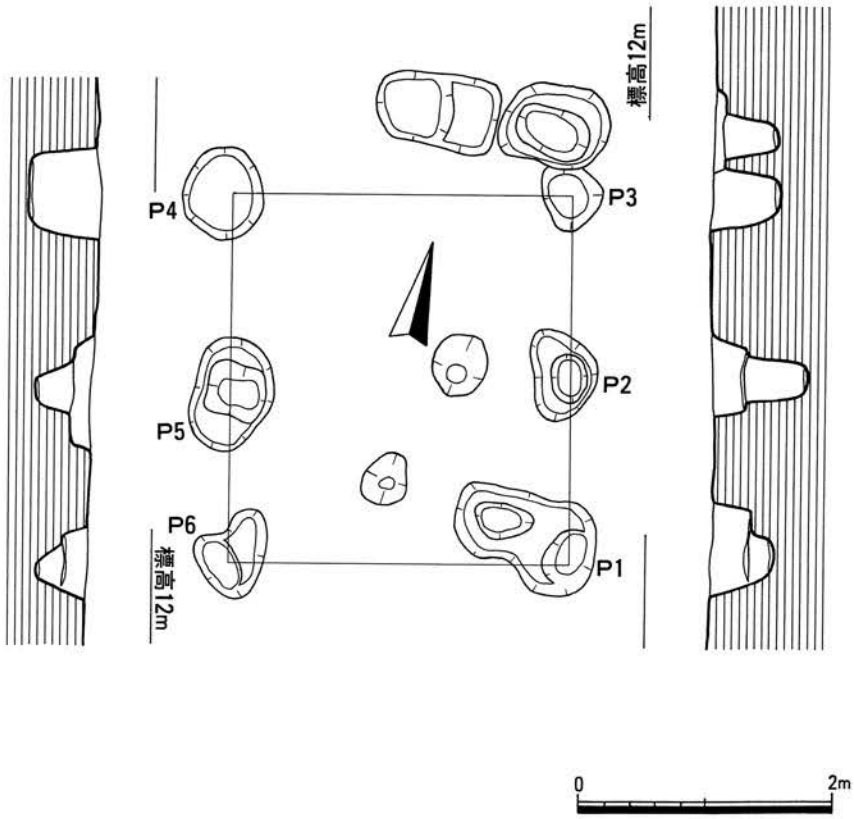


Fig. 14 SB103 掘立柱建物実測図 (1/3)

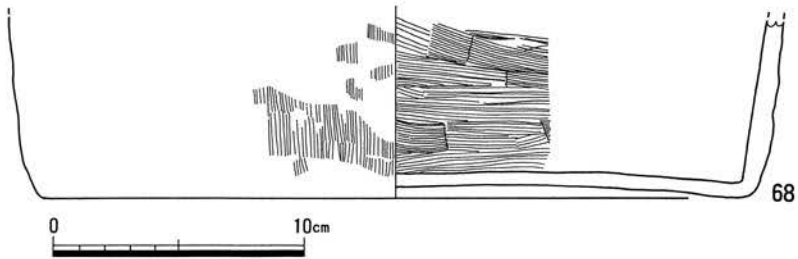


Fig. 15 SB103 掘立柱建物出土遺物実測図 (1/60)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

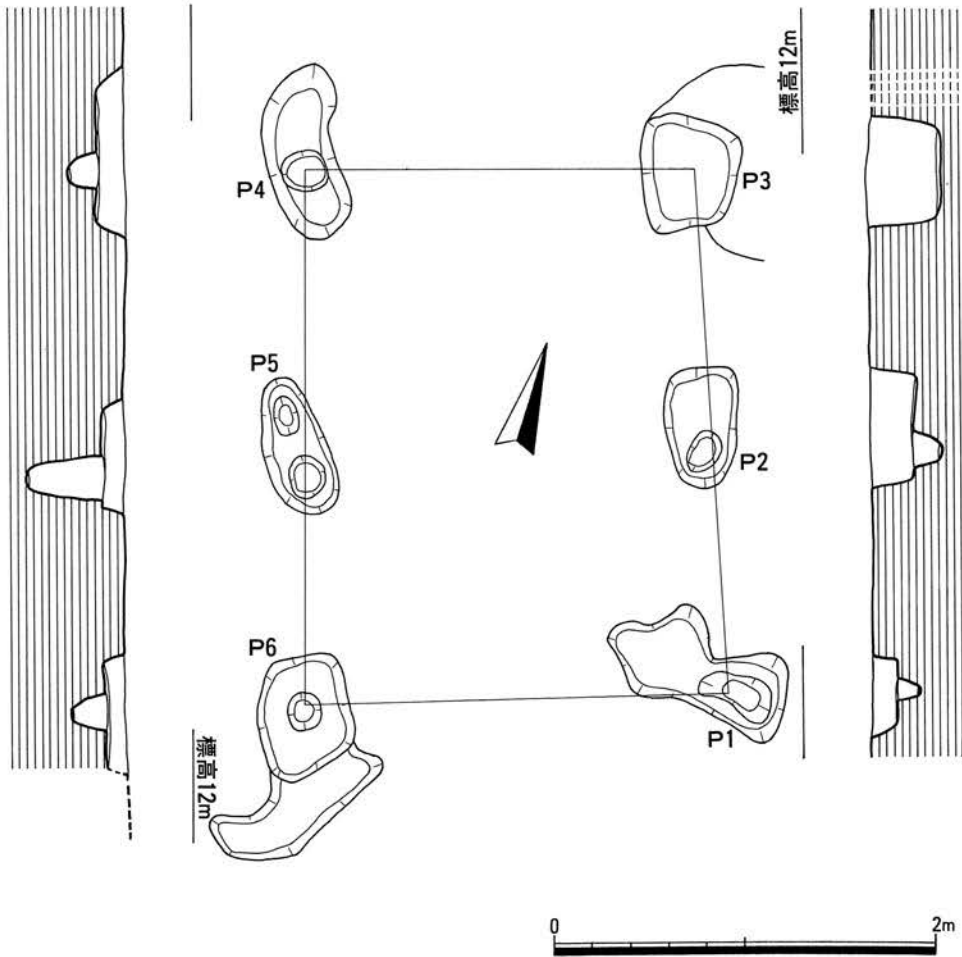


Fig. 16 SB104 掘立柱建物実測図 (1/40)

#### b) 土壌と出土遺物

##### SK005 (Fig. 17)

DU-152グリットで検出した。半分が調査区外に展開する。検出面の標高は11.8m~11.9mである。平面形は隅丸方形をなすと思われ、検出した部分の最大径は1.3mを測る。断面形は深さ0.3m前後を測る逆台形状を呈し、壁はややきつく立ち上がる。底面は平坦である。埋土は灰褐色土を基調としており、自然堆積による埋没と判断する。埋土中から陶器を検出した。

##### 出土遺物 (Fig. 18)

陶器碗(26) 高台径4.3cm。内面、外面中位まで施釉されており、下位に釉垂れしている。釉色は灰白色を呈する。

### 3. 調査の記録 (2区)

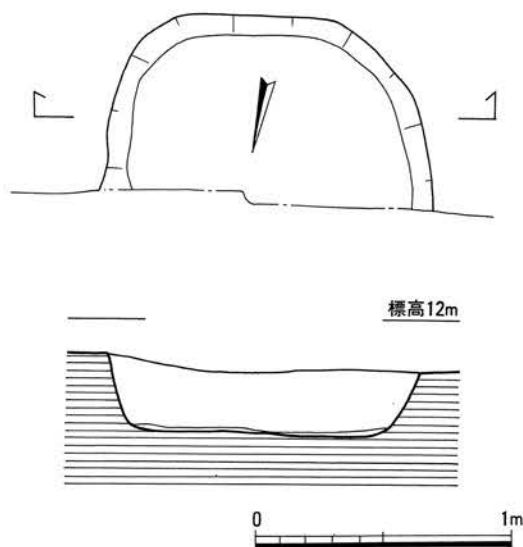


Fig. 17 SK005土壌実測図 (1/30)

底面は平坦である。埋土は灰褐色土を基調としており、自然堆積による埋没と判断する。埋土中から陶器を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 20)

陶器碗(27) 底径3.1cm。内面、外面注意まで施釉されており、下位に釉垂れしている。釉色は暗緑色を呈する。回転糸きり底である。

#### SK007 (Fig. 21)

DU-151グリットで検出した。検出面の標高は11.7m前後である。平面形は長軸1.9m、短軸1.2mを測る不整形な楕円形状を呈している。断面形は深さ0.2mを測る逆台形状を呈し、北東部分に段を有する。底面はほぼ平坦で南側でやや下がる。埋土は灰褐色土を基調としており、自然堆積による埋没と判断する。埋土中から陶器・磁器片を検出したが図化できるものはなかった。

#### SK016 (Fig. 22)

DQ・DR-149グリットで検出した。SD015と切り合い関係にあり、本遺構が後出する。溜め舂状の性格を有すると思われる土壌であり、検出面の標高は11.7m前後である。平面形は長軸3.8m、短軸3mを測る不整形を呈している。断面形は0.3m~0.4mを測る逆台形状を呈しており、底面はほぼ平坦であるが南側で深くなっている。埋土は灰褐色土に黄褐色土が混入したものを基調とし、自然堆積による埋没と思われる。埋土中から土師器、瓦質土器、磁器、陶器を検出した。

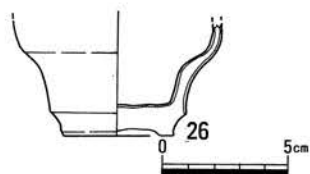


Fig. 18 SK005出土遺物実測図 (1/3)

#### SK006 (Fig. 19)

DU-151・152グリットで検出した。東側の一部が調査区外に展開する。検出面の標高は11.8m前後である。平面形は楕円形をなすと思われる。検出した部分の長軸1.7m、短軸1.4mを測る。断面形は深さ0.4mを測る逆台形状を呈し、壁はややきつく立ち上がる。

### Ⅲ. 篠木野遺跡

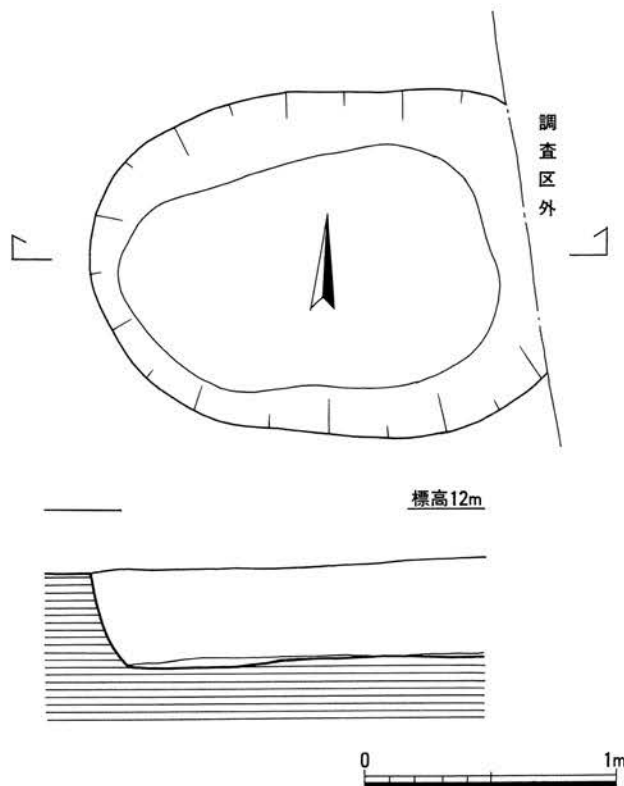


Fig. 19 SK006土壌実測図 (1/30)

#### SK016出土遺物(Fig. 23)

土師器皿(28) 完存。口径6cm、底径3.6cm、器高1.3cm。器面調整は、内外面回転ナデ調整。回転糸きり底である。淡褐色を呈する。

磁器碗(29・30・31) 29は高台径4.5cm。全面に施釉されている。釉色は白色を呈する。30は高台径4.5cm。全面に

施釉されている。高台畳付部と内底部に目跡がある。釉色は灰白色を呈する。31は高台径4.5cm。全面に施釉されており、内底部に目跡がある。釉色は淡黄灰色を呈する。

陶器碗(32) 復元高台径4.2cm。内面、体部外面に施釉されており、高台部に釉垂れしている。釉色は内面灰褐色、外面黒茶色を呈する。

甕(33・34) いずれも瓦質土器である。33は復元口縁径27cm。器面調整は口縁上部に横ナデ調整、体部内面に横方向にハケ目調整、外面に斜め及び縦方向にハケ目調整。内面暗灰褐色、外面灰黒色を呈する。34は復元底径24cm。器面調整は内面横方向にハケ目調整、外面斜め方向

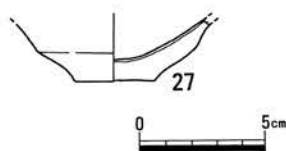


Fig. 20 SK006出土遺物実測図 (1/3)

### 3. 調査の記録 (2区)

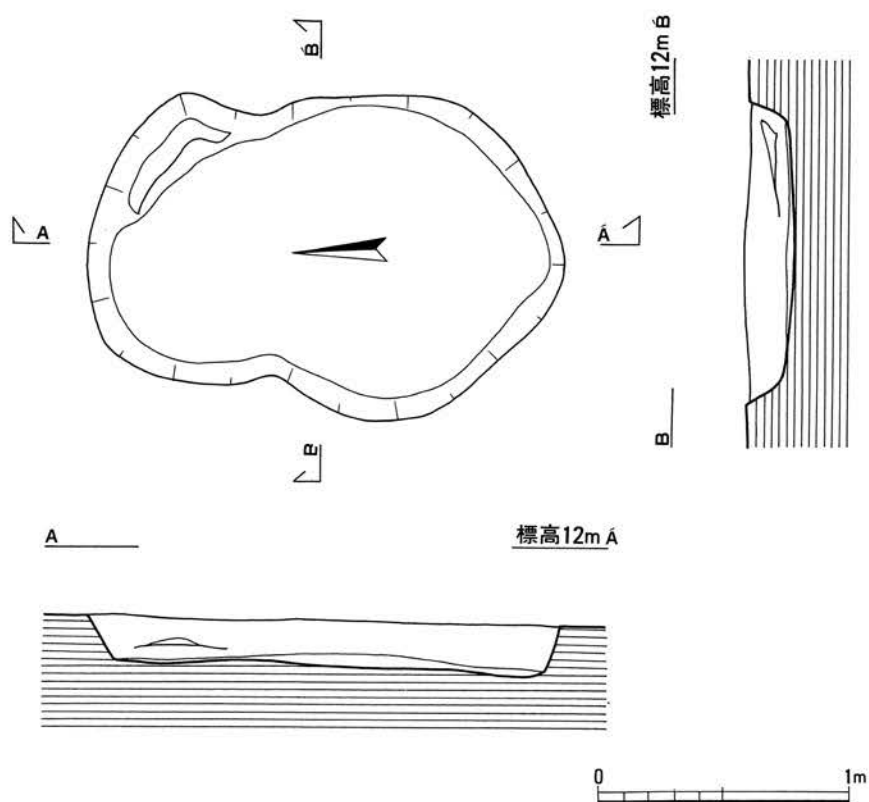


Fig. 21 SK007 土壌実測図 (1/30)

にハケ目調整。内面灰褐色、外面黒灰色を呈する。

#### SK018 (Fig. 24)

DN・DO-150グリットで検出した。SD003、SD031、SD033、SD034、SD062と切り合い関係にあるが、SD003より後出すること以外、他の溝と前後関係は確認できなかった。溜め舂状の性格を有すると思われる土壌である。検出面の標高は11.7m~11.8m程である。平面形は長軸5.4m、短軸2.1mを測る東側がすばまった不整形な隅丸長方形を呈している。断面形は深さ0.5m~0.7mを測る逆台形状を呈しており、底面はやや起伏があるもののほぼ平坦である。埋土は灰褐色土を基調としており自然堆積による埋没と思われる。埋土中から瓦質土器、磁器、陶器、土製品等を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 25・26)

播鉢(35・36) いずれも瓦質土器である。35は復元口径27cm。器面調整は端部に横ナデ調整、体部外面にナデ後ハケ目調整。内面はハケ目調整後4本単位の播り目を施している。色調は内面灰褐色、外面暗灰褐色を呈している。36は復元口径23.3cm。器面調整は体部外面にハケ目

### III. 篠木野遺跡

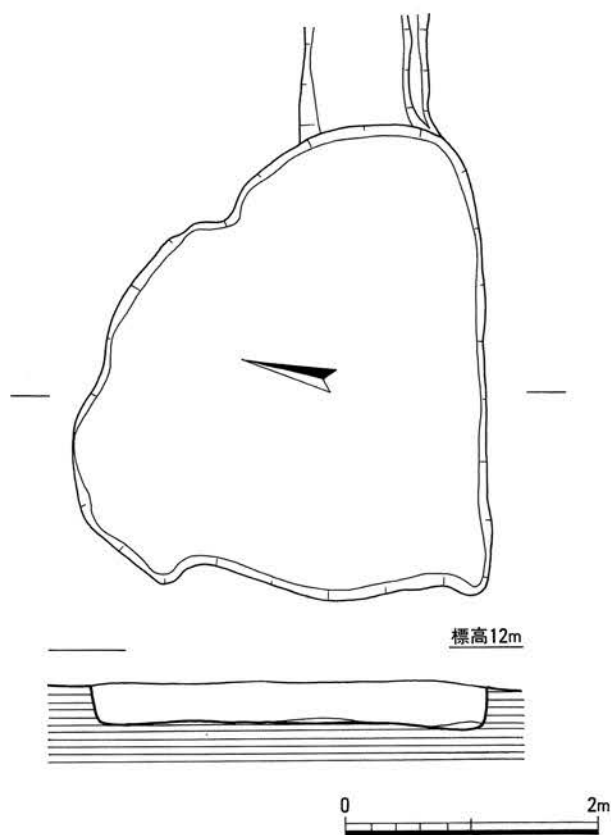


Fig. 22 SK016土坑実側図 (1/30)

陶器皿(40) 復元高台径は3.6cm。内面、体部外面中位にまで施釉されており、下部に釉垂れしている。釉色は緑灰色を呈する。

鉢(41) 瓦質土器である。器面調整は端部に横ナデ調整、体部内面にハケ目調整。体部外面に煤が付着している。

羽釜(43) 最大径25cm。器面調整は、鈿部に横ナデ調整、胴部内外面に横ナデ調整。鈿部の下位に煤の付着がみられる。

土製人形(44) 高さ8.4cmを測り、褐色を呈している。

#### SK019 (Fig. 27)

DN-149・150グリットで検出した。検出面の標高は11.7m前後である。平面形は径1.6m前後の南西部分がやや突出した不整形な隅丸形状を呈している。断面形は深さ0.1mを測る逆台形状を呈している。底面はほぼ平坦であるが中央部分が高くなっている。埋土は黒褐色土の単層で炭化物が混入していた。遺物は埋土中から土師器・陶器・磁器等を検出した。

調整。内面はハケ目調整の後に3本単位の播り目を施す。色調は灰褐色を呈する。

火鉢(37・38) いずれも瓦質土器である。37は復元口径34cm。器面調整は口縁部上場に横ナデ調整、体部外面にナデ調整、底部にハケ目調整。内面に斜め及び横方向にハケ目調整。色調は黒灰色を呈する。38は復元口径34.8cm。2条の突帯を有し、突帯の上位にスタンプを配している。器面調整は外面に横ナデ調整、内面にハケ目調整。色調は内面灰褐色、外面黒灰色を呈する。

磁器碗(39) 復元高台径は5.6cm。全面に施釉されているが、高台畳付部のみ釉がはぎ取られている。釉色は淡緑白色を呈する。

### 3. 調査の記録 (2区)

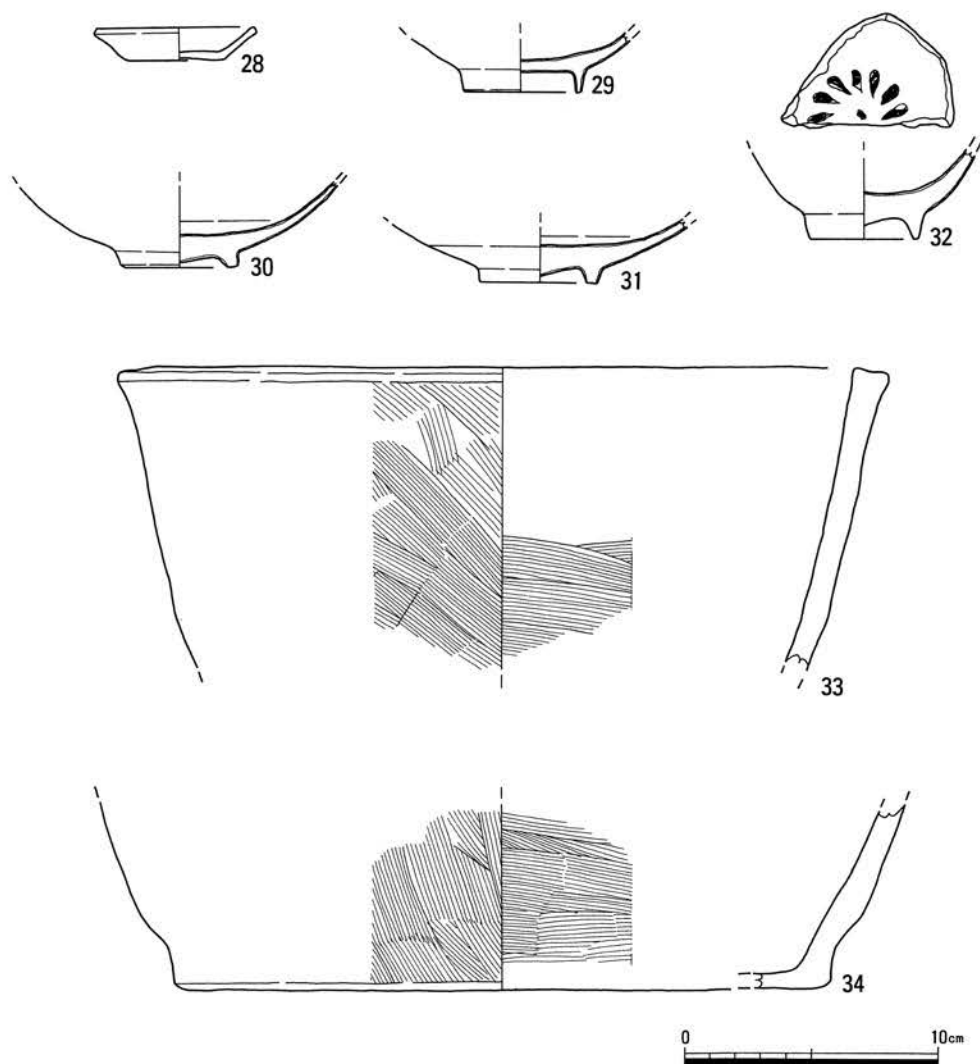


Fig. 23 SK016 出土遺物実測図 (1/3)

#### 出土遺物 (Fig28)

土師器小皿 (45・46) 45は完存。口径6.5cm、底径2.7cm、器高1.4cm。器面調整は内外面回転横ナデ調整。回転糸きり底である。内外面に煤の付着が認められる。46は復元口径6.3cm、底径3.1cm、器高1.7cm。器面調整は内外面横ナデ調整。回転糸きり底である。いずれも褐色を呈する。

青磁碗 (47・48) 47は復元高台径4.3cm。全面に施釉されているが、高台畳付部のみ釉がはぎ取られている。内底部に目跡がある。釉色は暗緑色を呈す。48は復元口径5.6cm。高台内面以外は施釉されている。釉色は暗緑色を呈す。

### Ⅲ. 篠木野遺跡

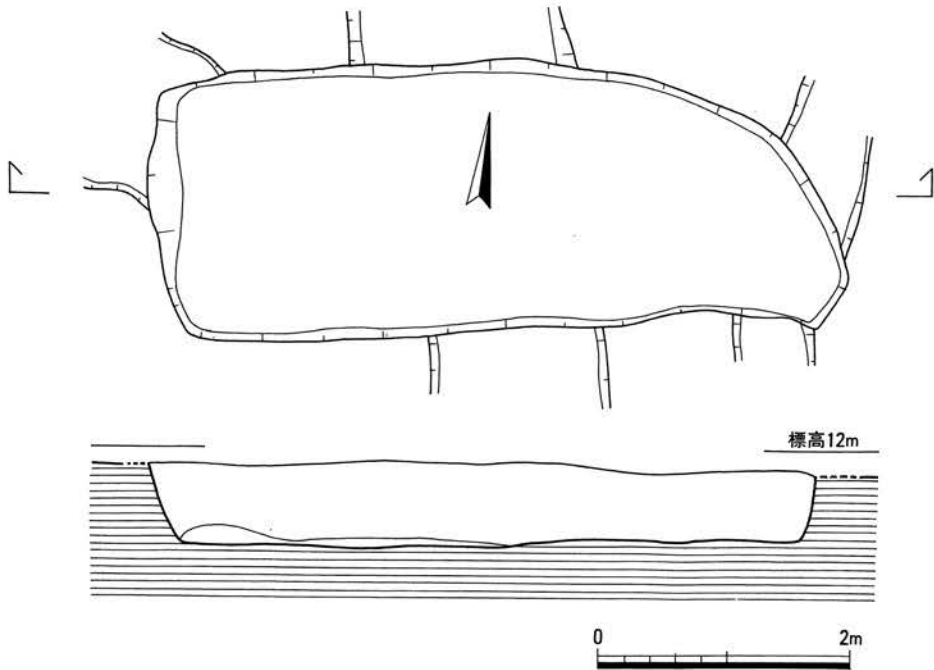


Fig. 24 SK018土壙実測図 (1/60)

磁器染付皿(49) 復元口径12.9cm、高台径4.5cm、器高3cm。全面に施釉されており、高台畳付部と高台内面に目跡がある。内面には花文と思われる文様を配す。やや青みがかった灰白色を呈す。

陶器皿(50・51) 50は復元口径15cm。内外面施釉されている。釉色は緑灰色を呈している。51は復元口径22.3cm。内外面施釉されている。釉色は内面淡灰色、外面茶灰色を呈する。

陶器壺(52・53) 52は復元口径9.2cm。内外面に施釉されている。釉色は黒色を呈する。53は復元口径は12.6cm。内面回転横ナデ調整。内外面に施釉されている。釉色は内面茶褐色、外面は口縁部分が黒褐色、その下位は緑灰色を呈する。

陶器鉢(54・55) 54は復元口径16.3cm。内外面施釉されている。釉色は暗灰褐色を呈する。55は復元口径17.9cm。内面、体部外面中位まで施釉されている。釉色は内面灰褐色、外面黒灰色を呈す。

#### 鍋(56) 瓦質土器

陶器播鉢(57) 復元口径40.8cm。口縁部内面のみ施釉されている。器面調整は体部外面横ナデ調整、内面横ナデ調整後10本単位の播り目を施している。色調は外面赤褐色、内面淡黒灰色を呈している。

3. 調査の記録 (2区)

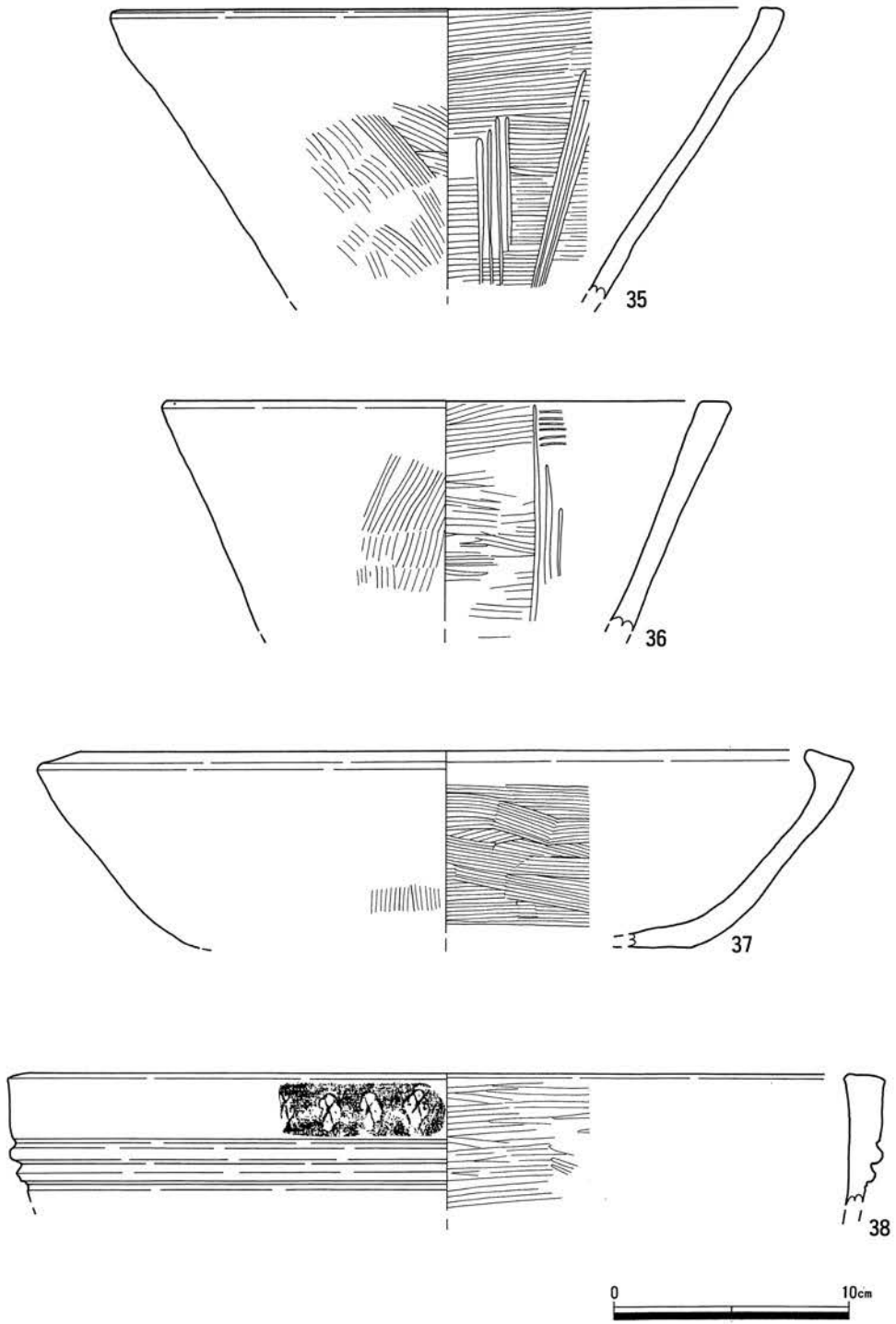


Fig . 25 SK018出土遺物実測図① (1/3)

Ⅲ. 篠木野遺跡

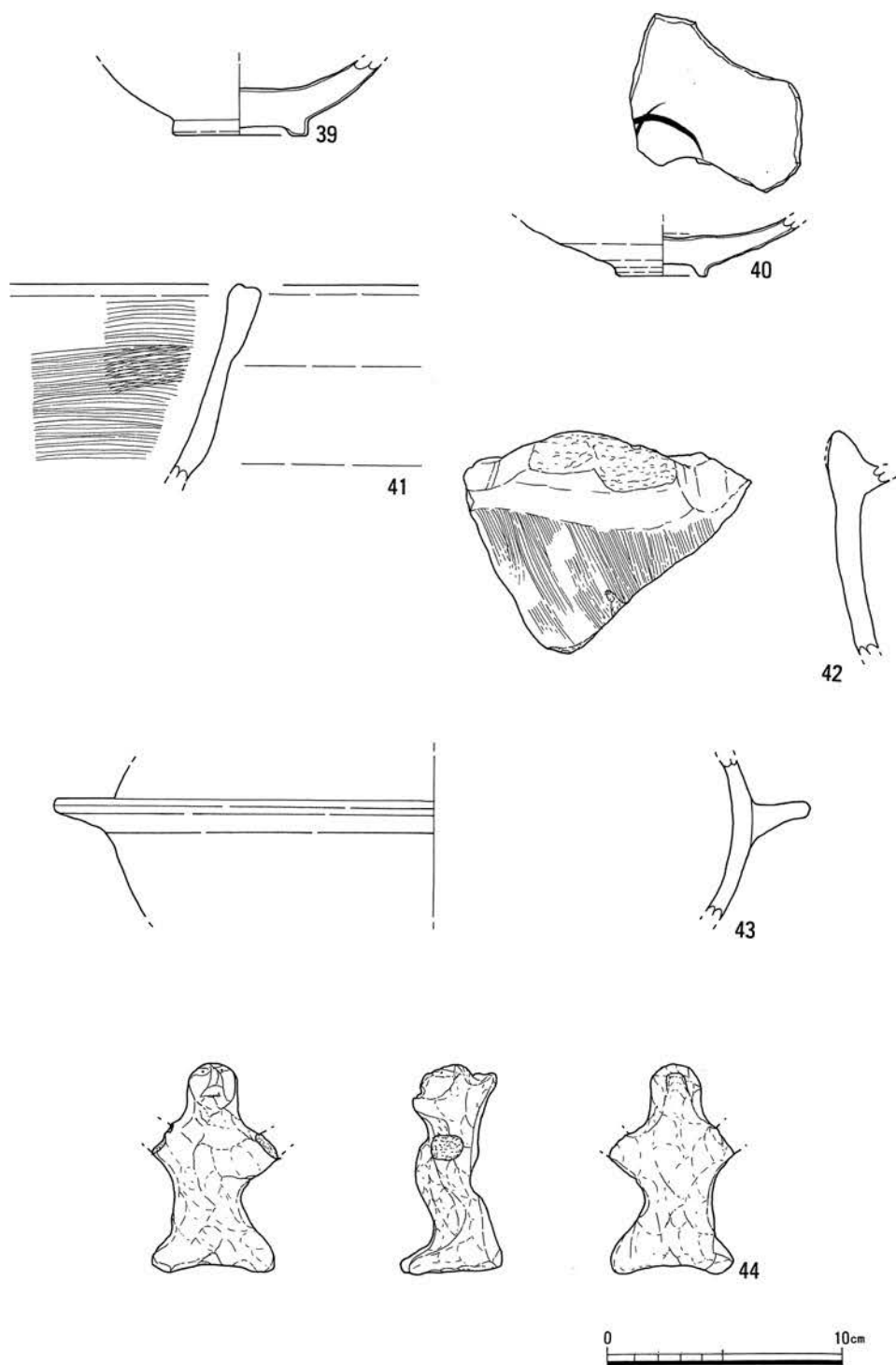
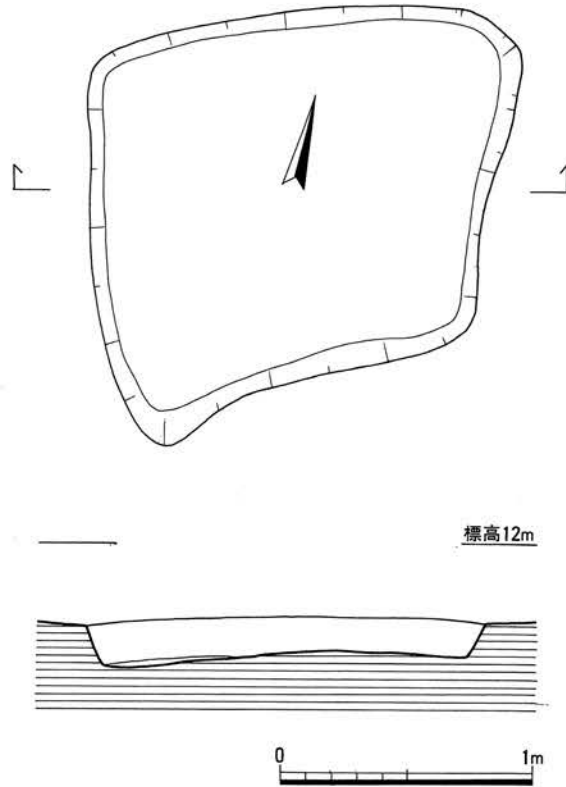


Fig. 26 SK018出土遺物実測図② (1/3)

### 3. 調査の記録 (2区)

#### SK041 (Fig. 29)

DJ-147グリットで検出した。SE040と切り合い関係にあり、本遺構が後出する。検出面の標高は11.6m程である。平面形は長軸2.7m、短軸1.9mを測るほぼ隅丸長方形形状を呈している。断面形は深さ0.7mほどの逆台形状を呈しているが東側の壁面がきつく立ち上がるのに対し、西側はやや緩く立ち上がる。底面はほぼ平坦である。埋土は7層に大別でき、自然堆積による埋没状況を示している。遺物は底面からやや浮いたところでつぶれたような状態の瓦質の甕と染め付け皿、宝珠を検出した。



#### 出土遺物 (Fig. 30)

磁器染付皿 (58) 口径12.6 Fig. 27 SK019土壙実測図 (1/30)

高台径4.6cm、器高3.2cm。全面に施釉されており、高台畳付部に目跡がある。口縁部はわずかな波を以てめぐり、内面には暗青灰色の釉で花文と虫と思われる文様が描かれている。釉色は灰白色を呈している。

甕 (59) 瓦質土器である。口径64.4cm、底径40cm、器高61.7cm。器面調整は口縁端部横ナデ調整、内外面全体に不定方向にハケ目調整が施してある。色調は内面暗灰色、外面淡灰褐色～明茶灰色を呈する。

宝珠 (60) 高さ21.5cm、最長断面径15cmを測る。

III. 篠木野遺跡

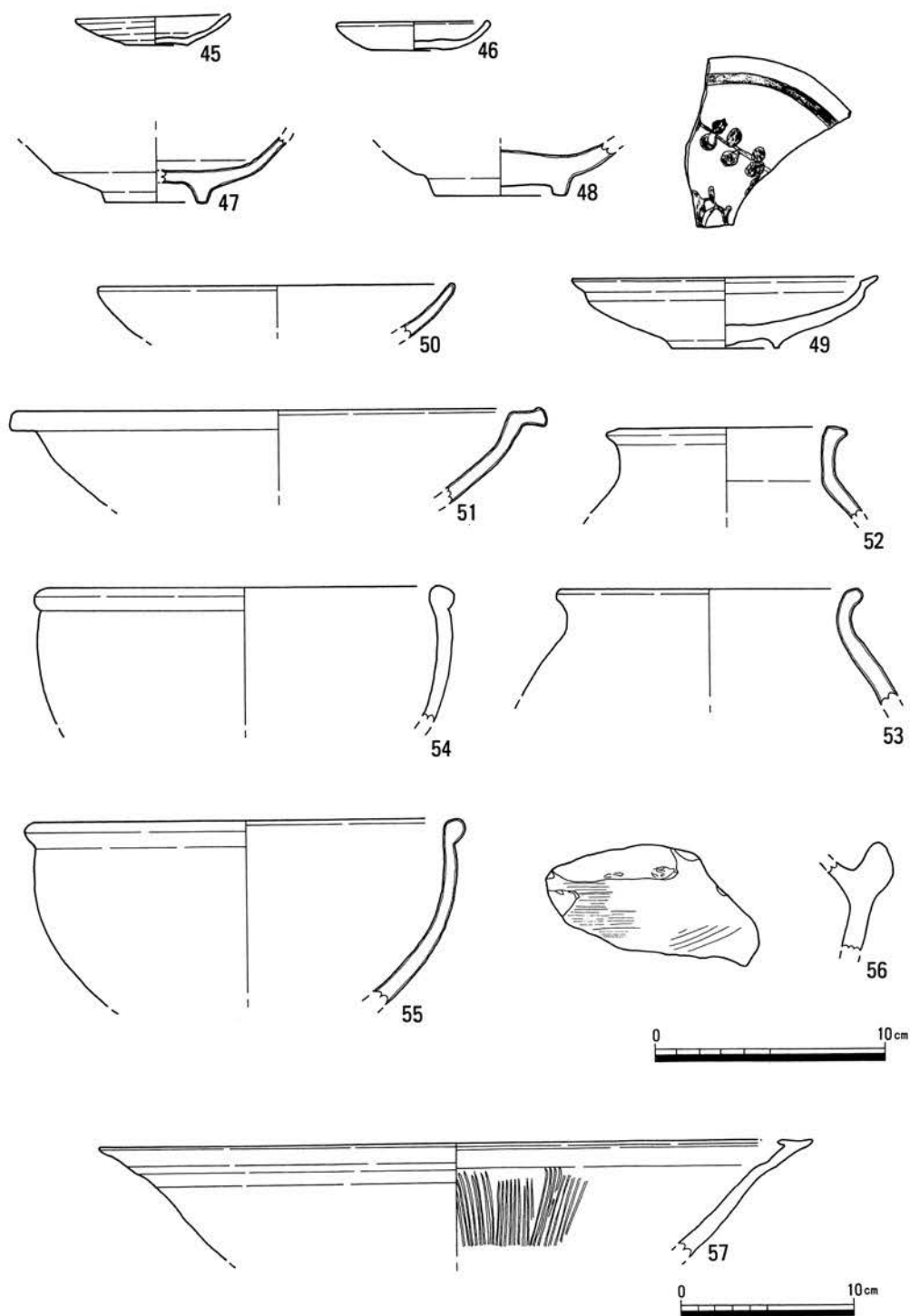


Fig. 28 SK019出土遺物実測図 (1/3・1/4)

### 3. 調査の記録 (2区)

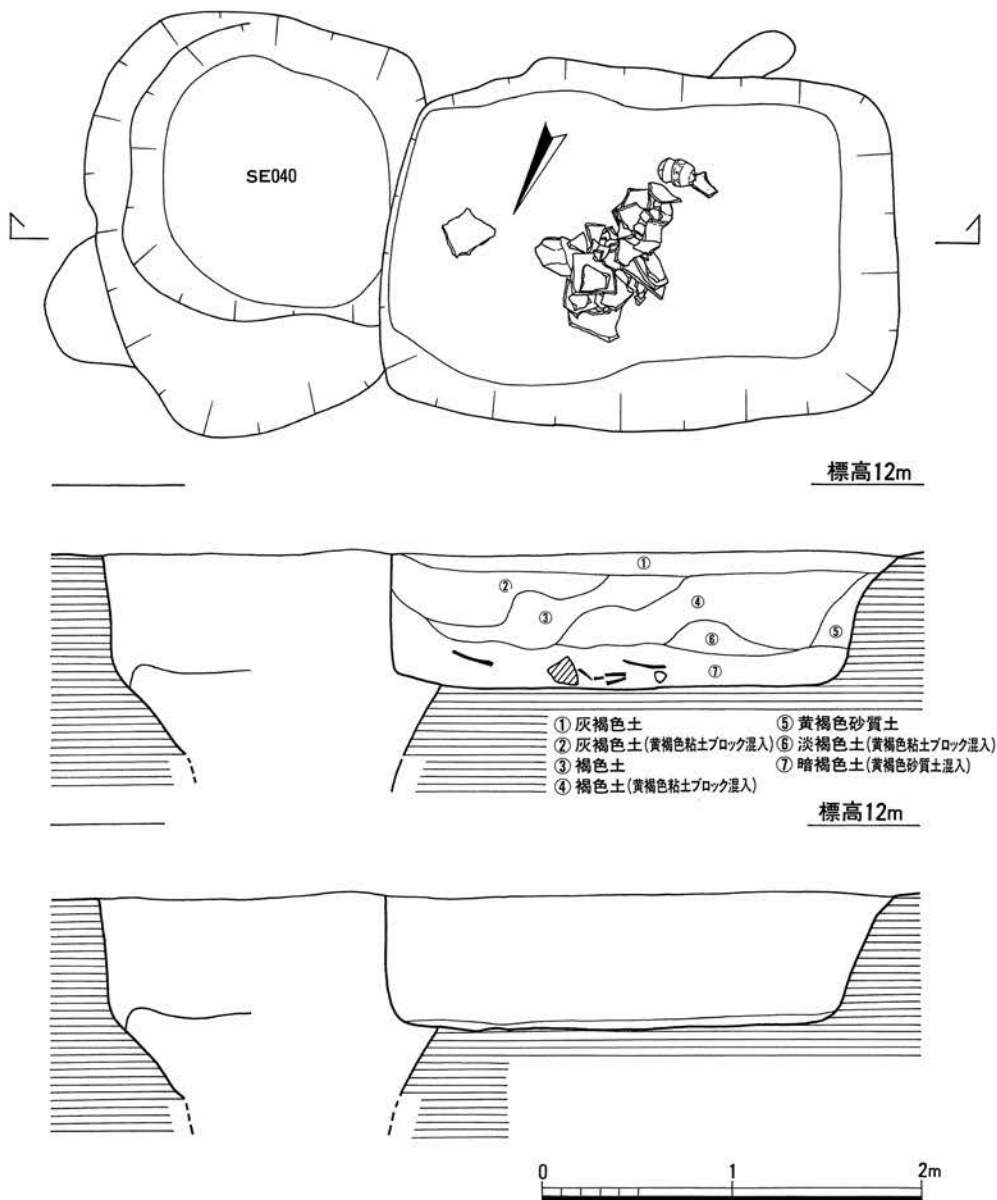


Fig. 29 SK041 土壌実測図 (1/40)

#### SK042 (Fig. 31)

DI-149グリットで検出した。検出面の標高は11.6m~11.7mである。上場の一部を削平されている。平面形は長軸1.6m、短軸1.2mを測る不整形な隅丸長形状を呈している。断面形は深さ0.5m程を測る逆台形状を呈しており、底面は平坦である。埋土は灰褐色土で、自然堆積による埋没と思われる。遺物は埋土中から陶器を検出した。

Ⅲ. 篠木野遺跡

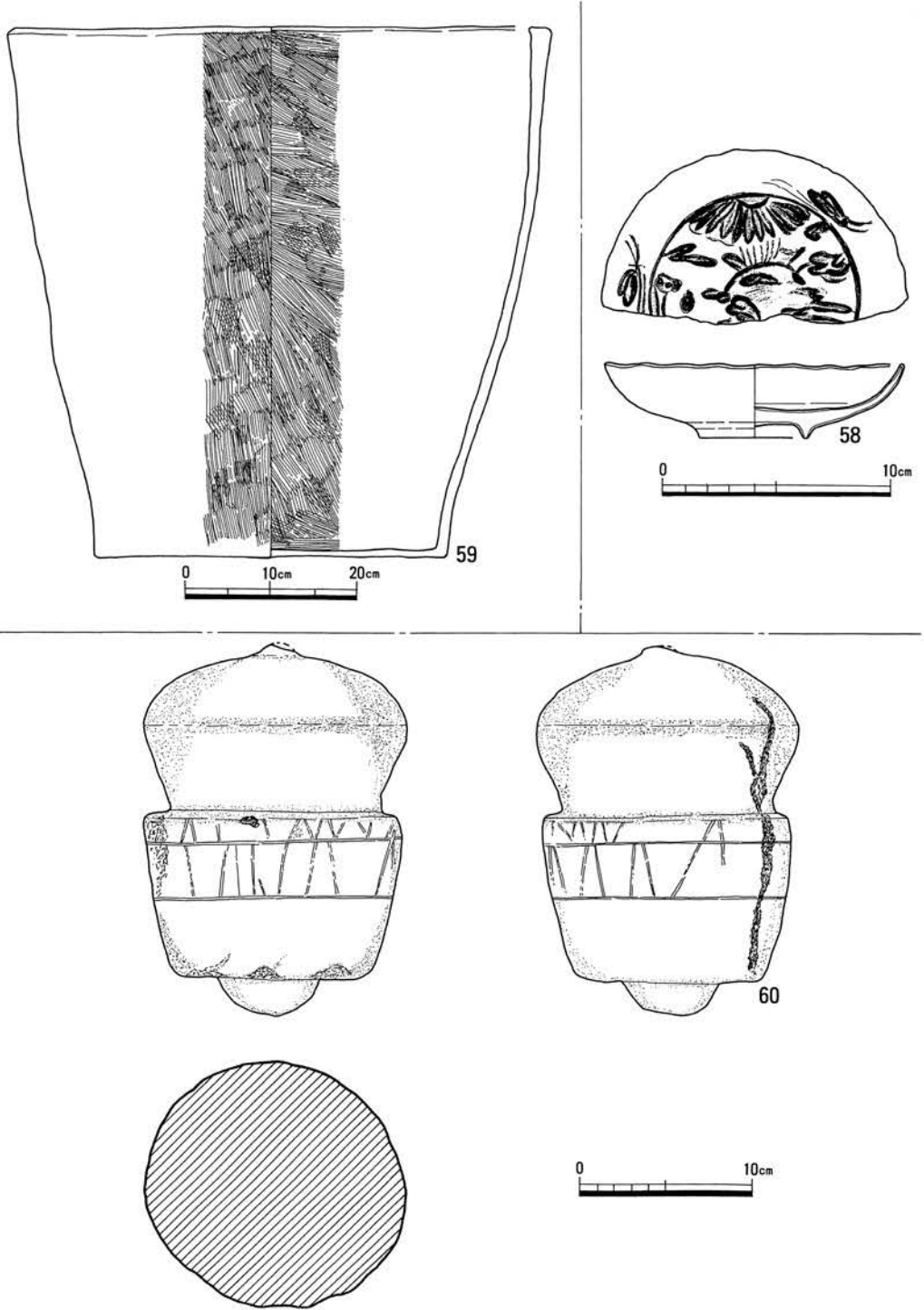


Fig. 30 SK041出土遺物実測図 (1/3・1/4・1/8)

### 3. 調査の記録 (2区)

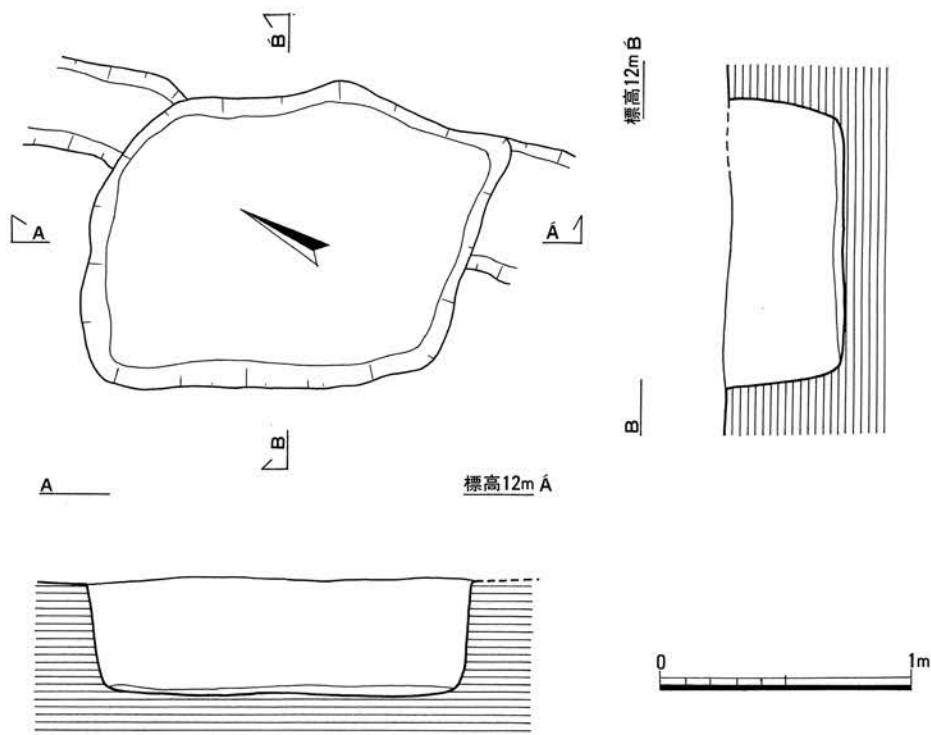


Fig. 31 SK042 土壌実測図 (1/30)

#### SK042 出土遺物 (Fig. 32)

陶器皿(61) 復元口径11.8cm。外面底部を除いて施釉されている。回転横ナデ調整。釉色は淡黄褐色を呈する。

#### SK043 (Fig. 33)

DI-148グリットで検出した。検出面の標高は11.7m程である。平面形は長軸1.5m、短軸1.1mを測る不整形楕円形を呈している。断面形は深さ0.6m~0.7mを測る逆台形状を呈しているが、壁はきつく立ち上がる。底面は平坦である。埋土は灰褐色土を基調とし、自然堆積による埋没と思われる。遺物は埋土中から土師器を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 34)

鍋(62) 土師器。復元口径42.5cm。器面調整は口縁端部にハケ目後横ナデ調整、体部内外面に不定方向にハケ目調整。色調は内面明褐色、外面黒褐色を呈する。

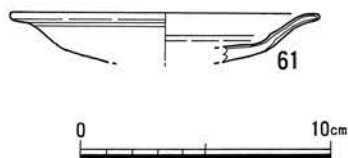


Fig. 32 SK042 出土遺物実測図 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

#### SK049 (Fig. 35)

DF・DG-149グリットで検出した。検出面の標高は11.6m前後である。平面形は長軸1.7m、短軸1.4mを測る楕円形状を呈している。断面形は深さ0.4mを測る逆台形状を呈し、壁はきつく立ち上がる。底面は平坦である。埋土は灰褐色を基調とし、自然堆積による埋没と思われる。遺物は埋土中から土師器、磁器を検出した。

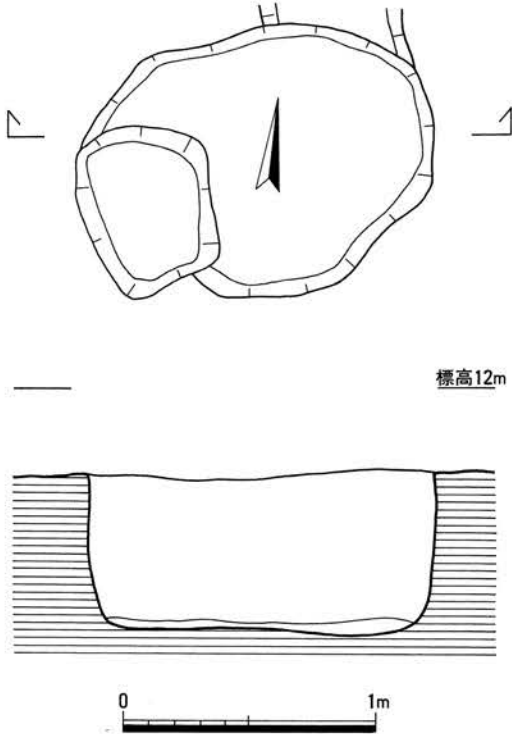


Fig. 33 SK043土壤実測図 (1/30)

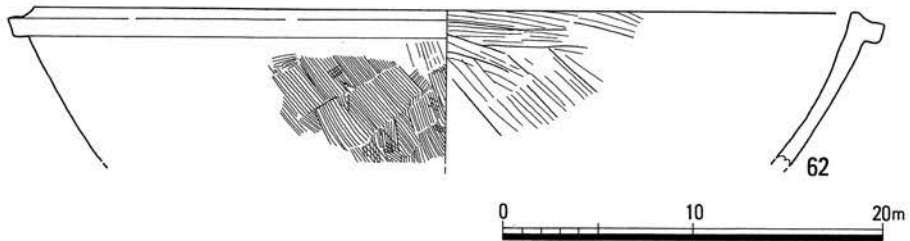


Fig. 34 SK043出土遺物実測図 (1/4)

#### 出土遺物 (Fig. 36)

白磁碗 (63) 復元口径16.7cm。内外面に施釉されており、口縁端部の釉がはぎ取られている。釉色は淡灰白色を呈する。

鉢 (64) 土師器。復元口径16.7cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整、体部内面にナデ調整である。色調は淡茶褐色を呈する。

3. 調査の記録 (2区)

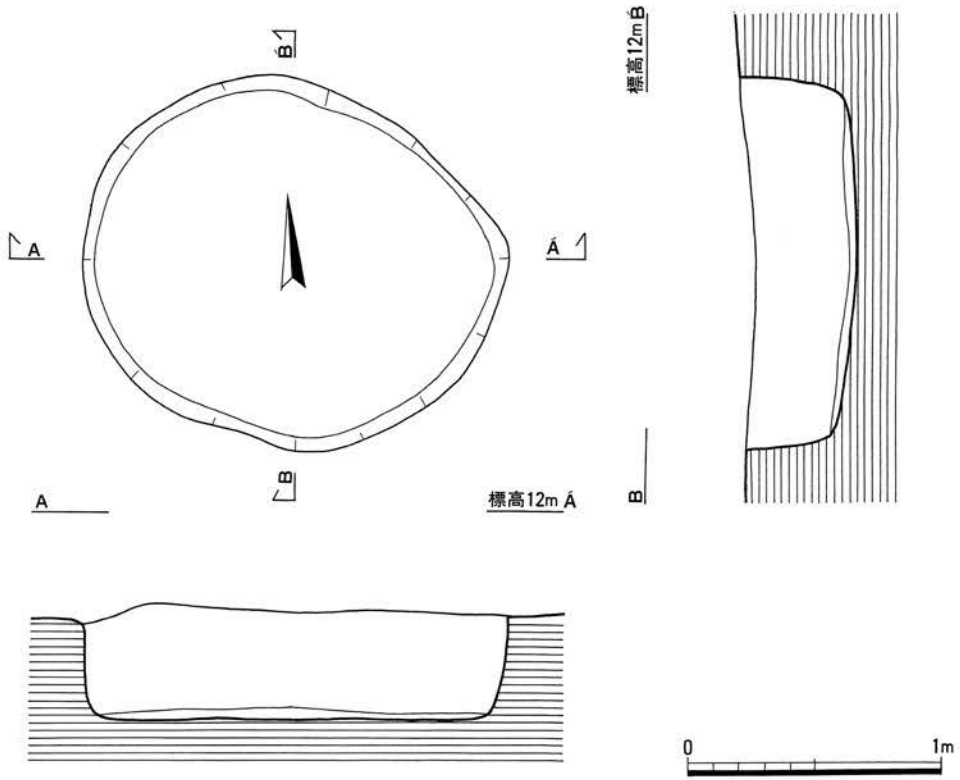


Fig. 35 SK049 土壌実測図 (1/30)

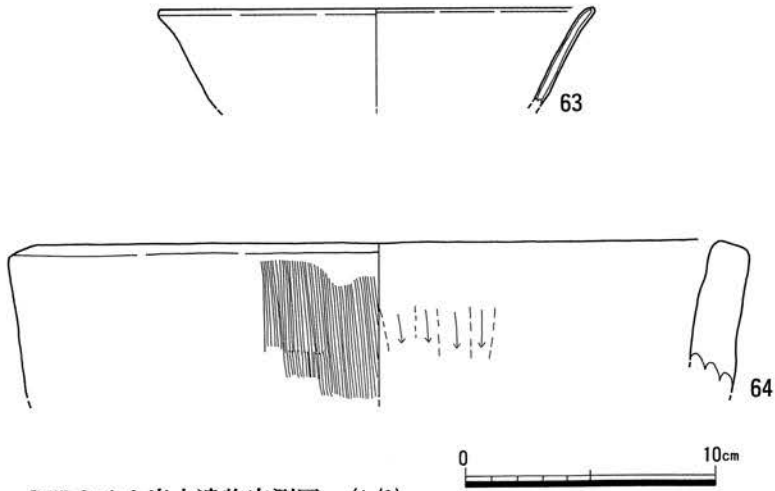


Fig. 36 SK049 出土遺物実測図 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

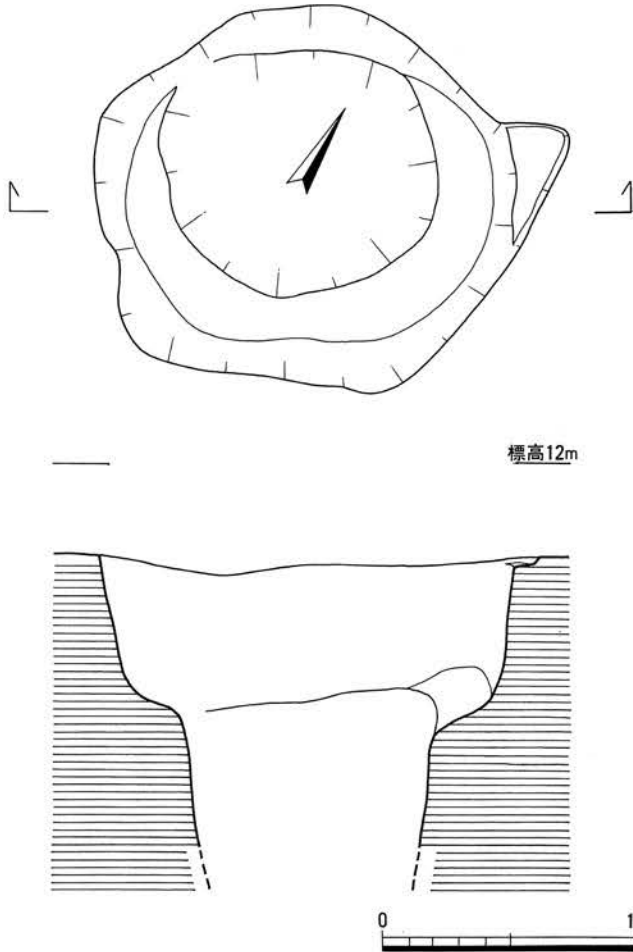


Fig. 37 SE020井戸実測図 (1/30)

#### c) 井戸と出土遺物

##### SE020 (Fig. 37)

DL・DM-148・149グリットで検出した。他の遺構との切り合い関係はない。2段掘の井戸である。検出面の標高は11.6m~11.7mを測る。平面形は長径1.8m・短径1.5mを測る不整形な楕円形を呈している。湧き水のため底面を確認するまでにいたらず、検出した面迄の深さは1.2mを測る。深さ0.6m程で段を有し、壁はきつめに立ち上がる。埋土は暗褐色土を基調としており、自然堆積による埋没と思われる。埋土中より磁器碗を検出した。

##### 出土遺物 (Fig. 38)

青磁器碗 (63) 復元口径6.9cm。内外面に施釉されている。釉色は暗緑色を呈する。内面見込みにスタンプが認められる。

##### SE040 (Fig. 39)

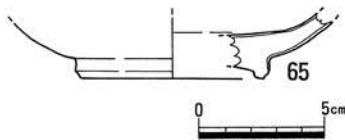


Fig. 38 SE020出土遺物実測図 (1/3)

DJ-147グリットで検出した。SK041と切り合い関係にあり本遺構が切られている。2段掘の井戸で検出面の標高は11.6m程を測る。平面形は長径2.3mを測る不整形な楕円形を呈すると思われる。湧き水のため底面は確認できず、検出した面迄の深さは1m程を測る。深さ0.6m程で稜を有し壁はきつめに立ち上がる。埋土は暗灰褐色を基調としており、自然堆積による埋没と思われる。埋土中より瓦質土器、陶器片を若干検出したが図示できるものはなかった。

### 3. 調査の記録 (2区)

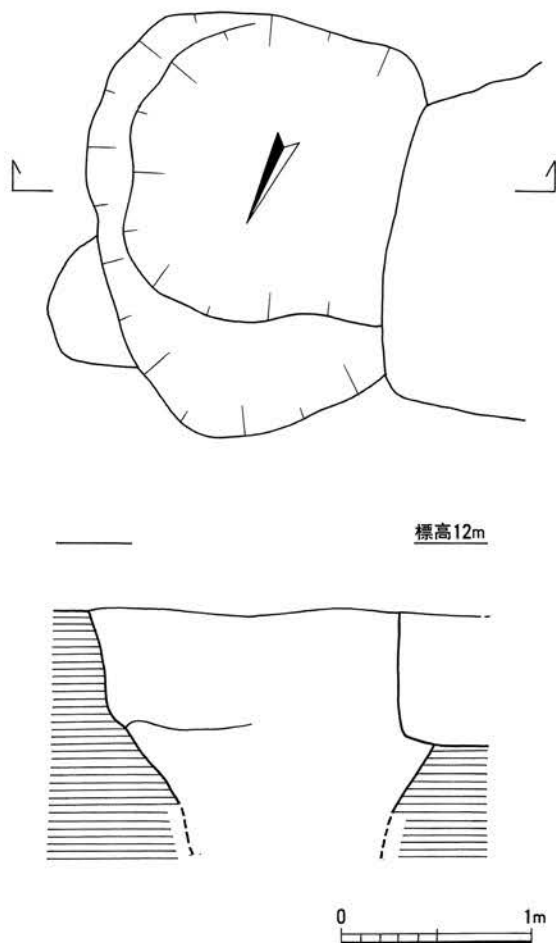


Fig. 39 SE 040 井戸実測図 (1/40)

cm、器高7.3cm。高台部を除き施釉されている。釉色は明緑色を呈している。

白磁器碗(71・72・73) 71は高台径4.8cm。全面に施釉されており、高台畳付部に目跡がある。釉色は灰白色を呈す。72は高台径4.8cm。全面に施釉されており、高台畳付部に目跡がある。釉色はやや青みがかかった淡灰白色を呈する。73は高台径4.8cm。全面に施釉されている。内面底部に目跡がある。釉色は茶灰色を呈する。

青磁器皿(74) 復元口径14cm、高台径4.8cm、器高4cm。内面、体部外面下位にまで施釉されている。内面底部に目跡がある。釉色は青灰白色を呈す。

陶器皿(75・76・77・78・79・80・81) 75は高台径4.1cm。内面、体部外面中位に施釉されている。内底部に目跡を残す。釉色は茶灰色を呈す。76は高台径4.4cm。内面、体部外面下位にまで施釉されている。釉色は茶灰色を呈す。77は復元口径10.6cm、高台径3.5cm、器高3.6cm。内面、体部外面下位にまで施釉されている。釉色は緑黄灰色を呈する。78は復元口径11.4cm、底径

#### d) 溝と出土遺物

12条の溝を検出した。大部分が南北及び東西に延びる溝であり、特に調査区の東側で検出した溝は建物群を区画する溝であることが考えられる。

#### SD004 (Fig. 4)

DU-148~DT-152グリットで検出した。区画溝と思われる。やや西に降れる南北方向に延びる溝で調査区外に展開する。検出面の標高は11.8m前後である。幅1m~1.6m、深さ0.4m~0.5mを測る。断面形は逆台形状を呈しており、壁はゆるく立ち上がる。埋土は灰褐色度を基調としており、自然堆積による埋没と思われる。埋土中より陶磁器等を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 40~45)

青磁器碗(69・70) 69は高台径6.3cm。高台内部以外は全面施釉されており、高台畳付部に目跡がある。釉色は内面暗緑色、外面淡緑灰色を呈している。70は復元口径11cm、高台径4.5cm

### Ⅲ. 篠木野遺跡

4cm、器高3.5cm。内面、体部外面下位まで施釉されており、内底部に目跡がある。釉色は緑灰色を呈する。79は復元口径11.4cm、高台径4.9cm、器高3.5cm。ほぼ全面に施釉されており、高台部に目跡がある。釉色は暗緑茶色を呈する。80は高台径4.6cm。内面、体部外面中位にまで施釉されており、下位に釉垂れしている。内面には文様を施す。釉色は茶灰色を呈する。81は絵付けの大皿である。復元口径33cm。内面、体部外面は中位にまで施釉されており、外面下位に釉垂れしている。内面には口縁部と見込み部分に暗緑色の釉と鉄釉で草花文が描かれている。釉色は内面淡黄灰色、外面淡茶褐色を呈している。

磁器染付皿(82) 復元高台径12.2cm、高台径4.6cm、器高3cm。全面に施釉されており、高台部に目跡がある。見込み内面に青灰色の釉で水草の様な文様が施してある。釉色は淡白灰色を呈する。

白磁小碗(83) 口径5.2cm、高台径2.3cm、器高3.4cm。内面、体部外面下位にまで施釉されており、高台部まで釉垂れしている。高台部内面に灰砂目を残す。外面体部には青灰色の釉で草文が施してある。釉色は淡白灰色を呈す。

陶器片口鉢(84・85) 84は復元口径18.2cm。口縁部内面の外は施釉されている。釉色は茶褐色を呈する。85は復元口径11.7cm。口縁部以外は施釉されている。体部外面上位に2条の波状紋を施している。釉色は茶褐色を呈する。

擂鉢(86~94) 86・87・93は陶器の擂鉢である。86は復元口径36.8cm。87は復元口径31.8cm。いずれも口縁部に施釉されている。釉色は茶灰色を呈する。93は復元底径11cm。器面調整は内外面横ナデ調整で、内面に8本単位の擂目を施している。回転糸切り底である。88~94は瓦質土器の擂鉢である。88は復元口径31.8cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部内外面に斜め及び横方向にハケ目調整。内面にハケ目ののち5本単位の擂目を施している色調は内面褐色、外面暗灰褐色を呈する。89は復元口径33cm。片口を有する。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にナデ調整、内面に横方向にナデ調整後4本単位の擂目を施している。色調は灰褐色を呈する。90は復元口径は29.6cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整、内面に横方向にハケ目調整が擂目を施している。色調は茶褐色を呈する。91は復元底径14.4cm。器面調整は外面は底部にまでハケ目調整、内面は横方向にハケ目調整後4本単位の擂目が施してある。色調は灰褐色を呈する。92は復元底径15.1cm。器面調整は外面斜め方向にハケ目調整、内面横方向にハケ目調整の後3~4本単位の擂目を施している。色調は灰褐色を呈する。94は口径23.7cm、底径14.3cm、器高11.3cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面に斜め方向にハケ目調整、体部内面に横方向にハケ目調整。擂り目は3本を単位とし、内底部で弧を描く様に施している。色調は灰褐色を呈する。

鉢(95~100) いずれも瓦質土器である。95は復元口径39.8cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部内外面にハケ目調整。色調は外面暗茶褐色、内面淡灰色を呈する。96は復元口径

### 3. 調査の記録 (2区)

42.4cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面に斜め方向にハケ目調整、内面に横方向にハケ目調整。外面に煤が付着している。色調は褐色を呈する。97は復元口径29.2cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部内外面に横ナデ調整。外面には煤が付着している。色調は暗褐色を呈す。98は復元口径38cm、底径33.2cm器高9.9cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面に縦方向にハケ目調整、内面に横方向にハケ目調整。色調は褐色を呈す。99は復元底径24.3cm。器面調整は外面縦方向にハケ目調整、内面に底部付近で指押さえ後のハケ目調整が認められる。色調は褐色を呈する。100は復元口径20cm、底径11.8cm、器高10cm。片口を有し、器面調整はハケ目調整。色調は褐色を呈す。

火鉢(101・102・103) いずれも瓦質土器である。101は口縁部から2条、1条、2条計5条の突帯を有する。口縁部と中段の間には鋸状押し圧文を×字状に配し中段と下段の間には菱形形状のスタンプを配している。器面調整は口縁部から外面は横ナデ調整、内面はハケ目調整である。102は復元底径18cm。脚部を有しその直上に1条の突帯がめぐる。器面調整は外面横ナデ調整、内面ハケ目調整。色調は外面褐色、内面暗褐色を呈する。103は復元口径33.5cm、底径20cm、器高18.8cm。器面調整は全体ナデ調整である。色調は暗褐色を呈する。

石臼(104) 復元口径31.6cmを測る。

陶器壺(105) 復元口径15.6cm。全面に施釉されており、釉色は茶褐色を呈する。内面に叩きが施してある。

陶器甕?(106~109) 106は復元底径19.4cm。107は復元底径19.8cm。108は復元底径19.6cm。109は復元底径14.6cm。いずれも暗褐色を呈する。

#### SD014 (Fig. 4)

DT-150~DS・DT-152グリットで検出した。SD004の東側をほぼ平行に延びる溝である。調査区外に展開する。検出面の標高は11.8m前後である。幅0.5m~0.7m、深さ0.3m前後である。埋土は灰褐色を基調としており、埋土中より遺物を検出した。

#### 出土遺物(Fig. 46)

陶器皿(110) 復元口径13cm、高台径4.2cm、器高3.4cm。内面、体部外面中位にまで施釉されている。内底部に目跡がある。釉色は緑灰色を呈する。

#### SD015 (Fig. 4)

DR-149~DT-149・159グリットで検出した。SK016と切り合い関係にあり本遺構が先出する。東西方向に延びる溝である。検出面の標高は11.6m前後である。幅0.9m~2m、深さ0.3m前後である。埋土は暗灰色を基調としており、埋土中より遺物を検出した。

Ⅲ. 篠木野遺跡

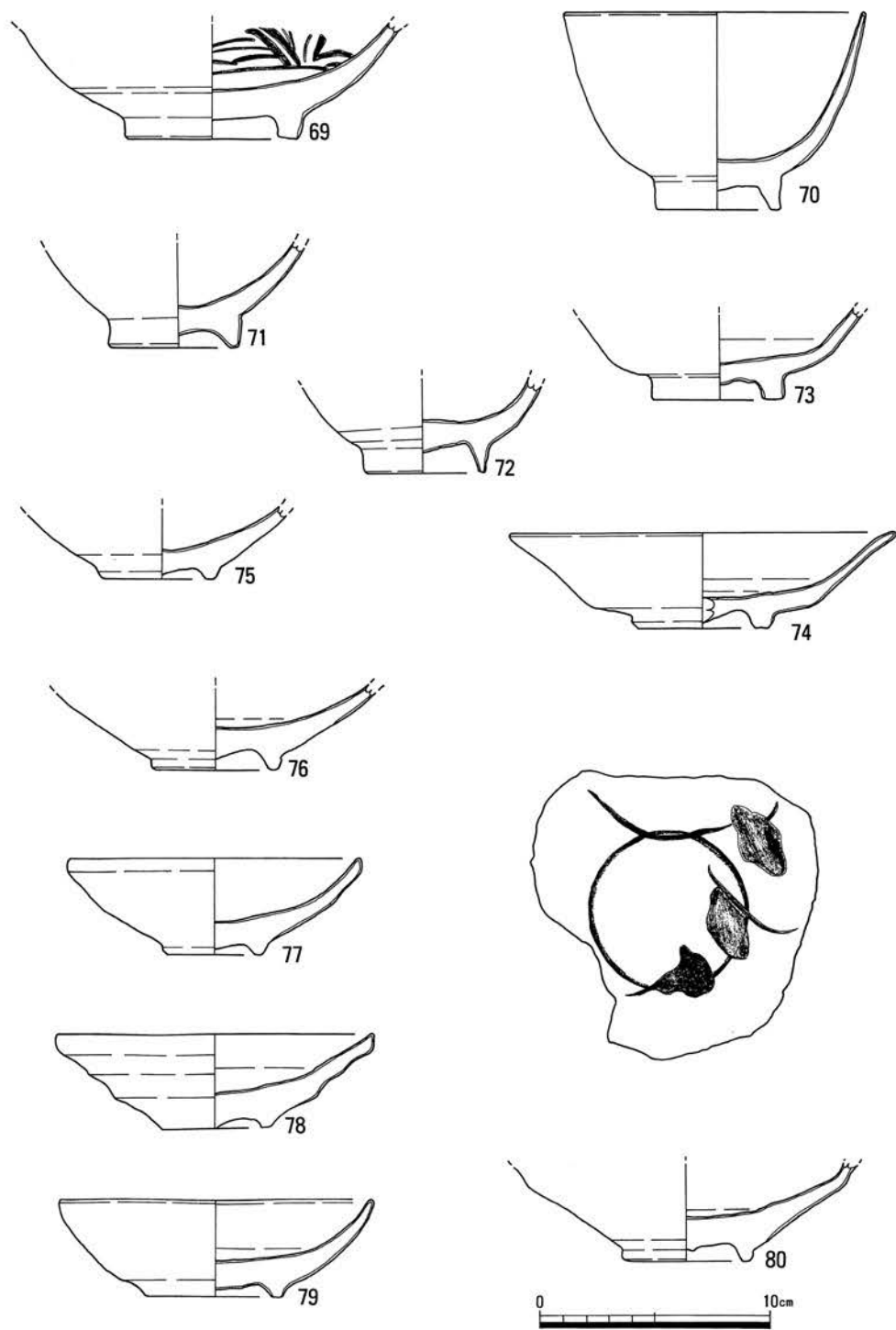


Fig. 40 SD004出土遺物実測図① (1/3)

3. 調査の記録 (2区)

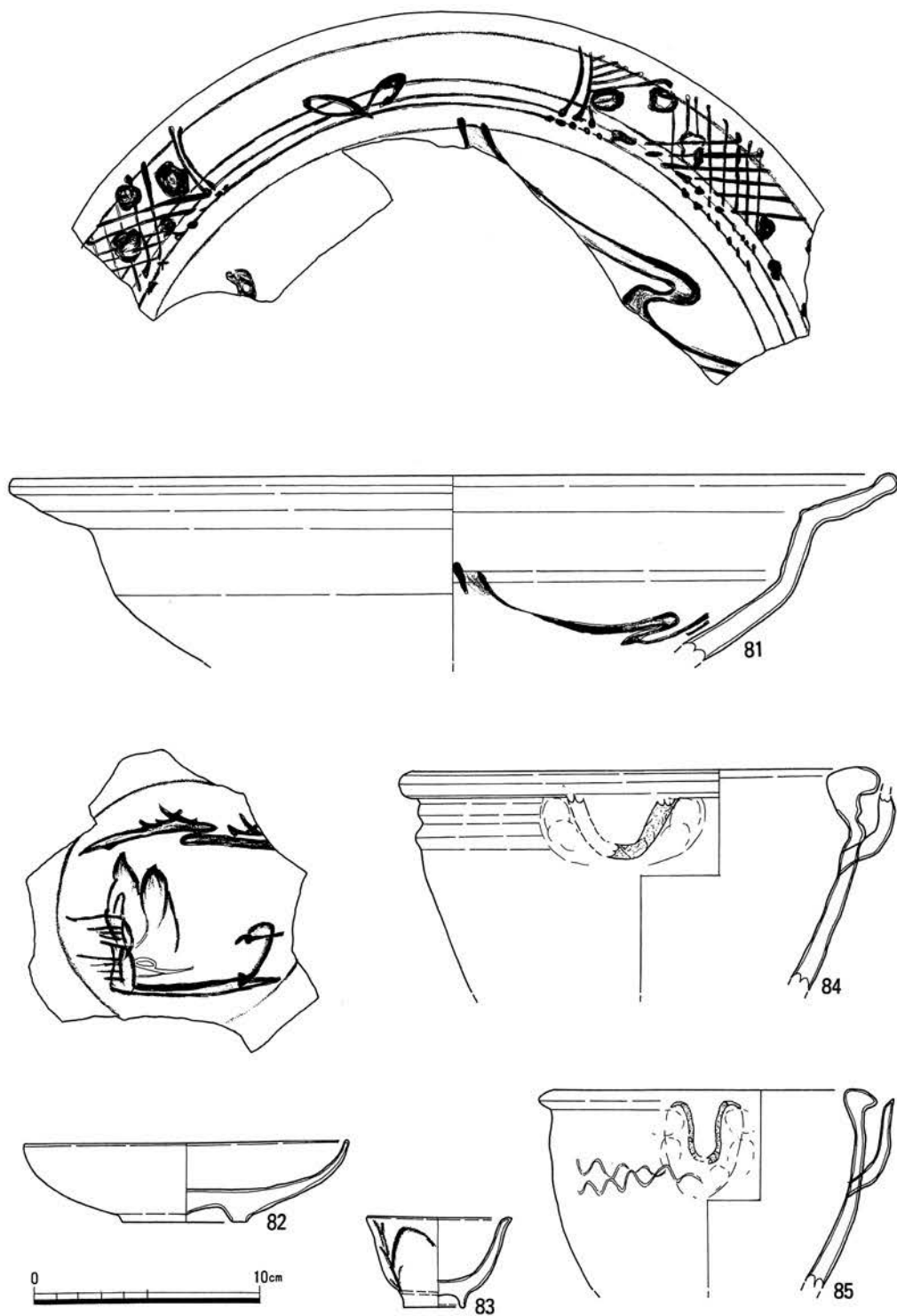


Fig. 41 SD004出土遺物実測図② (1/3)

Ⅲ. 篠木野遺跡

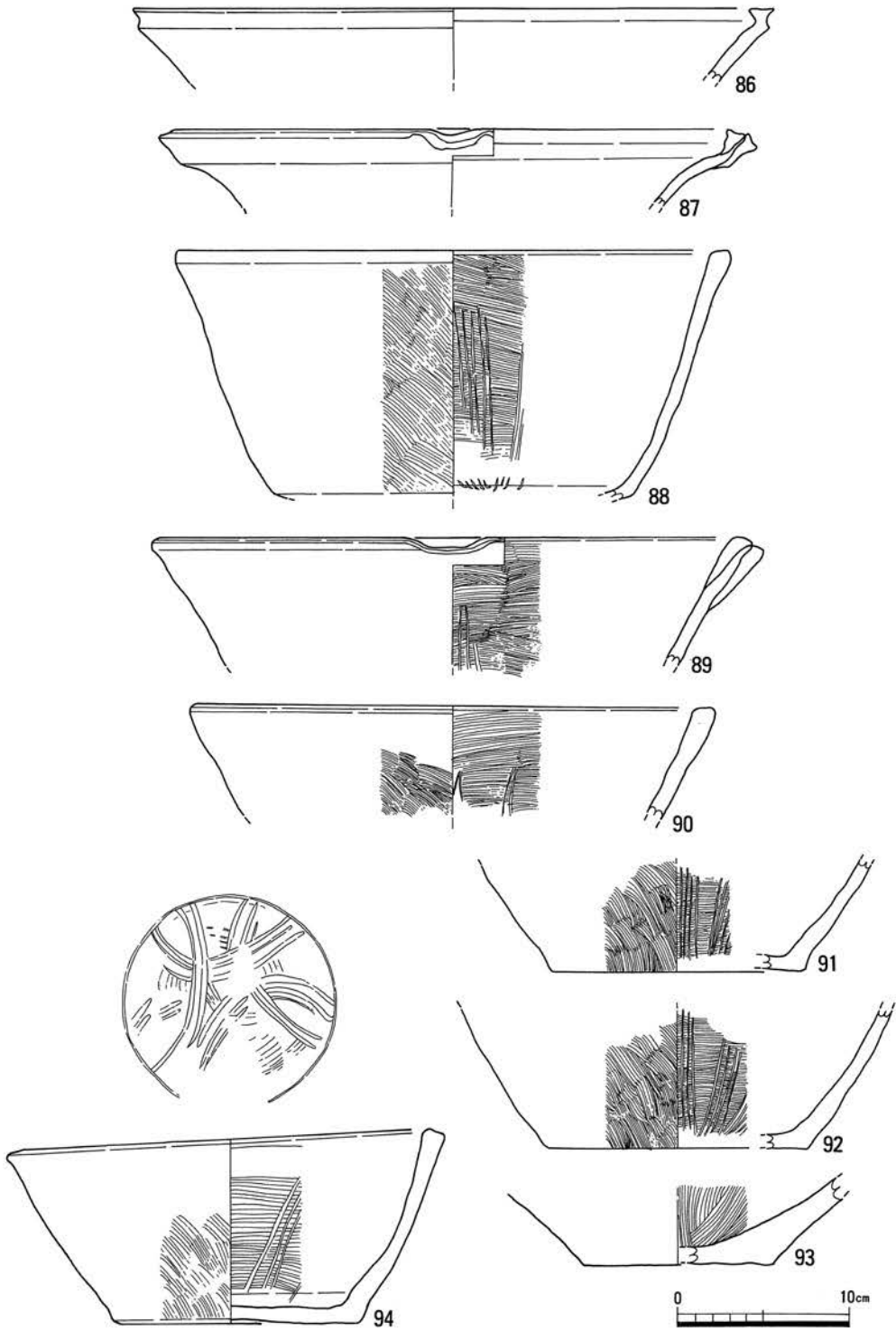


Fig. 42 SD004出土遺物実測図③ (1/4)

3. 調査の記録 (2区)

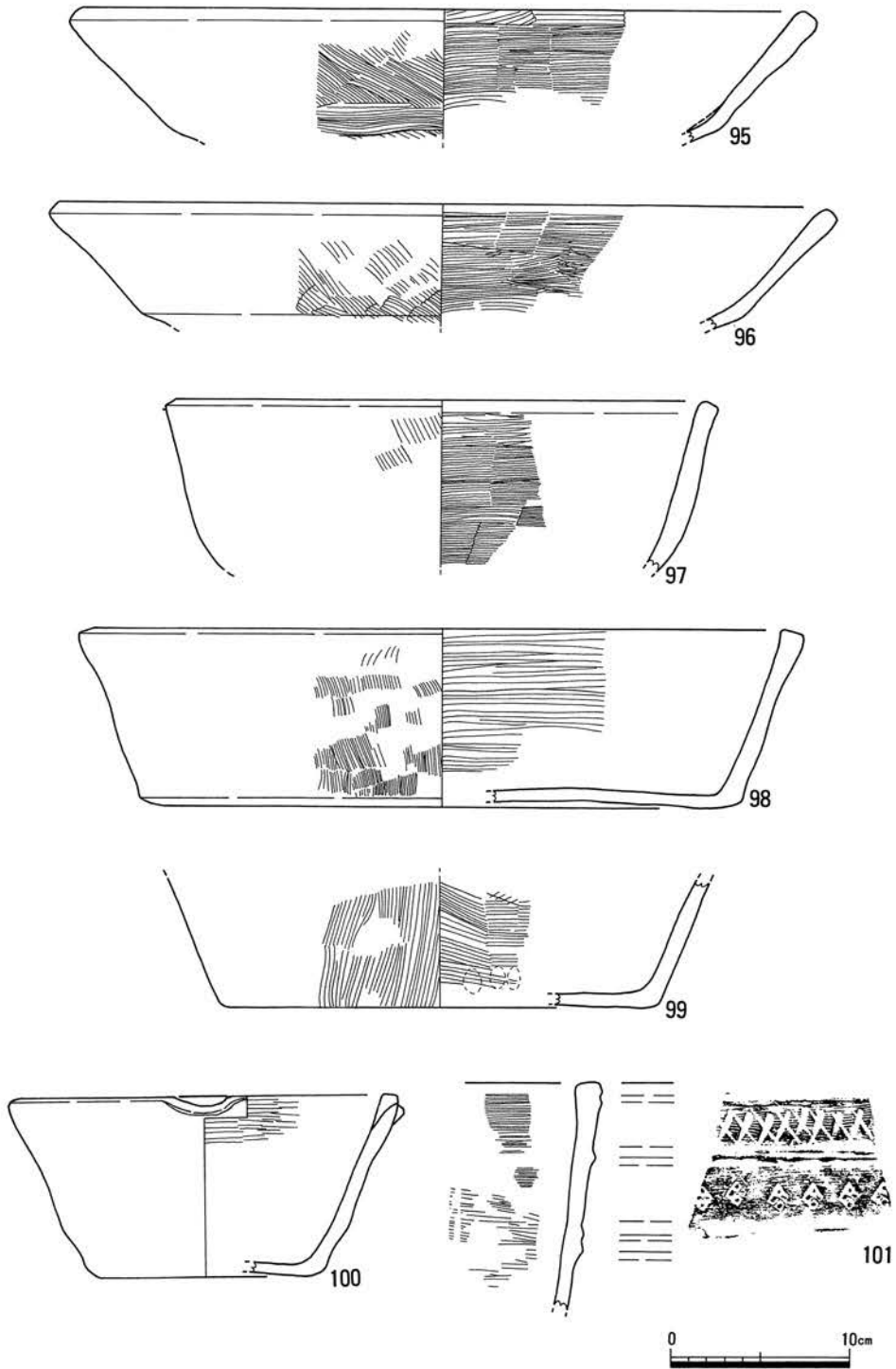


Fig. 4 3 SD004出土遺物実測図④ (1/4)

Ⅲ. 篠木野遺跡

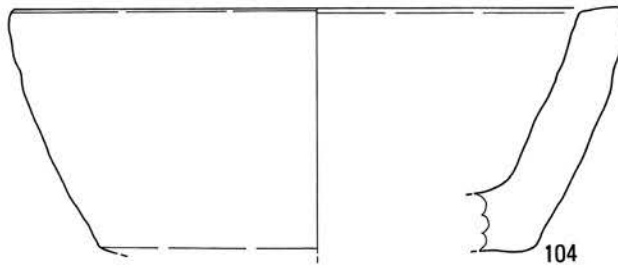
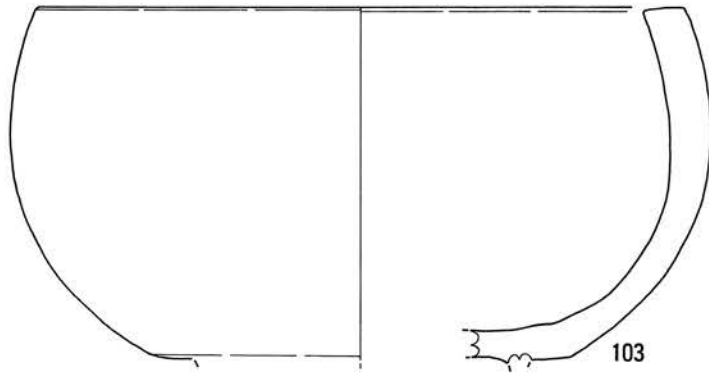
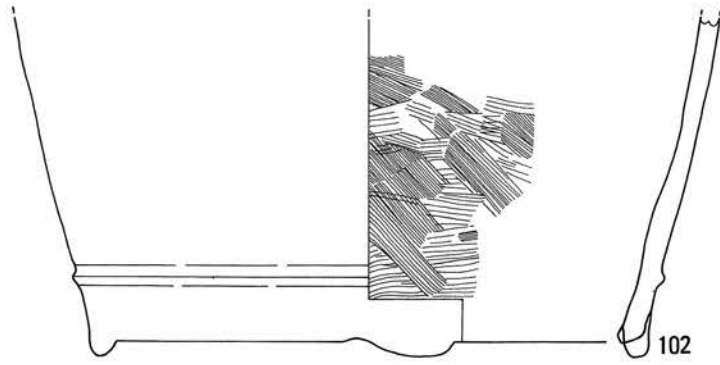


Fig. 44 SD004出土遺物実測図⑤ (1/4)

3. 調査の記録 (2区)

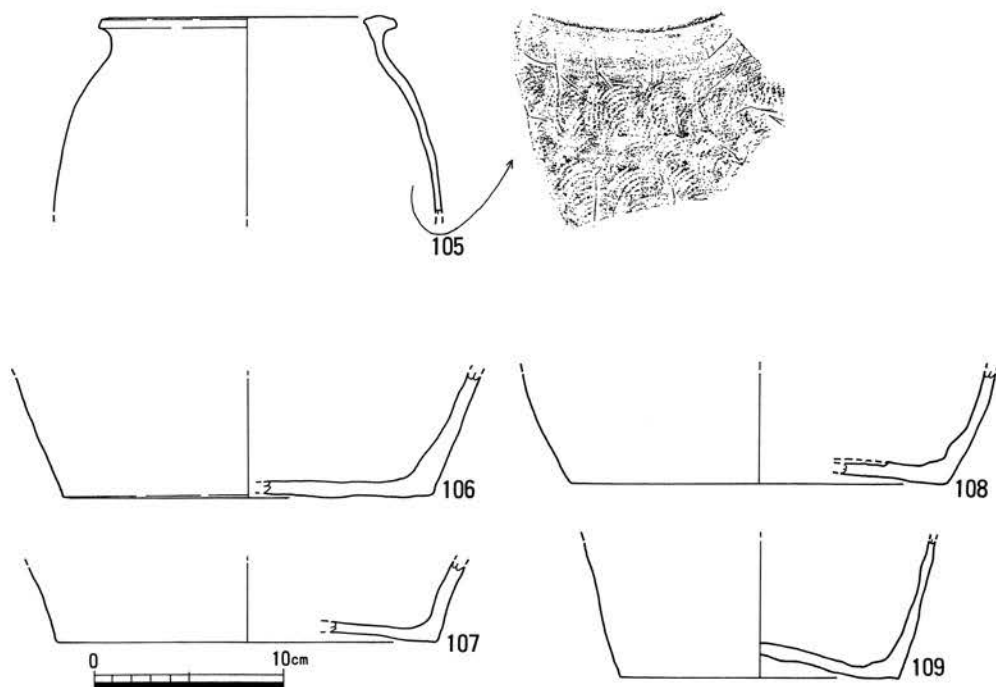


Fig. 4 5 SD004出土遺物実測図⑥ (1/4)

SD015出土遺物(Fig. 47)

土師器皿(111) 復元口径6.5cm、底径3.5cm、器高1.7cm。器面調整は内外面回転横ナデ調整で、回転糸切りはなし底である。色調は淡褐色を呈する。

陶器碗(112・113) 112は復元高台径4cm。内面に施釉されており、内底部に目跡がある灰白色を呈する。113は復元高台径4.7cm。全面に施釉されている

。内底部には白色の釉で2重に円が施してあり、その内部に花文のスタンプを配している。釉色は黒灰色を呈する。色を呈する。

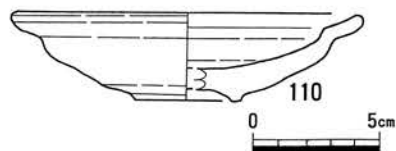


Fig. 4 6 SD014出土遺物実測図(1/3)

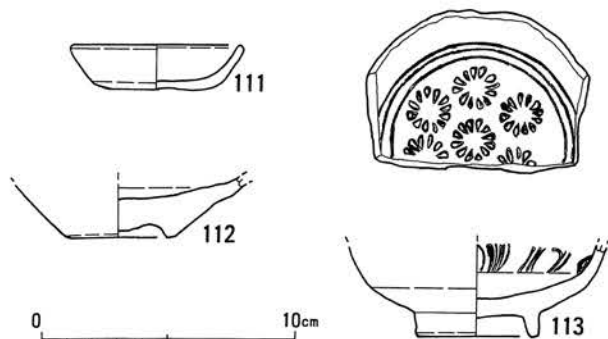


Fig. 4 7 SD015出土遺物実測図 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

#### SD033 (Fig. 4)

DN-150・151グリットで検出した。SD037に後出する他、SK018・SD034と切り合い関係にあるが前後関係は確認できなかった。大部分は調査区の北に展開する。検出面の標高は11.8m前後である。幅0.7~1.1m、深さ0.2mほどを測る。埋土中から比較的多くの遺物を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 48・49)

土師器皿(115) 復元口径9.1cm。内外面横ナデ調整。回転糸切り底である。色調は淡褐色を呈する。

白磁皿(116) 復元口径13.9cm、底径5.7cm、器高3.1cm。全面に施釉されており、高台暈付部に目跡がある。釉色は淡灰白色を呈する。

磁器染付皿(117・118) 117は復元口径25.9cm。内外面に施釉されており、内面に暗緑灰色の釉で花文が描かれており、外面口縁直下に1条の線が廻らされている。釉色は淡灰白色を呈する。118は復元口径13.4cm。内外面に施釉されており、内面には淡い紺色で魚(鮒?)が描かれており、目跡がある。釉色は灰白色を呈する。

磁器碗(119・120) 119は復元高台径4.7cm。内面及び体部外面下位にまで施釉されている。釉色は淡灰白色を呈する。120は復元口径7.1cm。内外面に施釉されており、釉色は灰白色を呈する。

陶器絵付皿(121) 復元口径29.3cm、高台径8.1cm、器高7.5cm。外面は体部中位にまで施釉されており、下位に釉垂れてしている。内面は全体に施釉されているが、見込みにまでは黄灰色の釉が施されており、暗緑色の釉と鉄釉で草花文が描かれている。内底部に目跡がある。

土鈴(122) 長径4cm、短径2.8cm。淡褐色を呈する。

陶器壺(123・124) 123は復元口径23.5cm。124は復元口径26cm。いずれも内、外面に施釉されており、釉色は暗茶褐色を呈する。

鉢(125・126・127・128) いずれも瓦質土器である。125は復元口径26.4cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部内外面にハケ目調整。外面に煤が付着している。色調は暗褐色を呈する。126は復元口径34.5cm、底径31.6cm、器高10cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、内面に横方向にハケ目調整、外面に縦方向にハケ目調整。暗褐色を呈する。127は復元口径16.4cm、底径14.3cm、器高4.5cm。器面調整は口縁端部及び体部外面にナデ調整、内面に横方向にハケ目調整。暗褐色を呈する。128は復元口径28.2cm、底径29.2cm、器高5.1cm。体部内外面にハケ目調整、口縁端部と内外面底部にナデ調整が認められる。褐色を呈する。

火鉢(129) 復元口径36.1cm。器面調整は口縁端部横ナデ調整、体部内面に横方向にハケ目調整、外面にナデ調整。体部外面にスタンプを配する。黒灰色を呈する。

播鉢(130・131・132) 130・131は土師器である。130は復元底径16cm。131は同14.2cm。いずれ

3. 調査の記録 (2区)

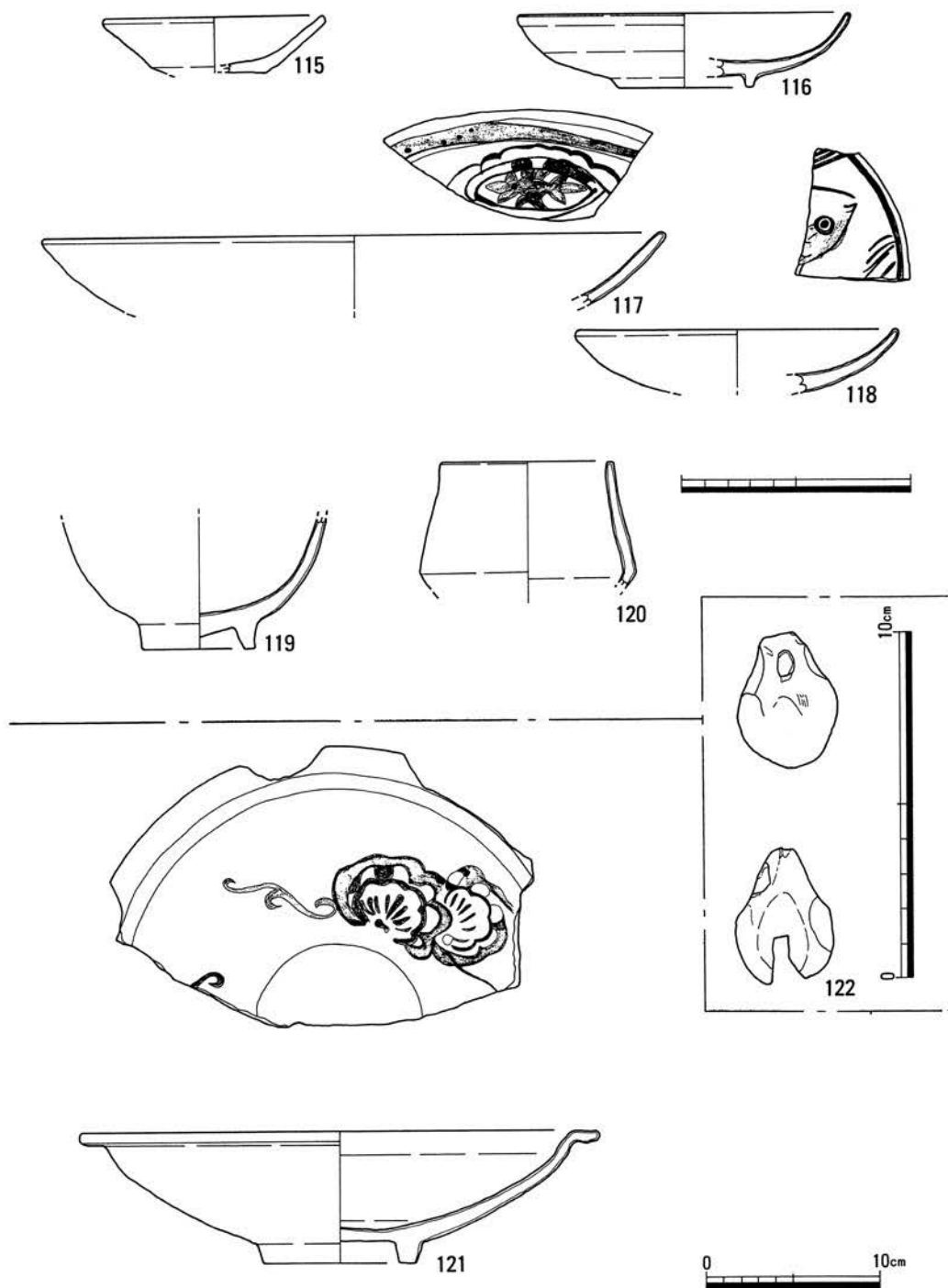


Fig. 48 SD033出土遺物実測図① (1/2・1/3・1/4)

Ⅲ. 篠木野遺跡

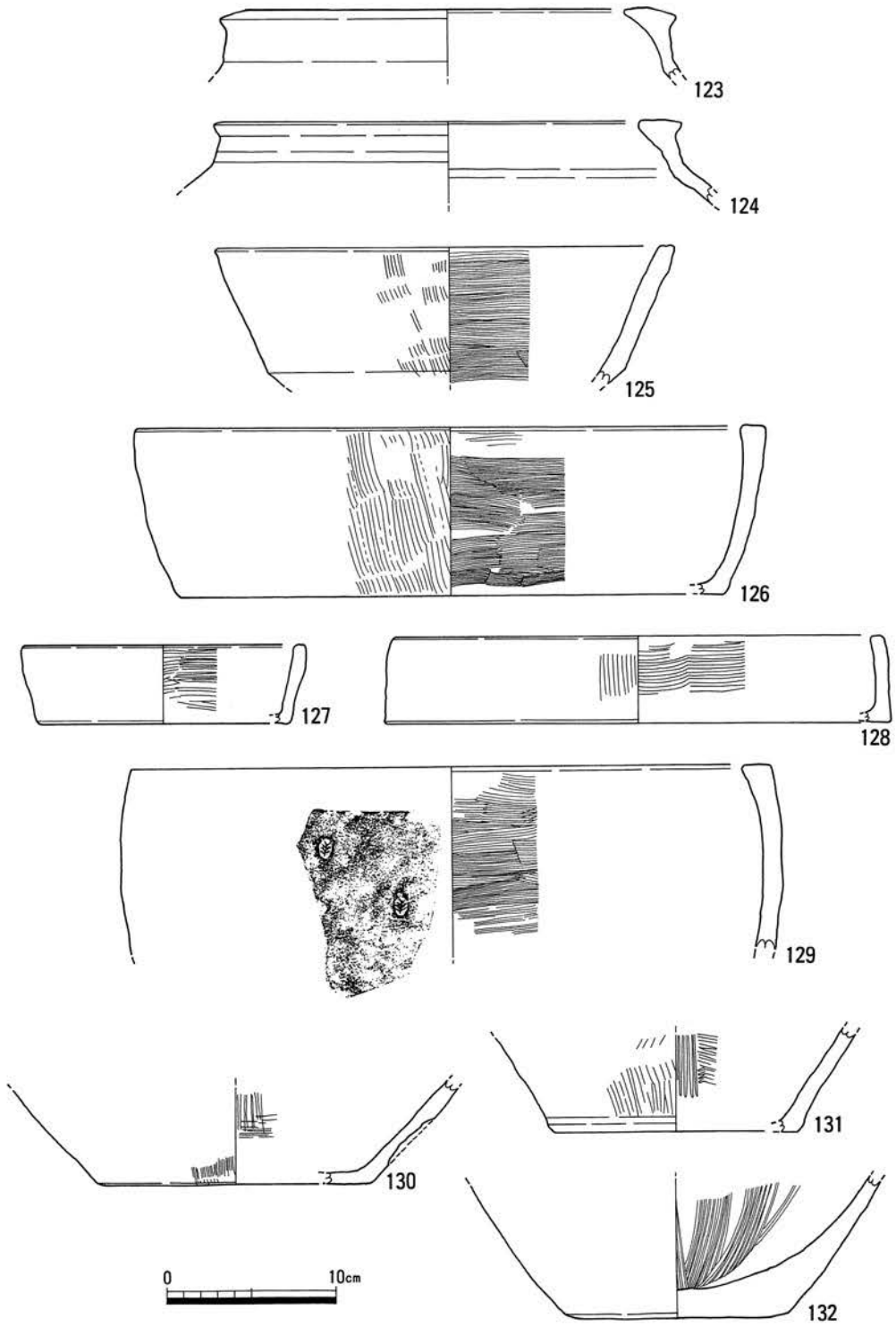


Fig. 49 SD033出土遺物実測図② (1/3)

### 3. 調査の記録 (2区)

も内面にハケ目調整の後播目を施している。132は陶器である。内外面に横ナデ調整後内面に8本単位の播目を施している。回転糸切り底である。

#### SD037 (Fig. 4)

DM-150~151グリットで検出した。幅0.4m前後、深さ0.2mであり、調査区外に展開する。埋土中より陶磁器等を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 50)

陶器碗(134) 復元高台径5cm。体部外面下位にまで施釉されており、高台部にまで釉垂れしている。内面は全面施釉されており、内底部に目跡を残す。釉色は灰白色を呈する。

青磁碗(135) 復元口径11.8cm、高台径4.7cm、器高6.7cm。ほぼ全面に施釉されている。釉色は淡緑色を呈する。

磁器染付皿(136) 復元口径13.2cm、高台径4.2cm、器高2.7cm。全面に施釉されており高台畳付部に目跡がある。内底部に淡い紺色の釉で草花文(?)が描かれている。釉色は淡灰白色を呈する。

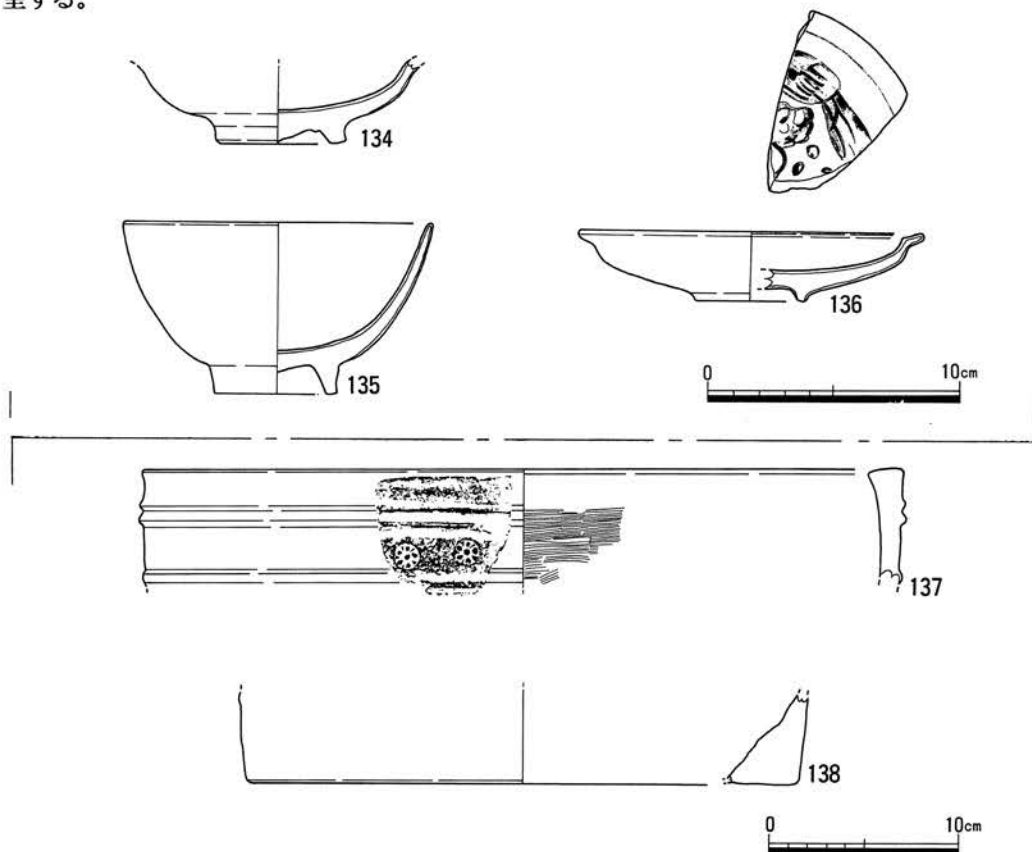


Fig. 50 SD037 出土遺物実測図 (1/3・1/4)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

火鉢(137) 瓦質土器。復元口径39.5cm。外面に3条の突帯を有し、口縁直下の2条の突帯と下段の1条の突帯の間にスタンプを配する。器面調整は口縁端部、外面に横ナデ調整、内面に横方向にハケ目調整。色調は黒褐色を呈する。

石鍋(138) 復元底径28.5cmを測る。

#### (3) その他の遺構と出土遺物

##### a) 土壌と出土遺物

SK032・SK035・SK036・SK045の4基は上部の大半を削平された状態で検出したが、埋土中から縄文土器を検出した。

##### SK032 (Fig. 51)

DO-150・151グリッドで検出した。検出面のは11.6~11.7mである。平面形は長軸1m・短軸0.7mを測る不整形な隅丸長方形を呈している。断面形は深さは0.4m~0.3mを測る逆台形状はややきつく立ち上がる。底面はほぼ平坦であるが北に向かって微妙に傾斜している。埋土は黒褐色土の単層で自然堆積による埋没と判断する。埋土中から遺物を検出した。

##### 出土遺物(Fig. 52)

甕(144・145) 細片を5点検出した。刺突文を有するもの1点、条痕文を有するもの4点を検出し、2点を図化することができた。144・145は口縁の一部。144は外面口縁部直下に刺突を有する。器面調整は磨耗のため不明瞭。暗褐色を呈する。145は外面に縦方向の条痕、内面に横方向の条痕が施されている。褐色を呈する。

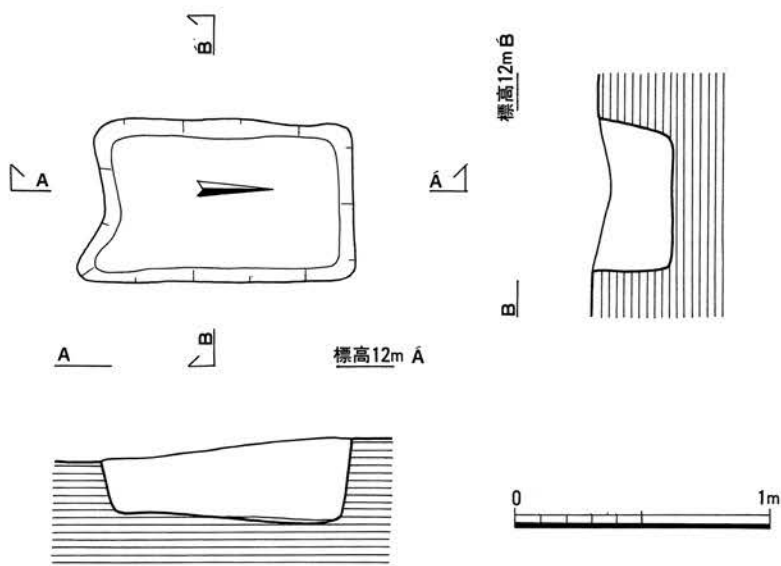


Fig. 51 SK032土壌実測図 (1/30)

### 3. 調査の記録 (2区)

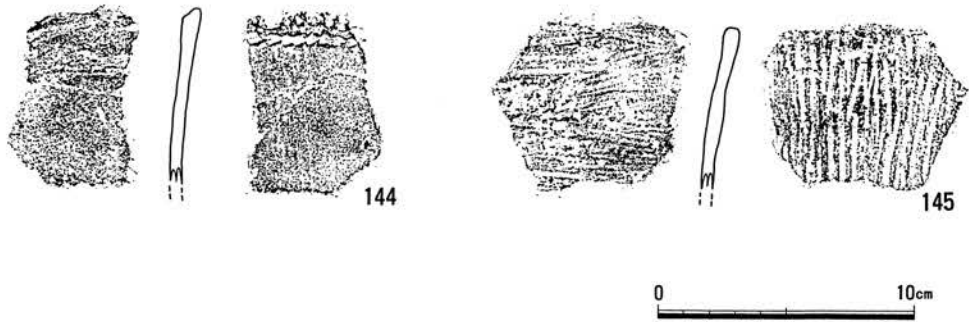


Fig. 52 SK032出土遺物実測図 (1/3)

#### SK035 (Fig. 53)

DL・DM-150グリットで検出した。検出面の標高は11.7m程である。平面形は北西部分が突出した長軸1.1m・短軸0.8mを測る不整形な隅丸長形状を呈している。断面形は深さ1.5mを測る逆台形状を呈し、壁面は北・西面でややきつく立ち上がる。底面はほぼ平坦である。埋土は黒褐色土の単層で自然堆積による埋没と判断する。底面に近い埋土中から遺物を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 54)

甕(146~150) 細片を16点検出した。刺突文を有するもの1点、条痕文を有するもの15点であ

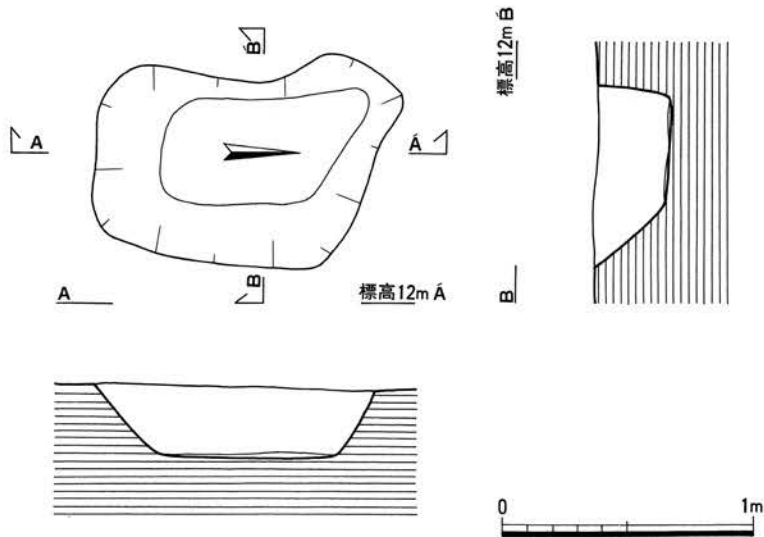


Fig. 53 SK035土壌実測図 (1/30)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

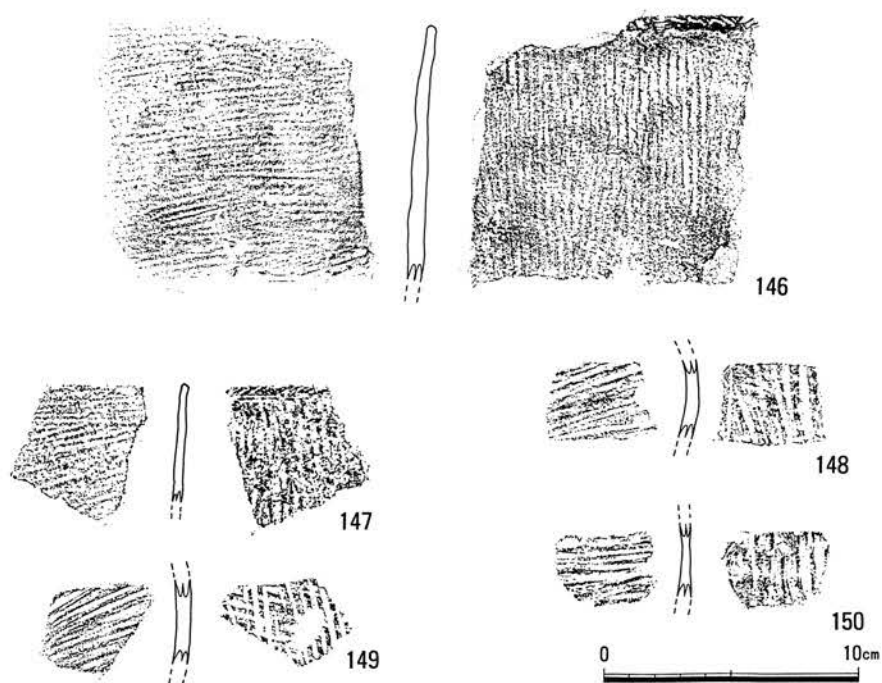


Fig. 5 4 SK035出土遺物実測図 (1/3)

り、5点を図化することができた。147・147は口縁の一部。口縁端部に刻目が施してあり胴部外面に縦方向の条痕、内面に横方向の条痕が施してある。148~150は胴部の細片であり、いずれも外面に縦方向の条痕、内面に横方向の条痕が施されており褐色を呈する。

#### SK036 (Fig. 55)

DM-149グリットで検出した。SD034と切り合い関係にあり、本遺構が前出する。検出面の標高は11.7m程である。平面形は長軸1.2m・短軸0.5mを測るやや不整形な隅丸長形状を呈している。断面形は深さ0.5m程を測る逆台形状を呈し、壁はきつく立ち上がる。底面は平坦である。埋土は黒褐色土の単層で自然堆積による埋没と判断する。遺物は底面に近い埋土中から検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 56)

甕 (151~153) 細片を3点検出した。151・152は口縁の一部である。口縁端部に刺突文が施されており、外面には刺突文及び条痕が施されている。内面はナデ調整である。153は胴部の一部であり、外面に刺突文及び条痕文が施されている、いずれも暗褐色を呈する。

3. 調査の記録 (2区)

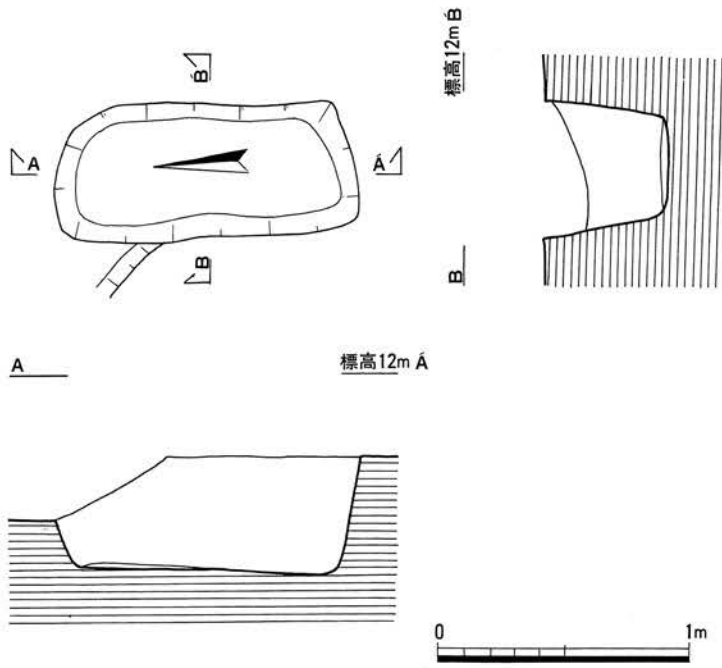


Fig. 55 SK036 土壌実測図 (1/30)

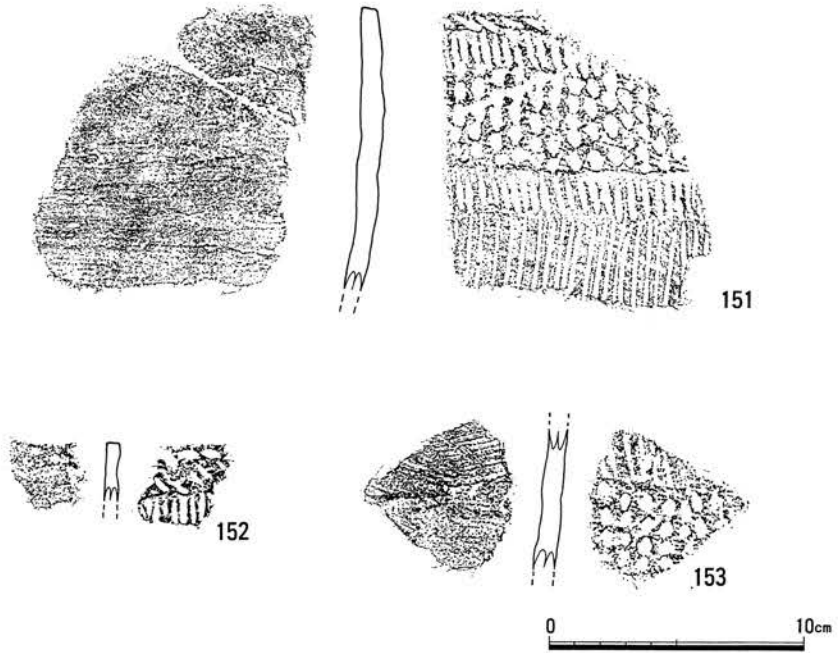


Fig. 56 SK036 出土遺物実測図 (1/3)

III. 篠木野遺跡

SK045 (Fig. 57)

DI-150グリッドで検出した。攪乱により遺構上部の大部分が削平されている。検出面の標高は11.6mである平面形は長軸1.1m・短軸0.8mを測るやや不整形な隅丸長方形形状を呈する。断面形は深さ0.1m程を測る逆台形状を呈している。底面は平坦である。埋土は黒褐色土で埋土中から遺物を検出した。

出土遺物 (Fig. 58)

甕(154~156) 細片を7点検出し、3点を図化することができた。いずれも胴部の細片であり、外面に縦方向の条痕、内面に横方向の条痕が施されている。褐色を呈する。

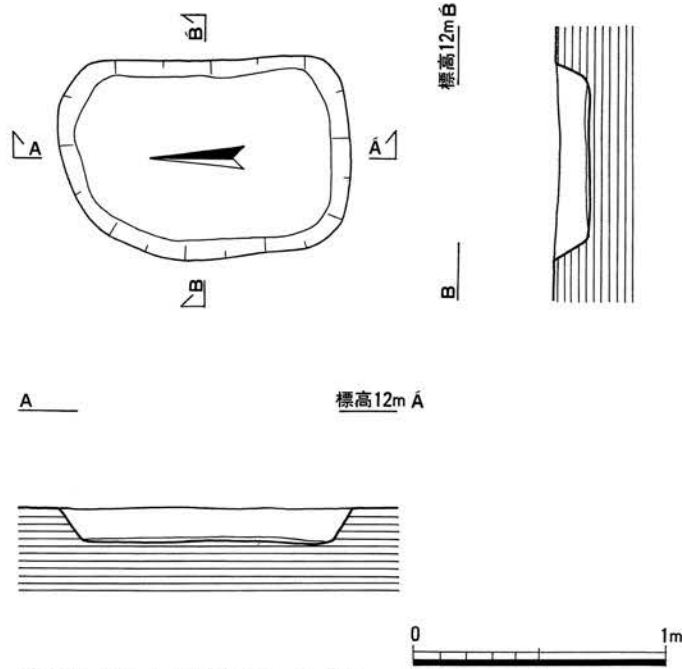


Fig. 57 SK045土坑実測図 (1/30)

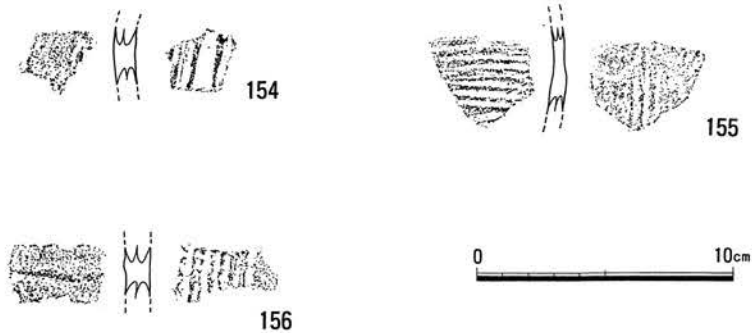


Fig. 58 SK045出土遺物実測図 (1/3)

### 3. 調査の記録 (2区)

#### (4) 遺物包含層とその他の出土遺物

##### a) 遺物包含層

調査区のほぼ東側半分は谷地形部になると考えられ地形が落ち込んでいる。その部分の上層に厚さ20~30cmを測り、褐色~明黒色を呈する遺物包含層が堆積している。以下は砂層となる。遺物は主に古墳時代の土師器を検出した。

##### b) その他の出土遺物

##### 縄文時代の遺物 (Fig. 59)

甕(157~161) 157はSD001から検出した刻目突帯文土器である。口縁部に断面三角形の突帯を貼付け、刻目を施している。器面は外面に条痕、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。158は包含層からの検出した刻目突帯文土器。口縁部にやや小さめの突帯を貼り付け、刻目を施している。器面は内外面に条痕が施してある。淡褐色を呈する。159はSK018から検出した。胴屈曲部と思われる。断面三角形の突帯を貼付け、刻目を施している。暗褐色を呈する。160はSD033から検出した。胴部の一部であり、外面に縦方向の条痕、内面に横方

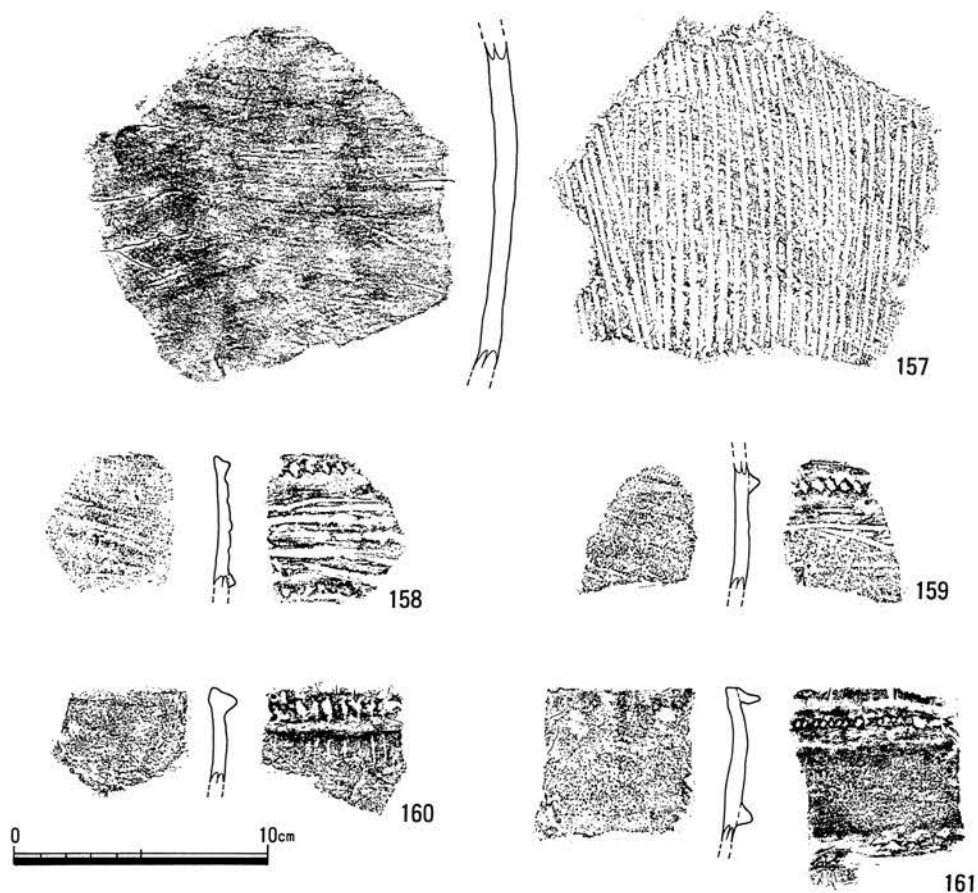


Fig. 59 縄文時代の遺物 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

向に条痕を施したのちナデ調整が行なわれている。暗褐色を呈する。161はSD037から検出した刻目突帯文土器である。口縁部と胴屈曲部にやや大きめの突帯を貼り付け、刻目を施している。淡褐色を呈する。

#### 古墳時代の遺物(Fig. 60)

いずれも包含層からの検出である。

甕(162~166・173) 162は復元口径15.6cm、残存器高11.6cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。褐色を呈する。163は復元口径16.7cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。褐色を呈する。164は復元口径16.5cm、残存器高7.1cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。明褐色を呈する。165は復元口径15.1cm、残存器高6cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、内外面にハケメ調整が行なわれている。淡黄褐色を呈する。166は復元口径17.1cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にナデ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。173は口径12.2cm、器高15.5cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。褐色を呈する。

壺(167~172・174・175) 167は二重口縁壺。復元口径17.3cm、残存器高4.2cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にナデ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。褐色を呈する。168は復元口径19.2cm、残存器高5.3cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。明褐色を呈する。169は復元口径13.1cm、残存器高7cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にナデ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。明褐色を呈する。170は復元口径15.1cm、残存器高5.3cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、肩部外面にナデ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。明褐色を呈する。171は復元口径17cm、残存器高6.5cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整後にナデ調整、内面頸部にハケメ調整、胴部にナデ調整が行なわれている。明褐色を呈する。172は復元口径18cm、残存器高7.9cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にナデ調整、内面頸部にハケメ調整、胴部にハケメ調整後にナデ調整が行なわれている。明褐色を呈する。174は残存器高10.4cm。肩部に焼成後穿孔を有する。器面調整は外面にハケメ調整、内面にナデ調整が行なわれており、外底面に黒斑を有する。明褐色を呈する。175は復元口径10cm、器高10.2cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。暗褐色を呈する。

高坏(176~180) 176~178は坏部のみ検出。176は復元口径20.4cm、残存器高4cm。器面調整は内外面にナデ調整である。明褐色を呈する。177は復元口径18.3cm、残存器高5.6cm。体部に屈曲部を有する。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、外面屈曲部上位にハケメ調整、下位にナ

3. 調査の記録 (2区)

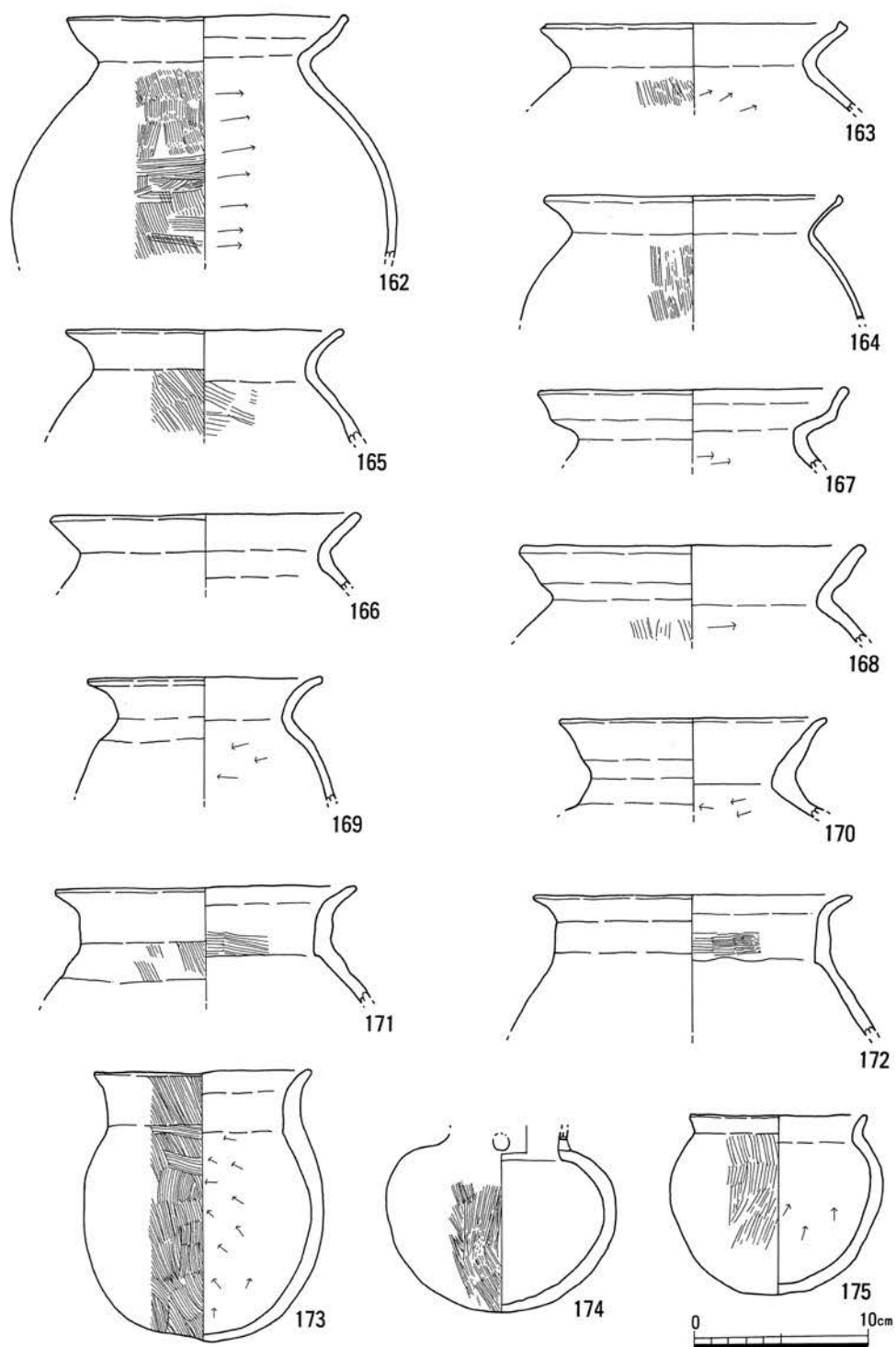


Fig. 6 0 古墳時代の遺物① (1/3)

Ⅲ. 篠木野遺跡

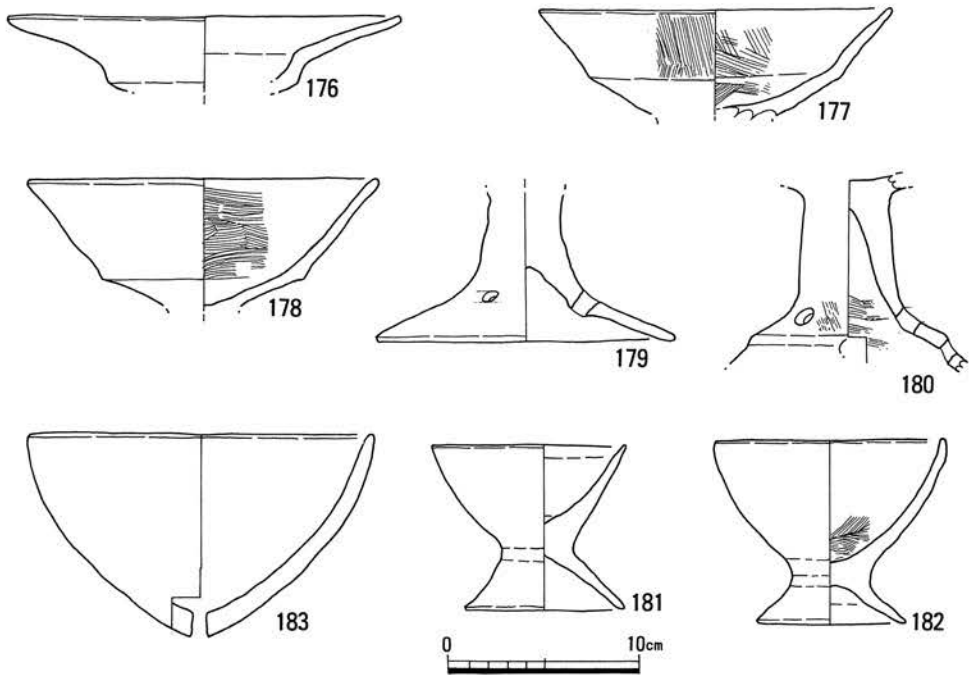


Fig. 6 1 古墳時代の遺物② (1/3)

デ調整、内面に不定方向のハケメ調整が行なわれている。褐色を呈する。178は復元口径18.1 cm、残存器高6.8 cm。体部下位に屈曲部を有する。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、外面は磨耗のために不明瞭、内面にハケメ調整が行なわれている。明褐色を呈する。179・180は脚部、179は裾部径15.5 cm、残存器高7.8 cm。裾部上位の3方向に焼成前穿孔を有する。器面調整は裾端部に横ナデ調整、内面にナデ調整が行なわれている。外面は磨耗のために不明瞭。淡褐色を呈する。180は残存器高9.7 cm。裾部に屈曲部を有し、屈曲部の上位に3方向、下位は欠損しているため不明瞭であるが焼成前穿孔が認められる。器面調整は外面にハケメ調整後にナデ調整、内面脚部にナデ調整、裾部にハケメ調整が行なわれている。明褐色を呈する。

高台付鉢(181・182) 181は復元口径10.2 cm、裾部径8.2 cm、器高8.6 cm。器面調整は口縁端部と裾端部に横ナデ調整、内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。182は復元口径12 cm、裾部径7.4 cm、器高9.6 cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にハケメ調整、内面にナデ調整、脚部外面にナデ調整、内面にハケメ調整が行なわれている。褐色を呈する。

鉢(183) 復元口径17.8 cm、器高10.5 cm。底部に焼成前穿孔を有する。器面調整は外面にナデ調整、内面上位にナデ調整、下位にヘラケズリ調整が行なわれている。外底面に黒斑を有する。明褐色を呈する。

4. 調査の記録 (3区)

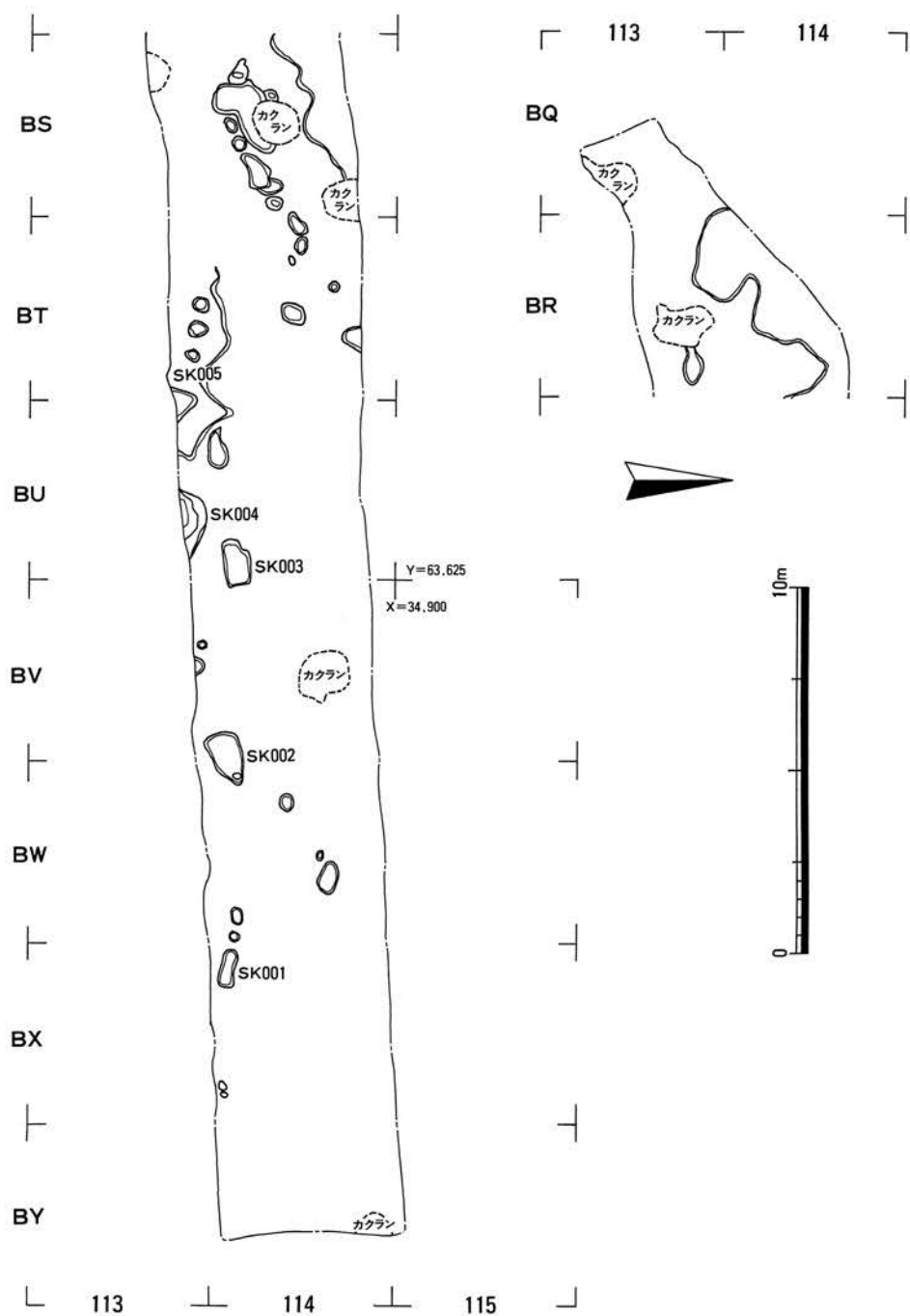


Fig. 6 2 篠木野遺跡3区遺構配置図 (1/200)

4. 調査の記録 - 3区 -

調査トレンチが東西に細長い狭い範囲であったため検出した遺構・遺物も少なく、土壇3基・小穴、土師器片を検出した。

(1) 古墳時代の遺構と出土遺物

a) 土壇と出土遺物

SK004 (Fig. 63)

BU-113グリットで検出した。半分が調査区外に展開する。検出面の標高は10.3mを測る。平面形は不整形な円形を呈すると思われ、検出した部分の最大径は2mを測る。深さ0.3mを測り。壁は2段の稜をもって緩く立ち上がる。埋土は褐色を基調としており、埋土中より遺物を検出した。

出土遺物 (Fig. 64)

壺(1) 土師器。口縁部のみを検出。復元口径7.8cm。器面調整は口縁部内外面に横ナデ調整。褐色を呈する。

甕(2) 土師器。復元口径は16.8cm。器面調整は口縁部内外面にナデ調整。胴部内面にヘラケズリ調整。褐色を呈する。

SK005 (Fig. 65)

BV-113グリットで検出した。半分が調査区外に展開する。検出面の標高は10.4m程を測る。平面形は楕円形を呈すると思われ、検出した部分の最大径は0.5mを測る。深さ0.1mを測

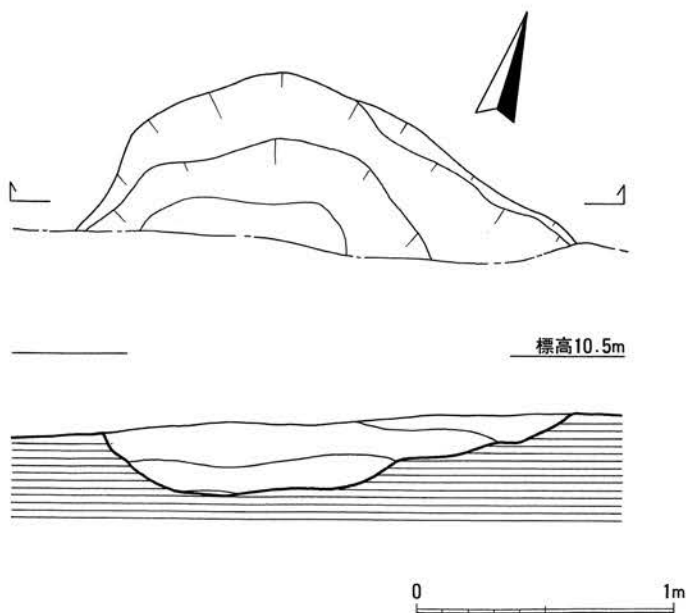


Fig. 63 SK004土壇実測図 (1/30)

4. 調査の記録 (3区)

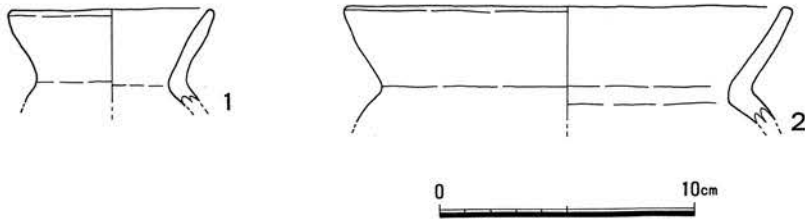


Fig. 64 SK004出土遺物実測図 (1/3)

り、埋土中より遺物を検出した。

出土遺物 (Fig. 66)

壺(4~7) 土師器。いずれも口縁部のみを検出。7は復元口径17.9cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、内面にハケ目調整後のナデ調整、外面ハケ目調整。褐色を呈する。5は復元口径14cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、内面にハケ目調整、外面にナデ調整。茶褐色を呈する。6は復元口径14.6cm。器面調整は内面ハケ目調整、外面にナデ調整。褐色を呈する。7は復元口径14.7cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、内面にハケ目調整、外面にナデ調整が行なわれている。褐色を呈する。

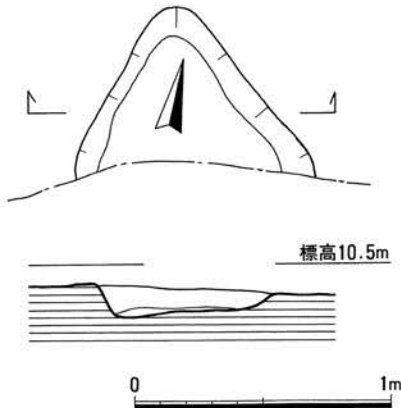


Fig. 65 SK005土壌実測図 (1/30)

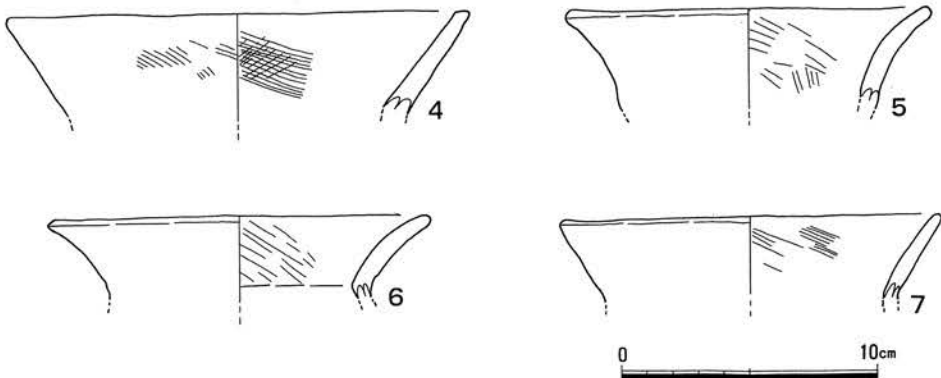


Fig. 66 SK005出土遺物実測図 (1/3)

(2) その他の出土遺物 (Fig. 67)

壺 (8~15) 土師器。8は復元口径15.5cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整、胴部外面にハケ目調整。色調は淡黄褐色を呈する。9は復元口径19.2cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整、胴部外面にハケ目調整。淡黄褐色を呈する。10は復元口径15.2cm。口縁部に横ナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整、胴部外面は磨耗のため不明瞭。褐色を呈する。11は復元口径11.7cm。器面調整は口縁部から胴部外面上位にナデ調整、中位にハケ目調整、胴部内面にヘラケズリ調整。褐色を呈する。12は復元口径15cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整。口縁部内面に黒斑を有する。13は復元口径13.5cm。口縁部と内面にナデ調整、胴部外面にハケ目調整。褐色を呈する。14は復元口径は11.2cm。器面調整は口縁部にナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整、胴部外面にハケ目調整。淡黄褐色を呈する。15は復元口径14.4cm。器面調整は口縁部と胴部外面にナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整。淡黄褐色を呈する。

鉢 (16) 土師器。復元底径4.8cm。器面調整は内外面ナデ調整。外面に黒斑を有する。

器台 (17) 土師器。復元受部径6.6cm。器面調整は全面ナデ調整である。淡褐色を呈する。

高坏 (18~21) 土師器。18は復元底径9.2cm。器面調整は脚端部に横ナデ調整、内外面にハケ目調整。淡褐色を呈する。19は底径9.7cm。器面調整は脚端部に横ナデ調整、内面にハケ目調整、外面にヘラミガキ調整。裾部の4方向に外側から焼成前穿孔が行なわれている。20は復元底径11cm。器面調整は脚端部に横ナデ調整、内外面にハケ目調整。裾部上位の3方向に外側から焼成前穿孔が行なわれている。淡褐色を呈する。21は復元口径18.8cm、底径12.5cm、器高13cm。器面調整は内外面にナデ調整。坏部内面に黒斑を有し、裾部上位の4方向に外側から焼成前穿孔が行なわれていると思われる。赤褐色を呈する。

4. 調査の記録 (3区)

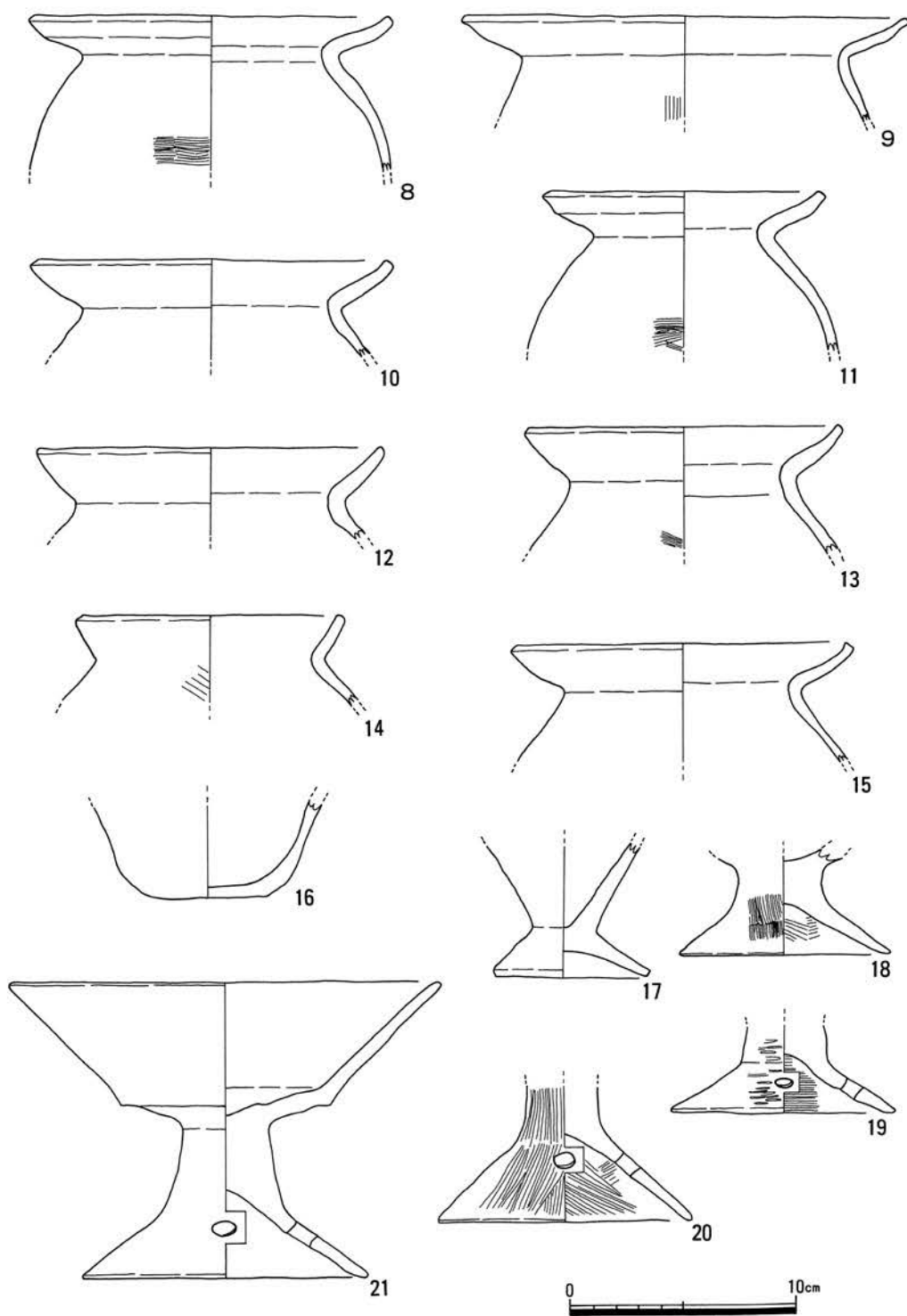


Fig. 67 その他の出土遺物実測図 (1/3)

Ⅲ. 篠木野遺跡

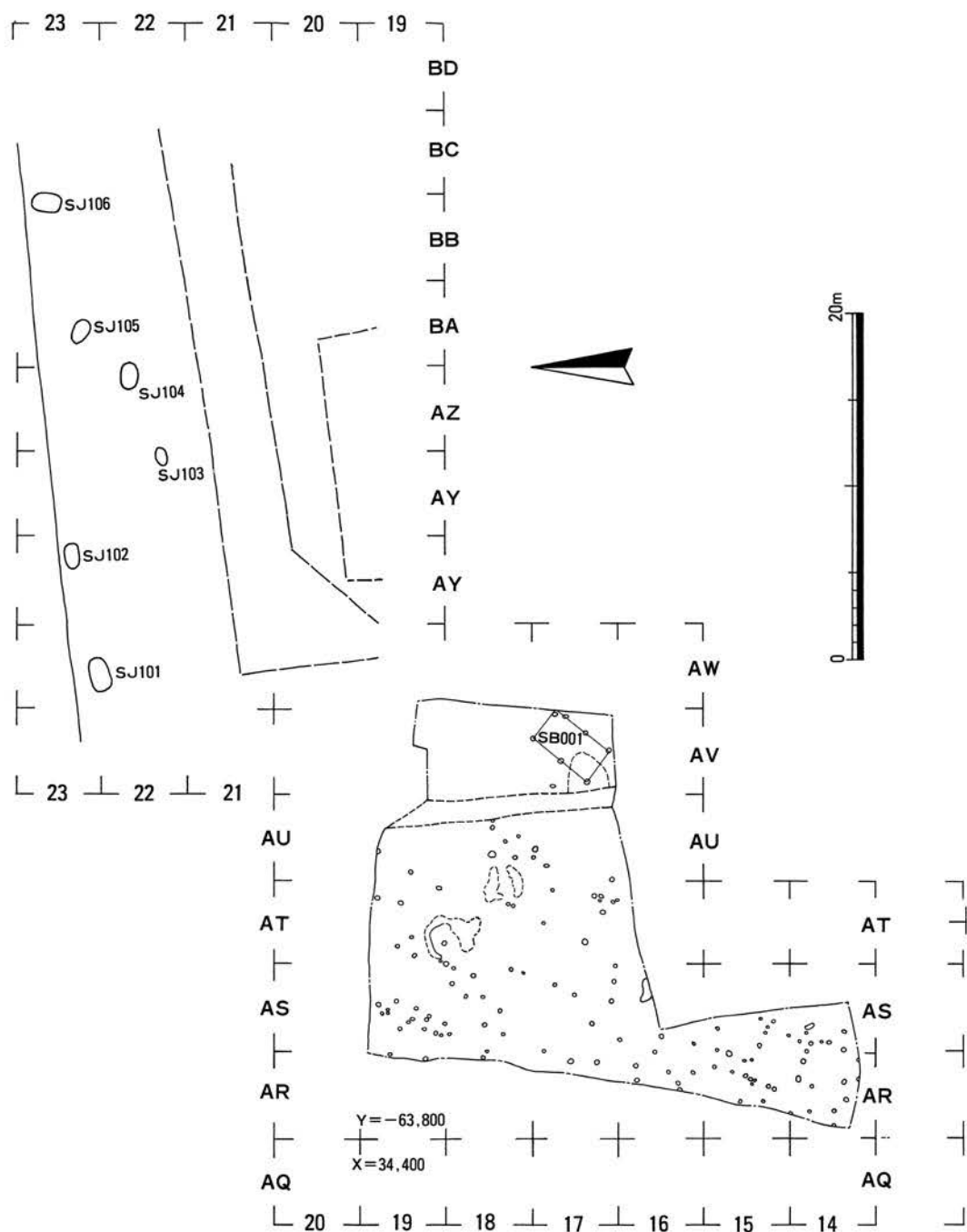


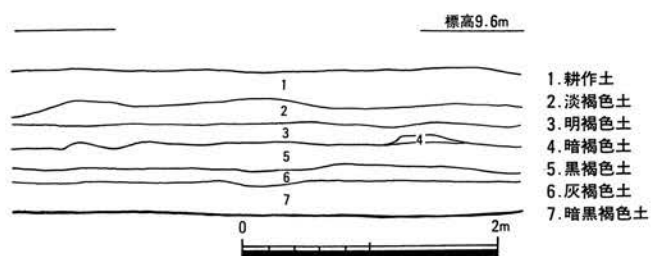
Fig. 6 8 篠木野遺跡4区遺構配置図 (1/400)

## 5. 調査の記録 (4区)

### 5. 調査の記録 - 4区 -

#### (1) 4区の基本層序 (Fig. 69)

堆積土は6層に大別できた。I層は厚さ20~30cmを測る現耕作土である。II層は厚さ10~20cmを測り、淡褐色を呈する現耕作土の床土である。III層は厚さ10cm前後を測る明褐色土である。IV層は黒褐色を呈し、微量であるが土器細片を検出した。しかし、直下のV層は、厚さ10cm前後を測る灰褐色を呈し、鉄分・マンガンを含んでいることからIV層は遺物包含層ではなく旧耕作土であり、V層はその床土であると考えられる。VI層は厚さ25cm程を測り、暗黒褐色を呈する遺物包含層である。その直下で基盤である褐色土を検出した。



作土であり、V層はその床土であると考えられる。VI層は厚さ25cm程を測り、暗黒褐色を呈する遺物包含層である。その直下で基盤である褐色土を検出した。

Fig. 69 4区基本層序 (1/60)

#### (2) 弥生時代の遺構と遺物

##### a) 甕棺墓と出土遺物

##### S J 1 0 1 (Fig. 70)

AW-22・23グリットで検出した。成人用の挿入式合口甕棺墓である。検出面の標高は8.5m~8.6mを測る。墓壙の平面形は長軸2.1m、短軸1.1mを測る不整形な隅丸長方形を呈している。深さは0.3mを測り、底面は舟底状を呈している。主軸をE-12'-Nにとる。

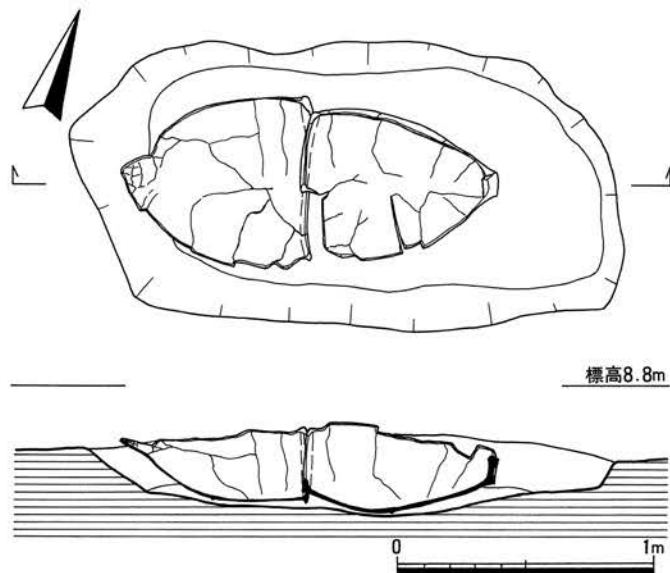


Fig. 70 S J 1 0 1 甕棺墓実測図 (1/30)

##### S J 1 0 1 甕棺 (Fig. 76)

上甕(1) 復元内口径38cm、外口径49.6cm、底径9cm、器高71cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面及び外底部にナデ調整。内面に黒斑を有する。口縁部は内側に強く突出したT字形を呈する。胴部中位よりやや下に断面三角形の貼付突帯を1条有する。淡褐色を呈している。

下甕(2) 復元内口径49.6cm、外口径60cm、底径10.8cm。器高は胴部下位が欠損して

### Ⅲ. 篠木野遺跡

いるため不明。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面及び外底部にナデ調整。口縁部は内側に強く突出したT字型を呈する。胴部中位に断面三角形の貼付突帯1条を有する。淡褐色を呈す、

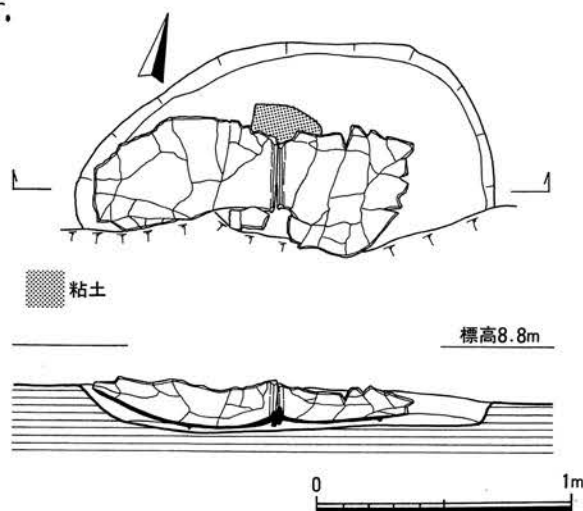


Fig. 7 1 S J 1 0 2 甕棺墓実測図 (1/30)  
面は舟底状を呈している。主軸をE-5'-Nにとる。

#### S J 1 0 2 甕棺 (Fig. 76)

上甕(3) 復元内口径46cm、外口径56cm。底部は欠損している。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。口縁部はT字型を呈する。胴部中位には断面三角形の貼付突帯を1条有する。淡褐色を呈する。

下甕(4) 復元内口径42cm、外口径54cm。底部は欠損している。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。口縁部は内側にやや張り出したT字型を呈する。胴部中位よりやや下位に断面三角形の貼付突帯を1条有する。淡褐色を呈する。

#### S J 1 0 2 (Fig. 71)

AX-23グリットで検出した。上半部及び南側1/3を削平されている。成人用の接口式合口甕棺墓である。接口部には黄褐色粘土による目張りの跡が認められる。検出面の標高は8.6m程を測る。検出した部分の墓壙の平面形は長軸1.7m、短軸0.8mを測る不整形な楕円形を呈すると思われる。深さは0.2mを測り、底

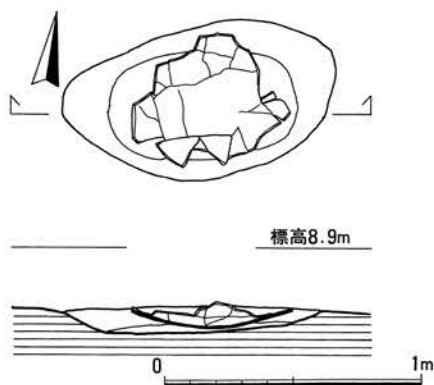


Fig. 7 2 S J 1 0 3 甕棺墓実測図 (1/30)

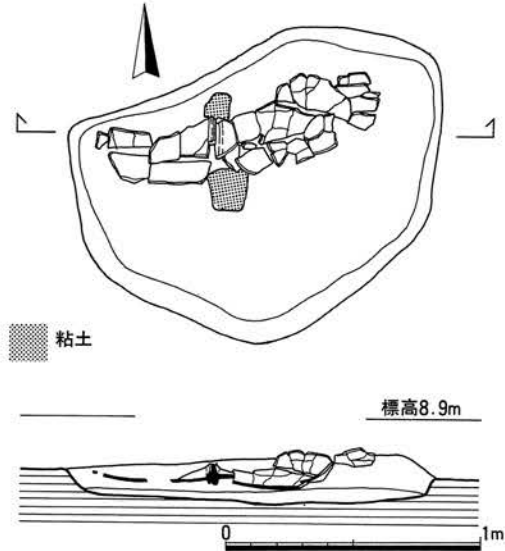
#### S J 1 0 3 (Fig. 72)

AY・AZ-22グリットで検出した。ほとんどが削平され、胴部の下半部を検出したにすぎなかった。検出面の標高は8.7mほどである。墓壙の平面形は長軸1.1m、短軸0.6mを測る不整形な楕円形を呈する。深さ0.1mを測り、底面は舟底状を呈する。主軸をE-15'-Nにとる、甕棺を図化することはできなかった。

5. 調査の記録 (4区)

S J 1 0 4 (Fig. 73)

A Z・BA-22グリットで検出した。大部分を削平された状態で検出した。成人用の接口式合口甕棺墓である。接口部に黄褐色粘土による目張りの跡が認められる。検出面の標高は8.7m前後である。墓壙の平面形は長軸1.5m、短軸1.1mを測る不整形な隅丸長方形を呈している。深さは0.2m程を測り、底面は舟底状を呈している。主軸をE-2'-Nにとる。



S J 1 0 4 甕棺 (Fig. 76)

上甕(5) 復元内口径48.6cm、外口径60.6cm。底部は欠損している。器面調整

Fig. 7 3 S J 1 0 4 甕棺墓実測図 (1/30)

は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。胴部外面に黒斑を有する。口縁部はT字型を呈する。胴部外面下位に断面M字形の貼付突帯を有する。淡褐色～灰黒色を呈する。

下甕(6) 復元外口径52.4cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整。胴部中位に断面M字形の貼付突帯を有する。淡褐色～黒褐色を呈する。

S J 1 0 5 (Fig. 74)

BA-23グリットで検出した。成人用の単棺か(?)。検出面の標高は8.8mを測る。墓壙の平面形は長軸1.3m、短軸1.1mを測るやや不整形な隅丸長方形を呈する。断面形は深さ0.3mを測る逆台形状を呈しており、壁はきつめに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。主軸をN-65'-Wにとる。

S J 1 0 5 甕棺 (Fig. 76)

甕(7) 口縁部欠損。底径13.4cm、残存器高94cm。器面調整は胴部内外面及び外底部にナデ調整が行なわれている。胴部中位にM字形に断面三角形の貼付突帯を2条有する。明褐色を呈する。

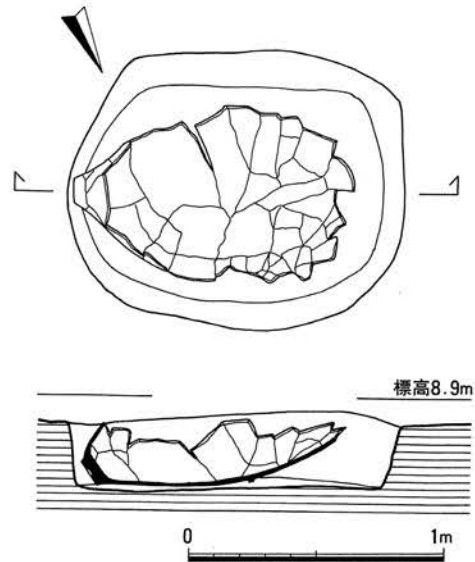


Fig. 7 4 S J 1 0 5 甕棺墓実測図 (1/30)

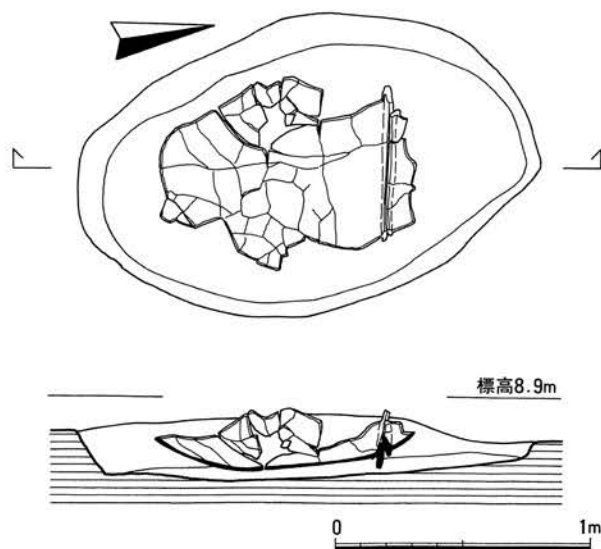


Fig. 7 5 S J 1 0 6 甕棺墓実測図 (1/30)

**S J 1 0 6 甕棺 (Fig. 76)**

上甕(8) 口縁の一部のみ残存。復元内口径53.2cm、外口径64.4cm、残存器高10.8cm。器面調整は口縁部横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

下甕(9) 胴部中位及び底部が欠損している。復元内口径60.8cm、外口径79.2cm。口縁直下に断面三角形の突帯と、胴部下位に断面M字型の突帯を貼付けている。器面調整は口縁部に強い横ナデ調整、胴部外面にナデ調整が行なわれている。内面は磨耗のために調整不明瞭である。淡褐色を呈する。

**(3) その他の遺構と包含層出土遺物**

本調査区で柱穴の可能性のある小穴を多数検出したが、掘立柱建物として認定できたのは1棟のみであった。いずれの柱穴からも遺物を検出しなかったため時期の確定はできなかった。

**a) 掘立柱建物**

**S B 0 0 1 (Fig. 77)**

A V-17グリットで検出した。検出面の標高は8.3~8.4mほどである。梁行1間、桁行2間になるとと思われる建物である。主軸をN-38'-Eにとる。柱穴の平面形は径0.2~0.3mを測る円形を基調とし、深さは0.2~0.3mを測る。柱穴掘り方の埋土は黒褐色を基調とする。

**S J 1 0 6 (Fig. 75)**

B B-23グリットで検出した。上半部を削平されており、上甕は口縁の一部しか残存していない。成人用の接口式合口甕棺墓である。検出面の標高は8.7~8.8mを測る。墓壇の平面形は長軸1.8m、短軸1.2mを測る不整形な楕円形を呈している。深さは0.2m前後を測り、南側でやや低くなっている。底面は舟底状を呈している。主軸をN-7'-Wにとる。

5. 調査の記録 (4区)

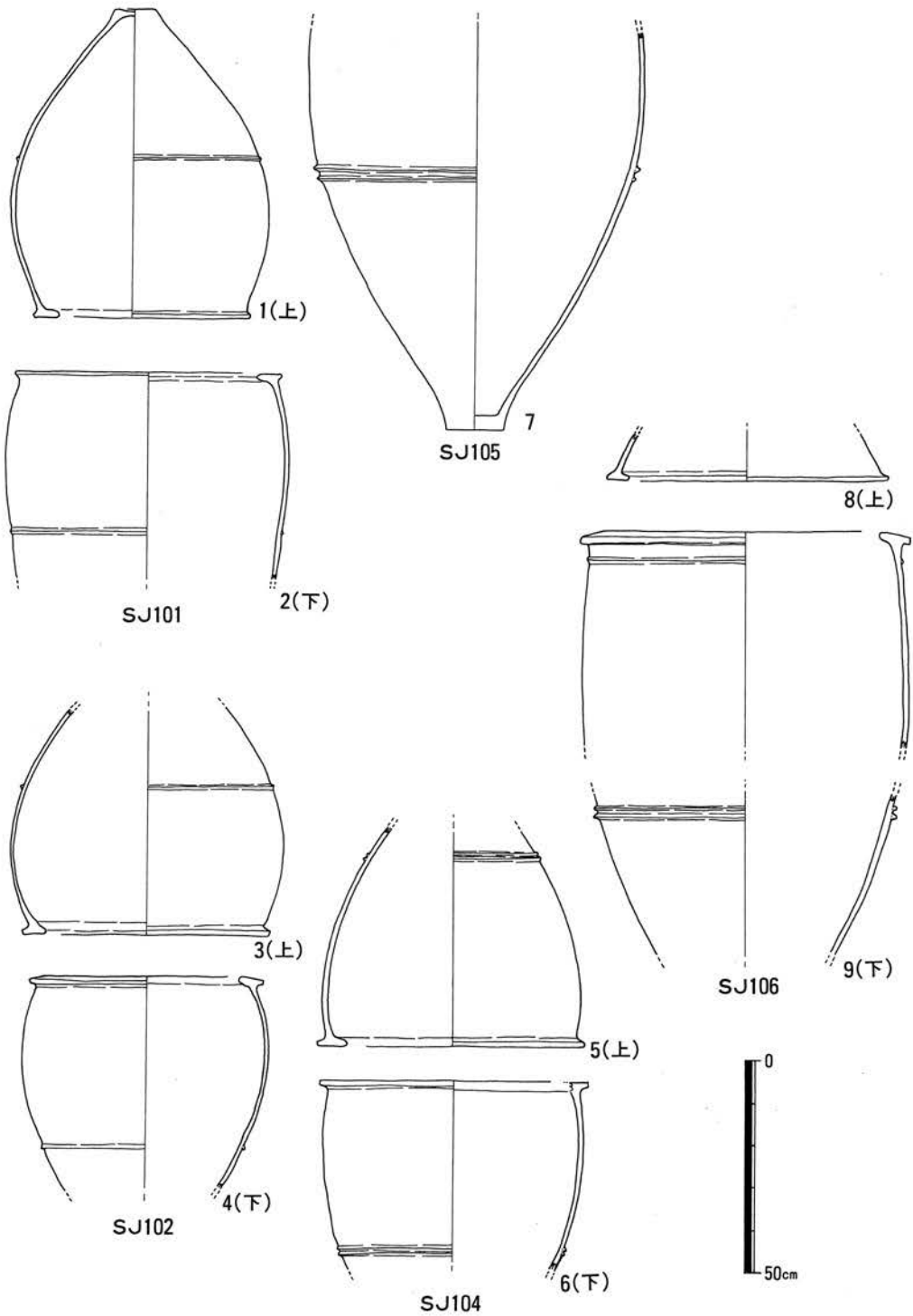


Fig. 7 6 甕棺実測図 (1/16)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

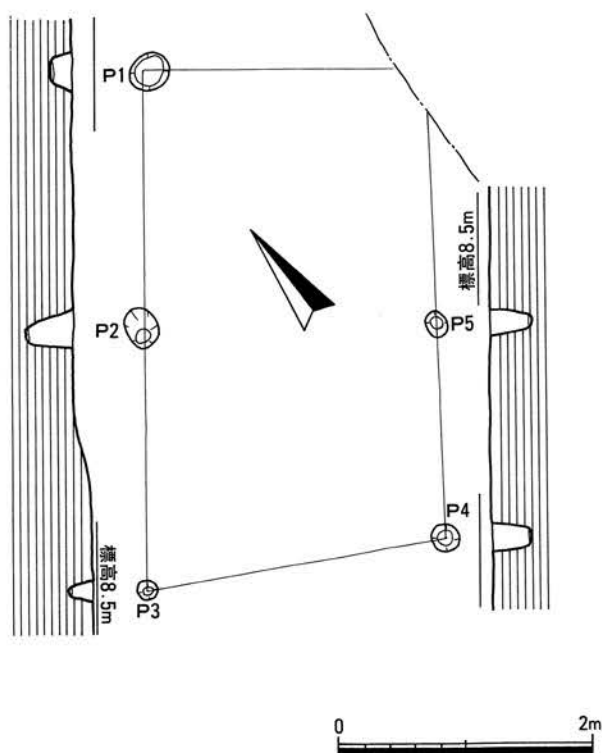


Fig. 77 SB001 掘立柱建物実測図 (1/60)

は口縁部に横ナデ調整、肩部外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。褐色を呈する。12は復元口径12.8cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整が行なわれている。褐色を呈する。13は復元口径17.7cm、残存器高13.6cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面上位にナデ調整、中位にハケメ調整、胴部内面にヘラケズリ調整が行なわれている。褐色を呈する。

鉢(17) 17は復元口径14cm、残存器高4cm。器面調整は不明瞭であるが、内外面にヘラミガキ調整が認められる。淡褐色を呈する。淡褐色を呈する。

高坏(18) 残存器高5.1cm。裾部上位に焼成前穿孔を有する。器面調整は外面にヘラミガキ調整、内面にハケメ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

#### b) 包含層出土遺物 (Fig. 78)

甕(14・15・16) 14は復元口径12.8cm、残存器高4.8cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。15は復元口径13.6cm、器高15cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケメ調整、内面にヘラケズリ調整が行なわれている。口縁部に指頭圧痕を有する。褐色を呈する。16は口径10.4cm、器高14.4cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、胴部外面にハケメ調整、口縁部内面にハケメ調整、胴部内面にヘラケズリ調整が行なわれている。

壺(11・12・13) 11は復元口径16.2cm、残存器高4.4cm。器面調整

5. 調査の記録 (4区)

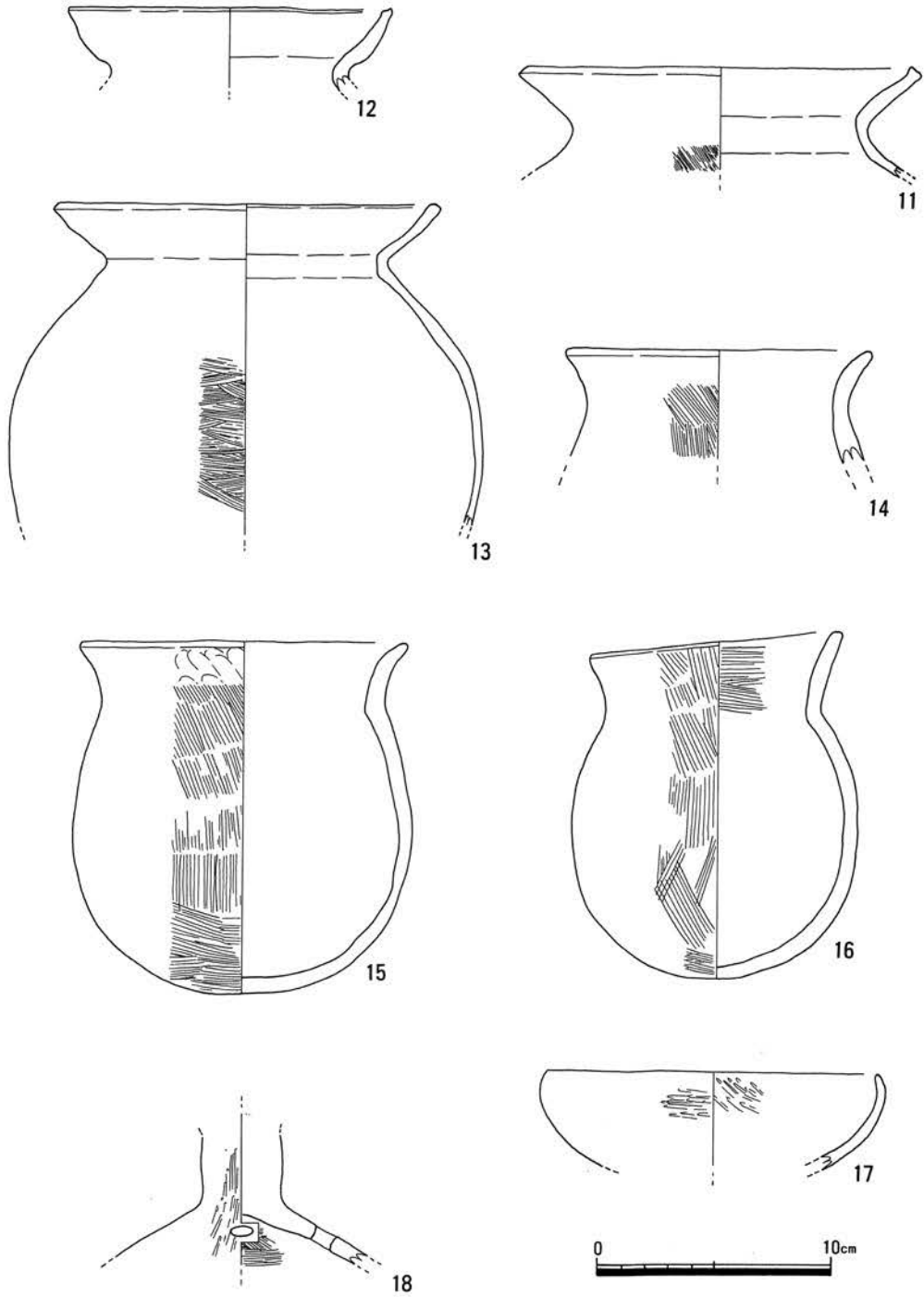


Fig. 78 包含層出土遺物実測図 (1/3)

III. 篠木野遺跡

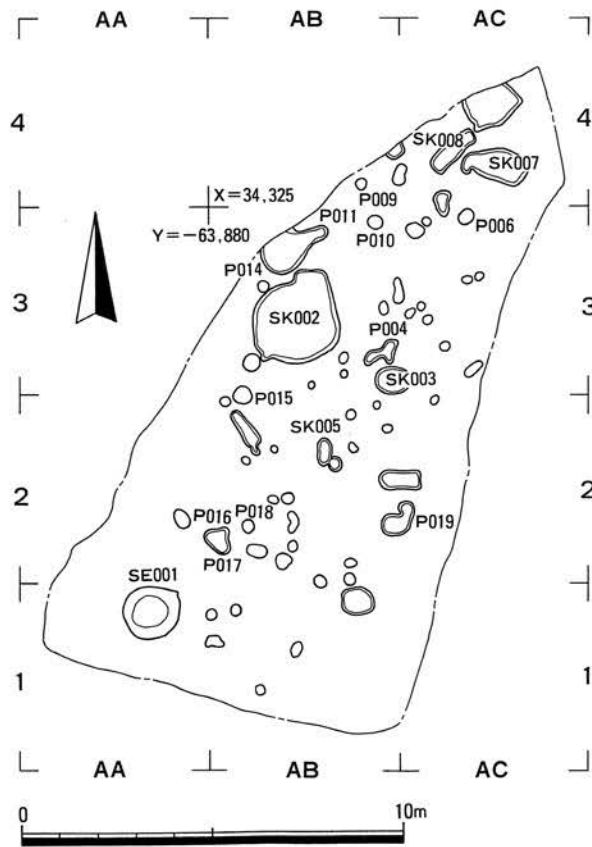


Fig . 7 9 篠木野遺跡 5 区遺構配置図 (1/200)

6. 調査の記録 (5区)

6. 調査の記録 - 5区 -

(1) 縄文時代の遺構と遺物

a) 土壌と出土遺物

SK002 (Fig. 80)

AB-3グリッドで検出した。検出面の標高は8.2m~8.3mを測る。平面形は径2.2m程の円形に近い隅丸方形を呈している。断面形は深さ0.8~0.9mを測る逆台形状を呈し、壁はきつく立ち上がる。底面は舟底状を呈する。埋土は15層に分層でき、自然堆積による埋没状況を示している。埋土中より遺物を検出した。

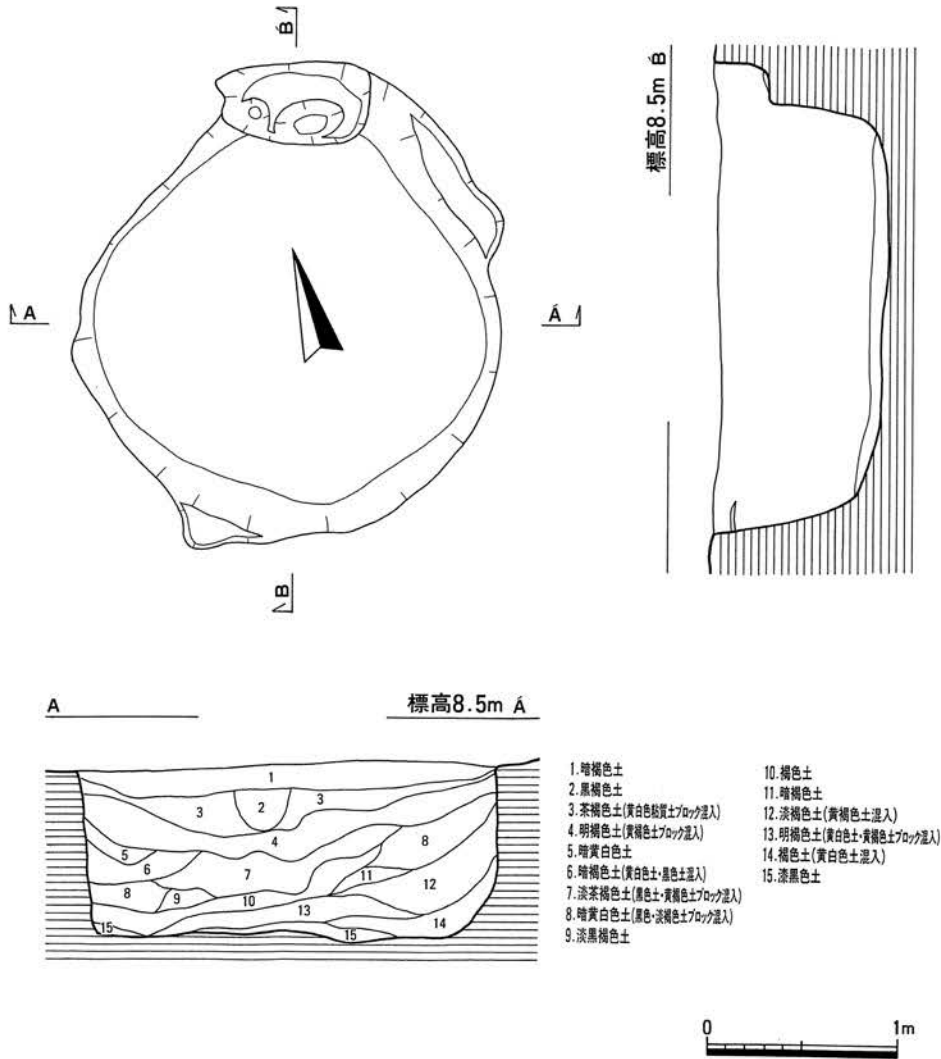


Fig. 80 SK002土壌実測図 (1/40)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

#### 出土遺物 (Fig. 81)

甕(1~7) いずれも刻目突帯文土器の細片である。1は如意形口縁を呈し、口縁端部に明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面ナデ調整。褐色を呈する。2は如意形口縁を呈し、口縁端部に細かい刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整。明褐色を呈する。3は口縁部に断面三角形の突帯を貼付け、やや細かい刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整。明褐色を呈する。4は口縁部に断面三角形の突帯を貼付け、突帯を施している。やや細かい刻目であり、同様の刻目を口縁上端部にも施している。器面調整は内外面にナデ調整。外面に黒斑を有し、明褐色を呈する。5は屈曲部の細片である。断面三角形の突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面の内外面には条痕が施されている。褐色を呈する。6は屈曲部に断面三角形の突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。内外面にナデ調整。褐色を呈する。7は断面三角形の突帯を貼付け、刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整。褐色を呈する。

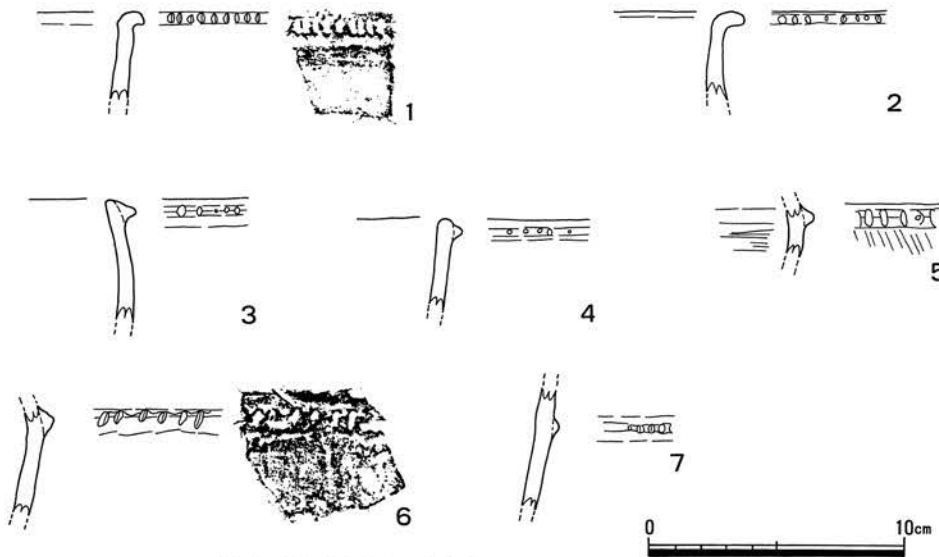


Fig. 81 SK002出土遺物実測図 (1/3)

#### (2) 古墳時代の遺構と出土遺物

##### a) 土壌と出土遺物

##### SK003 (Fig. 82)

AB・AC-3グリッドで検出した。検出面の標高は8.3m前後である。平面形は長軸1m、短軸0.7mを測る楕円形を呈している。東側に段を有し、断面形は深さ0.3m~0.4mを測る逆台形を呈している。埋土は褐色を基調としており、自然堆積による埋没と思われる。埋土中より遺物を検出した。

6. 調査の記録 (5区)

出土遺物 (Fig. 83)

土師器坏(8) 復元口径10.8 cm、残存器高3.5 cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面上位と内面にナデ調整。体部外面下位にヘラケズリ調整。明褐色を呈する。

須恵器坏(9・10) 9は復元口径10.2 cm、残存器高3.6 cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、内外面にナデ調整。暗灰色を呈する。10は復元口径12.2 cm、残存器高3 cm。器面調整は内外面に横ナデ調整。焼成が甘く色調は赤褐色を呈する。

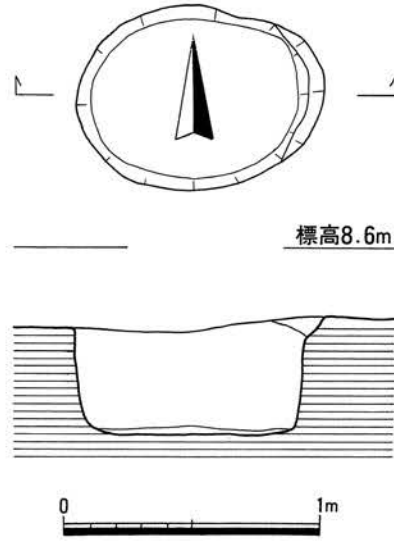


Fig. 82 SK 003 土壌実測図 (1/30)

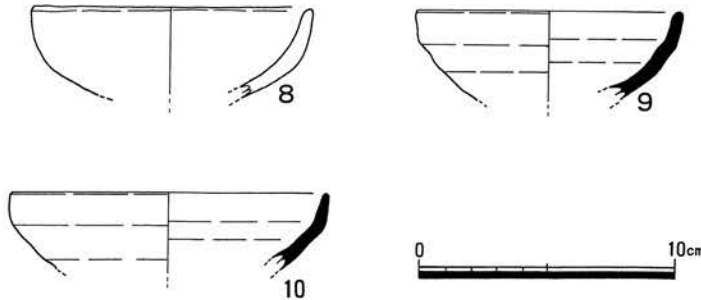


Fig. 83 SK 003 出土遺物実測図 (1/3)

b) 井戸と出土遺物

SE 001 (Fig. 84)

AA-1グリットで検出した。素堀の井戸である。検出面の標高は8.2m~8.3mを測る。平面形は径1.4m程のやや不整形な円形を呈している。断面形は深さ0.9m程を測る逆台形を呈しており、壁はきつく立ち上がる。底面はほぼ平坦である。埋土は7層に分層でき、自然堆積による埋没状況を示している。底面からやや浮いた状態で遺物を検出した。井戸が廃棄された際に何らかの祭祀行為が行なわれたものか(?)。

### Ⅲ. 篠木野遺跡

#### 出土遺物 (Fig. 85)

壺 (12~17) 12は復元口径15.1cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、口縁部内面及び外面にハケ目調整、胴部内面にヘラケズリ調整。褐色を呈する。13は復元口径16.5cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にヘラケズリ調整。明赤褐色を呈する。14は12と同一個体か。残存器高12cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にヘラケズリ調整。褐色を呈し外面に黒斑を有する。15は13と同一個体か。残存器高14.3cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にヘラケズリ調整。内面暗褐色、外面明赤褐色を呈し、外面に黒斑を有する。16は復元口径9.9cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、口縁部内面にナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整。暗赤褐色を呈する。17は復元口径14.3cm、残存器高8.6cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、口縁部内外面にハケ目調整後にナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にヘラケズリ調整。赤褐色を呈し外面に黒斑を有する。

坏 (18) 高坏の坏部か。復元口径18.4cm、残存器高5.3cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調

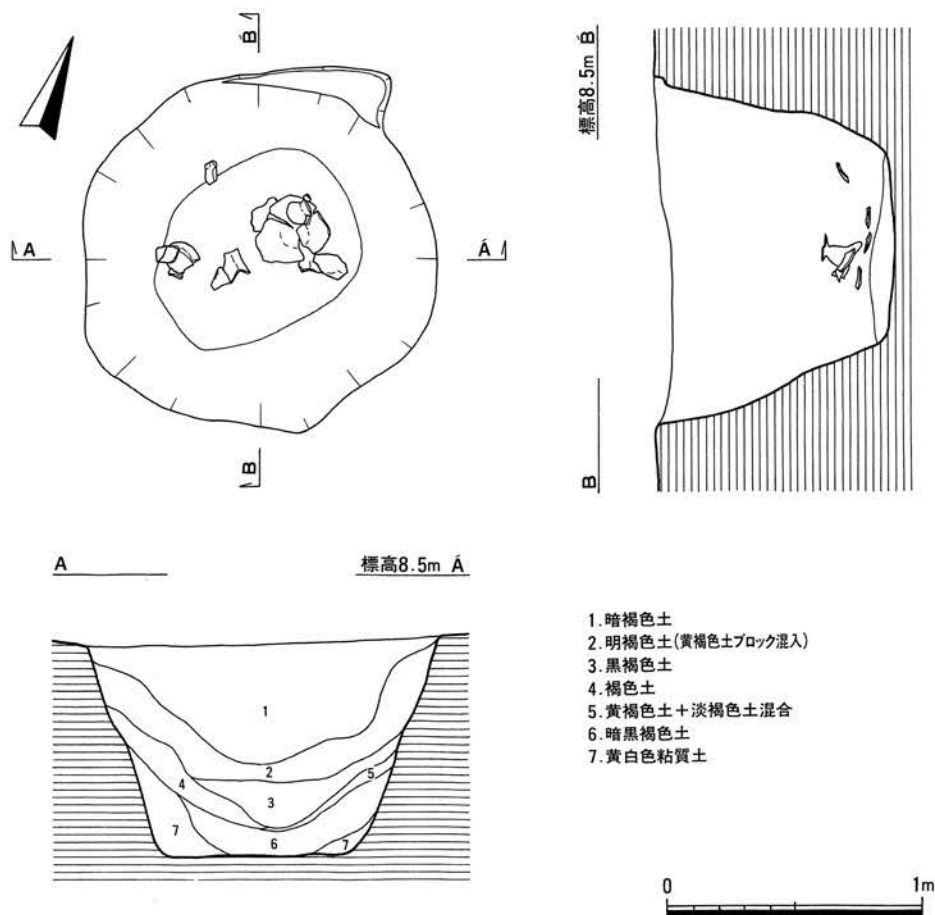


Fig. 84 SE001井戸実測図 (1/30)

6. 調査の記録 (5区)

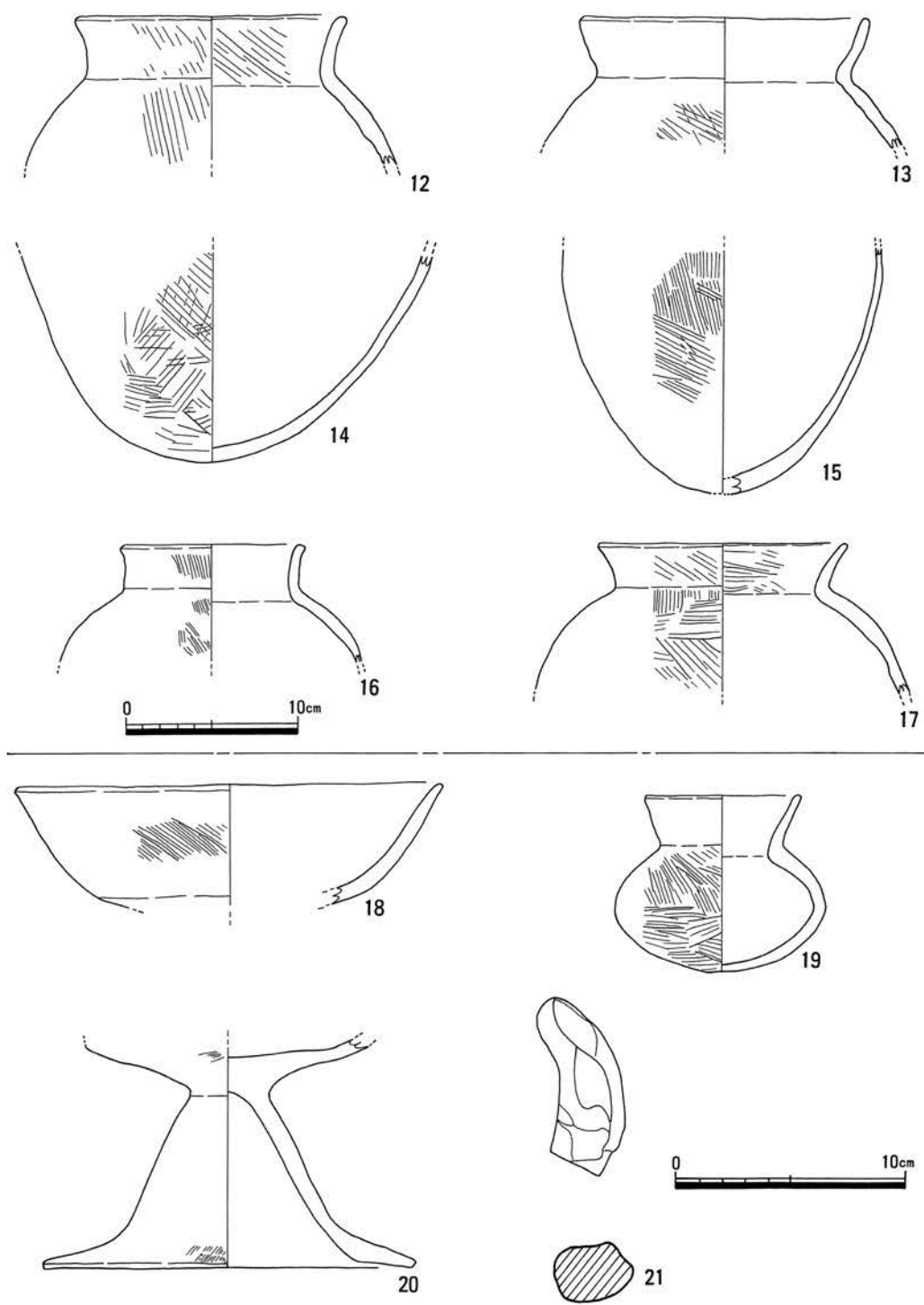


Fig. 85 SE001出土遺物実測図 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整。淡褐色を呈する。

小型丸底埴(19) ほぼ完形。口径6.6cm、器高7.7cm。器面調整は口縁部内外面に横ナデ調整、胴部外面に不定方向にハケ目調整、胴部内面にナデ調整。明赤褐色を呈し、外面に黒斑を有する。

高坏(20) 18と同一個体か。復元底径16cm。残存器高10cm。器面調整は脚端部に横ナデ調整、外面にナデ調整、内面にヘラケズリ調整。淡褐色を呈する。

把手(21) 全面にナデ調整を施しており赤褐色を呈する。

#### (3) その他の出土遺物

##### a) 縄文時代の遺物(Fig. 86)

甕(22~27) 22はSK003土壌より検出した。胴屈曲部に比較的小さな断面三角形の突帯を貼付け、刻目を施している。器面調整は内面にナデ調整、外面に横方向に条痕文が施されている。褐色を呈する。23はP006小穴より検出した。胴屈曲部に断面三角形の突帯を貼付け、細かい刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整。内面は暗褐色、外面は褐色を呈する。24はP015小穴より検出した。口縁部に断面三角形の突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面ナデ調整である。明褐色を呈する。25は表採。口縁端部直下に断面三角形の突帯を貼付け、刻目を施している。器面調整は磨耗のため不明瞭であるが外面には条痕文の跡

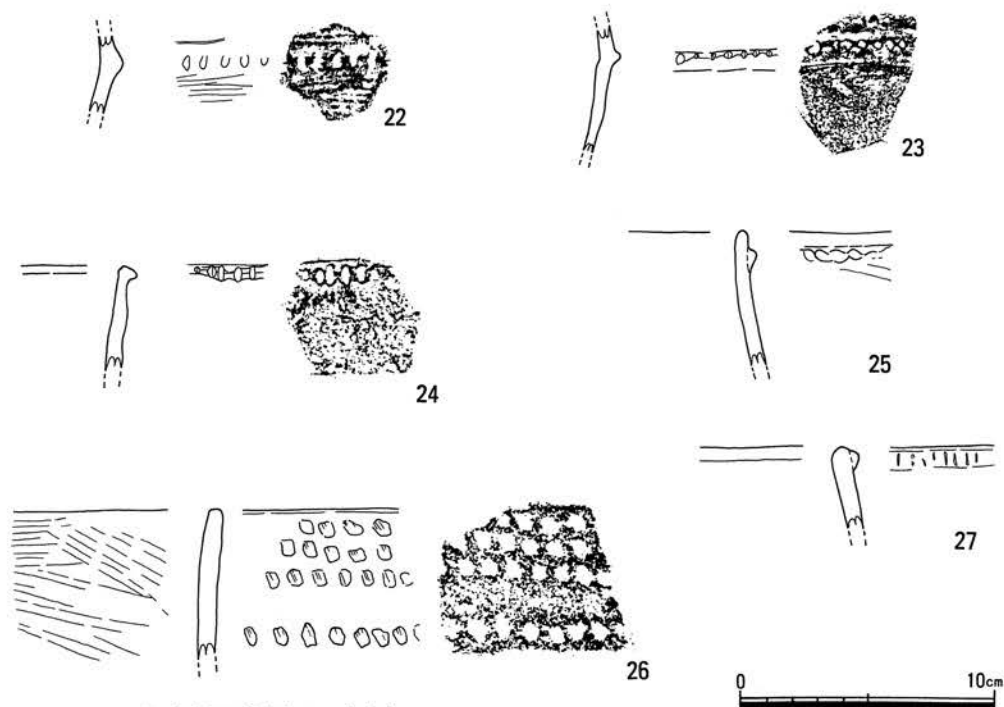


Fig. 86 縄文土器実測図 (1/3)

6. 調査の記録 (5区)

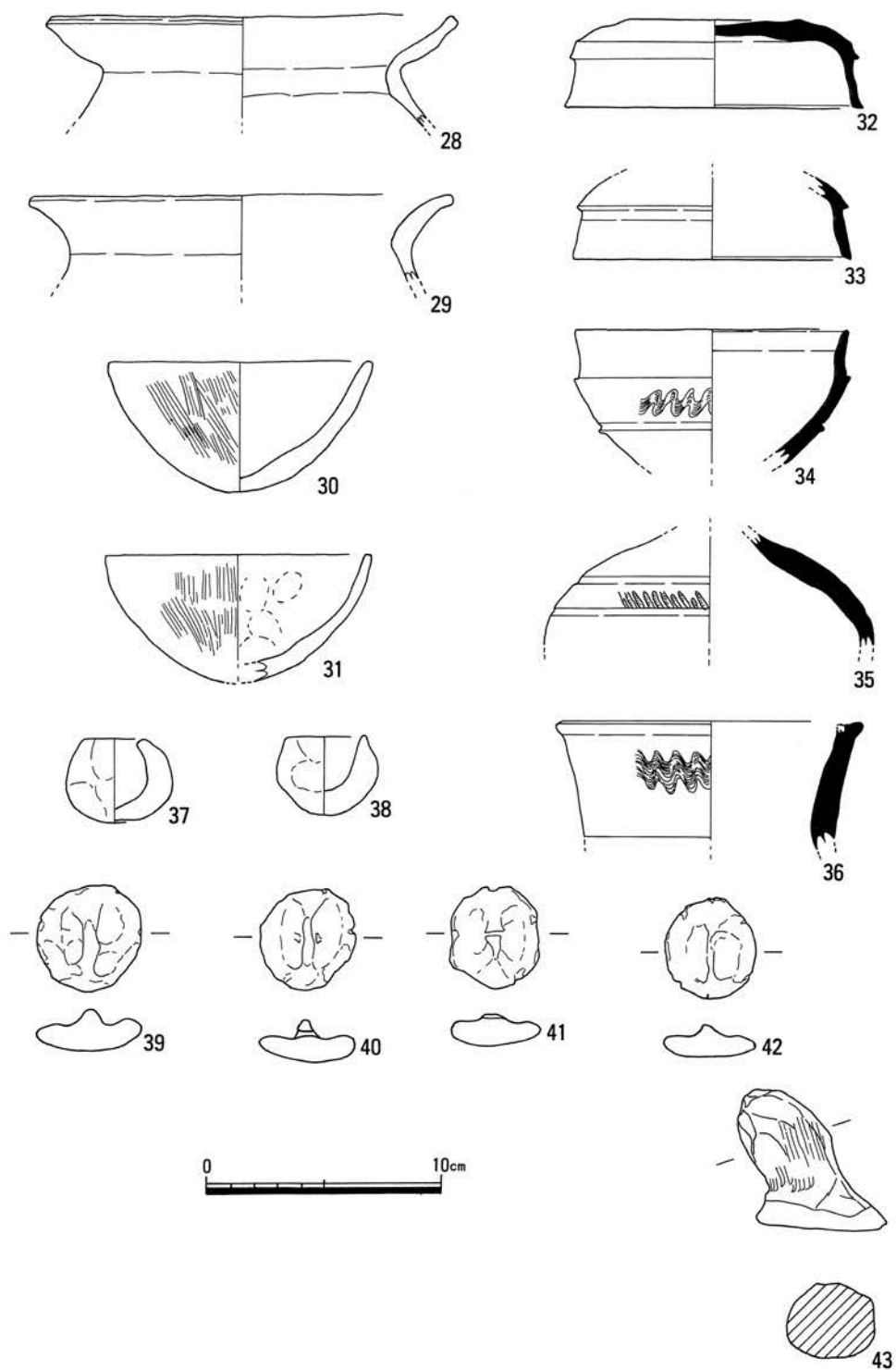


Fig. 8 7 古墳時代の遺物実測図 (1/3)

### Ⅲ. 篠木野遺跡

が認められる。淡褐色を呈する。26は表採。如意形口縁を呈しており、刻目は施されていない。器面は内面にナデ調整、外面に工具によるナデ調整。淡褐色を呈する。27は表採。素口縁で外面口縁直下に一辺0.5cmほどの刺突文を配している。内面には不定方向に条痕文が施されている。明褐色を呈する。

#### b) 古墳時代の遺物 (Fig. 87)

いずれも表採及び包含層からの検出である。

甕(28・29) 土師器。28は復元口径16.8cm、残存器高4.2cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整。淡褐色を呈する。29は復元口径17.6cm、残存器高3.6cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内面にヘラケズリ調整。淡褐色を呈する。

鉢(30・31) 土師器。30は口径11.2cm、器高5.5cm。器面調整は外面に斜め方向にハケ目調整、内面にナデ調整。暗褐色を呈する。31は復元口径11.2cm、残存器高5.3cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整。内面に押圧痕が残る。黒褐色を呈する。

蓋(32・33) 須恵器。32は復元口径12.6cm、器高3.6cm。天井部と体部の境に明瞭な稜を有し、意には段を有する。器面調整は内外面全体に回転ナデ調整。暗灰色を呈する。33は復元口径11.8cm。体部と口縁部の境に段を有する。器面調整は内外面に回転ナデ調整。外面に自然釉が付着している。暗褐色を呈する。

高坏? (34) 須恵器。坏部か。復元口径11.6cm。残存器高5.6cm。口縁部と体部の境に段を、その下位に一条の沈線を有刺、段と沈線の間には波状文を配している。器面調整は内外面全体に回転ナデ調整。暗灰褐色を呈する。

はそう(35) 須恵器。残存器高4.7cm。頸部に二条の沈線を有し、その間に文を配する。器面調整は内外面全体に回転ナデ調整。暗灰色を呈する。

壺(36) 須恵器。復元口径13cm、残存器高5cm。口縁部下位に波状文を配する。器面調整は内外面に横ナデ調整。淡黄灰色を呈する。

手づくね土器(37・38) 37は口径2.5cm、器高3.5cm。内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。38は口径2.5cm、器高3.5cm。内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。

土製鏡(39~42) 最長4.2~4.3cm、最短3.8~4.4cm、最大厚1.8~1.9cm。つまみ部分を有し、40・41はつまみ部分に擲状工具による焼成前穿孔を有する。いずれも淡褐色を呈する。

把手(43) 接合部分より剥離している。残存長5.8cm、最大厚3.2cm、最大幅3.7cm。全体にナデ調整であり、一部にハケ目調整が施してある。淡褐色を呈する。

琵琶原遺跡 2・3区

(BWB-2・3)

## N. 琵琶原遺跡 -2・3区-

### 1. 調査の概要

調査は掘削機による表土除去作業から開始した。2区は0.2~0.3mほどの表土下で、基盤の黄褐色土及び砂質土を、3区は1.2mほどの表土下に黄褐色粘質土の基盤を確認した。

表土除去後、2区、3区の順に人力による掘削及び記録調査に入った。

調査は、まず1/100の遺構配置図、1/20の全体遺構図を作成するための国土座標を基準とする5m方眼の基準杭を設定した。方眼の名称はX=+35K385・Y=-63K340を基準とし、そこから北にAA・AB・AC・・・、東へ1・2・3・・・として各区画をAA-1・AB-2・AC-3のように表示した。これは2区・3区を包括する。

遺構検出が終了した部分から遺構配置図を作成し、遺構番号の設定、遺物の取り上げに利用し、完掘した遺構は1/20の全体遺構図に記録し、とくに必要な遺構は1/20及び1/10の個別遺構実測を行なった。

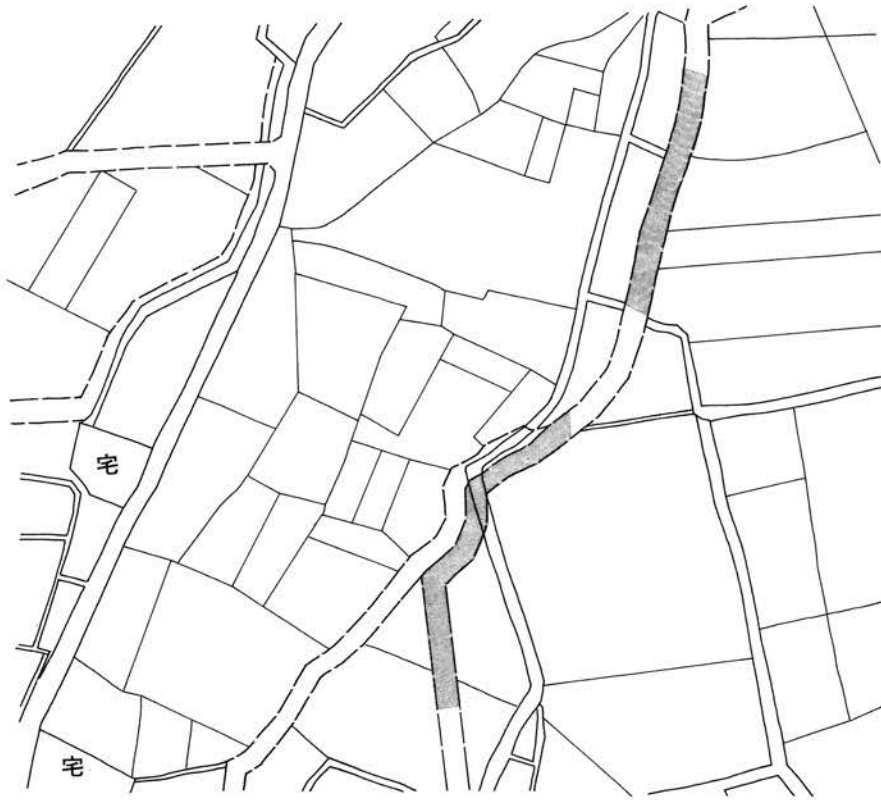
### 2. 遺跡の概要

**2区** 南北に細長い調査区である。水田下にあり、耕作土が0.2~0.3m程で黄褐色土及び砂質土の基盤を検出した。遺構埋土は黒褐色及び灰褐色土を検出した。調査区の大部分は谷地形部にかかっていたため検出した遺構は少なく、弥生時代後期に属する土壇3基、中・近世に属する溝4条を検出した。SK001とSK003の土壇からは一括資料として良好な多量な土器を検出し、SD004からは磁器、陶器等の遺物を比較的多量に検出した。また谷地形部の埋土上層は暗褐色土の遺物包含層が堆積しており縄文時代の遺物を検出した。遺構検出面の標高は13.7m前後である。

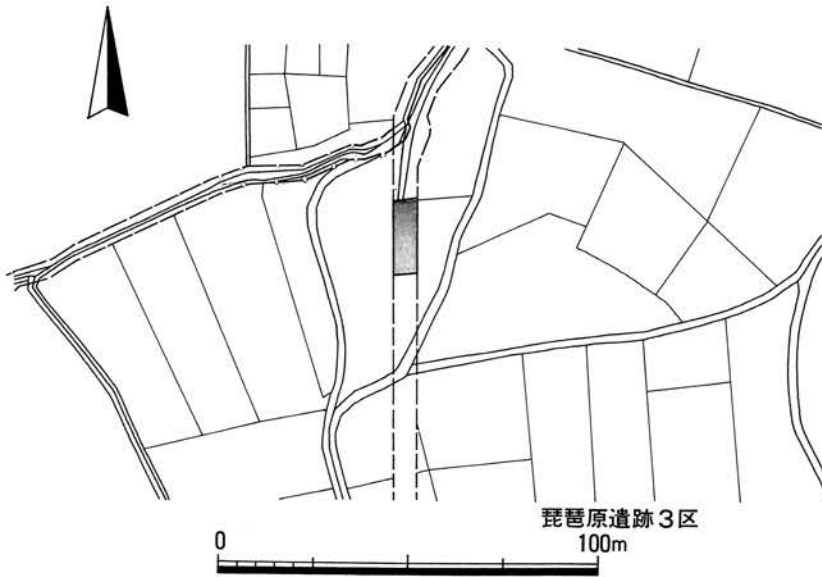
**3区** 水田下にあり、調査区は谷地形部にかかっていた。基盤は一部分を確認でき、耕作土下1m程で暗黄褐色土を検出し、地形は急激に落ち込んでいた。遺物は比較的多量に検出でき、遺物包含層から弥生土器、土師器を検出した。

今回の調査地点は丘陵の縁辺部、谷地形部の落ち際であったと思われる、遺構は北側に展開していると思われる。

3. 調査の記録 (2区)



琵琶原遺跡 2区



琵琶原遺跡 3区



Fig. 8 8 琵琶原遺跡調査区設定図 (1/20,000)

#### IV. 琵琶原遺跡

### 3. 調査の記録 - 2区 -

#### (1) 弥生時代の遺構と遺物

##### a) 土壌と出土遺物

##### SK001 (Fig. 90)

BC・BD-17グリッドで検出した。検出面の標高は13.7mほどである。SD004と切り合い関係にあり、本遺構が先出する。平面形は長軸2.3m、短軸0.9mを測る不整形な隅丸長方形を呈している。断面形は深さは0.3m前後を測る逆台形状を呈し、壁はややきつく立ち上がる。遺構の東側には段を有し、底面はほぼ平坦である。埋土は黒褐色土の単層で、底面から浮いた状態で弥生時代の甕・鉢・器台等の土器を多量に検出した。遺構の埋没過程で一括投棄されたものと思われる。

##### 出土遺物 (Fig. 91~94)

甕 (1~19) 1は口径21.8cm、底径8.4cm、器高29.4cm。器面調整は口縁部に強い横ナデ調整、胴部及び底部内外面にナデ調整を行なっている。内面に指頭圧痕を残す。褐色を呈する。2は口径25.4cm、残存器高24.4cm。器面調整は口縁部外面に強い横ナデ調整、口縁部内面にハケ目調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整を行なっている。胴部外面上位に煤、内面全体に黒斑を有する。褐色を呈する。3は口径26cm、残存器高16.8cm。器面調整は口縁部に強い横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。4は口径18.4cm、復元底径9.4cm、器高24.4cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハ

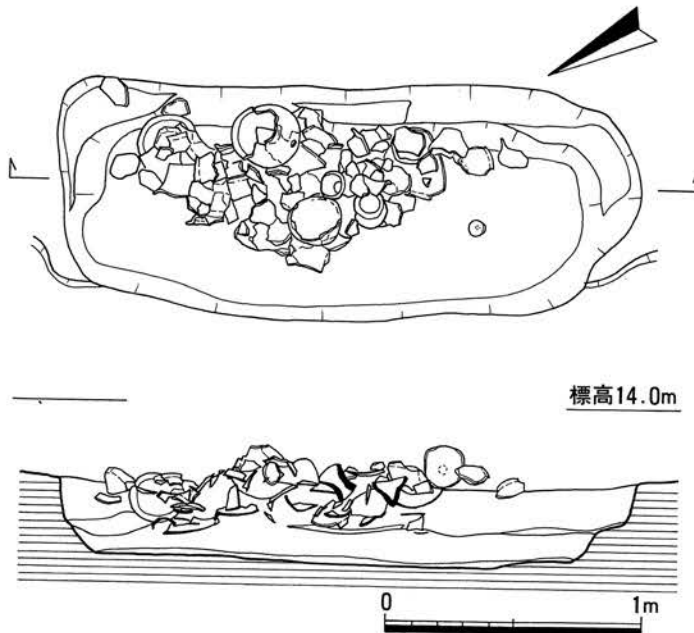


Fig. 90 SK001土壌実測図 (1/30)

3. 調査の記録 (2区)

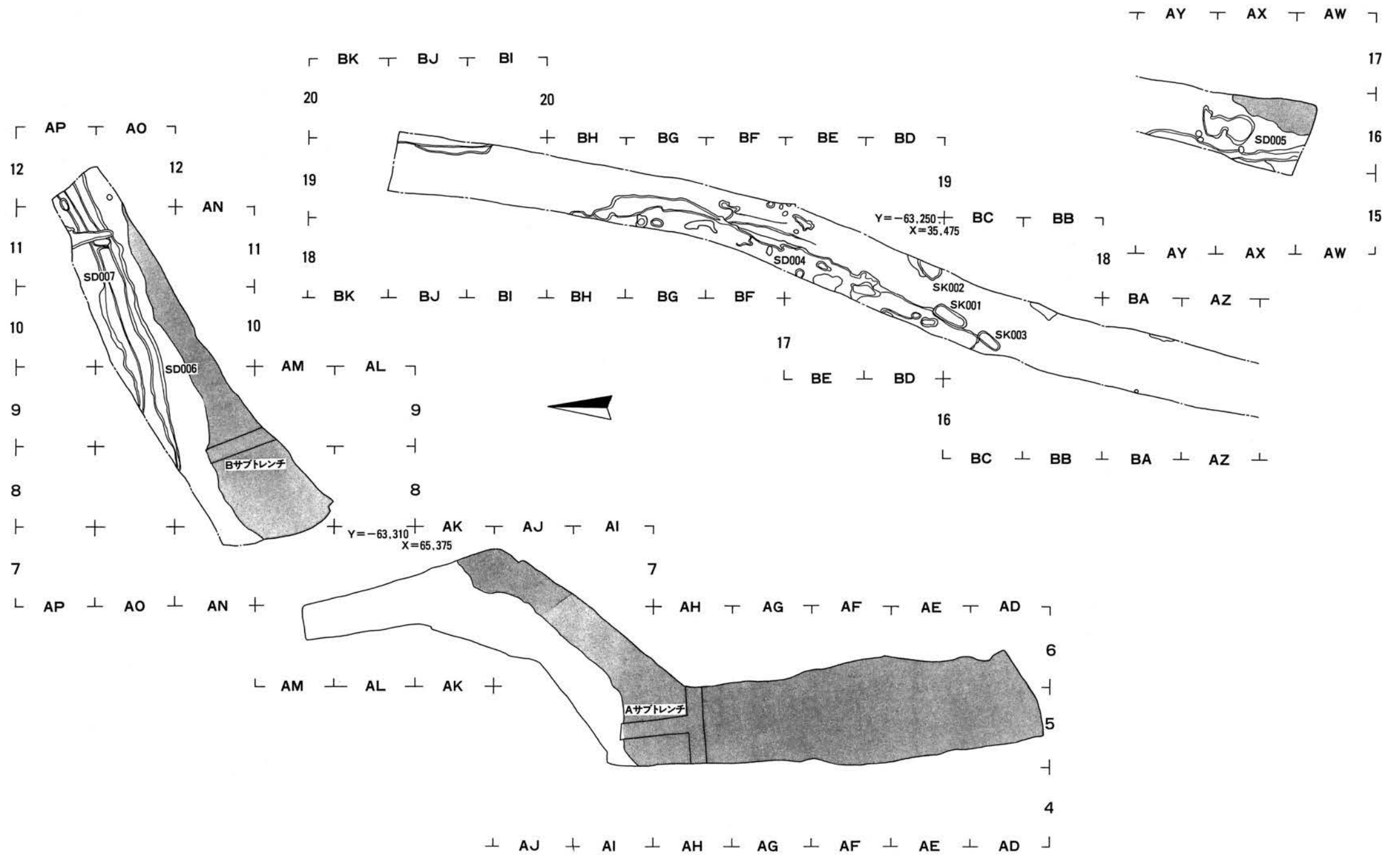


Fig. 89 琵琶原遺跡2区遺構配置図

### 3. 調査の記録 (2区)

ケ目調整、胴部内面にナデ調整を行っており、下位に指頭圧痕を有する。胴部外面中位から下位にかけて黒斑を有する。褐色を呈する。5は復元口径21.4cm、残存器高17.5cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整後ナデ調整、胴部内面にナデ調整を行なっている。胴部外面中位に黒斑を有する。褐色を呈する。6は口径18cm、底径7.5cm、器高19.9cm。器面調整は口縁部に強い横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整を行なっている。内面に指頭圧痕を有する。淡褐色を呈する。7は復元口径22.8cm、残存器高23.6cm。器面調整は口縁部外面に強い横ナデ調整、口縁部内面にハケ目調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整を行なっている。内面に指頭圧痕を有する。暗褐色を呈する。8は復元口径20.8cm、底径8cm、器高18.7cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整後ナデ調整、胴部内面にナデ調整を行なっている。淡褐色を呈する。9は復元口径19cm、底径8cm、器高19.3cm。器面調整は口縁部に強い横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整を行なっており、内面に指頭圧痕を有する。褐色を呈する。10は復元口径14cm、底径8cm、器高17.1cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。11は復元口径11.8cm、底径6.4cm、器高11.4cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。胴部外面全体に黒斑を有する。淡褐色を呈する。12は復元口径12.4cm、残存器高8.1cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整を行なっている。淡褐色を呈する。13は口径19cm、底径9.5cm、器高16.7cm。器面調整は口縁部に強い横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。胴部外面全体に煤が付着している。淡褐色を呈する。14は底径10cm、残存器高19.7cm。胴部外面の器面調整は磨耗のため不明瞭。内面にはナデ調整が行なわれており下位に黒斑を有する。褐色を呈する。15は復元口径17.8cm、残存器高9.1cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整。胴部外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整を行なっている。淡褐色を呈する。16は底径6.4cm、残存器高9.4cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。外面に煤の付着が認められる。淡褐色を呈する。17は底径7.8cm、残存器高14.5cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。18は復元底径8.3cm、残存器高9.8cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。内底部に指頭圧痕を有する。明褐色を呈する。19は復元底径11.2cm、残存器高8cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。明褐色を呈する。

鉢(20~25) 20は復元口径28cm、底径8.7cm、器高14.7cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。灰褐色を呈する。21は内口径17.2cm、外口径23.1cm、底径6.5cm、器高8.6cm。内外面とも磨耗のため器面調整は不明瞭である。明褐色を呈する。22は口径19cm、底径8cm、器高11.7cm。器面調整は口縁部及び内面にナデ調整、外面にハケ目調整を行なっている。淡褐色を呈する。23は口径14cm、底径6cm、器高11.2cm

IV. 琵琶原遺跡

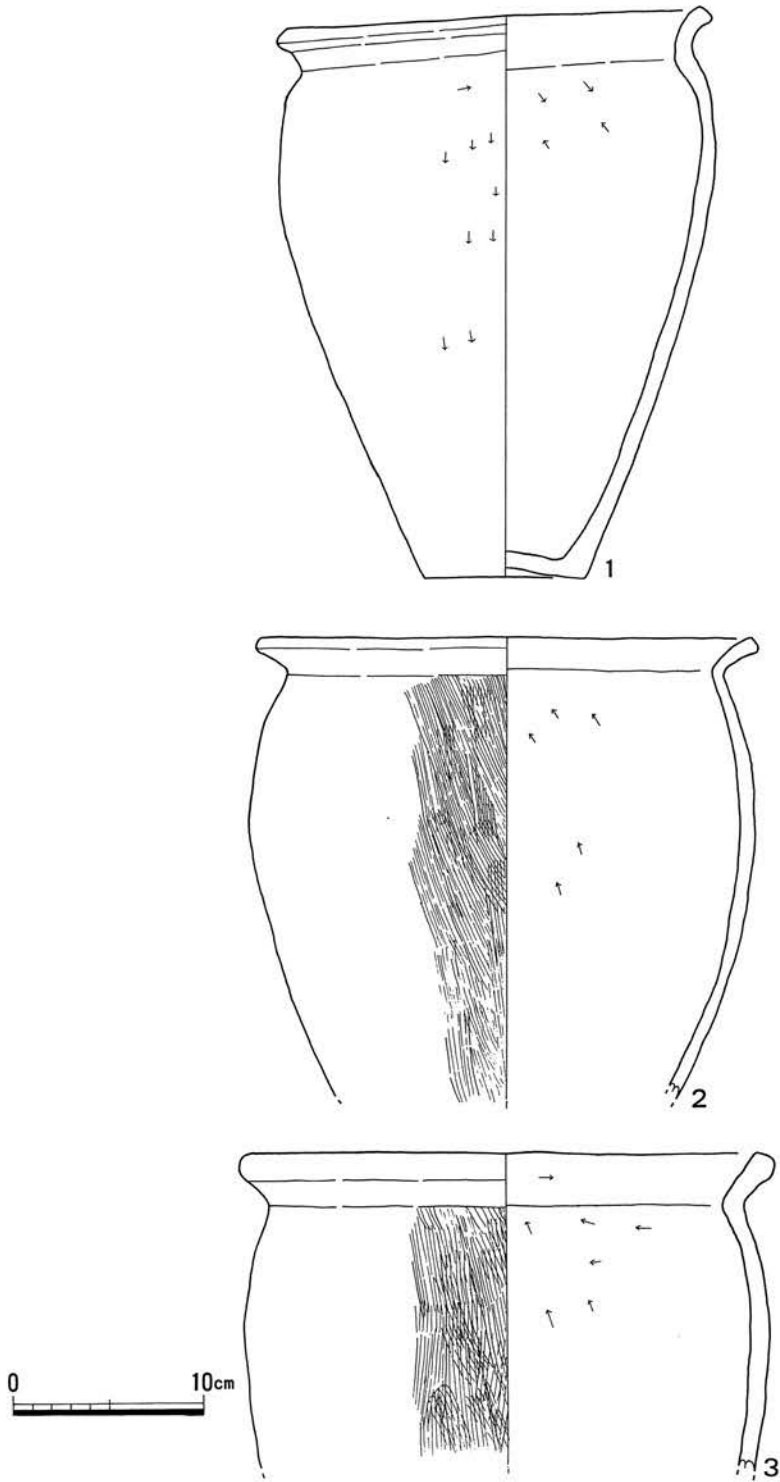


Fig. 9 1 SK 0 0 1出土遺物実測図① (1/4)

3. 調査の記録 (2区)

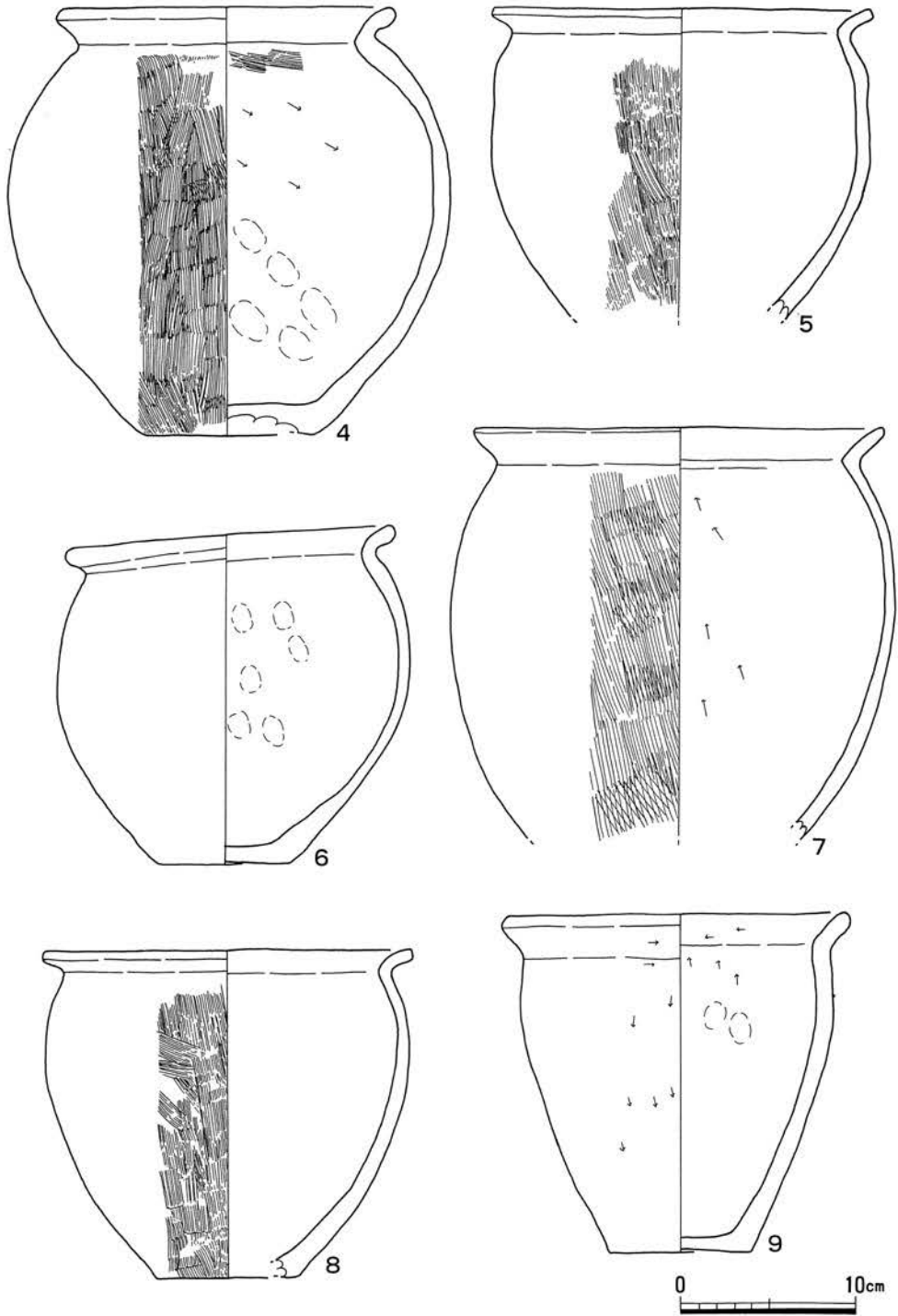


Fig. 92 SK001出土遺物実測図② (1/4)

IV. 琵琶原遺跡

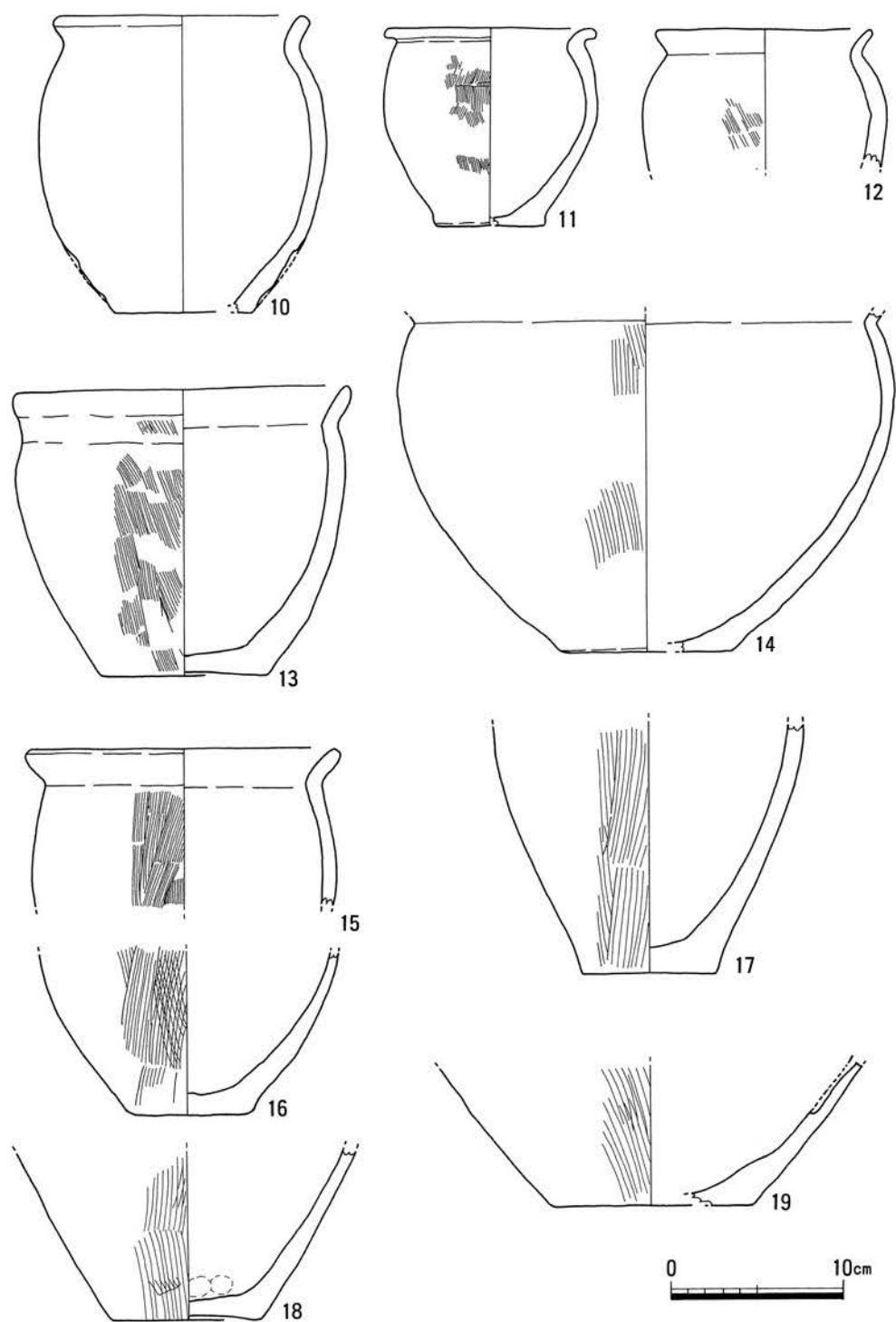


Fig. 93 SK001出土遺物実測図③ (1/4)

3. 調査の記録 (2区)

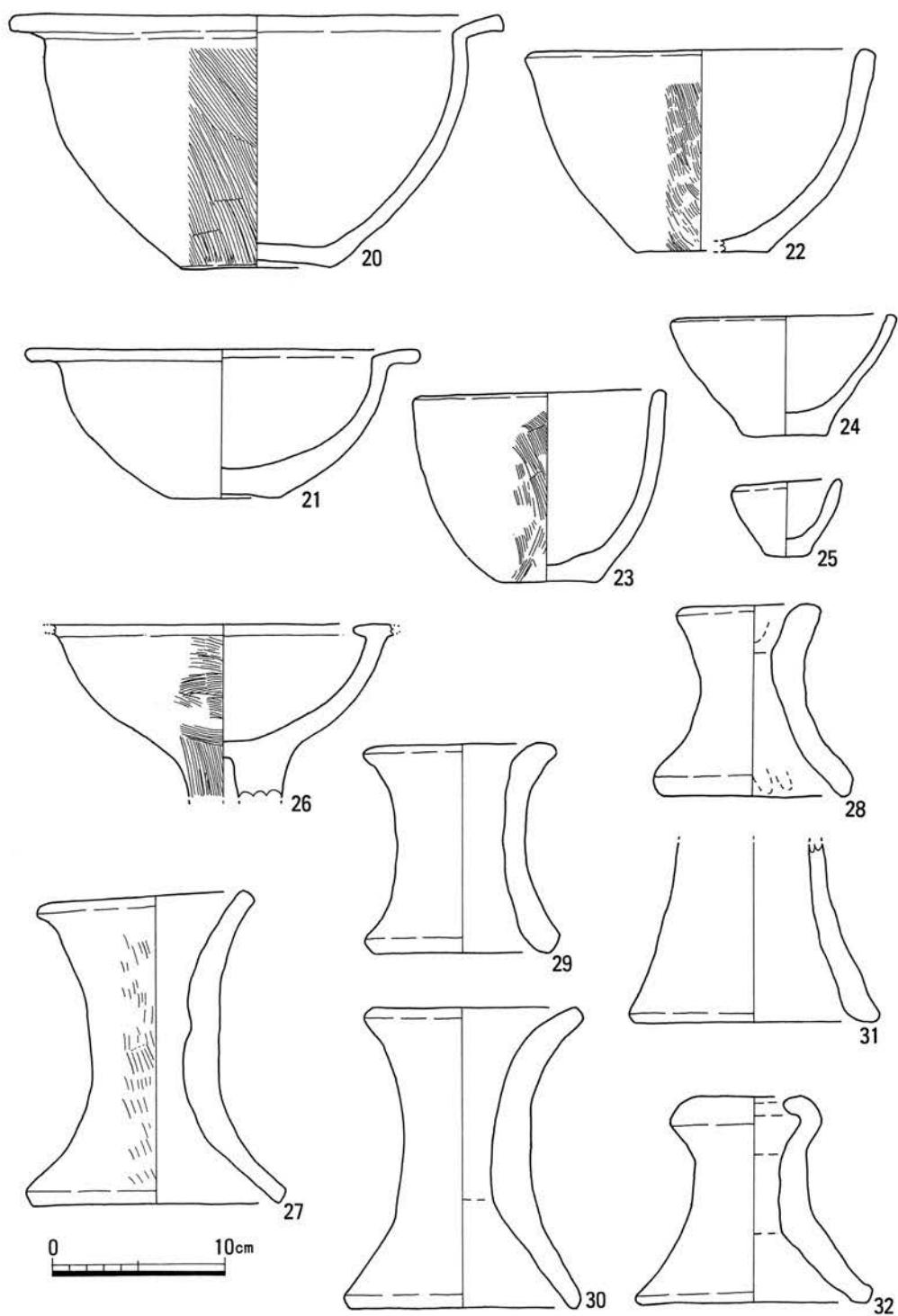


Fig. 94 SK001出土遺物実測図④ (1/4)

#### IV. 琵琶原遺跡

。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。24は口径12.4cm、底径4.8cm、器高7.1cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整を行なっている。外面に黒斑を有する。淡褐色を呈する。25は口径5.9cm、底径2.6cm、器高4.5cm。器面調整は内外面にナデ調整を行なっている。外面に黒斑を有する。淡褐色を呈する。

高坏(26) 坏部と脚部の一部のみ残存。復元口径15.2cm、残存器高10cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整を行なっている。赤褐色を呈する。

器台(27~32) 27は口径11.5cm、底径14.4cm、器高17.8cm。器面調整は受・裾端部に横ナデ調整、外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。28は口径6.9cm、底径10.5cm、器高11.3cm。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれており、内面の上位と下位に指頭圧痕を有する。褐色を呈する。29は口径9.3cm、底径10.2cm、器高12.2cm。器面調整は受端部に横ナデ調整、内外面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。30は口径11.9cm、底径13.2cm、器高17.5cm。器面調整は受・裾端部に横ナデ調整、内外面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。31は底径14cm、残存器高10.5cm。器面調整は内外面にナデ調整を行なっている。褐色を呈する。32は口径5.6cm、底径13.1cm、器高12.1cm。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。褐色を呈する。

#### SK002 (Fig. 95)

BD-18グリットで検出した。東側半分を調査区外に展開する。検出面の標高は13.4~13.6mを測る。検出した部分の最大長は1.3mを測り、平面形は不整形な楕円形を呈すると思われる。断面形は深さ0.6m程を測る逆台形を呈しており、壁は丸みをもって立ち上がる。底面はほぼ平坦である。埋土は黒褐色を基調としており、自然堆積による埋没状況を示している。埋土中より遺物を検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 96)

甕(33・34・37) 33は復元口径25.6cm。器面調整は磨耗のため不明瞭である。淡黄褐色を呈する。34

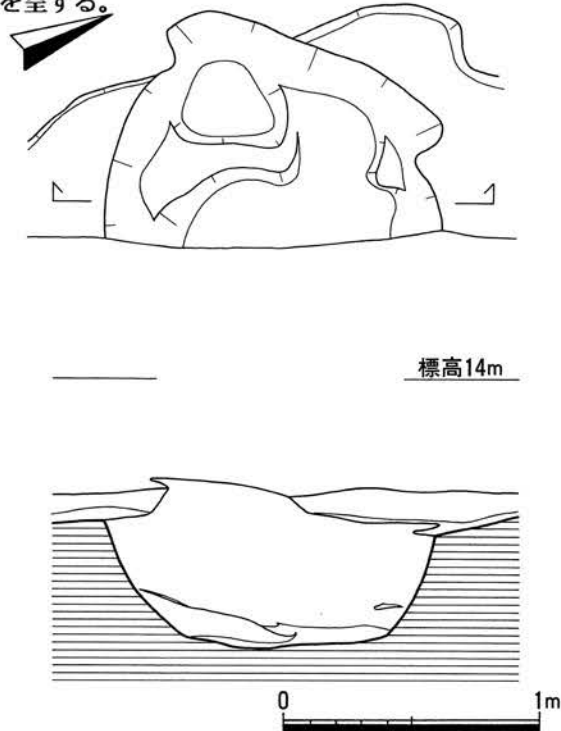


Fig. 95 SK002 土坑実測図 (1/3)

### 3. 調査の記録 (2区)

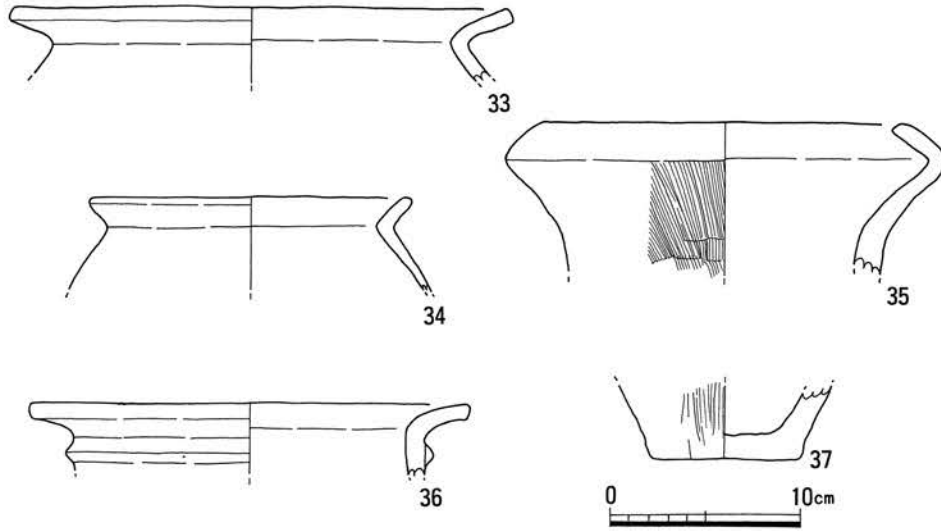


Fig. 96 SK002 出土遺物実測図 (1/4)

は復元口径16.6cm。器面調整は口縁部にナデ調整が行なわれており、内面は剥離が著しく不明瞭である。淡褐色を呈する。37は復元底径7.4cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

壺(35・36) 35は復元口径22.3cm、残存器高3.7cm。口縁部直下に断面三角形の貼付け突帯を有する。器面調整は磨耗のため不明瞭である。明褐色を呈する。36は復元口径18.2cm、残存器高8cm。器面調整は口縁部及び内面に横ナデ調整、外面にハケ目調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

#### SK003 (Fig. 97)

BC-17グリットで検出した。SK001に近接して検出し、SD004と切り合い関係にあるが本遺構が先出する。検出面の標高は13.7m前後である。平面形は長軸1.6m、短軸0.8mを測る隅丸長方形を呈している。断面形は深さ0.4m程を測る逆台形状を呈し、壁はきつく立ち上がる。底面は微妙な起伏はあるもののほぼ平坦である。埋土は黒褐色土の単層であり、底面からやや浮いた状態で甕・壺・鉢等の弥生土器を多量検出した。

#### 出土遺物 (Fig. 98・99・100・101)

甕(38~48) 38は復元口径27.4cm、残存器高24.3cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面にナデ調整を行なっている。淡褐色を呈する。39は復元口径27.6cm、残存器高14.2cm。胴部中位に断面三角形に貼付け突帯を有する。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、胴部内面意ナデ調整を行なっている。赤褐色を呈する。40は復元口径34.1cm、残存器高10.2cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面は磨耗もため不

#### IV. 琵琶原遺跡

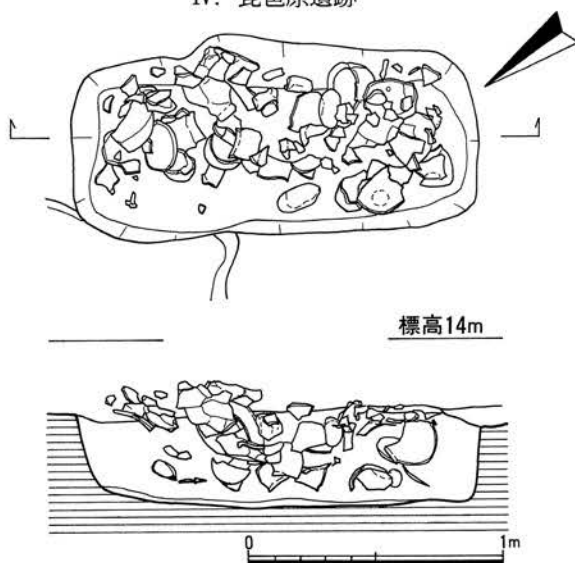


Fig. 97 SK003土壌実測図 (1/30)

明瞭であるがハケ目調整が認められ、胴部内面にナデ調整が行なわれている。明褐色を呈する。41は復元口径28cm、残存器高16cm。器面調整は口縁部外面に横ナデ調整、内面にハケ目調整、胴部外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。明褐色を呈する。42は口径20cm、底径7.1cm、器高21.8cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内面にナデ調整、胴部外面は磨耗のため不明瞭である。淡灰黒色を呈する。43は口径18.5cm、底径8.6cm、器高21.1cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部内外面にナデ調整が行なわれており、胴部外面上位に黒斑を有する。褐色を呈する。44は口径13.5cm、底径5.4cm、器高17.7cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれており、外底部に黒斑を有する。淡褐色を呈する。45は復元口径17.4cm、同底径6.3cm、器高16.9cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整が行なわれている。褐色を呈する。46は復元口径16.2cm、底径7cm、器高15.2cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面に縦方向のハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。暗褐色を呈する。47は口径20cm、底径6.7cm、器高13.4cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整が行なわれており、外底部に黒斑を有する。赤褐色を呈する。48は口径11.9cm、底径5.4cm、器高8.4cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色呈する。

壺(49・50) 49は残存器高23.7cm。肩部と胴部中位に断面三角形の貼付け突帯を各1条有する。器面調整は外面の全体にハケ目調整であるが、突帯部のみに横ナデ調整、内面全体にナデ調整が行なわれている。内面に指頭圧痕を有する。淡褐色を呈する。50は底径9cm、残存器高24.

3. 調査の記録 (2区)

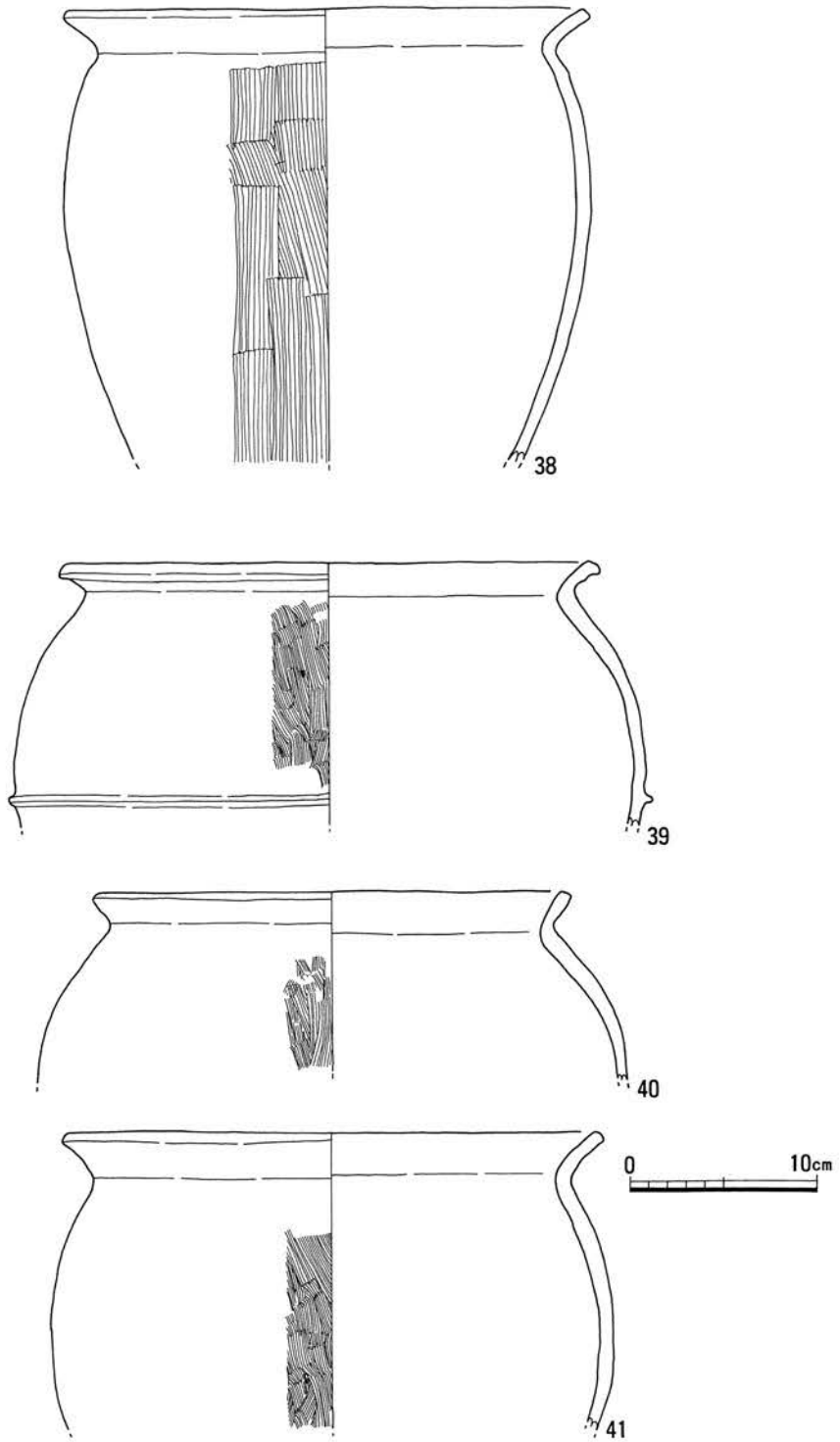


Fig. 98 SK003出土遺物実測図① (1/4)

IV. 琵琶原遺跡

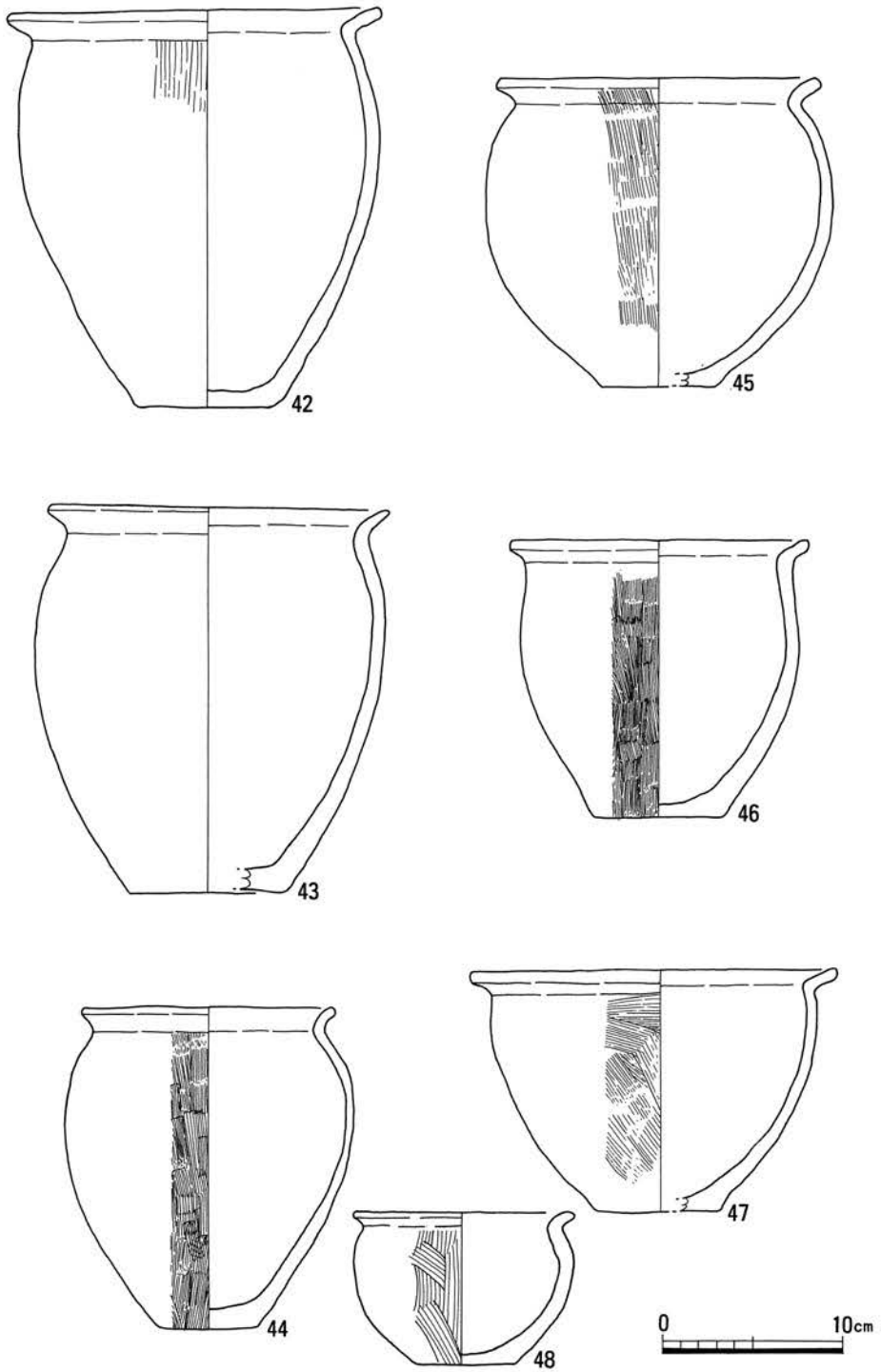


Fig. 99 SK003出土遺物実測図② (1/4)

3. 調査の記録 (2区)

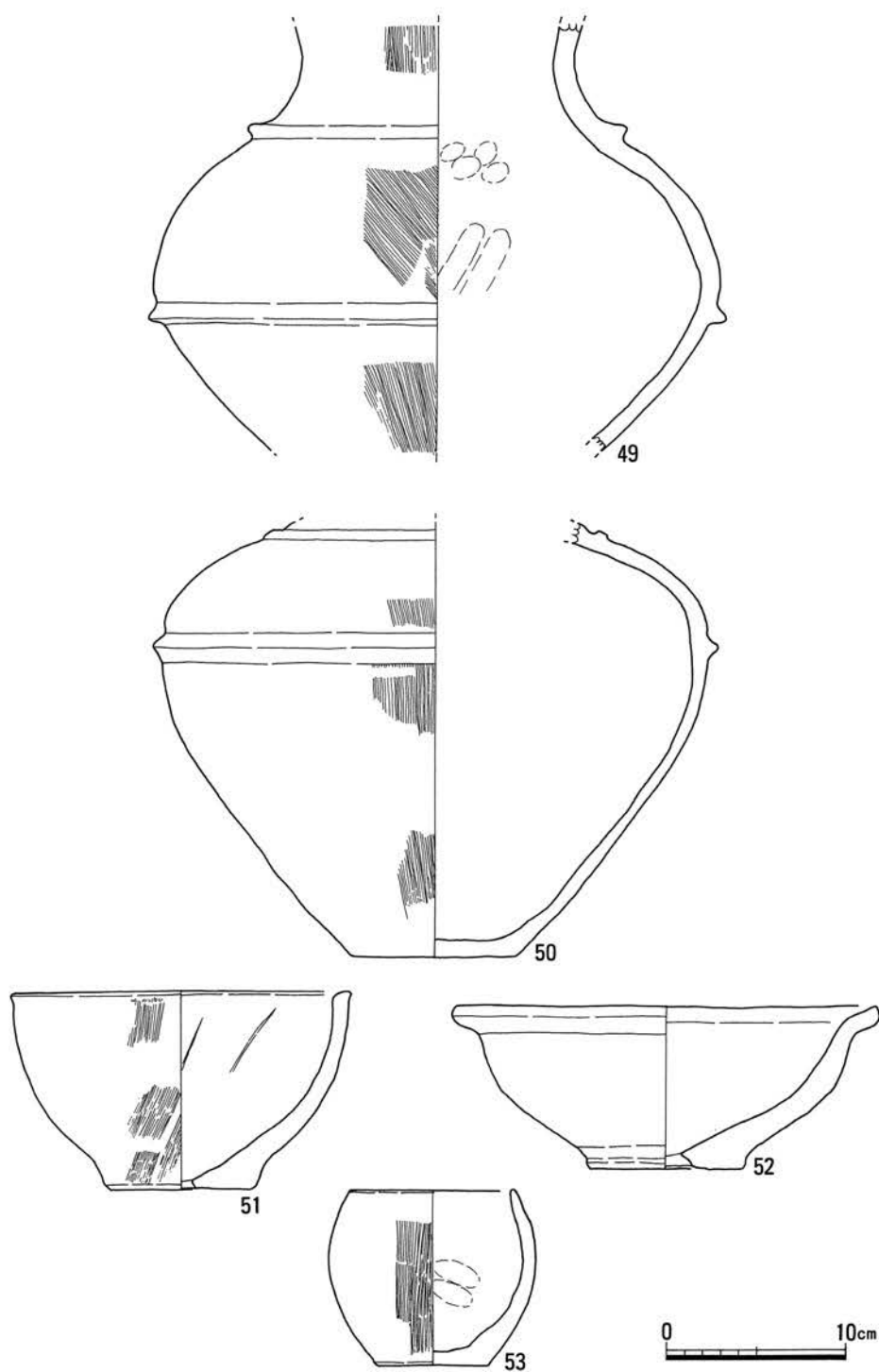


Fig. 100 SK003出土遺物実測図③ (1/4)

IV. 琵琶原遺跡

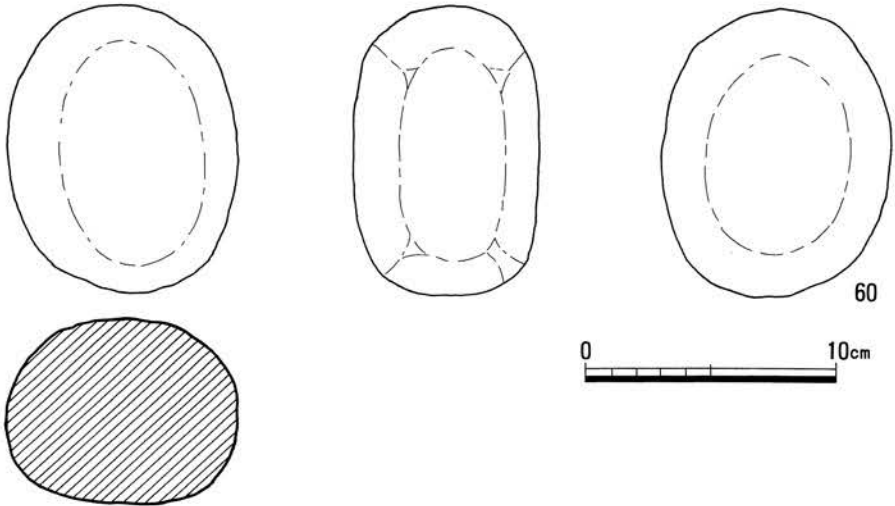
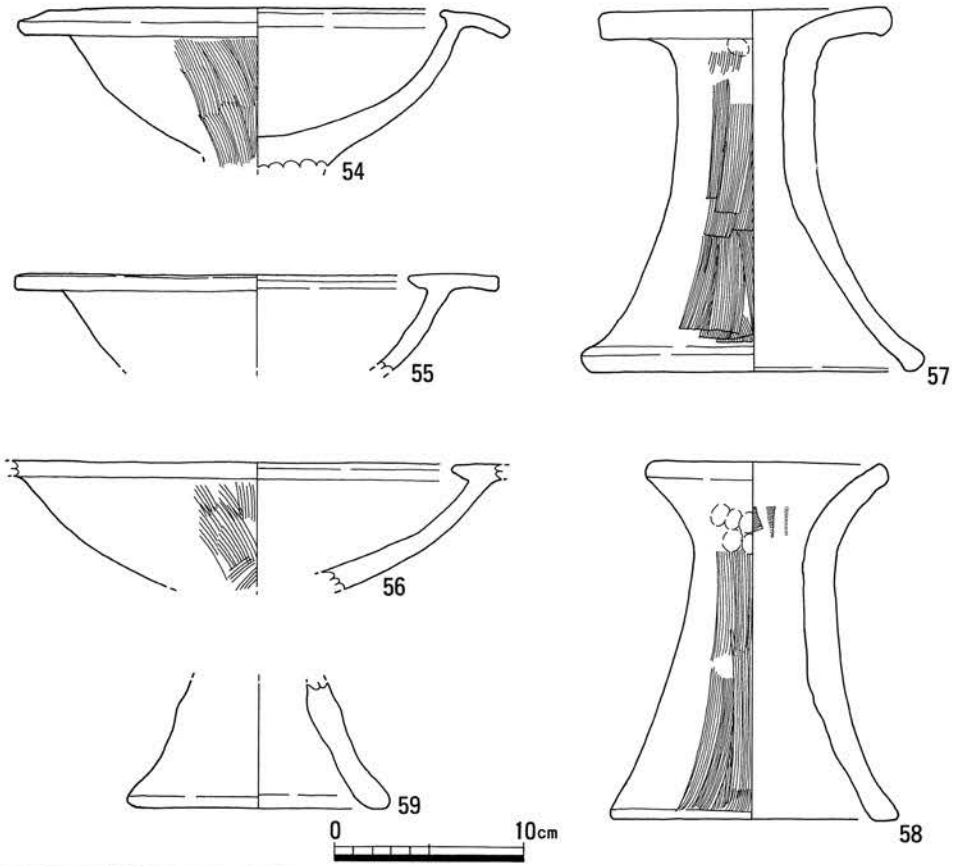


Fig. 101 SK003出土遺物実測図④ (1/4)

### 3. 調査の記録 (2区)

4cm。肩部と胴部上位に各1条の断面三角形の貼付け突帯を有する。器面調整は外面に突帯部のみ横ナデ調整の他はハケ目調整、内面全体にナデ調整が行なわれている。外面胴部下位に煤の付着が認められる。明褐色を呈する。

鉢(51・52・53) 51は復元口径18.4cm、底径7.7cm、器高11cm。底部に穿孔を有する。器面調整は外面にハケ目調整後にナデ調整、内面にナデ調整が行なわれている。外面全体に煤の付着が認められる。淡灰褐色を呈する。52は復元口径23.2cm、底径8.4cm、器高9cm。底部に穿孔を有する。器面調整は口縁部に横ナデ調整、体部内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。53は口径9cm、底径6cm、器高9.9cm。器面調整は外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。内面に指頭圧痕を有する。淡褐色を呈する。

高坏(54・55・56) いずれも坏部のみを検出である。54は口径18.6cm、残存器高8.2cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面は全体にナデ調整で、一部にハケ目調整が行なわれている。褐色を呈する。55は復元口径25.2cm、残存器高5cm。器面調整は全体に横ナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。56は残存器高6.6cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

器台(57・58・59) 57は受部径14.7cm、裾部径16.8cm、器高18.8cm。器面調整は受部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。58は受部径11.9cm、裾部径14.8cm、器高18.8cm。器面調整は受部に横ナデ調整、外面にハケ目調整、内面にナデ調整が行なわれている。外面受け部下位と内面下位に指頭圧痕を有する。褐色を呈する。59は復元裾部径13cm、残存器高6.6cm。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

石製品(60) 磨石。砂岩質製。最大長11.2cm、最大幅7.1cm、最大厚7.1cm。

#### (2) 近世の遺構と出土遺物

##### a) 溝と出土遺物

##### S D O O 4 (Fig. 89)

BC-17~BH-19グリットにかけて検出した。大半が調査区外に展開する。検出面の標高は13.7~13.8m。検出した部分の最大幅1.7m、深さ0.4mを測る。断面形は基本的に逆台形状を呈しているが、壁面及び底面は起伏が激しい。埋土は灰褐色を基調としており、自然堆積による埋没と思われる。埋土中から磁器、陶器等の遺物を検出した。

##### S D O O 4 出土遺物 (Fig. 102・103)

鉢(61~67) いずれも瓦質の鉢である。61は復元口径34.8cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、外面にナデ調整、内面に横方向のハケ目調整が行なわれている内面に煤が付着している。灰色を呈する。62は復元口径48.8cm、残存器高6.8cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面上位にナデ調整、下位に横方向のハケ目調整、体部内面に横方向のハケ目調整が行な

#### IV. 琵琶原遺跡

われている。外面に煤が付着している。灰褐色を呈する。63は復元口径34.4cm、残存器高5.5cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にナデ調整、内面に横方向のハケ目調整が行なわれている。灰色を呈する。64は復元口径22cm、残存器高4.7cm。器面調整は口縁端部から外面にハケ目調整後にナデ調整、内面に横方向にハケ目調整が行なわれている。65は復元口径39.6cm、残存器高6.8cm。器面調整は口縁端部から体部外面にかけてハケ目調整後にナデ調整、内面に横方向にハケ目調整が行なわれている。灰色を呈する。66復元口径26cm、残存器高7.2cm。器面調整は口縁端部から体部外面にかけてハケ目調整後にナデ調整、内面に横方向にハケ目調整が行なわれている。灰色を呈する。67は復元底径23cm、残存器高7.7cm。器面調整は外面に斜め方向にハケ目調整、内面に横及び斜め方向にハケ目調整が行なわれている。灰色を呈する。

播鉢(68~70) 68は瓦質の播鉢。復元口径27cm、残存器高8.5cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部外面にナデ調整、内面にハケ目調整後に6本単位の播目を施している。灰色を呈する。69・70は陶器の播鉢。69は復元口径28.7cm。内外面にハケ目調整が行なわれており、内面に播目が施されている。暗灰色を呈する。70は復元口径25.6cm。内外面に暗赤褐色の釉が施してあり、内面に播目が施してある。

陶器鉢(71) 復元口径22.8cm。内外面に施釉されている。釉色は暗緑黄灰色を呈する。

磁器染付皿(72~74) 72は口径10cm、高台径5.7cm器高2.7cm。全面に施釉されている。内面には濃紺色の釉で風景画が施してある。釉色は淡灰白色を呈する。73は復元高台径8.8cm。全面に施釉されている。濃紺色の釉で内外面に草花文(?)が描かれている。釉色は明灰白色を呈する。74は復元高台径6.9cm。全面に施釉されている。内面に暗緑灰色の釉で文様が描かれている。釉色は淡灰白色を呈する。

青磁皿(75・76) 75は復元高台径6cm。全面に施釉されており、釉色は淡緑灰色を呈する。76は復元口径14cm、同高台径5.9cm、同器高3.6cm。全面に施釉されている。釉色は淡青灰白色を呈する。

陶器碗(77~80・86) 77は復元高台径4.9cm。全面に淡灰白色の釉が施されている。内面見込みに目跡を残す。78は復元高台径3.6cm。全面に淡黄緑色の釉が施されている。内面見込みに目跡を残す。79は復元高台径4.5cm。全面に暗緑黄色の釉が施されている。高台部内面に目跡を残す。80は復元高台径4.4cm。全面に黄灰色の釉が施されているが高台部のみ剥ぎ取られている。内面には緑灰色の釉で風景画と思われる文様が描かれており、高台部内面には「小松吉」の文字が刻みこまれている。86は復元高台径5.8cm、残存器高3.6cm。内外面に淡黄灰色の釉が施されている。

磁器碗(81~85・87) 81は復元高台径4.8cm、残存器高3.5cm。全面に淡灰白色の釉が施されている。高台部内面に銘を有する。82は復元高台径33cm、残存器高2.7cm全面に淡灰白色の釉が

3. 調査の記録 (2区)

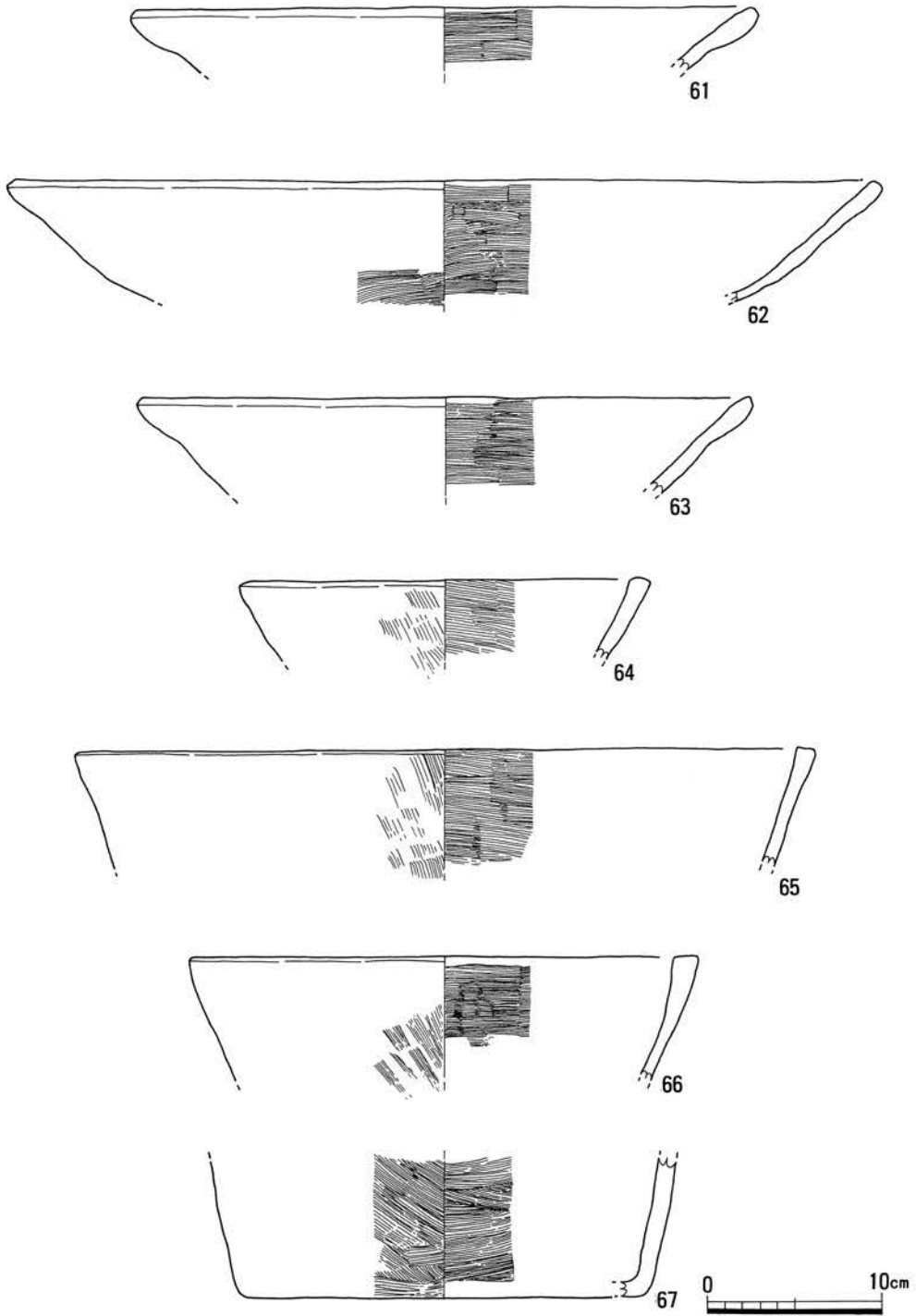


Fig. 102 SD004出土遺物実測図① (1/4)

IV. 琵琶原遺跡

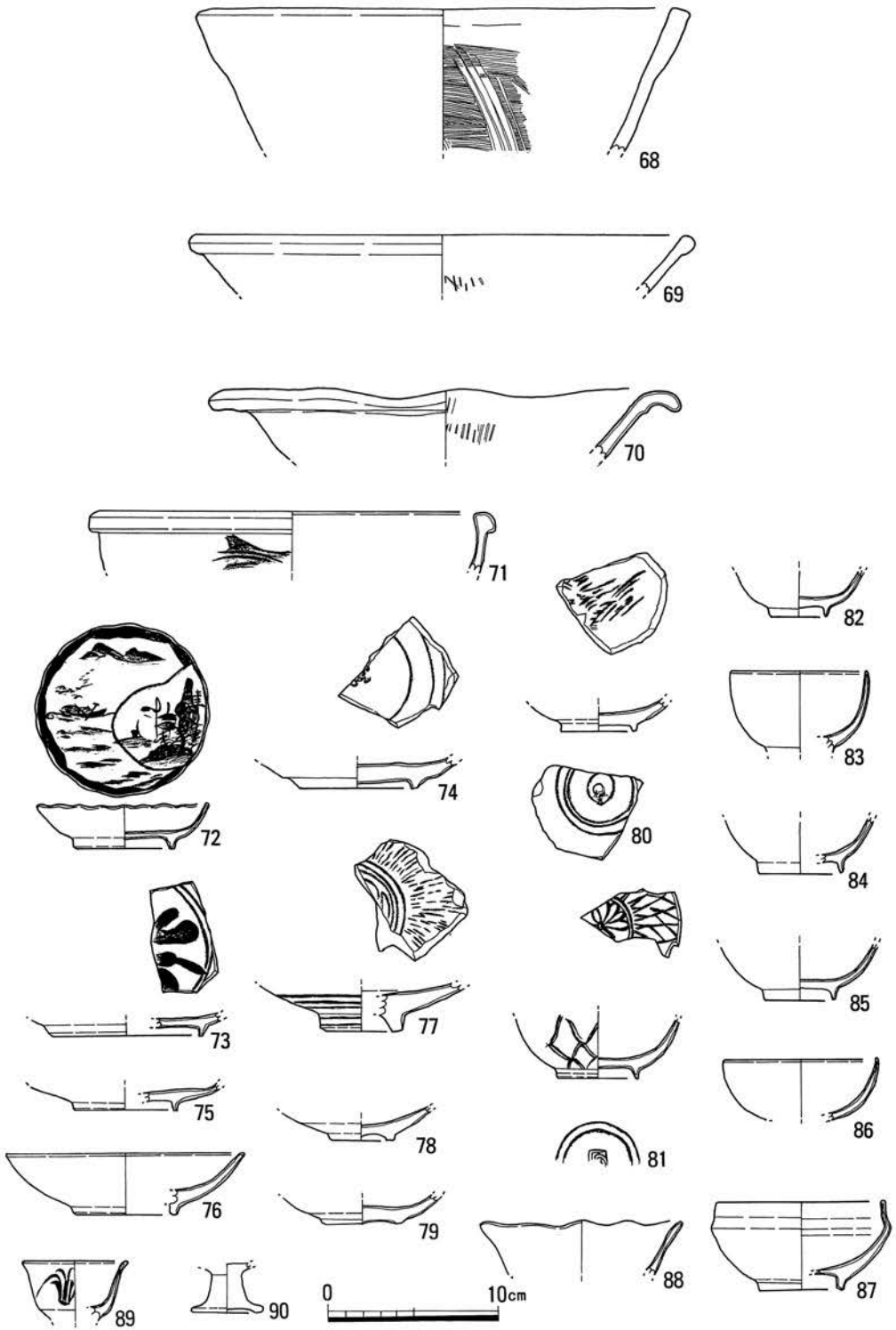


Fig. 103 SDO04出土遺物実測図② (1/4)

### 3. 調査の記録 (2区)

施されており、外面には淡青灰色の釉で文様が施されている。83・84・85は白磁碗。83は復元口径8cm、残存器高4.8cm。内外面に灰白色の釉が施されている。84は復元高台径5cm、残存器高3.2cm。内外面に白灰色の釉が施されている。高台部内面に目跡を残す。85は復元高台径4.2cm、残存器高3.2cm。全面に白灰色の釉が施されている。87は復元口径9.5cm、同高台径4.8cm、同器高5.2cm。内外面に淡緑黄色の釉が施されており高台部のみ釉が剥ぎ取られている。

陶器小鉢(88) 復元口径11.7cm、残存器高3.2cm。内外面に暗灰色の釉が施されている。

磁器染付小坏(89) 復元口径6.2cm、残存器高3.4cm。内外面に白灰色の釉が施されている。

磁器(90) 仏飯器か?。残存器高2.9cmを測る。

#### (3) 谷地形部の層序とその他の出土遺物

##### a) 谷地形部の層序 (Fig. 104)

調査区のほぼA I-5グリットとAX-16グリットを結ぶラインより南東側には暗褐色土の堆積層が広がっており、その部分からの遺構は検出しなかった。そのため数箇所にサブトレンチを設定し掘削を行なった結果、谷地形部分と考えられる地形の急激な落ち込みが認められた。

堆積土は基本的に1層が砂混じりの暗褐色土の遺物包含層であり、2層以下はさまざまな粒子の砂層が複雑に堆積しており、遺物は上層部分に細片を若干包含している。地山は黄褐色粘質土が低くなるにつれて色調が淡くなり、砂質が強くなっている。

1層の遺物包含層からは、縄文土器片を比較的多く検出した。

##### b) その他の出土遺物

##### 縄文土器 (Fig. 105~107)

刻目突帯文土器である。小片を比較的多く検出したが当該期の遺構は検出しておらず、いずれも流れ込みによる他時期の遺構及び包含層からの検出である。

甕(91~131) 91~94はSD005からの検出。91は口縁部に突帯を貼りつけ明瞭な刻目を施している。内面にナデ調整、外面には条痕が施してある。淡褐色を呈する。92は胴屈曲部に断面三角形の突帯を貼付け、刻目を施している。口縁部は貼付けを行わず、小さく摘み出し刻目を施しているようである。内外面にナデ調整が施されている。暗赤褐色を呈する。93は口縁部と胴屈曲部に三角形の突帯を貼付け明瞭な刻目を施している。内面にナデ調整、外面に条痕が施されている。淡褐色を呈する。94は胴屈曲部の突帯が剥離している。口縁部の貼付け突帯には明瞭な刻目が施してあり、突帯直下にも刻目が施してある。器面は外面屈曲部上位にナデ調整、屈曲部下位に条痕、内面にナデ調整が施されている。屈曲部上位、内外面に指頭圧痕を有する。暗褐色を呈する。95~108はBサブトレンチからの検出。95は口縁部と胴屈曲部に突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整である。淡褐色を呈する。96は口縁部に突帯を貼付け、比較的大きく明瞭な刻目を施している。暗褐色を呈する。97は胴屈曲部には貼付け、口縁部には小さく摘み出す突帯を有し、明瞭な刻目を施している。器面調整は

#### IV. 琵琶原遺跡

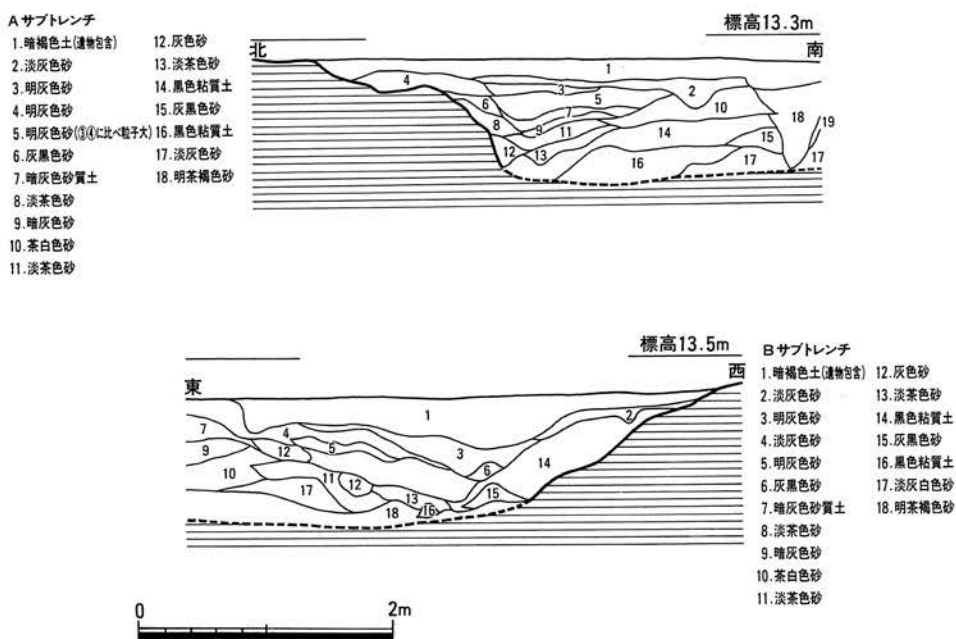


Fig. 104 谷地形部土層断面図 (1/60)

内外面意ナデ調整である。淡褐色を呈する。98は口縁部に三角形の突帯を貼付け明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整である。褐色を呈する。99は口縁部に三角形の突帯を貼付け明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整である。褐色を呈する。100は口縁部に突帯を貼付け、明瞭な刻目をやや斜め方向に施している。器面調整は内外面にナデ調整である。明褐色を呈する。101は口縁部に突帯を貼付け明瞭な刻目を施している。器面調整は内面にナデ調整、外面にナデ調整後に条痕が施されている。褐色を呈する。102は口縁部に三角形の突帯を貼付け明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整である。褐色を呈する。103は口縁部に突帯を貼付けず、直接刻目を施している。内外面にナデ調整を施しており褐色を呈する。104は胴部屈曲を有しない甕である。口縁部に三角形の突帯を貼付け明瞭な刻目を施している。内外面にナデ調整後外面全体に条痕を施している。明褐色を呈する。105は胴屈曲部の突帯であり、明瞭な刻目が施してある。内外面ナデ調整で淡褐色を呈する。106は胴屈曲部の突帯であり、明瞭な刻目が施してある。内外面にナデ調整が施されており、内面に指頭圧痕を有する。淡褐色を呈する。107・108は底部である。107は復元底径8.8cm。器面調整は内外面にナデ調整が施されている。褐色を呈する。108は復元底径9.4cm。器面調整は外面にナデ調整である。内面は剥離しているため不明瞭である。淡褐色を呈する。109~131はC包含層からの検出である。109は底部。復元底径7.6cm。器面調整は内外面にナデ調整。明褐色を呈する。110は口縁部に突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面にナデ

3. 調査の記録 (2区)

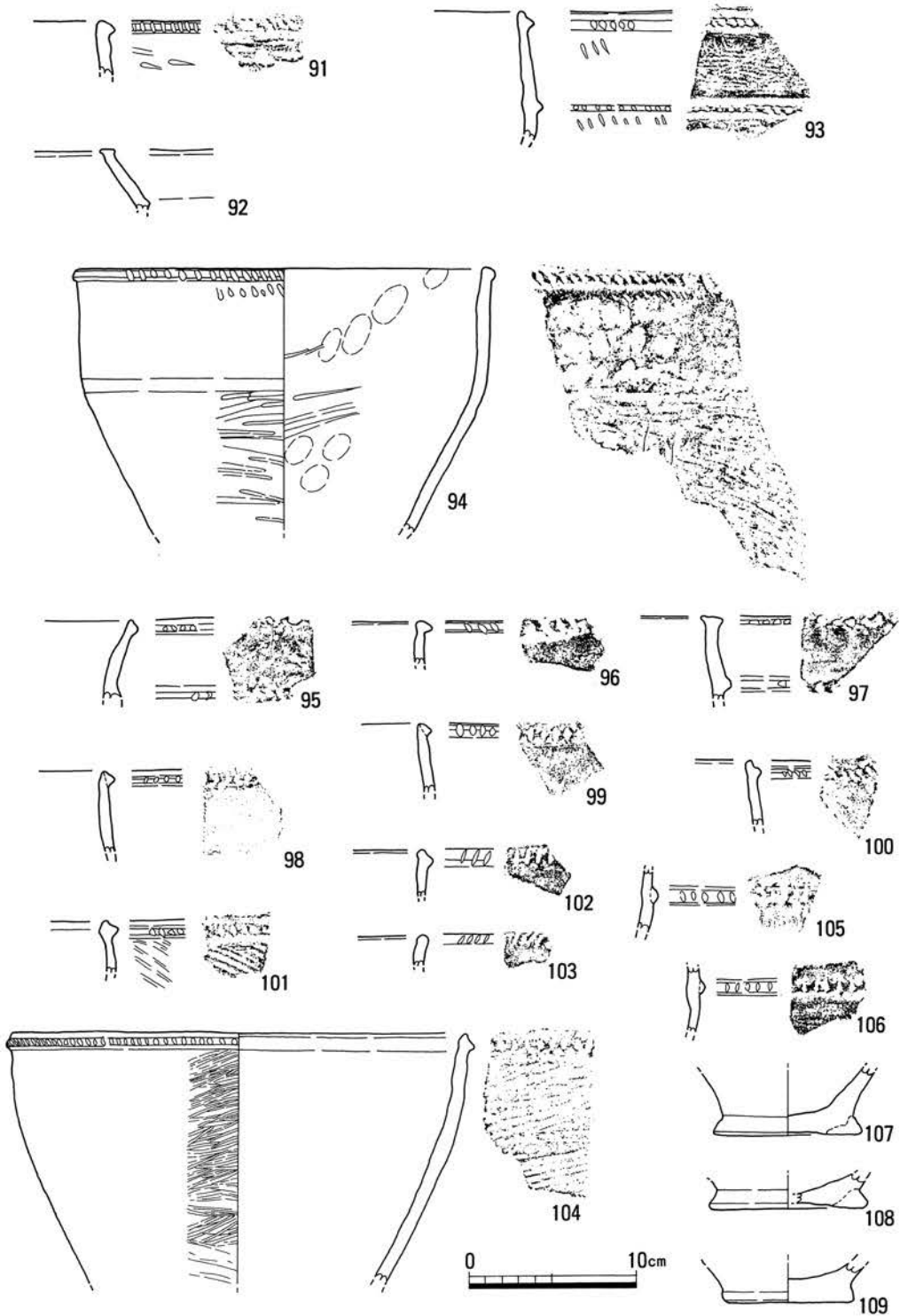


Fig. 105 その他の出土遺物実測図① (1/4)

IV. 琵琶原遺跡

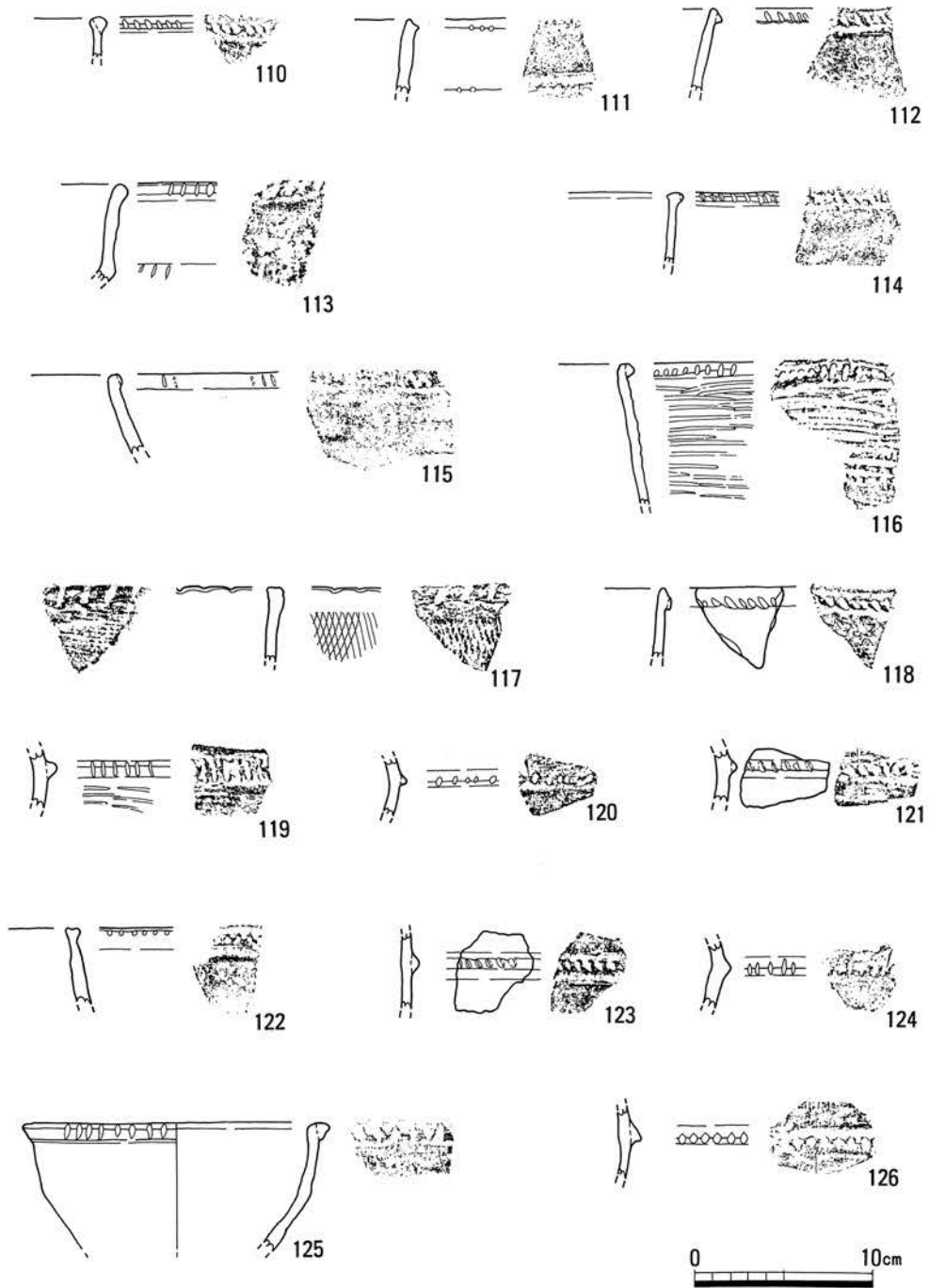


Fig. 106 その他の出土遺物実測図② (1/4)

### 3. 調査の記録 (2区)

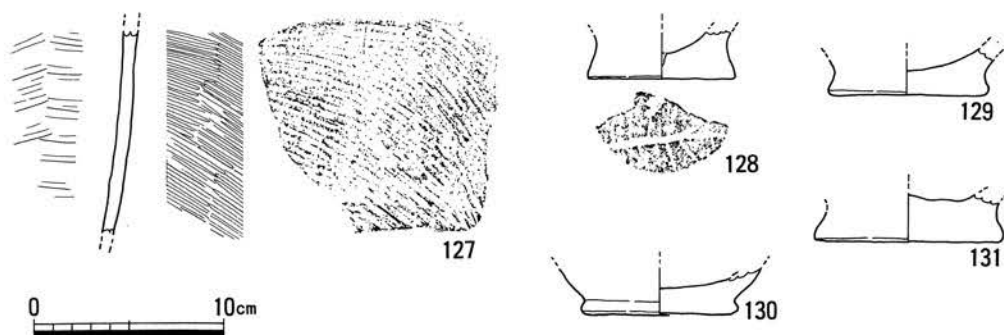


Fig. 107 その他の出土遺物実測図③ (1/4)

調整であり、褐色を呈する。111は口縁部と胴屈曲部に比較的小さい三角突帯を貼り付け刻目を施してあり、口縁部突帯直下に1条の沈線が認められる。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。褐色を呈する。112は口縁部に突帯を貼付け、明瞭な刻目をやや斜め方向に施している。内外面にナデ調整が行なわれている。暗褐色を呈する。113は胴屈曲部を有する甕である。やや如意形口縁と胴屈曲部に明瞭な刻目を施している。器面調整は磨耗のため不明瞭である。明褐色を呈する。114は口縁部の貼り付け突帯に明瞭な刻目をやや斜め方向に施している。内外面にナデ調整。褐色を呈する。115は口縁部に突帯を貼付け刻目を施している。内外面にナデ調整。淡褐色を呈する。116は口縁部に比較的大きめの突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面調整は内面にナデ調整、外面にナデ調整後に条痕が施されている。暗褐色を呈する。117は口縁端部上面に明瞭な刻目を施している。器面の内外面には条痕が施されており明褐色を呈する。118は口縁端部からやや下位に突帯を貼付け、明瞭な刻目を施しており、突帯直下にも刻目が認められる。器面は内面にナデ調整、外面にナデ調整後に条痕が施されている。外面赤褐色、内面淡褐色を呈する。119は胴屈曲部に比較的大きめの突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面は内面にナデ調整、外面にナデ調整後に条痕を施している。褐色を呈する。120は胴屈曲部に突帯を貼付け、刻目を施している。明褐色を呈する。121は胴屈曲部に突帯を貼付け、明瞭な刻目をやや斜め方向に施している。内面にナデ調整、外面にナデ調整後条痕を施している。外面赤褐色、内面淡褐色を呈する。122は口縁部を小さく摘み出し、細かい刻目を施している。器面は内外面にナデ調整である。暗褐色である。123は胴屈曲部に突帯を貼付け、明瞭な刻目をやや斜め方向に施している。器面調整は内面にナデ調整、外面にナデ調整後に条痕が施されている。褐色を呈する。124は胴屈曲部の貼付け突帯に刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整である。淡褐色を呈する。125は口縁部に比較的大きい突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。明褐色を呈する。126は胴屈曲部に突帯を貼付け、明瞭な刻目を施している。器面は内外面にナデ調整が行なわれており、褐色を呈する。127は胴部の一部である。器面調整は内面にナデ調

IV. 琵琶原遺跡

整、外面にナデ調整後に条痕が施されている。淡褐色を呈する。128~131は底部である。128は復元底径7.6cm。内外面にナデ調整が行なわれており、外底部に木葉痕を残す。淡褐色を呈する。129は底径8.3cm。内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。130は底径7.8cm。器面調整は内底部にナデ調整、外面は磨耗のために不明瞭である。外底部に黒斑を有する。淡褐色を呈する。131は底径9.9cm。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

石器 (Fig. 108・109)

石鏃 (132~140) 132・133・134はAサブトレンチで検出した。132は黒曜石製。全長2.8cm、最大幅1.8cm、最大厚0.3cm。やや粗い調整を行なっており、片面には剥離面を残している。133はサヌカイト製。全長2.9cm最大幅2.2cm、最大厚0.6cm。粗い調整で下半部に脹らみをもつ。

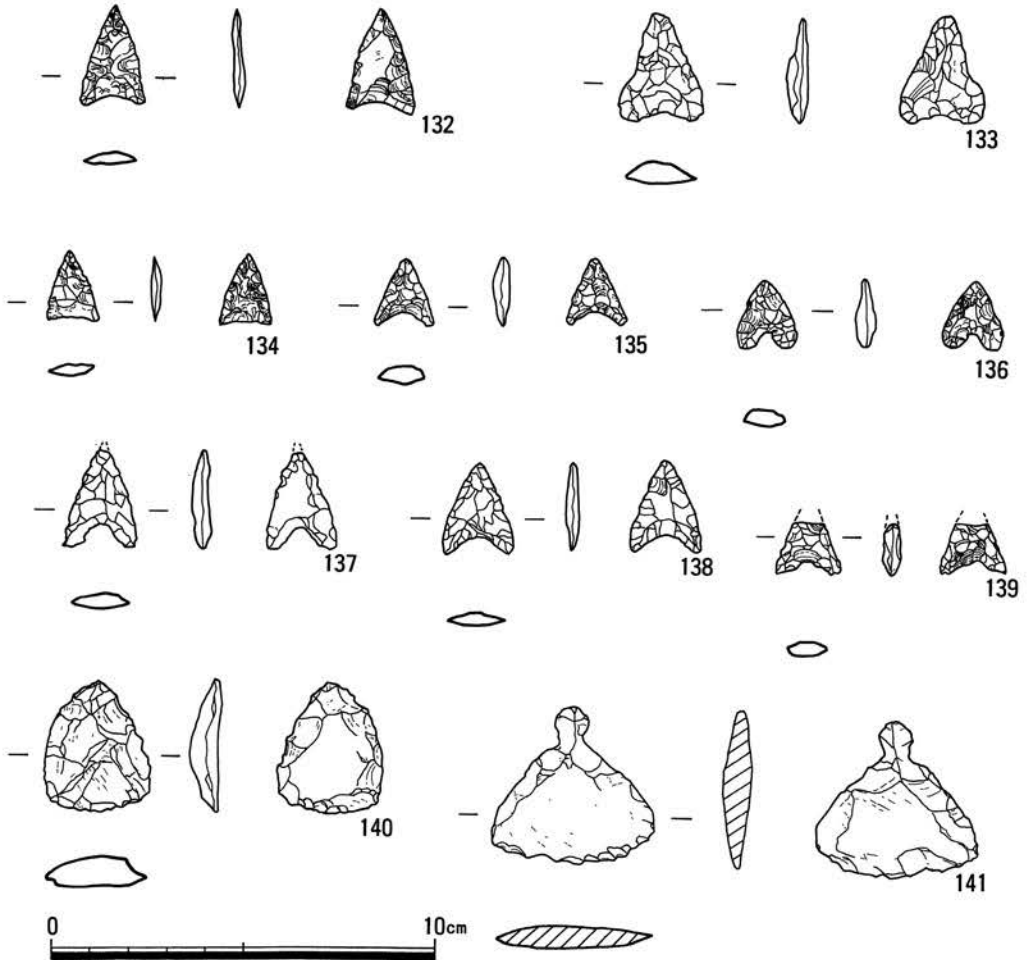


Fig. 108 その他の出土遺物実測図④ (1/2)

### 3. 調査の記録 (2区)

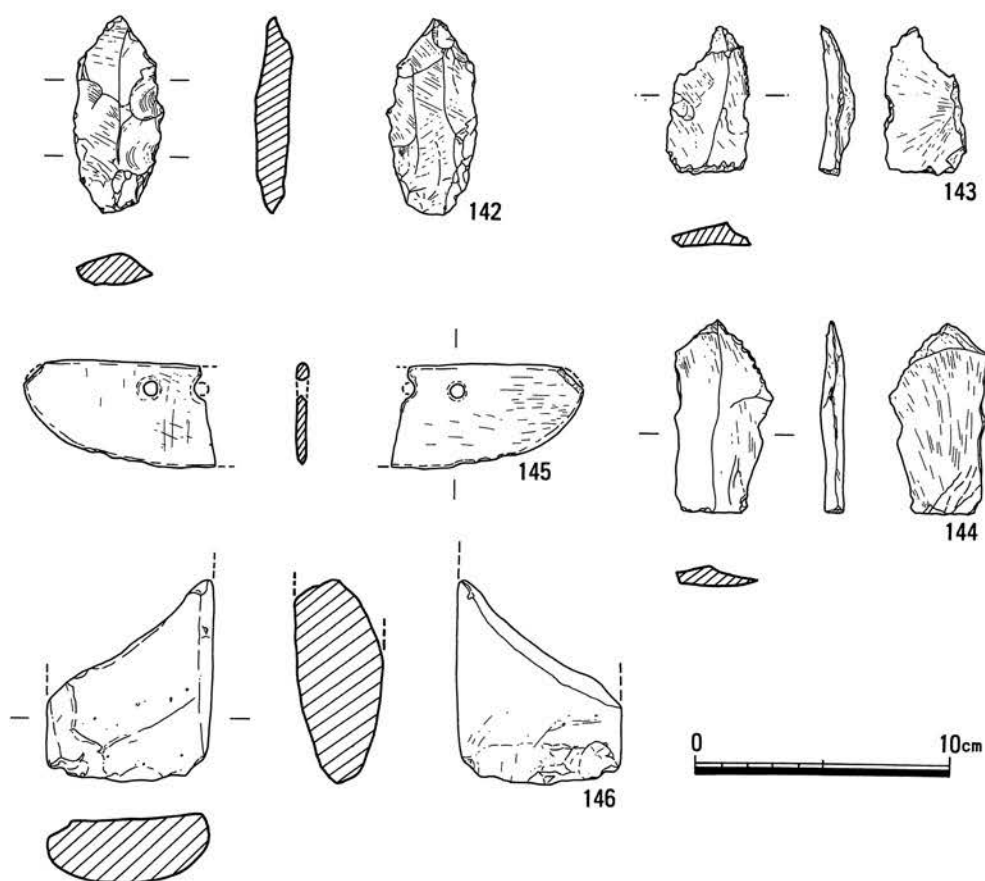


Fig. 109 その他の出土遺物実測図⑤ (1/2)

134は黒曜石製。全長1.9cm、最大幅1.4cm、最大厚0.3cm。比較的丁寧な調整が施されている。  
 135・136・140はAX-15グリットで検出した。135は黒曜石製。全長1.8cm、最大幅1.4cm、最大厚0.5cm。やや粗目の調整が施されている。136は黒曜石製。全長1.8cm、最大幅1.5cm、最大厚0.5cm。比較的丁寧な調整が施されている。脚部は丸みをもち、やや深め凹基をなしている。  
 140は乳灰色を呈する黒曜石(姫島産か?)。最大長3.5cm、最大幅2.8cm、最大厚0.8cm。粗い調整である。  
 137はSK002から検出した。サヌカイト製。最大長2.6cm、最大幅1.4cm、最大厚0.4cm。粗い調整で片面に剥離面を残す。やや深めの凹基をなしている。  
 138・139はC地点表採。サヌカイト製。全長2.4cm、最大幅1.4cm、最大厚0.4cm。比較的丁寧な調整が施されている。  
 139は黒曜石製。先端部を欠損している。残存長1.4cm、最大幅1.5cm、最大厚0.4cm。比較的丁寧な調整が施されている。

石匙(141) C地点表採。サヌカイト製、横型の石匙である。全長4.2cm、最大幅4.2cm、最大厚0.6cm。片面の側縁に押圧剥離調整が行なわれている。

石槍(142) AN-8グリットで検出した。サヌカイト製。全長7.7cm、最大幅3.5cm、最大厚

#### IV. 琵琶原遺跡

1.2cm。両縁辺部に粗い調整が施してあり。片面に自然面を残す。

スクレイパー(143・144) Aサブトレンチから検出した。143は全長5.9cm、最大幅3.2cm、最大厚0.9cm。144は全長7.6cm、最大幅3.6cm、最大厚0.8cm。どちらも片面の片側縁に押圧剥離調整が行なわれている。

石包丁(145) AO-11グリットで検出した。粘板岩製。残存長6.6cm、最大幅4cm、最大厚0.5cm。2孔の穿孔を有する。

石斧(146) B地点表採。砂岩製。残存長7.9cm、最大幅6.4cm、最大厚2.5cm。

#### 4. 調査の記録 (3区)

##### 4. 調査の記録 - 3区-

調査区は埋没した谷地形上にあり、遺構は検出しなかった。そのため調査区内の数箇所サブトレンチを設定し土層図の作成と遺物の採取を行なった。

##### (1) 谷地形部の層序と出土遺物

##### a) 谷地形部の層序 (Fig. 111)

3箇所サブトレンチを設定した。層序は基本的に厚さ20~50cmの耕作土、厚さ5~10cmの黄褐色土の床土の下に土器細片を多く含んだ厚さ10~30cmを測る褐色~暗褐色砂質土の遺物包含層が堆積している。遺物包含層以下110~130cmは砂・砂質土が複雑な堆積を示しており遺物も細片を若干含んでいる。砂層以下は漆黒色の強い粘性土になり、この層でNo.1サブトレンチからは弥生土器の甕を完形に近い状態で検出した。

##### b) 包含層出土遺物 (Fig. 112・113・114)

##### 弥生土器

甕(1~6) 1はNo.1サブトレンチ26層からの検出。口径23cm、底径8.3cm、器高38.2cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、口縁部から胴部外面中位にかけて縦方向のハケメ調整、下位にナデ調整、内面に斜め方向のハケメ調整、内底部にナデ調整が施されている。胴部外面下位には煤の付着が認められる。淡褐色を呈する。2はNo.1サブトレンチ26層からの検出。口径24cm、復元底径8cm、器高38cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面中位にまで縦及び斜め方向にハケメ調整、内面は中位まで不定方向のハケメ調整、下位にナデ調整が行なわれている。胴部外面中位に煤の付着が認められる。外面褐色、内面淡褐

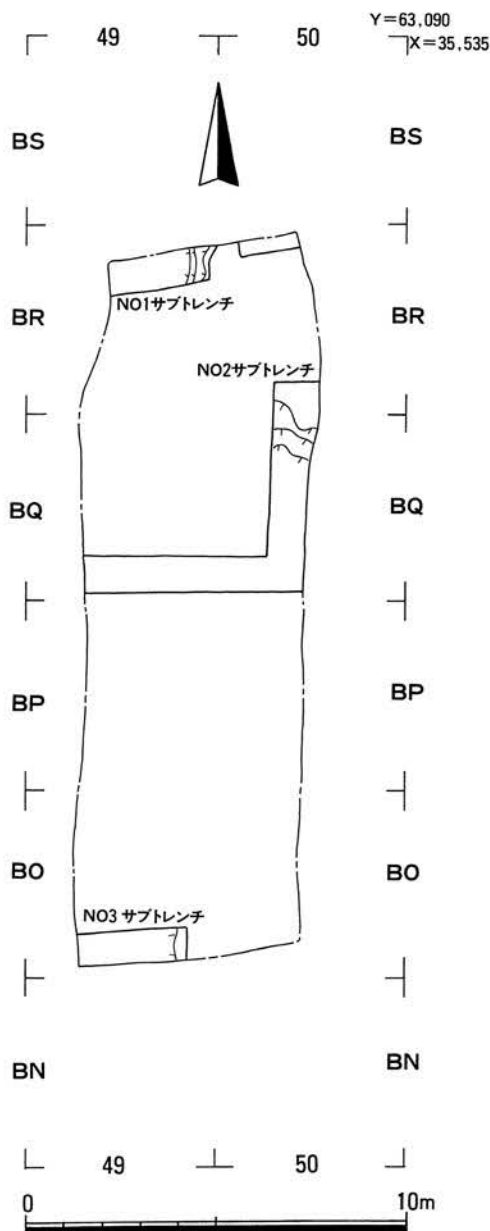


Fig. 110 琵琶原遺跡3区遺構配置図 (1/200)

IV. 琵琶原遺跡

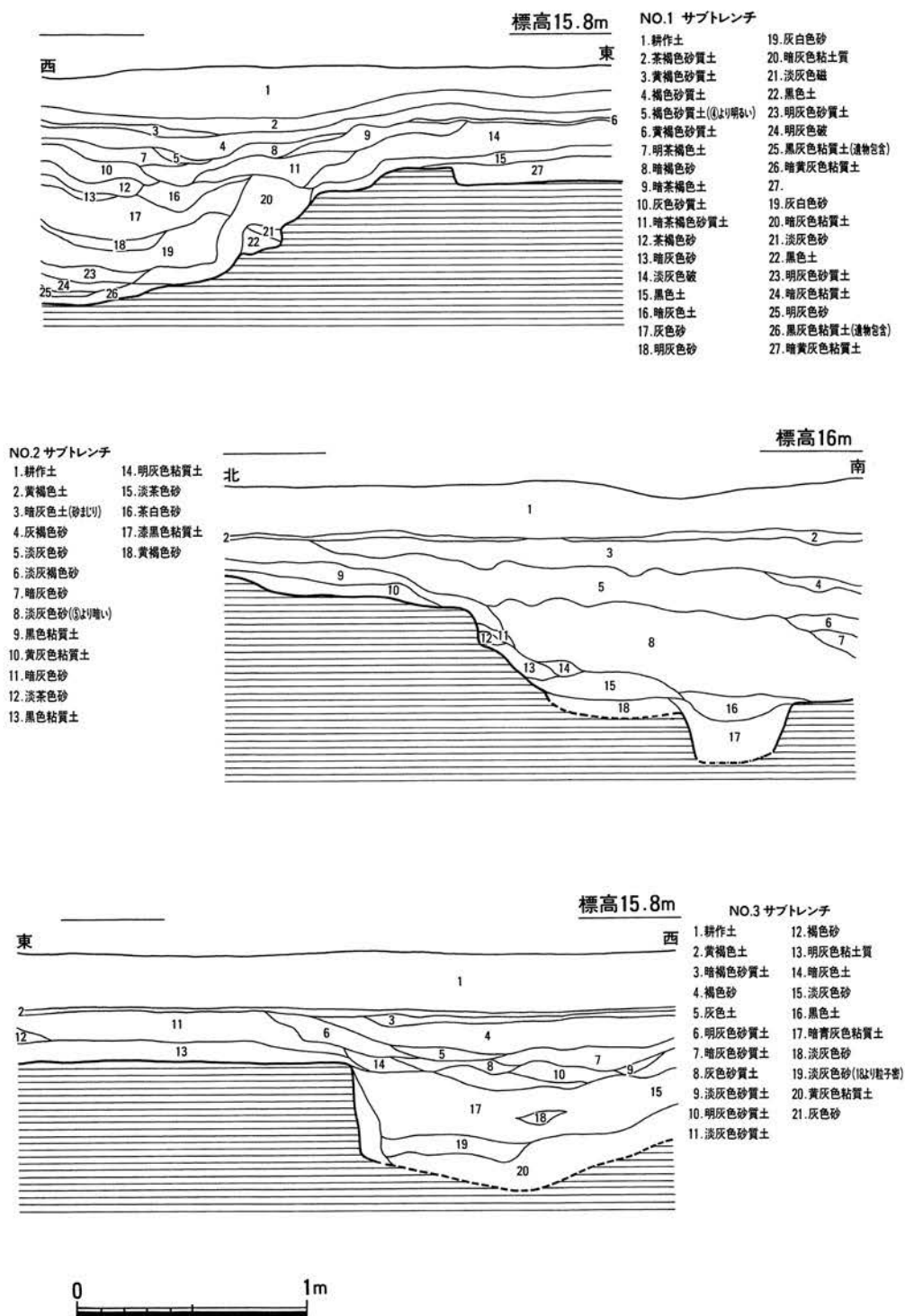


Fig. 111 No. 1・No. 2・No. 3サブトレンチ土層断面実測図 (1/60)

#### 4. 調査の記録 (3区)

色を呈する。3は口径25.3cm、器高42.6cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、胴部外面上位から中位にかけてタタキ調整、下位にナデ調整。胴部内面は全体に不定方向のハケメ調整が施されている。胴部外面全体に黒斑を有する。淡褐色を呈する。4は口径25.8cm、器高38.3cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、口縁部外面に縦方向のハケメ調整、胴部外面上位から中位にかけてタタキ調整、下位にナデ調整。内面は口縁部から胴部中位にかけて縦及び斜め方向のハケメ調整、下位にナデ調整が施してある。胴部外面中位に黒斑を有する。褐色を呈する。5は復元口径27.4cm。胴部外面上位に断面三角形の突帯を2条貼付けており、口縁端部及び突帯端部に刻目を施している。器面調整は口縁部及び胴部内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。6は復元口径28.2cm。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

鉢(7・22・24) 7は復元口径24.3cm、残存器高8cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、内外面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。22は復元口径15cm、器高8.8cm。底部に穿孔を有する。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、体部内外面上位にハケメ調整、内外面下位にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。24復元口径9cm、器高4.8cm。器面調整は体部外面上位にタタキ調整後にナデ調整、下位にナデ調整、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

壺(8~11) 8はNo.2サブトレンチから検出。袋状口縁壺。復元口径14.4cm、残存器高6.5cm。頸部上位に1条の突帯を有する。器面調整は口縁部に横ナデ調整及びハケメ調整、内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。9は復元口径19cm、残存器高7.1cm。口縁端部に刻目を施している。器面調整は外面にハケメ調整、内面にハケメ調整後にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。10はNo.1サブトレンチから検出。残存器高10.4cm。肩部に1条の突帯を有する。器面調整は頸部に縦方向のハケメ調整、胴部に横方向のハケメ調整、内面に横方向のハケメ調整が行なわれている。内面に指頭圧痕を有する。外面褐色、内面淡褐色を呈する。11はNo.1サブトレンチから検出。復元口径12.8cm、底径4cm、器高11.4cm。器面調整は口縁部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にナデ調整が行なわれている。外面下位に黒斑を有する。淡褐色を呈する。

器台(12・13) 12・13は同一個体と思われる。脚部中位に1条の貼付け突帯を有し、突帯の上位と下位に透かしを有する。器面調整は外面にハケメ調整、内面にハケメ調整後にナデ調整が行なわれている。淡黄褐色を有する。

支脚(14) 受部径6.5cm。裾部径12.7cm、器高9.3cm。受部に摘み部を1箇所設けている。器面調整は外面にタタキ調整。内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

IV. 琵琶原遺跡

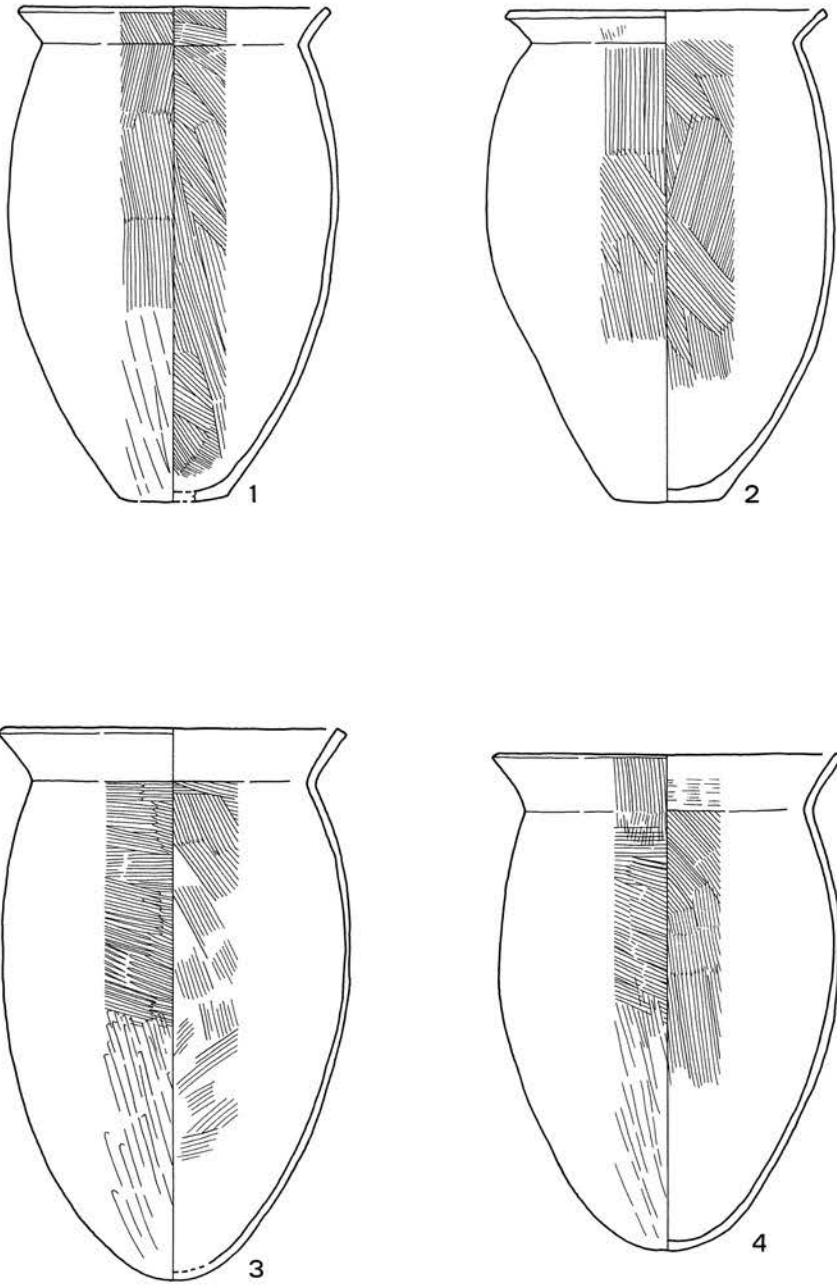


Fig. 1 1 2 包含層出土遺物実測図① (1/6)

4. 調査の記録 (3区)

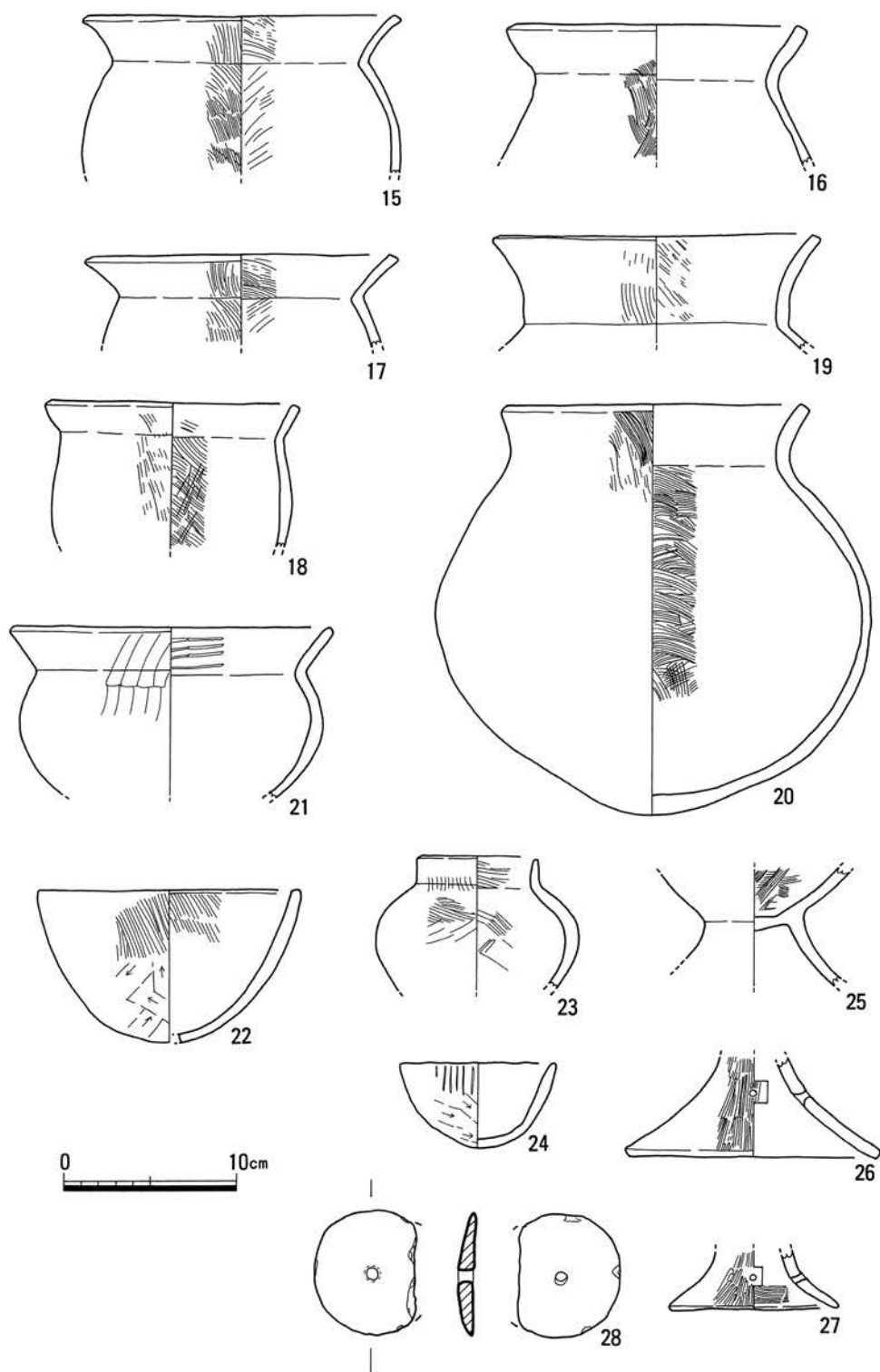


Fig. 1 1 3 包含層出土遺物実測図② (1/4)

IV. 琵琶原遺跡

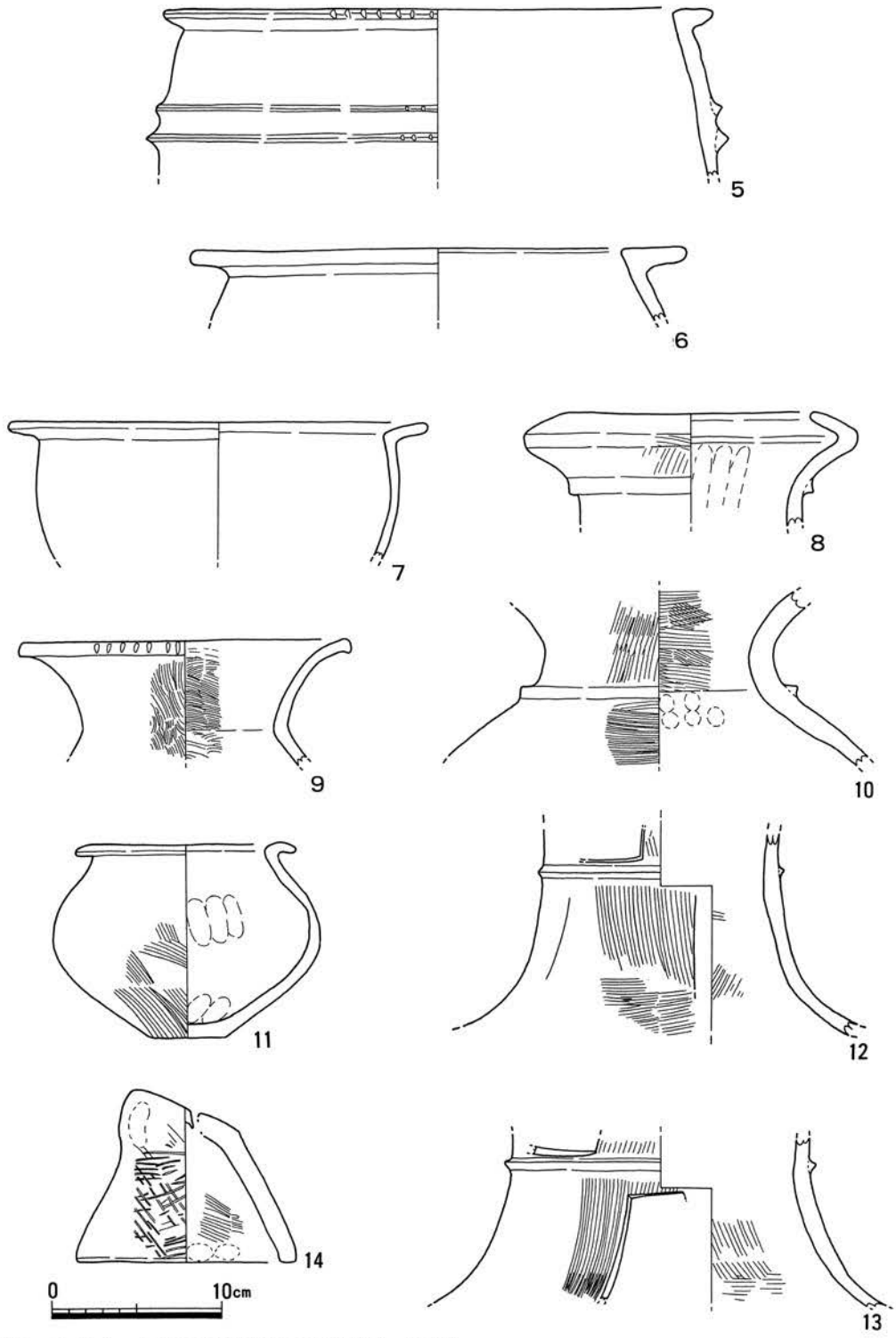


Fig. 114 包含層出土遺物実測図③ (1/4)

#### 4. 調査の記録 (3区)

##### 土師器

甕(15~18) 15は復元口径17.6cm、残存器高9.1cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、外面にハケメ調整、内面にナデ調整が行なわれている。褐色を呈する。16は復元口径16cm、残存器高7.9cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、内外面にハケメ調整が行なわれている。褐色を呈する。17は復元口径17cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整内外面にハケメ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。18は復元口径13.8cm、残存器高8.4cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、口縁部内面及び外面にハケメ調整後にナデ調整、内面にハケメ調整が行なわれている。淡赤褐色を呈する。

壺(19・20) 19は復元口径18cm、残存器高6.4cm。器面調整は口縁端部に横ナデ調整、外面にハケメ調整後にナデ調整、内面にハケメ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。20は口径16.8cm、器高23.9cm。器面調整は外面口縁部から胴部上位に掛けてハケメ調整後にナデ調整、胴部中位から下位にかけてナデ調整。内面は口縁部に横ナデ調整、胴部にハケメ調整、底面にナデ調整が行なわれている。胴部外面中位に黒斑を有する。赤褐色を呈する。

鉢(21) 復元口径18.2cm、残存器高9.9cm。器面調整は内外面にナデ調整が行なわれている。体部外面に黒斑を有する。内面淡赤褐色、外面淡褐色を呈する。

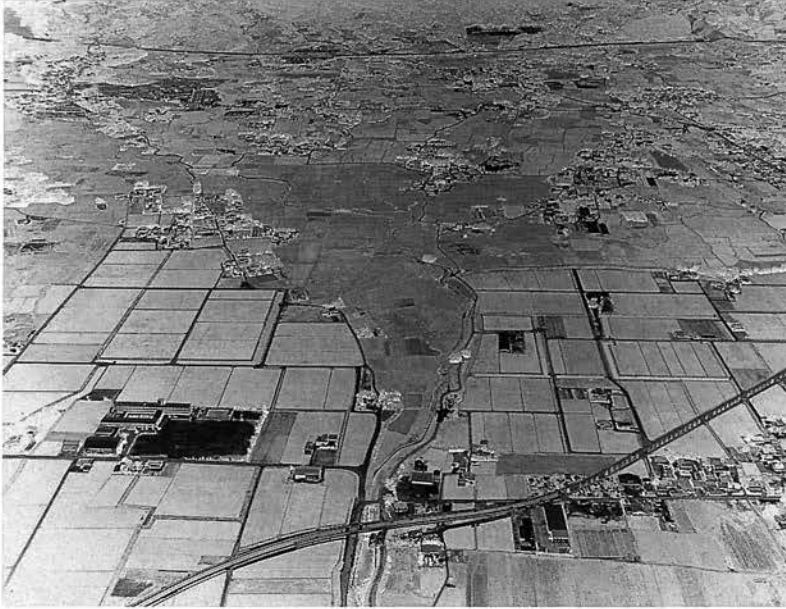
小型丸底埴(23) 残存器高7.5cm。器面調整は外面にハケメ調整、内面上位にハケメ調整、下位にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。

高坏(25~27) 25は残存器高6.2cm。器面調整は外面にナデ調整、坏部内面にハケメ調整、脚部内面にナデ調整が行なわれている。淡褐色を呈する。26は裾部径14.2cm、残存器高5.8cm、裾部上位の3方向に焼成前穿孔を有する。器面調整は裾端部に横ナデ調整、外面にヘラミガキ調整、内面にハケメ調整が行なわれている。明褐色を呈する。27は裾部径9.4cm、残存器高3.3cm。裾部の3方向に焼成前穿孔を有する。器面調整は裾端部に横ナデ調整、外面にヘラミガキ調整、内面にハケメ調整及びナデ調整が行なわれている。明褐色を呈する。

紡錘車(28) 土製。最大長7.2cm、最大厚0.9cm。淡黄褐色を呈する。



## 図 版



篠木野遺跡・琵琶原遺跡周辺景観

遺物は挿図と対照できるように  
挿図番号を表記した。

1.	SD001	(6-1)
図版番号	遺構番号	挿図番号

篠木野遺跡2区



1. 調査区全景



2. SK041土坑（南から）



3. SE040井戸（南から）



1



9



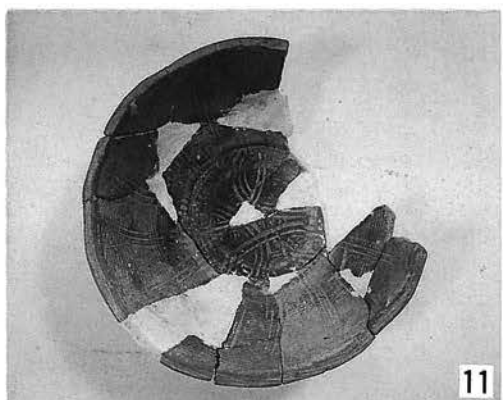
2



10



3



11



4



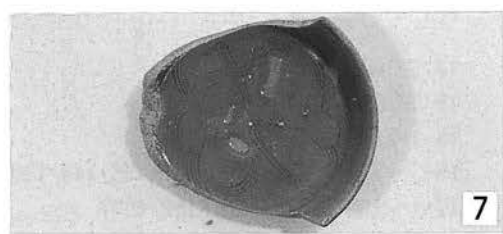
5



6



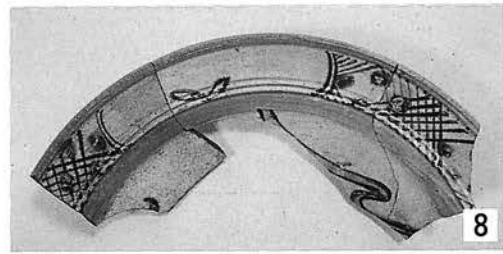
12



7

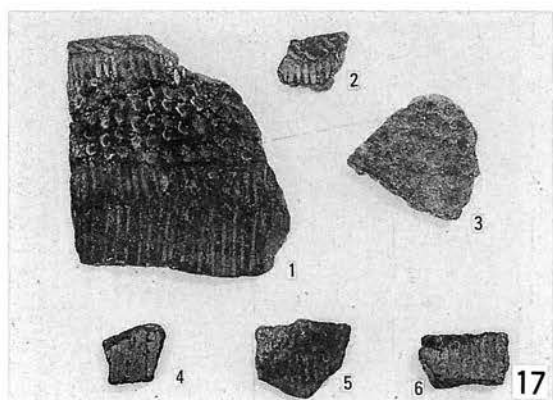
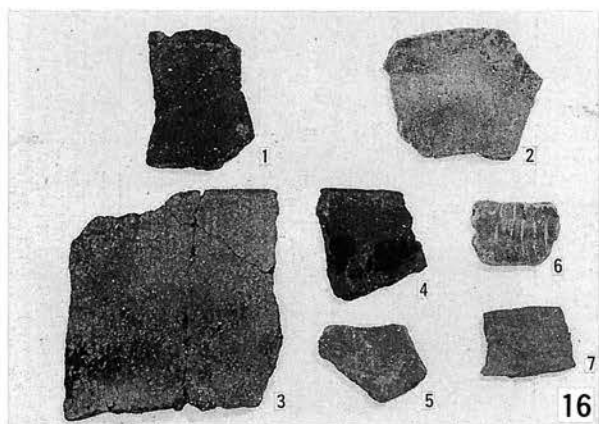
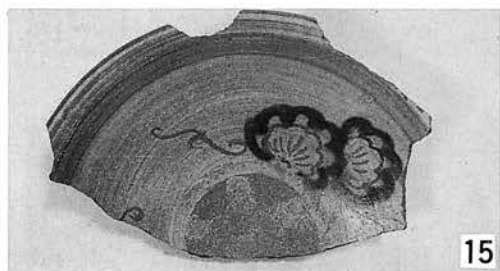
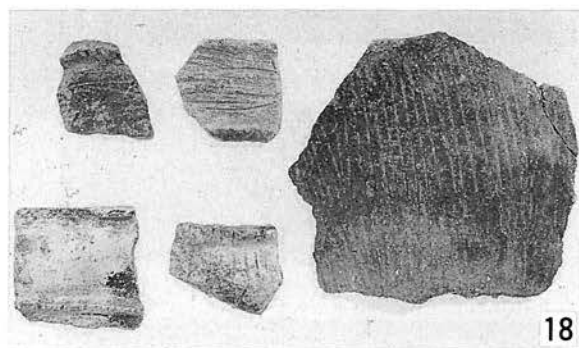
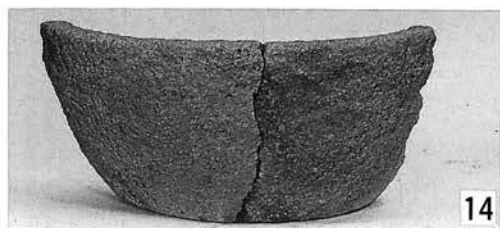


13



8

1. SD001(6-1) 2. SD001(6-4) 3. SD002(7-6) 4. SD002(7-7) 5. SD002(7-9) 6. SD003(10-15)  
7. SD003(9-21) 8. SD004(41-81) 9. SD004(41-83) 10. SD004(41-85) 11. SD004(42-94) 12. SD004(43-98)



14. SD004(44-104)  
 15. SD033(48-121)  
 16-1・2SK032(52-144・145)  
 16-3~7SK035(54-146・147・148・149・150)  
 17-1~3SK036(56-151・152・153)  
 17-4~6SK45(58-154・155・156)

篠木野遺跡3区



1. 調査区全景 (西から)

篠木野遺跡4区

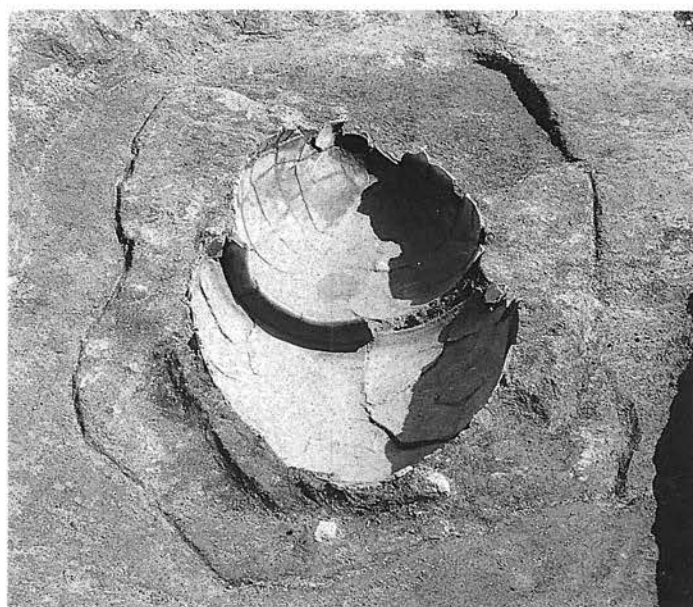


2. 調査区全景 (北から)

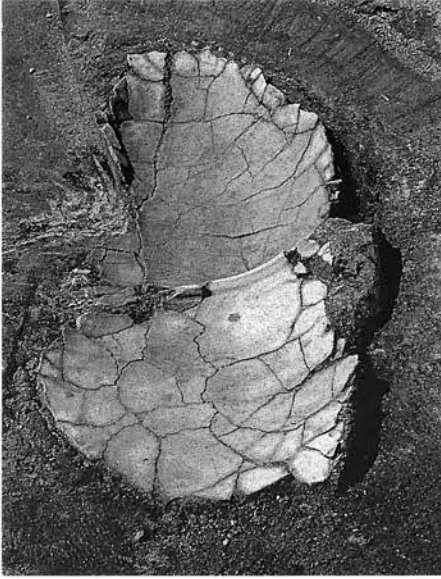
篠木野遺跡 4区



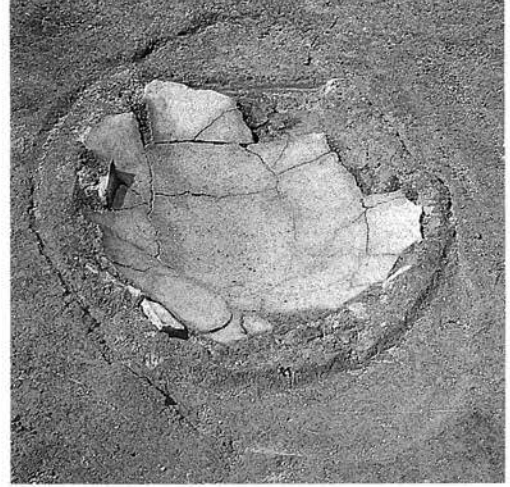
1. 調査区全景（東から）



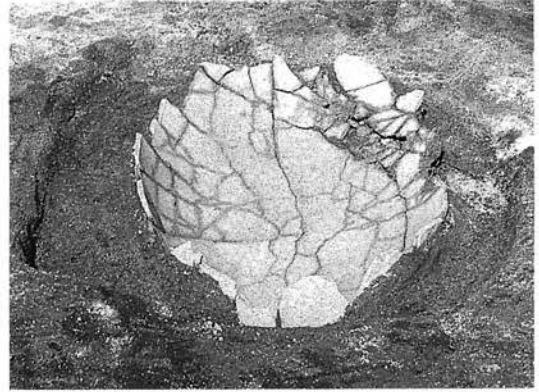
2. SJ101 甕棺墓（西から）



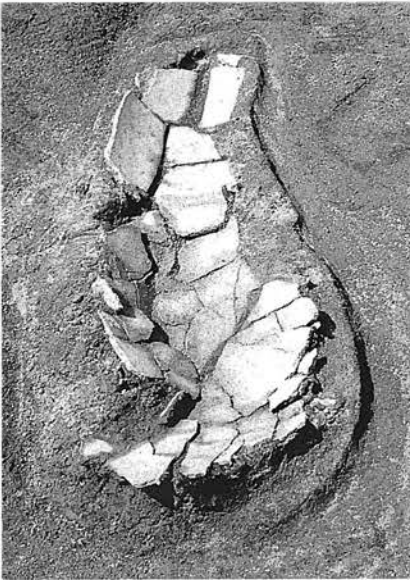
1. SJ102 甕棺墓(東から)



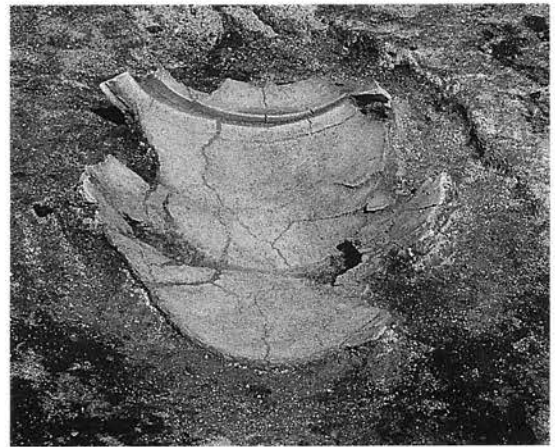
2. SJ103 甕棺墓(東から)



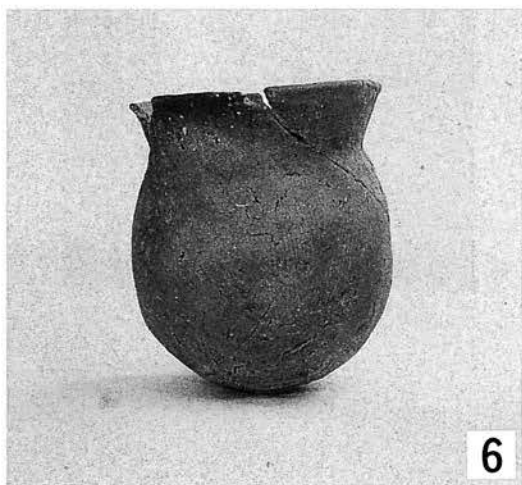
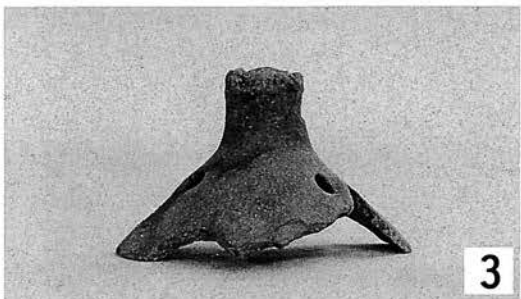
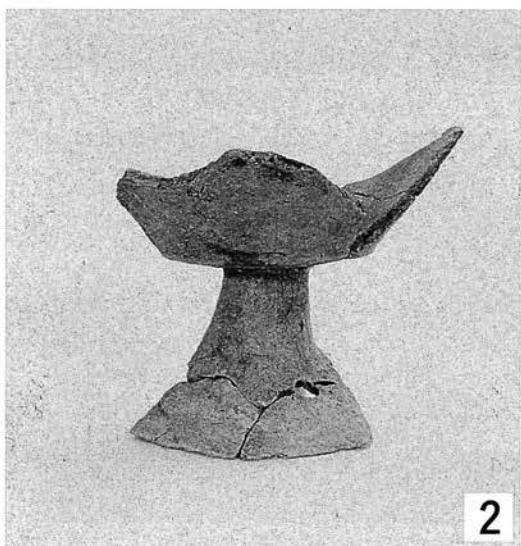
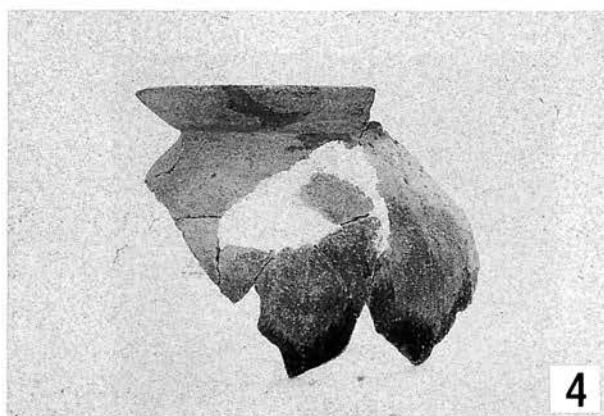
4. SJ105 甕棺墓(西から)



3. SJ104 甕棺墓(東から)



5. SJ106 甕棺墓(南から)



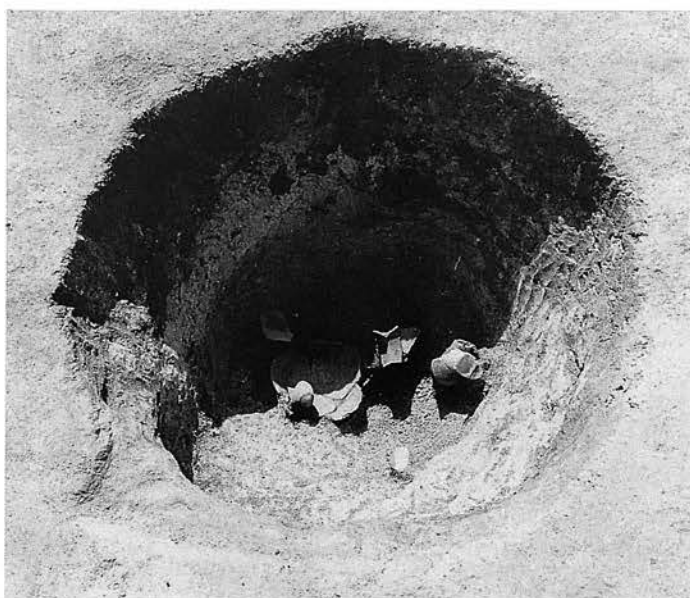
3区・2・3その他の出土遺物(67・19・20・21)

4区・4・5・6包含層出土遺物(78・13・15・16)

篠木野遺跡5区



1. 調査区全景 (南から)



2. SE001 井戸 (南から)



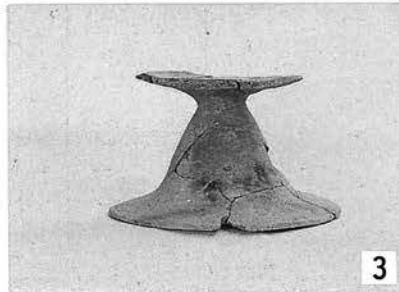
3. SE001 井戸遺物出土状況 (南から)



1



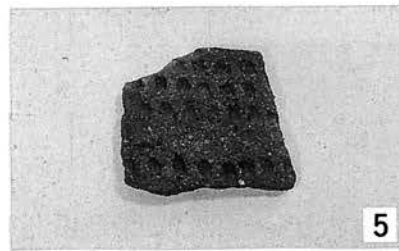
2



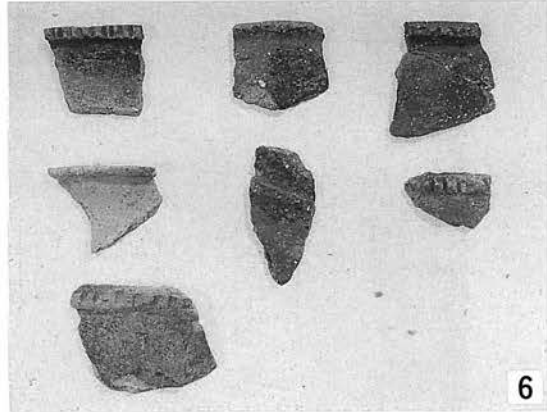
3



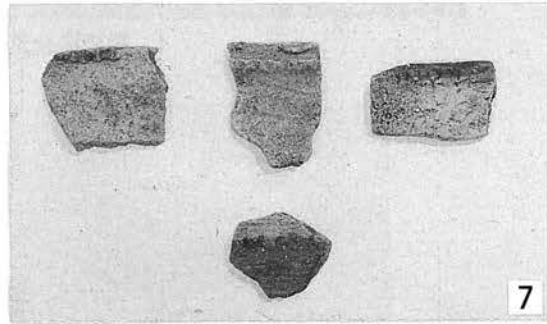
4



5



6



7



8



9

- |                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 1. SE001(85-12)   | 6. SK002(81)     |
| 2. SE001(85-19)   | 7. 縄文土器(86)      |
| 3. SE001(85-20)   | 8・9. 古墳時代の遺物(87) |
| 4. 古墳時代の遺物(87-31) |                  |
| 5. 縄文土器(86-26)    |                  |

琵琶原遺跡2区



1. 調査区全景、南側（北から）



2. 調査区全景、中（南から）



3. 調査区全景、北側（北から）

琵琶原遺跡 2区



1. SK001 土壇 (西から)

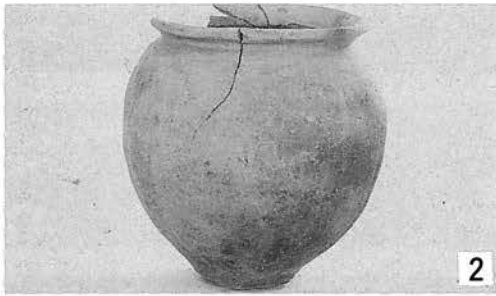


2. SK003 土壇 (東から)

琵琶原遺跡 3区



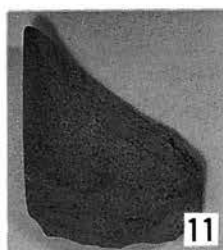
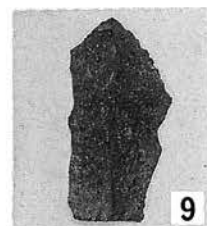
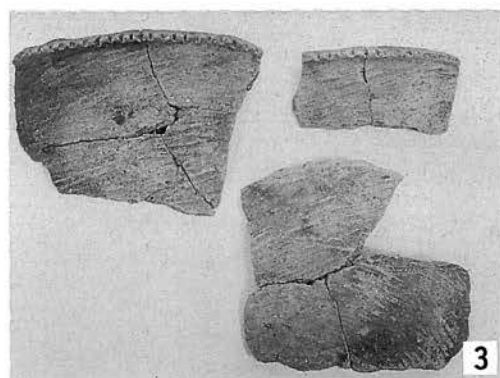
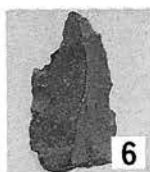
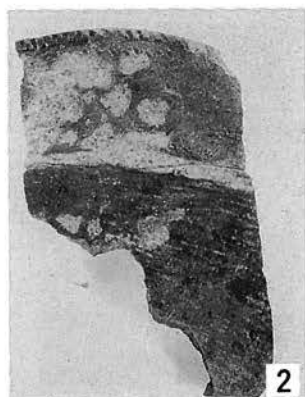
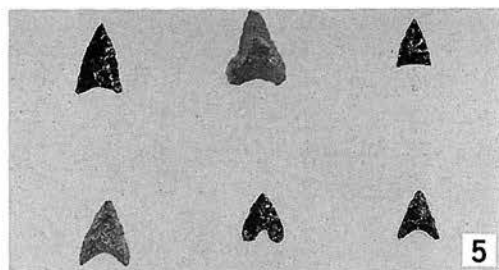
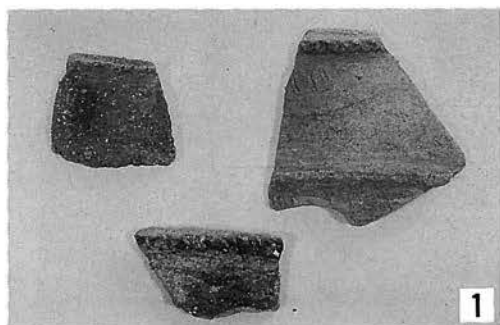
1. 調査区全景 (南から)



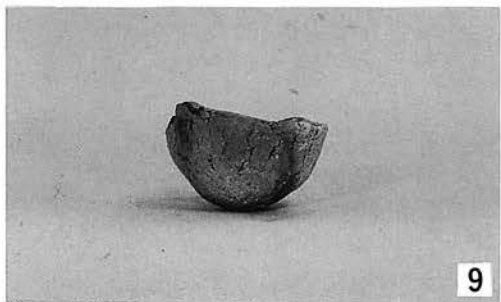
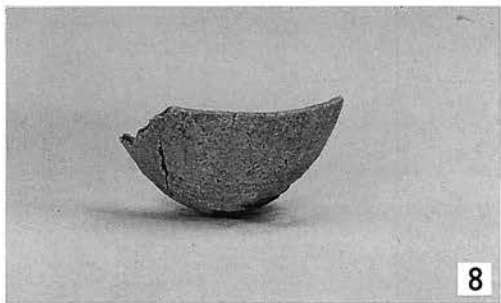
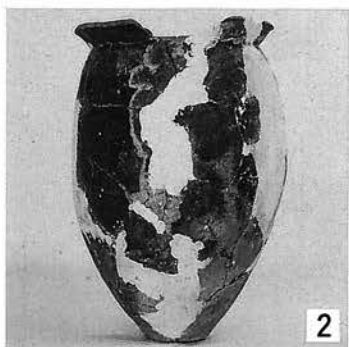
- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. SK001(91-1)  | 6. SK001(94-21)  |
| 2. SK001(92-4)  | 7. SK001(94-23)  |
| 3. SK001(92-6)  | 8. SK001(94-29)  |
| 4. SK001(93-11) | 9. SK001(94-30)  |
| 5. SK001(93-13) | 10. SK001(94-32) |



- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. SK003(99-42) | 7. SK003(100-51)  |
| 2. SK003(99-43) | 8. SK003(100-52)  |
| 3. SK003(99-44) | 9. SK003(101-54)  |
| 4. SK003(99-45) | 10. SK003(101-57) |
| 5. SK003(99-47) | 11. SK003(101-58) |
| 6. SK003(99-48) |                   |



- 1. その他の出土遺物(105)
- 2.       "       (105)
- 3.       "       (105)
- 4.       "       (106)
- 5.       "       (108)
- 6.       "       (109-143)
- 7.       "       (108-141)
- 8.       "       (109-144)
- 9.       "       (109-144)
- 10.      "       (109-145)
- 11.      "       (109-146)



3区・1.包含層出土遺物(112-1) 2. " (112-2) 3. " (112-3) 4. " (112-4) 5. " (113-11)  
" (114-18) 7. " (114-20) 8. " (114-22) 9. " (114-26)

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-2-001	椀	瓦器	口径 — 底径(6.8) 器高(3.7)	SD001	001	6-3	13
SGN-2-002	皿	土師器	口径8.5 底径6.8 器高1.2	SD001	002	6-1	13
SGN-2-003	碗	青磁	口径(16.6)底径 — 器高(4.4)	SD001	003	6-4	13
SGN-2-004	椀	瓦器	口径(14.3)底径 — 器高(4.9)	SD001	004	6-2	13
SGN-2-005	鉢	瓦質土器	口径(25.0)底径 — 器高(4.9)	SD001	005	6-5	13
SGN-2-006	碗	青磁	口径(17.2)底径 — 器高(6.0)	SD002	006	7-10	13
SGN-2-007	碗	瓦器	口径(17.3)底径 — 器高(6.7)	SD002	007	7-9	13
SGN-2-008	碗	瓦器	口径 — 底径6.9 器高(3.5)	SD002	008	7-8	13
SGN-2-009	壺	陶器	口径(12.5)底径 — 器高(11.1)	SD002	009	—	13
SGN-2-010	坏	土師器	口径(14.3)底径 — 器高(2.7)	SD002	010	7-6	13
SGN-2-011	坏	土師器	口径(9.1) 底径6.6 器高2.0	SD002	011	7-7	13
SGN-2-012	鉢	土師器	口径(22.6)底径 — 器高(5.0)	SD002	012	7-12	13
SGN-2-013	鉢	須恵器	口径(23.0)底径 — 器高(7.0)	SD002	013	7-13	13
SGN-2-014	鉢	陶器	口径 — 底径(14.4)器高(2.1)	SD002	014	—	13
SGN-2-015	碗	青磁	口径(15.0)底径 — 器高(4.2)	SD003	015	9-23	13
SGN-2-016	皿	土師器	口径 — 底径(8.5) 器高(1.1)	SD003	016	10-14	13
SGN-2-017	鍋	石製品	口径(36.0)底径 — 器高(6.3)	SD003	017	10-19	13
SGN-2-018	碗	青磁	口径 — 底径(5.6) 器高(3.7)	SD003	018	—	13
SGN-2-019	碗	青磁	口径 — 底径(5.8) 器高(3.6)	SD003	019	9-24	13
SGN-2-020	碗	青磁	口径(16.1)底径 — 器高(4.2)	SD003	020	9-22	13
SGN-2-021	皿	青磁	口径(8.5) 底径3.4 器高3.7	SD003	021	9-20	13
SGN-2-022	皿	青磁	口径(10.2)底径4.9 器高2.3	SD003	022	9-21	13
SGN-2-023	碗	陶器	口径(8.2) 底径3.2 器高4.2	SD003	023	—	13
SGN-2-024	碗	瓦器	口径(16.4)底径5.4 器高5.7	SD003	024	10-15	13
SGN-2-025	鉢	瓦器	口径 — 底径5.5 器高4.0	SD003	025	9-25	13
SGN-2-026	鉢	瓦質土器	口径 — 底径4.1 器高(6.0)	SD003	026	—	13
SGN-2-027	甕	陶器	口径 — 底径(19.4)器高(6.2)	SD004	027	45-106	14
SGN-2-028	甕	陶器	口径 — 底径(19.8)器高(3.9)	SD004	028	45-107	14
SGN-2-029	甕	陶器	口径 — 底径(19.6)器高(5.8)	SD004	029	45-108	14
SGN-2-030	甕	陶器	口径 — 底径(14.6)器高(7.2)	SD004	030	45-109	14
SGN-2-031	播鉢	陶器	口径(36.8)底径 — 器高(4.3)	SD004	031	42-86	14
SGN-2-032	播鉢	陶器	口径(34.2)底径 — 器高(4.5)	SD004	032	42-87	14
SGN-2-033	甕	陶器	口径(17.0)底径 — 器高(1.9)	SD004	033	—	14
SGN-2-034	碗	陶器	口径(10.6)底径(3.5) 器高(3.5)	SD004	034	40-77	14
SGN-2-035	皿	陶器	口径 — 底径4.1 器高(2.5)	SD004	035	40-75	14
SGN-2-036	皿	陶器	口径 — 底径4.4 器高(2.7)	SD004	036	40-76	14
SGN-2-037	皿	陶器	口径 — 底径4.6 器高(3.5)	SD004	037	40-80	14
SGN-2-038	皿	陶器	口径 — 底径7.0 器高(6.1)	SD004	038	—	14
SGN-2-039	碗	白磁	口径 — 底径4.8 器高(3.6)	SD004	039	40-71	14
SGN-2-040	碗	白磁	口径 — 底径4.8 器高(3.0)	SD004	040	40-73	14
SGN-2-041	碗	青磁	口径 — 底径6.3 器高(4.0)	SD004	041	40-69	14

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-2-042	碗	青磁	口径(11.0)底径4.5 器高7.3	SD004	042	40-70	14
SGN-2-043	碗	白磁	口径—底径4.3 器高(3.2)	SD004	043	40-72	14
SGN-2-044	皿	陶器	口径(11.5)底径(4.0) 器高3.5	SD004	044	40-78	14
SGN-2-045	皿	陶器	口径(11.4)底径4.9 器高3.5	SD004	045	40-79	14
SGN-2-046	絵付皿	陶器	口径(33.0)底径— 器高(7.0)	SD004	046	41-81	14
SGN-2-047	皿	青磁	口径(14.0)底径(4.8) 器高(4.0)	SD004	047	40-74	14
SGN-2-048	染付皿	白磁	口径(12.2)底径4.6 器高3.0	SD004	048	41-82	14
SGN-2-049	小碗	白磁	口径5.2底径2.3 器高3.4	SD004	049	41-83	14
SGN-2-050	片口鉢	陶器	口径(18.2)底径— 器高(8.4)	SD004	050	41-84	14
SGN-2-051	片口鉢	陶器	口径(11.7)底径— 器高(7.6)	SD004	051	41-85	14
SGN-2-052	壺	陶器	口径(15.6)底径— 器高(10.2)	SD004	052	45-105	14
SGN-2-053	播鉢	瓦質土器	口径(31.8)底径— 器高14.5	SD004	053	42-88	14
SGN-2-054	播鉢	瓦質土器	口径(33.0)底径— 器高(7.5)	SD004	054	42-89	14
SGN-2-055	播鉢	瓦質土器	口径(29.6)底径— 器高6.5	SD004	055	42-90	14
SGN-2-056	播鉢	瓦質土器	口径—底径(15.1)器高(8.0)	SD004	056	42-92	14
SGN-2-057	播鉢	瓦質土器	口径—底径(14.4)器高(6.2)	SD004	057	42-91	14
SGN-2-058	播鉢	瓦質土器	口径23.7底径14.3 器高(11.3)	SD004	058	42-94	14
SGN-2-059	播鉢	陶器	口径—底径(11.0)器高(3.8)	SD004	059	42-93	14
SGN-2-060	鉢	瓦質土器	口径(29.2)底径— 器高(9.5)	SD004	060	43-97	15
SGN-2-061	鉢	瓦質土器	口径(39.8)底径— 器高(7.4)	SD004	061	43-95	15
SGN-2-062	鉢	瓦質土器	口径(42.2)底径— 器高(6.9)	SD004	062	43-96	15
SGN-2-063	鉢	瓦質土器	口径(20.0)底径(11.8)器高(10.0)	SD004	063	43-100	15
SGN-2-064	鉢	瓦質土器	口径—底径(24.3)器高(7.2)	SD004	064	43-99	15
SGN-2-065	鉢	瓦質土器	口径(38.0)底径(33.2)器高(9.9)	SD004	065	43-98	15
SGN-2-066	火鉢	瓦質土器	口径—底径— 器高(12.7)	SD004	066	43-101	15
SGN-2-067	火鉢	瓦質土器	口径(33.5)底径(20.0)器高(18.8)	SD004	067	44-103	15
SGN-2-068	火鉢	瓦質土器	口径—底径(28.3)器高(18.0)	SD004	068	44-102	15
SGN-2-069	石臼	石製品	口径(31.6)底径— 器高(12.9)	SD004	069	44-104	15
SGN-2-070	瓦		長さ(8.6)幅(8.0)厚さ(3.0)	SD004	070	—	15
SGN-2-071	小碗	陶器	口径—底径4.3 器高4.3	SK005	071	18-26	16
SGN-2-072	小碗	陶器	口径—底径3.1 器高2.2	SK006	072	20-27	16
SGN-2-073	播鉢	土師器	口径—底径13.4 器高3.0	SD008	073	—	16
SGN-2-074	小碗	陶器	口径—底径3.1 器高1.4	SD008	074	—	16
SGN-2-075	皿	陶器	口径13.0底径(4.2) 器高3.4	SD014	075	46-110	16
SGN-2-076	皿	土師器	口径(6.5)底径(3.5) 器高1.7	SD015	076	47-111	16
SGN-2-077	碗	陶器	口径—底径(4.0) 器高(2.1)	SD015	077	47-112	16
SGN-2-078	碗	陶器	口径—底径(4.7) 器高(3.5)	SD015	078	47-113	16
SGN-2-079	皿	土師器	口径6.0底径3.6 器高1.3	SK016	079	23-28	16
SGN-2-080	甕	瓦質土器	口径—底径— 器高(4.9)	SK016	080	—	16
SGN-2-081	甕	瓦質土器	口径(27.0)底径— 器高(11.8)	SK016	081	23-33	16
SGN-2-082	甕	瓦質土器	口径—底径(24.0)器高(7.2)	SK016	082	23-34	16

## 篠木野遺跡2区 (SGN-2) I種 収藏品目録

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-2-083	碗	白磁	口径	— 底径(4.5) 器高(2.0)	SK016	083	23-29	16
SGN-2-084	碗	白磁	口径	— 底径(4.5) 器高(3.1)	SK016	084	23-30	16
SGN-2-085	碗	白磁	口径	— 底径(4.5) 器高(2.2)	SK016	085	23-31	16
SGN-2-086	小碗	陶器	口径	— 底径(4.2) 器高(3.2)	SK018	086	23-32	16
SGN-2-087	鉢	瓦質土器	口径(34.8)	底径 — 器高(5.4)	SK018	087	25-38	16
SGN-2-088	鉢	瓦質土器	口径(34.0)	底径 — 器高(8.2)	SK018	088	25-37	16
SGN-2-089	播鉢	瓦質土器	口径(27.0)	底径 — 器高(12.2)	SK018	089	25-35	16
SGN-2-090	播鉢	瓦質土器	口径(23.3)	底径 — 器高(9.6)	SK018	090	25-36	16
SGN-2-091	鉢	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高(8.1)	SK018	091	26-41	16
SGN-2-092	鍋	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高(9.3)	SK018	092	26-42	16
SGN-2-093	羽釜	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高(6.4)	SK018	093	26-43	16
SGN-2-094	碗	青磁	口径	— 底径 — 器高(3.0)	SK018	094	26-39	16
SGN-2-095	皿	陶器	口径	— 底径(3.6) 器高(2.5)	SK018	095	26-40	16
SGN-2-096	土人形	土製品	長さ	8.4 幅 5.1	SK018	096	26-44	16
SGN-2-097	小皿	土師器	口径	6.5 底径 2.7 器高 1.4	SK019	097	28-45	16
SGN-2-098	小皿	土師器	口径	(6.3) 底径 3.1 器高 1.7	SK019	098	28-46	16
SGN-2-099	播鉢	陶器	口径	(40.8) 底径 — 器高(6.8)	SK019	099	28-57	16
SGN-2-100	鉢	陶器	口径	(16.3) 底径 — 器高(5.8)	SK019	100	28-54	16
SGN-2-101	鉢	陶器	口径	(17.9) 底径 — 器高(7.9)	SK019	101	28-55	16
SGN-2-102	鍋	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高(4.6)	SK019	102	28-56	16
SGN-2-103	壺	陶器	口径	(12.6) 底径 — 器高(4.6)	SK019	103	28-53	16
SGN-2-104	壺	陶器	口径	(9.2) 底径 — 器高(3.6)	SK019	104	28-52	16
SGN-2-105	皿	陶器	口径	(15.0) 底径 — 器高(2.3)	SK019	105	28-50	16
SGN-2-106	皿	陶器	口径	(22.3) 底径 — 器高(4.0)	SK019	106	28-51	16
SGN-2-107	染付皿	磁器	口径	(12.9) 底径(4.5) 器高(3.0)	SK019	107	28-49	16
SGN-2-108	碗	青磁	口径	— 底径(4.3) 器高(2.5)	SK019	108	28-47	16
SGN-2-109	碗	青磁	口径	— 底径(5.6) 器高(1.9)	SK019	109	28-48	16
SGN-2-110	碗	青磁	口径	— 底径(6.9) 器高(2.2)	SE020	110	38-65	16
SGN-2-111	播鉢	陶器	口径	(31.2) 底径 — 器高(4.1)	SB102P5	111	13-67	16
SGN-2-112	鉢	瓦質土器	口径	(16.4) 底径 — 器高(3.8)	SD023	112	—	16
SGN-2-113	鉢	瓦質土器	口径	(14.2) 底径 — 器高(5.2)	SD026	113	—	16
SGN-2-114	壺	瓦質土器	口径	(16.2) 底径 — 器高(4.0)	SB102P4	114	13-66	16
SGN-2-115	鉢	瓦質土器	口径	(25.2) 底径(20.5) 器高(21.5)	SD033	115	—	16
SGN-2-116	鉢	瓦質土器	口径	(34.5) 底径(31.6) 器高(10.0)	SD033	116	49-126	16
SGN-2-117	火鉢	瓦質土器	口径	(36.1) 底径 — 器高(11.0)	SD033	117	49-129	16
SGN-2-118	鉢	瓦質土器	口径	(26.4) 底径 — 器高(8.2)	SD033	118	49-125	16
SGN-2-119	鉢	瓦質土器	口径	(16.4) 底径(14.3) 器高 4.5	SD033	119	49-127	16
SGN-2-120	鉢	瓦質土器	口径	(28.2) 底径(29.2) 器高 5.1	SD033	120	49-128	16
SGN-2-121	播鉢	陶器	口径	— 底径(10.2) 器高(3.5)	SD033	121	—	16
SGN-2-122	播鉢	陶器	口径	— 底径(13.1) 器高(7.9)	SD033	122	49-132	16
SGN-2-123	播鉢	土師器	口径	— 底径(14.2) 器高(5.7)	SD033	123	49-131	16

## 篠木野遺跡 2 区 (SGN-2) I 種 收藏品目録

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-2-124	播鉢	土師器	口径 — 底径(16.0)器高(5.7)	SD033	124	49-130	16
SGN-2-125	壺	陶器	口径(23.5)底径 — 器高(3.7)	SD033	125	49-123	16
SGN-2-126	壺	陶器	口径(26.0)底径 — 器高(3.9)	SD033	126	49-124	16
SGN-2-127	碗	磁器	口径 — 底径(4.7)器高(5.5)	SD033	127	48-119	16
SGN-2-128	碗	磁器	口径(7.1)底径 — 器高(5.4)	SD033	128	48-120	16
SGN-2-129	皿	磁器	口径(13.9)底径(5.7)器高(3.1)	SD033	129	48-116	16
SGN-2-130	染付皿	磁器	口径(25.9)底径 — 器高(3.1)	SD033	130	48-117	16
SGN-2-131	染付皿	磁器	口径(13.4)底径 — 器高(2.2)	SD033	131	48-118	16
SGN-2-132	皿	陶器	口径(29.3)底径(8.1)器高(7.5)	SD033	132	48-121	16
SGN-2-133	皿	土師器	口径(9.1)底径 — 器高(2.4)	SD033	133	48-115	16
SGN-2-134	土鈴	土製品	長さ(4.0)幅(2.8)	SD033	134	48-122	16
SGN-2-135	火鉢	瓦質土器	口径(39.5)底径 — 器高(6.0)	SD037	135	50-137	17
SGN-2-136	石鍋	石製品	口径 — 底径(28.5)器高(4.7)	SD037	136	50-138	17
SGN-2-137	碗	陶器	口径 — 底径(5.0)器高(3.0)	SD037	137	50-134	17
SGN-2-138	碗	青磁	口径(11.8)底径(4.7)器高(6.7)	SD037	138	50-135	17
SGN-2-139	染付皿	磁器	口径(13.2)底径(4.2)器高(2.7)	SD037	139	50-136	17
SGN-2-140	鉢	須恵器	口径(28.1)底径 — 器高(3.8)	SK041	140	—	17
SGN-2-141	鉢	須恵器	口径 — 底径 — 器高(4.3)	SK041	141	—	17
SGN-2-142	釜	瓦質土器	口径(16.9)底径 — 器高(3.2)	SK041	142	—	17
SGN-2-143	染付皿	磁器	口径(12.7)底径(4.6)器高(3.2)	SK041	143	30-58	17
SGN-2-144	石鍋	石製品	口径 — 底径 — 器高(8.8)	SK041	144	—	17
SGN-2-145	甕	瓦質土器	口径(58.8)底径(40.0)器高(61.7)	SK041	145	30-59	18
SGN-2-146	宝珠	石製品	長さ(21.5)幅(15.1)厚さ(15.1)	SK041	146	30-60	17
SGN-2-147	皿	陶器	口径(11.8)底径 — 器高(1.8)	SK043	147	32-61	17
SGN-2-148	鍋	土師器	口径(42.5)底径 — 器高(8.3)	SK043	148	34-62	17
SGN-2-149	皿	土師器	口径(8.2)底径(5.9)器高(1.4)	SD047	149	—	17
SGN-2-150	坏	土師器	口径(11.9)底径(7.9)器高(3.9)	SD047	150	—	17
SGN-2-151	坏	土師器	口径(11.9)底径(7.5)器高(3.6)	SD047	151	—	17
SGN-2-152	壺	須恵器	口径 — 底径(5.6)器高(3.9)	SD048	152	—	17
SGN-2-153	壺	土師器	口径 — 底径(12.3)器高(3.3)	SD048	153	—	17
SGN-2-154	壺	土師器	口径(13.5)底径 — 器高(3.9)	SD048	154	—	17
SGN-2-155	坏	土師器	口径 — 底径(23.8)器高(2.5)	SD048	155	—	17
SGN-2-156	鉢	土師器	口径 — 底径 — 器高(4.4)	SK049	156	—	17
SGN-2-157	鉢	土師器	口径(26.1)底径 — 器高(5.9)	SK049	157	36-64	17
SGN-2-158	碗	磁器	口径(16.7)底径 — 器高(3.7)	SK049	158	36-63	17
SGN-2-159	甕	瓦質土器	口径 — 底径(37.4)器高(9.4)	SB103P3	159	15-68	17
SGN-2-160	碗	陶器	口径(9.6)底径(4.4)器高(6.3)	SD052	160	—	17
SGN-2-161	播鉢	瓦質土器	口径(27.2)底径 — 器高(5.9)	SD052	161	—	17
SGN-2-162	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高(2.4)	SD001	162	—	19
SGN-2-163	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高(4.3)	SD001	163	—	19
SGN-2-164	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高(2.8)	SD001	164	—	19

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-2-165	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (4.0)	SD001	165	—	19
SGN-2-166	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (7.2)	SD001	166	—	19
SGN-2-167	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (7.8)	SD002	167	—	19
SGN-2-168	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.8)	SD002	168	—	19
SGN-2-169	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (5.6)	SD002	169	7-11	19
SGN-2-170	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (6.8)	SD002	170	—	19
SGN-2-171	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.2)	SD002	171	—	19
SGN-2-172	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (4.7)	SD003	172	10-16	19
SGN-2-173	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (6.2)	SD003	173	—	19
SGN-2-174	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (4.1)	SD003	174	10-17	19
SGN-2-175	鍋	土師器	口径 — 底径 — 器高 (5.6)	SD003	175	10-18	19
SGN-2-176	甕	縄文土器	口径 (20.0) 底径 — 器高 (3.5)	包含層	176	—	19
SGN-2-177	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 (2.0)	包含層	177	—	19
SGN-2-178	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 (3.0)	包含層	178	—	19
SGN-2-179	甕	土師器	口径 12.2 底径 — 器高 15.5	包含層	179	60-173	19
SGN-2-180	甕	土師器	口径 (17.1) 底径 — 器高 (5.1)	包含層	180	60-166	19
SGN-2-181	甕	土師器	口径 (13.1) 底径 — 器高 (7.0)	包含層	181	60-169	19
SGN-2-182	甕	土師器	口径 (15.1) 底径 — 器高 (6.0)	包含層	182	60-165	19
SGN-2-183	甕	土師器	口径 (14.1) 底径 — 器高 (3.5)	包含層	183	—	19
SGN-2-184	甕	土師器	口径 (14.9) 底径 — 器高 (5.7)	包含層	184	—	19
SGN-2-185	甕	土師器	口径 (18.2) 底径 — 器高 (5.8)	包含層	185	—	19
SGN-2-186	甕	土師器	口径 (17.2) 底径 — 器高 (4.6)	包含層	186	—	19
SGN-2-187	甕	土師器	口径 19.9 底径 — 器高 (3.9)	包含層	187	—	19
SGN-2-188	甕	土師器	口径 (17.2) 底径 — 器高 (2.8)	包含層	188	—	19
SGN-2-189	甕	土師器	口径 (15.4) 底径 — 器高 (3.6)	包含層	189	—	19
SGN-2-190	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (10.4)	包含層	190	60-174	19
SGN-2-191	壺	土師器	口径 (17.0) 底径 — 器高 (6.5)	包含層	191	60-171	19
SGN-2-192	壺	土師器	口径 (18.0) 底径 — 器高 (7.9)	包含層	192	60-172	19
SGN-2-193	壺	土師器	口径 (19.2) 底径 — 器高 (5.3)	包含層	193	60-168	19
SGN-2-194	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.3)	包含層	194	—	19
SGN-2-195	壺	土師器	口径 (15.0) 底径 — 器高 (4.3)	包含層	195	—	19
SGN-2-196	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (5.6)	包含層	196	—	19
SGN-2-197	壺	土師器	口径 (16.6) 底径 — 器高 (7.1)	包含層	197	—	19
SGN-2-198	甕	土師器	口径 (16.7) 底径 — 器高 (4.6)	包含層	198	60-163	19
SGN-2-199	壺	土師器	口径 (15.1) 底径 — 器高 (5.3)	包含層	199	60-170	19
SGN-2-200	壺	土師器	口径 (13.8) 底径 — 器高 (3.9)	包含層	200	—	19
SGN-2-201	壺	土師器	口径 (17.3) 底径 — 器高 (4.2)	包含層	201	60-167	19
SGN-2-202	壺	土師器	口径 (13.6) 底径 — 器高 (4.6)	包含層	202	—	19
SGN-2-203	甕	土師器	口径 (16.5) 底径 — 器高 (7.1)	包含層	203	60-164	19
SGN-2-204	壺	土師器	口径 (13.4) 底径 — 器高 (4.6)	包含層	204	—	19
SGN-2-205	壺	土師器	口径 (10.0) 底径 — 器高 (10.2)	包含層	205	60-175	19

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-2-206	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (9.9)	包含層	206	—	19
SGN-2-207	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (2.8)	包含層	207	—	19
SGN-2-208	壺	土師器	口径 15.6 底径 — 器高 (11.6)	包含層	208	60-162	19
SGN-2-209	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (9.6)	包含層	209	—	19
SGN-2-210	鉢	土師器	口径 (17.8) 底径 — 器高 (10.5)	包含層	210	61-183	19
SGN-2-211	甕	土師器	口径 (36.2) 底径 — 器高 (5.6)	包含層	211	—	19
SGN-2-212	高坏	土師器	口径 (18.6) 底径 — 器高 (6.1)	包含層	212	—	19
SGN-2-213	高坏	土師器	口径 (19.5) 底径 — 器高 (6.1)	包含層	213	—	19
SGN-2-214	高坏	土師器	口径 (18.1) 底径 — 器高 (6.8)	包含層	214	61-178	19
SGN-2-215	高坏	土師器	口径 (18.3) 底径 — 器高 (5.6)	包含層	215	61-177	19
SGN-2-216	高坏	土師器	口径 — 底径 (19.0) 器高 (2.7)	包含層	216	—	19
SGN-2-217	高坏	土師器	口径 — 底径 — 器高 (9.7)	包含層	217	61-180	19
SGN-2-218	高坏	土師器	口径 — 底径 — 器高 (8.1)	包含層	218	—	19
SGN-2-219	高坏	土師器	口径 — 底径 (15.5) 器高 (7.8)	包含層	219	61-179	19
SGN-2-220	高台坏鉢	土師器	口径 (12.0) 底径 (7.4) 器高 (9.6)	包含層	220	61-182	19
SGN-2-221	高台坏鉢	土師器	口径 (10.2) 底径 (8.2) 器高 (8.6)	包含層	221	61-181	19
SGN-2-222	高台坏鉢	土師器	口径 — 底径 — 器高 (8.4)	包含層	222	—	19
SGN-2-223	高台坏鉢	土師器	口径 — 底径 (7.3) 器高 (6.3)	包含層	223	—	19
SGN-2-224	高台坏鉢	土師器	口径 — 底径 (6.6) 器高 (4.8)	包含層	224	—	19
SGN-2-225	高台坏鉢	土師器	口径 (11.4) 底径 — 器高 (5.5)	包含層	225	—	19
SGN-2-226	高台坏鉢	土師器	口径 — 底径 7.0 器高 (3.3)	包含層	226	—	19
SGN-2-227	高坏	土師器	口径 (20.4) 底径 — 器高 (4.0)	包含層	227	—	19
SGN-2-228	石槍	石器	長さ 5.9 幅 1.4 厚さ 0.6	包含層	228	—	19
SGN-2-229	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD001	229	59-157	19
SGN-2-230	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SX010	230	59-158	19
SGN-2-231	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK018	231	59-159	19
SGN-2-232	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK032	232	52-144	19
SGN-2-233	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK032	233	52-145	19
SGN-2-234	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD033	234	59-160	19
SGN-2-235	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD035	235	54-146	19
SGN-2-236	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD035	236	54-147	19
SGN-2-237	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD035	237	54-148	19
SGN-2-238	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK035	238	54-149	19
SGN-2-239	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK035	239	54-150	19
SGN-2-240	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK036	240	56-151	19
SGN-2-241	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK036	241	56-152	19
SGN-2-242	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD036	242	56-153	19
SGN-2-243	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SD038	243	59-161	19
SGN-2-244	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK045	244	58-154	19
SGN-2-245	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK045	245	58-155	19
SGN-2-246	甕	縄文土器	口径 — 底径 — 器高 —	SK045	246	58-156	19

篠木野遺跡2区(SGN-2) II種 收藏品目録

調査区	種別	遺構名	袋数	収納
SGN-2	土師器・陶器	SD001・SD002・SD003	24	1
SGN-2	陶器・土師器・瓦質土器	SD004・SK005・SK006・SK007・SD008・SX009 SX010・SK012・SK013・SD014・SD015	21	2
SGN-2	土師器・瓦質土器・陶器	SK016・SD017・SK018・SK019・SE020・SK021 SB102P5・SK023・SD023・SD024・SD025 SD026・SD027・SK029・SK030・SD031・SD033 SD034・SK035・SK036・SE040	26	3
SGN-2	土師器・陶器	SK041・SK042・SK043・SD044・SK045・SD047 SD048・SK049・SK050・SK051・SD052	14	4
SGN-2	土師器・陶器・瓦質土器	P001・P025・P046・包含層・表採	11	5
SGN-2	土師器・石器	包含層	5	6
SGN-2	土師器	包含層	7	7

篠木野遺跡3区 (SGN-3) I種 收藏品目録

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-3-001	高坏	土師器	口径 — 底径 — 器高 (7.7)	P003	001	—	20
SGN-3-002	壺	土師器	口径 (7.8)底径 — 器高 (3.6)	SK004	002	64-1	20
SGN-3-003	甕	土師器	口径 (16.8)底径 — 器高 (4.5)	SK004	003	64-2	20
SGN-3-004	高坏	土師器	口径 — 底径 — 器高 (5.1)	SK004	004	—	20
SGN-3-005	壺	土師器	口径 (17.9)底径 — 器高 (3.9)	SK005	005	66-4	20
SGN-3-006	壺	土師器	口径 (14.0)底径 — 器高 (3.9)	SK005	006	66-5	20
SGN-3-007	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.6)	SK005	007	—	20
SGN-3-008	壺	土師器	口径 (14.7)底径 — 器高 (3.3)	SK005	008	66-7	20
SGN-3-009	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.4)	SK005	009	—	20
SGN-3-010	壺	土師器	口径 (14.6)底径 — 器高 (3.2)	SK005	010	66-6	20
SGN-3-011	壺	土師器	口径 (11.7)底径 — 器高 (6.9)	包含層	011	67-11	20
SGN-3-012	壺	土師器	口径 (13.5)底径 — 器高 (5.3)	包含層	012	67-13	20
SGN-3-013	壺	土師器	口径 (15.2)底径 — 器高 (4.1)	包含層	013	67-10	20
SGN-3-014	壺	土師器	口径 (14.4)底径 — 器高 (5.2)	包含層	014	67-15	20
SGN-3-015	壺	土師器	口径 (11.2)底径 — 器高 (3.8)	包含層	015	67-14	20
SGN-3-016	壺	土師器	口径 (19.2)底径 — 器高 (4.4)	包含層	016	67-9	20
SGN-3-017	壺	土師器	口径 (15.5)底径 — 器高 (6.7)	包含層	017	67-8	20
SGN-3-018	壺	土師器	口径 (15.0)底径 — 器高 (3.8)	包含層	018	67-12	20
SGN-3-019	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (8.2)	包含層	019	—	20
SGN-3-020	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (2.6)	包含層	020	—	20
SGN-3-021	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.9)	包含層	021	—	20
SGN-3-022	鉢	土師器	口径 — 底径 (4.8)器高 (4.1)	包含層	022	67-16	20
SGN-3-023	高坏	土師器	口径 — 底径 — 器高 (5.1)	包含層	023	—	20
SGN-3-024	高坏	土師器	口径 — 底径 7.9 器高 (4.1)	包含層	024	—	20
SGN-3-025	高坏	土師器	口径 — 底径 (9.5)器高 (6.0)	包含層	025	—	20
SGN-3-026	高坏	土師器	口径 (18.8)底径 (12.5)器高 13.0	包含層	026	67-21	20
SGN-3-027	高坏	土師器	口径 — 底径 11.0 器高 (6.0)	包含層	027	67-20	20
SGN-3-028	高坏	土師器	口径 — 底径 9.7 器高 (3.8)	包含層	028	67-19	20
SGN-3-029	器台	土師器	口径 — 底径 (6.6)器高 (5.8)	包含層	029	67-17	20
SGN-3-030	高坏	土師器	口径 — 底径 (9.2)器高 (4.3)	包含層	030	67-18	20
SGN-3-031	壺	土師器	口径 (15.5)底径 — 器高 (5.9)	包含層	031	—	20
SGN-3-032	壺	土師器	口径 (17.7)底径 — 器高 (3.6)	包含層	032	—	20
SGN-3-033	壺	土師器	口径 (16.4)底径 — 器高 (4.6)	包含層	033	—	20
SGN-3-034	壺	土師器	口径 (13.0)底径 — 器高 (4.6)	包含層	034	—	20
SGN-3-035	壺	土師器	口径 (4.2)底径 — 器高 (4.4)	包含層	035	—	20
SGN-3-036	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (7.0)	包含層	036	—	20
SGN-3-037	壺	土師器	口径 (15.6)底径 — 器高 (7.7)	包含層	037	—	20
SGN-3-038	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (4.3)	包含層	038	—	20
SGN-3-039	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.5)	包含層	039	—	20
SGN-3-040	鉢	土師器	口径 — 底径 — 器高 (3.0)	包含層	040	—	20
SGN-3-041	高坏	土師器	口径 — 底径 (10.0) 高 (5.7)	包含層	041	—	20

篠木野遺跡 3 区 (SGN-3) II 種 収藏品目録

調査区	種別	遺構名	袋数	収納
SGN-3	土師器	SK004・SK005・SK008・P001・P002・P003	13	8
		P006・P007・包含層	7	9
SGN-3	土師器	包含層・表採		

篠木野遺跡4区(SGN-4)Ⅰ種 収藏品目録

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-4-001	甕	弥生土器	口径(38.0)底径 9.0 器高 71.0	SJ101東	001	76-1	21
SGN-4-002	甕	弥生土器	口径(49.6)底径 — 器高(48.0)	SJ101西	002	76-2	22
SGN-4-003	甕	弥生土器	口径 — 底径 10.8 器高(13.5)	SJ101西	003	76-2	23
SGN-4-004	甕	弥生土器	口径(46.0)底径 — 器高(52.7)	SJ102東	004	76-3	24
SGN-4-005	甕	瓦質土器	口径(42.0)底径 — 器高(49.3)	SJ102西	005	76-4	25
SGN-4-006	甕	弥生土器	口径(48.6)底径 — 器高 51.0	SJ104東	006	76-5	23
SGN-4-007	甕	弥生土器	口径(52.4)底径 — 器高(44.0)	SJ104西	007	76-6	23
SGN-4-008	甕	弥生土器	口径 — 底径 — 器高 30.8	SJ105	008	76-7	26
SGN-4-009	甕	弥生土器	口径 — 底径 13.4 器高(94.0)	SJ105	009	76-8	27
SGN-4-010	甕	弥生土器	口径(53.2)底径 — 器高(10.8)	SJ106北	010	76-9	26
SGN-4-011	甕	弥生土器	口径(60.8)底径 — 器高(50.4)	SJ106南	011	76-10	28
SGN-4-012	甕	弥生土器	口径(22.6)底径 — 器高(39.8)	SJ106南	012	76-10	26
SGN-4-013	壺	土師器	口径(17.7)底径 — 器高(13.6)	表採	013	78-13	29
SGN-4-014	甕	土師器	口径(25.8)底径 — 器高(15.3)	包含層	014	—	29
SGN-4-015	壺	土師器	口径(16.2)底径 — 器高(4.4)	包含層	015	78-11	29
SGN-4-016	甕	土師器	口径(17.8)底径 — 器高(2.6)	包含層	016	—	29
SGN-4-017	甕	土師器	口径(17.4)底径 — 器高(2.4)	包含層	017	—	29
SGN-4-018	壺	土師器	口径(12.8)底径 — 器高(3.6)	包含層	018	78-12	29
SGN-4-019	甕	土師器	口径(13.6)底径 — 器高 15.0	包含層	019	78-15	29
SGN-4-020	甕	土師器	口径(10.4)底径 — 器高(14.4)	包含層	020	78-16	29
SGN-4-021	壺	土師器	口径 — 底径 — 器高(10.8)	包含層	021	—	29
SGN-4-022	甕	土師器	口径(12.8)底径 — 器高(4.8)	包含層	022	78-14	29
SGN-4-023	鉢	土師器	口径(13.2)底径 — 器高(2.2)	包含層	023	—	29
SGN-4-024	鉢	土師器	口径(14.0)底径 — 器高(4.0)	包含層	024	78-22	29
SGN-4-025	高坏	土師器	口径 — 底径 — 器高(5.1)	包含層	025	78-23	29

篠木野遺跡4区(SGN-4)Ⅱ種 収藏品目録

調査区	種別	遺構名	袋数	収納
SGN-4	弥生土器	SJ101・SJ102・SJ103	8	10
SGN-4	弥生土器・土師器	SJ104・SJ105・SJ106・包含層	8	11

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-5-001	壺	土師器	口径(15.1)底径	— 器高(8.7)	SE001	001	85-12	30
SGN-5-002	壺	土師器	口径 — 底径	— 器高(12.0)	SE001	002	85-14	30
SGN-5-003	壺	土師器	口径(14.3)底径	— 器高(8.6)	SE001	003	85-17	30
SGN-5-004	壺	土師器	口径(9.9)底径	— 器高(6.9)	SE001	004	85-16	30
SGN-5-005	壺	土師器	口径(16.4)底径	— 器高(7.3)	SE001	005	85-13	30
SGN-5-006	壺	土師器	口径 — 底径	— 器高(14.3)	SE002	006	85-15	30
SGN-5-007	坏	土師器	口径(18.4)底径	— 器高(5.3)	SE002	007	85-18	30
SGN-5-008	埴	土師器	口径 6.6 底径	— 器高(7.7)	SE002	008	85-19	30
SGN-5-009	高坏	土師器	口径 16.0 底径	— 器高 7.7	SE002	009	85-20	30
SGN-5-010	把手	土師器	長さ 8.0 幅	— 厚み(2.5)	SE002	010	85-21	30
SGN-5-011	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(3.4)	SK002	011	81-1	30
SGN-5-012	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(3.7)	SK002	012	81-4	30
SGN-5-013	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(4.9)	SK002	013	81-3	30
SGN-5-014	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(2.2)	SK002	014	81-5	30
SGN-5-015	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(3.6)	SK002	015	81-2	30
SGN-5-016	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(4.4)	SK002	016	—	30
SGN-5-017	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(4.7)	SK002	017	81-7	30
SGN-5-018	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(3.9)	SK002	018	—	30
SGN-5-019	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(3.2)	SK003	019	86-22	30
SGN-5-020	甕	土師器	口径 — 底径	— 器高(3.9)	SK003	020	—	30
SGN-5-021	坏	土師器	口径(10.8)底径	— 器高(3.5)	SK003	021	83-8	30
SGN-5-022	坏	須恵器	口径(10.2)底径	— 器高(3.6)	SK003	022	83-9	30
SGN-5-023	坏	須恵器	口径(12.2)底径	— 器高(3.0)	SK003	023	83-10	30
SGN-5-024	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(5.1)	P006	024	86-23	30
SGN-5-025	坏	須恵器	口径 — 底径(7.0)	器高(1.6)	SK007	025	—	30
SGN-5-026	甕	土師器	口径(14.2)底径	— 器高(2.7)	SK008	026	—	30
SGN-5-027	甕	縄文土器	口径 — 底径(8.9)	器高(2.2)	P012	027	86-30	30
SGN-5-028	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(4.1)	P015	028	86-24	30
SGN-5-029	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(6.6)	表採	029	86-26	30
SGN-5-030	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(3.2)	表採	030	—	30
SGN-5-031	甕	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(5.2)	表採	031	86-25	30
SGN-5-032	壺	縄文土器	口径 — 底径	— 器高(4.4)	表採	032	—	30
SGN-5-033	甕	土師器	口径(16.8)底径	— 器高(4.2)	表採	033	87-28	30
SGN-5-034	甕	土師器	口径(17.6)底径	— 器高(3.6)	表採	034	87-29	30
SGN-5-035	甕	土師器	口径(18.4)底径	— 器高(4.2)	表採	035	—	30
SGN-5-036	鉢	土師器	口径(11.2)底径	— 器高(5.5)	表採	036	87-30	30
SGN-5-037	鉢	土師器	口径(11.2)底径	— 器高(5.3)	表採	037	87-31	30
SGN-5-038	高坏	土師器	口径 — 底径	— 器高(5.9)	表採	038	—	30
SGN-5-039	蓋	須恵器	口径(12.6)底径(6.0)	器高(3.6)	表採	039	87-32	30
SGN-5-040	蓋	須恵器	口径(11.8)底径	— 器高(3.5)	表採	040	87-33	30
SGN-5-041	高坏	須恵器	口径(11.6)底径	— 器高(5.6)	表採	041	87-34	30

篠木野遺跡5区 (SGN-5) I種 収藏品目録

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
SGN-5-042	はそう	須恵器	口径	— 底径	— 器高 (4.7)	表採	042	87-35 30
SGN-5-043	把手	白磁	長さ	5.8 幅 3.2 厚さ	(3.7)	表採	043	87-43 30
SGN-5-044	手くわ	土師器	口径	3.4 底径	— 器高 3.3	表採	044	87-38 30
SGN-5-045	手くわ	土師器	口径	2.5 底径	— 器高 3.5	表採	045	87-37 30
SGN-5-046	土製鏡	土製品	長さ	4.3 幅 4.0 厚さ	1.9	表採	046	87-40 30
SGN-5-047	土製鏡	土製品	長さ	4.5 幅 4.1 厚さ	(1.3)	表採	047	— 30
SGN-5-048	土製鏡	土製品	長さ	4.5 幅 4.4 厚さ	1.8	表採	048	87-39 30
SGN-5-049	土製鏡	土製品	長さ	4.2 幅 3.8 厚さ	1.9	表採	049	87-42 30
SGN-5-050	土製鏡	土製品	長さ	4.3 幅 3.8 厚さ	1.5	表採	050	— 30
SGN-5-051	土製鏡	土製品	長さ	4.3 幅 3.7 厚さ	1.6	表採	051	87-41 30
SGN-5-052	土製鏡	土製品	長さ	3.8 幅 (2.8) 厚さ	1.5	表採	052	— 30
SGN-5-053	壺	須恵器	口径	— 底径	— 器高 (5.0)	表採	053	87-36 30
SGN-5-054	鉢	土師器	口径	(32.0) 底径	— 器高 (5.7)	表採	054	— 30
SGN-5-055	スクレイパー	石器	長さ	6.3 幅 8.8 厚さ	1.7	表採	055	— 30

篠木野遺跡5区 (SGN-5) II種 収藏品目録

調査区	種別	遺構名	袋数	収納
SGN-5	土師器	SE001・SK002・SK003・SK007・SK008・P012 P016	14	12

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-2-001	甕	弥生土器	口径 21.8 底径 8.4 器高 29.4	SK001	001	91-1	1
BWB-2-002	甕	弥生土器	口径 (22.8) 底径 — 器高 (23.6)	SK001	002	92-7	1
BWB-2-003	甕	弥生土器	口径 (19.0) 底径 8.0 器高 19.3	SK001	003	92-9	1
BWB-2-004	甕	弥生土器	口径 25.4 底径 — 器高 (24.4)	SK001	004	91-2	1
BWB-2-005	甕	弥生土器	口径 18.4 底径 9.4 器高 24.4	SK001	005	92-4	2
BWB-2-006	甕	弥生土器	口径 18.0 底径 7.5 器高 19.9	SK001	006	92-6	2
BWB-2-007	甕	弥生土器	口径 (24.4) 底径 — 器高 (11.3)	SK001	007	—	2
BWB-2-008	甕	弥生土器	口径 19.0 底径 9.5 器高 16.7	SK001	008	93-13	2
BWB-2-009	甕	弥生土器	口径 (26.0) 底径 — 器高 (16.8)	SK001	009	91-3	2
BWB-2-010	甕	弥生土器	口径 (21.3) 底径 — 器高 (9.1)	SK001	010	—	2
BWB-2-011	甕	弥生土器	口径 (22.6) 底径 — 器高 (13.0)	SK001	011	—	2
BWB-2-012	甕	弥生土器	口径 (22.8) 底径 (8.0) 器高 18.7	SK001	012	92-8	2
BWB-2-013	甕	弥生土器	口径 (14.0) 底径 (8.0) 器高 17.1	SK001	013	93-10	2
BWB-2-014	甕	弥生土器	口径 (27.4) 底径 — 器高 (8.6)	SK001	014	—	2
BWB-2-015	甕	弥生土器	口径 (21.4) 底径 — 器高 (17.5)	SK001	015	92-5	2
BWB-2-016	甕	弥生土器	口径 (23.8) 底径 — 器高 (8.8)	SK001	016	—	2
BWB-2-017	甕	弥生土器	口径 (22.2) 底径 — 器高 (10.5)	SK001	017	—	2
BWB-2-018	甕	弥生土器	口径 (24.2) 底径 — 器高 (12.2)	SK001	018	—	2
BWB-2-019	甕	弥生土器	口径 (26.2) 底径 — 器高 (6.8)	SK001	019	—	2
BWB-2-020	甕	弥生土器	口径 (17.8) 底径 — 器高 (9.1)	SK001	020	93-15	3
BWB-2-021	甕	弥生土器	口径 (26.6) 底径 — 器高 (8.1)	SK001	021	—	3
BWB-2-022	甕	弥生土器	口径 (22.6) 底径 — 器高 (7.2)	SK001	022	—	3
BWB-2-023	甕	弥生土器	口径 (20.4) 底径 — 器高 (4.4)	SK001	023	—	3
BWB-2-024	甕	弥生土器	口径 (11.8) 底径 (6.4) 器高 11.4	SK001	024	93-11	3
BWB-2-025	甕	弥生土器	口径 (12.4) 底径 — 器高 8.1	SK001	025	93-12	3
BWB-2-026	甕	弥生土器	口径 (29.2) 底径 — 器高 (14.1)	SK001	026	—	3
BWB-2-027	甕	弥生土器	口径 — 底径 (6.2) 器高 (15.0)	SK001	027	—	3
BWB-2-028	甕	弥生土器	口径 — 底径 (10.0) 器高 (19.7)	SK001	028	93-14	3
BWB-2-029	甕	弥生土器	口径 — 底径 8.4 器高 (21.5)	SK001	029	—	3
BWB-2-030	甕	弥生土器	口径 — 底径 8.4 器高 (16.9)	SK001	030	—	3
BWB-2-031	甕	弥生土器	口径 — 底径 6.4 器高 (9.4)	SK001	031	93-16	3
BWB-2-032	甕	弥生土器	口径 — 底径 (11.2) 器高 (8.0)	SK001	032	93-19	3
BWB-2-033	甕	弥生土器	口径 — 底径 8.3 器高 (9.8)	SK001	033	93-18	3
BWB-2-034	甕	弥生土器	口径 — 底径 7.8 器高 (14.5)	SK001	034	93-17	3
BWB-2-035	高坏	弥生土器	口径 15.2 底径 — 器高 (10.0)	SK001	035	94-26	3
BWB-2-036	高坏	弥生土器	口径 — 底径 10.6 器高 (9.2)	SK001	036	—	3
BWB-2-037	鉢	弥生土器	口径 17.2 底径 6.5 器高 8.6	SK001	037	94-21	4
BWB-2-038	鉢	弥生土器	口径 (28.0) 底径 8.7 器高 14.7	SK001	038	94-20	4
BWB-2-039	鉢	弥生土器	口径 (19.0) 底径 8.0 器高 11.7	SK001	039	94-22	4
BWB-2-040	鉢	弥生土器	口径 14.0 底径 6.0 器高 11.2	SK001	040	94-23	4
BWB-2-041	鉢	弥生土器	口径 12.4 底径 4.8 器高 7.1	SK001	041	94-24	4

## 琵琶原遺跡2区 (BWB-2) I種 収藏品目録

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-2-042	鉢	弥生土器	口径 5.9 底径 2.6 器高 4.5	SK001	042	94-25	4	
BWB-2-043	器台	弥生土器	口径 11.5 底径 14.4 器高 12.8	SK001	043	94-27	4	
BWB-2-044	器台	弥生土器	口径 11.9 底径 13.2 器高 17.5	SK001	044	94-30	4	
BWB-2-045	器台	弥生土器	口径 9.3 底径 10.2 器高 12.2	SK001	045	94-29	4	
BWB-2-046	器台	弥生土器	口径 6.9 底径 10.5 器高 11.3	SK001	046	94-28	4	
BWB-2-047	器台	弥生土器	口径 5.6 底径 13.1 器高 12.1	SK001	047	94-32	4	
BWB-2-048	器台	弥生土器	口径 — 底径 14.0 器高 (10.5)	SK001	048	94-31	4	
BWB-2-049	甕	弥生土器	口径 (25.6) 底径 — 器高 (3.8)	SK002	049	96-33	4	
BWB-2-050	甕	弥生土器	口径 (16.6) 底径 — 器高 (4.9)	SK002	050	96-34	4	
BWB-2-051	壺	弥生土器	口径 (22.3) 底径 — 器高 (3.7)	SK002	051	96-35	4	
BWB-2-052	甕	弥生土器	口径 — 底径 (7.4) 器高 (3.9)	SK002	052	96-37	4	
BWB-2-053	壺	弥生土器	口径 (18.2) 底径 — 器高 (8.0)	SK002	053	96-36	4	
BWB-2-054	甕	弥生土器	口径 20.0 底径 7.1 器高 21.8	SK003	054	99-42	5	
BWB-2-055	甕	弥生土器	口径 18.5 底径 8.6 器高 21.1	SK003	055	99-43	5	
BWB-2-056	甕	弥生土器	口径 (27.4) 底径 — 器高 (24.3)	SK003	056	98-38	5	
BWB-2-057	甕	弥生土器	口径 (17.4) 底径 6.3 器高 16.9	SK003	057	99-45	6	
BWB-2-058	甕	弥生土器	口径 13.5 底径 5.4 器高 17.7	SK003	058	99-44	6	
BWB-2-059	甕	弥生土器	口径 (16.2) 底径 7.0 器高 15.2	SK003	059	99-46	6	
BWB-2-060	甕	弥生土器	口径 — 底径 8.2 器高 (12.5)	SK003	060	—	6	
BWB-2-061	甕	弥生土器	口径 20.0 底径 6.7 器高 13.4	SK003	061	99-47	6	
BWB-2-062	甕	弥生土器	口径 11.9 底径 5.4 器高 8.4	SK003	062	100-48	6	
BWB-2-063	甕	弥生土器	口径 (27.6) 底径 — 器高 (14.2)	SK003	063	98-39	6	
BWB-2-064	甕	弥生土器	口径 (28.0) 底径 — 器高 16.0	SK003	064	98-41	6	
BWB-2-065	甕	弥生土器	口径 (24.1) 底径 — 器高 (10.2)	SK003	065	98-40	6	
BWB-2-066	甕	弥生土器	口径 (15.9) 底径 — 器高 (9.0)	SK003	066	—	6	
BWB-2-067	甕	弥生土器	口径 24.0 底径 — 器高 (5.2)	SK003	067	—	6	
BWB-2-068	甕	弥生土器	口径 — 底径 9.0 器高 (11.0)	SK003	068	—	6	
BWB-2-069	甕	弥生土器	口径 — 底径 8.0 器高 (10.3)	SK003	069	—	6	
BWB-2-070	甕	弥生土器	口径 — 底径 7.7 器高 (4.7)	SK003	070	—	6	
BWB-2-071	甕	弥生土器	口径 — 底径 7.2 器高 (5.5)	SK003	071	—	6	
BWB-2-072	甕	弥生土器	口径 — 底径 8.4 器高 (10.0)	SK003	072	—	6	
BWB-2-073	甕	弥生土器	口径 — 底径 (8.2) 器高 (10.2)	SK003	073	—	6	
BWB-2-074	壺	弥生土器	口径 — 底径 — 器高 (23.7)	SK003	074	100-49	7	
BWB-2-075	壺	弥生土器	口径 — 底径 (8.2) 器高 (24.4)	SK003	075	100-50	7	
BWB-2-076	高坏	弥生土器	口径 18.6 底径 — 器高 (8.2)	SK003	076	101-54	8	
BWB-2-077	鉢	弥生土器	口径 (23.2) 底径 8.4 器高 9.0	SK003	077	100-52	8	
BWB-2-078	高坏	弥生土器	口径 (25.2) 底径 — 器高 (5.0)	SK003	078	101-55	8	
BWB-2-079	高坏	弥生土器	口径 20.2 底径 — 器高 (6.6)	SK003	079	101-56	8	
BWB-2-080	鉢	弥生土器	口径 18.4 底径 7.7 器高 11.0	SK003	080	100-51	8	
BWB-2-081	鉢	弥生土器	口径 9.0 底径 6.0 器高 9.9	SK003	081	100-53	8	
BWB-2-082	器台	弥生土器	口径 14.7 底径 16.8 器高 18.8	SK003	082	101-57	8	

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-2-083	器台	弥生土器	口径 11.9 底径 14.8 器高 18.8	SK003	083	101-58	8
BWB-2-084	器台	弥生土器	口径 — 底径 (13.0) 器高 (6.6)	SK003	084	101-59	8
BWB-2-085	磨石	石器	— — —	SK003	085	101-60	8
BWB-2-086	鉢	瓦質土器	口径 (34.8) 底径 — 器高 (3.5)	SD004	086	102-61	9
BWB-2-087	鉢	瓦質土器	口径 (48.8) 底径 — 器高 (6.8)	SD004	087	102-62	9
BWB-2-088	鉢	瓦質土器	口径 (34.4) 底径 — 器高 (5.5)	SD004	088	102-63	9
BWB-2-089	鉢	瓦質土器	口径 22.0 底径 — 器高 (4.7)	SD004	089	102-64	9
BWB-2-090	鉢	瓦質土器	口径 (39.6) 底径 — 器高 (6.8)	SD004	090	102-65	9
BWB-2-091	鉢	瓦質土器	口径 (26.0) 底径 — 器高 (7.2)	SD004	091	102-66	9
BWB-2-092	鉢	瓦質土器	口径 — 底径 (23.0) 器高 (7.7)	SD004	092	102-67	9
BWB-2-093	鉢	瓦質土器	口径 — 底径 (26.4) 器高 (4.9)	SD004	093	—	9
BWB-2-094	鉢	瓦質土器	口径 — 底径 (17.0) 器高 (8.3)	SD004	094	—	9
BWB-2-095	鉢	瓦質土器	口径 — 底径 (8.4) 器高 (5.1)	SD004	095	—	9
BWB-2-096	釜	瓦質土器	口径 — 底径 — 器高 (5.5)	SD004	096	—	9
BWB-2-097	釜	瓦質土器	口径 — 底径 — 器高 (8.3)	SD004	097	—	9
BWB-2-098	搦鉢	瓦質土器	口径 (2-0) 底径 — 器高 (8.5)	SD004	098	103-68	9
BWB-2-099	搦鉢	陶器	口径 (28.7) 底径 — 器高 (3.4)	SD004	099	103-69	9
BWB-2-100	搦鉢	陶器	口径 (25.3) 底径 — 器高 (4.7)	SD004	100	—	9
BWB-2-101	搦鉢	陶器	口径 (34.6) 底径 — 器高 (2.8)	SD004	101	—	9
BWB-2-102	搦鉢	陶器	口径 (25.6) 底径 — 器高 (4.2)	SD004	102	103-70	9
BWB-2-103	搦鉢	陶器	口径 (31.1) 底径 — 器高 (4.6)	SD004	103	—	9
BWB-2-104	搦鉢	陶器	口径 (28.7) 底径 — 器高 (3.0)	SD004	104	—	9
BWB-2 105	搦鉢	陶器	口径 — 底径 (9.1) 器高 (6.4)	SD004	105	—	9
BWB-2 106	鉢	陶器	口径 — 底径 — 器高 (5.6)	SD004	106	—	9
BWB-2 107	皿	陶器	口径 (21.9) 底径 — 器高 (2.5)	SD004	107	—	9
BWB-2 108	鉢	陶器	口径 (11.7) 底径 — 器高 (3.2)	SD004	108	103-88	9
BWB-2 109	皿	青磁	口径 — 底径 (6.0) 器高 1.3	SD004	109	103-75	9
BWB-2 110	染付皿	磁器	口径 10.0 底径 (5.7) 器高 2.7	SD004	110	103-72	9
BWB-2 111	染付皿	磁器	口径 8.8 底径 (8.8) 器高 (0.9)	SD004	111	103-73	9
BWB-2 112	皿	青磁	口径 (14.0) 底径 5.9 器高 (3.7)	SD004	112	103-76	9
BWB-2 113	皿	青磁	口径 — 底径 (6.9) 器高 (1.5)	SD004	113	103-74	9
BWB-2 114	鉢	陶器	口径 (22.2) 底径 — 器高 (2.7)	SD004	114	—	9
BWB-2 115	鉢	陶器	口径 (22.8) 底径 — 器高 (3.5)	SD004	115	103-71	9
BWB-2 116	碗	陶器	口径 — 底径 (4.9) 器高 (2.6)	SD004	116	103-77	9
BWB-2 117	碗	陶器	口径 — 底径 3.6 器高 (2.7)	SD004	117	103-78	9
BWB-2 118	碗	陶器	口径 — 底径 (4.3) 器高 (1.2)	SD004	118	—	9
BWB-2 119	碗	陶器	口径 — 底径 4.5 器高 (1.6)	SD004	119	103-79	9
BWB-2 120	碗	陶器	口径 — 底径 4.4 器高 (1.6)	SD004	120	103-80	9
BWB-2 121	碗	陶器	口径 — 底径 (4.8) 器高 (2.5)	SD004	121	—	9
BWB-2 122	碗	陶器	口径 (8.8) 底径 — 器高 (3.6)	SD004	122	103-86	9
BWB-2 123	碗	磁器	口径 (9.5) 底径 (4.8) 器高 (5.2)	SD004	123	103-87	9

## 琵琶原遺跡2区 (BWB-2) I種 収藏品目録

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-2-124	碗	磁器	口径	— 底径 (3.3)器高 (2.7)	SD004	124	103-82	9
BWB-2-125	碗	磁器	口径	— 底径 (4.8)器高 (3.5)	SD004	125	103-81	9
BWB-2-126	碗	磁器	口径 (8.0)	底径 — 器高 (4.8)	SD004	126	103-83	9
BWB-2-127	碗	磁器	口径	— 底径 (5.0)器高 (3.2)	SD004	127	103-84	9
BWB-2-128	碗	磁器	口径	— 底径 (4.2)器高 (3.2)	SD004	128	103-85	9
BWB-2-129	碗	磁器	口径	— 底径 — 器高 (8.3)	SD004	129	—	9
BWB-2-130	碗	磁器	口径 (6.2)	底径 — 器高 (3.4)	SD004	130	103-89	9
BWB-2-131	壺	陶器	口径	— 底径 (12.2)器高 (6.4)	SD004	131	—	9
BWB-2-132	不明	瓦質土器	口径	— 底径 (12.4)器高 (5.2)	SD004	132	—	9
BWB-2-133	不明	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高 —	SD004	133	—	9
BWB-2-134	不明	陶器	口径	— 底径 — 器高 (6.9)	SD004	134	—	9
BWB-2-135	仏飯器	磁器	口径	— 底径 4.2 器高 (2.9)	SD004	135	103-90	9
BWB-2-136	土人形	土製品	長さ	4.9 幅 4.0 —	SD004	136	—	9
BWB-2-137	宝珠	石製品	長さ	28.2 幅 10.8 厚さ 10.8	SD004	137	—	9
BWB-2-138	石斧	石器	長さ	(7.9) 幅 (4.9) 厚さ (3.0)	SD004	138	—	9
BWB-2-139	甕	縄文土器	口径 (23.8)	底径 — 器高 (15.6)	SD005	139	105-94	9
BWB-2-140	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (7.5)	SD005	140	105-93	9
BWB-2-141	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.2)	SD005	141	105-91	9
BWB-2-142	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.5)	SD005	142	105-92	9
BWB-2-143	甕	弥生土器	口径 (24.4)	底径 — 器高 (6.9)	SD005	143	—	9
BWB-2-144	器台	弥生土器	口径 (13.4)	底径 — 器高 (6.0)	SD005	144	—	9
BWB-2-145	鉢	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高 (6.4)	SD006	145	—	9
BWB-2-146	鉢	瓦質土器	口径 (21.0)	底径 — 器高 (4.9)	SD006	146	—	9
BWB-2-147	播鉢	瓦質土器	口径	— 底径 — 器高 (4.8)	SD006	147	—	9
BWB-2-148	皿	陶器	口径 (15.0)	底径 — 器高 (2.5)	SD006	148	—	9
BWB-2-149	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (15.0)	Bサトレンチ	149	105-104	9
BWB-2-150	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.7)	Bサトレンチ	150	105-95	9
BWB-2-151	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.5)	Bサトレンチ	151	105-96	9
BWB-2-152	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (5.0)	Bサトレンチ	152	105-97	9
BWB-2-153	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.8)	Bサトレンチ	153	105-98	9
BWB-2-154	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.1)	Bサトレンチ	154	105-99	9
BWB-2-155	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.8)	Bサトレンチ	155	105-100	9
BWB-2-156	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.1)	Bサトレンチ	156	105-101	9
BWB-2-157	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.6)	Bサトレンチ	157	105-105	9
BWB-2-158	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.7)	Bサトレンチ	158	105-106	9
BWB-2-159	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.8)	Bサトレンチ	159	—	9
BWB-2-160	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.3)	Bサトレンチ	160	—	9
BWB-2-161	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (1.8)	Bサトレンチ	161	105-103	9
BWB-2-162	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.7)	Bサトレンチ	162	105-102	9
BWB-2-163	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (1.7)	Bサトレンチ	163	—	9
BWB-2-164	甕	縄文土器	口径	— 底径 (9.4)器高 (1.7)	Bサトレンチ	164	105-108	9

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-2-165	甕	縄文土器	口径	— 底径 (8.8) 器高 (3.7)	Bサトルンチ	165	105-107	9
BWB-2-166	甕	縄文土器	口径	— 底径 (10.8) 器高 (9.4)	Bサトルンチ	166	—	9
BWB-2-167	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.7)	包含層	167	106-112	9
BWB-2-168	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.1)	包含層	168	106-122	9
BWB-2-169	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.3)	包含層	169	106-119	9
BWB-2-170	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.2)	包含層	170	106-115	9
BWB-2-171	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.9)	包含層	171	106-114	9
BWB-2-172	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.0)	包含層	172	106-121	9
BWB-2-173	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.1)	包含層	173	106-123	9
BWB-2-174	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.7)	包含層	174	106-118	9
BWB-2-175	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (7.9)	包含層	175	106-116	9
BWB-2-176	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.1)	包含層	176	106-110	9
BWB-2-177	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (10.6)	包含層	177	107-127	9
BWB-2-178	甕	縄文土器	口径	— 底径 (7.6) 器高 (2.3)	包含層	178	107-128	9
BWB-2-179	甕	縄文土器	口径	— 底径 (7.2) 器高 (1.6)	包含層	179	—	9
BWB-2-180	甕	縄文土器	口径	— 底径 (8.3) 器高 (1.8)	包含層	180	107-129	9
BWB-2-181	甕	縄文土器	口径	— 底径 (7.8) 器高 (2.4)	包含層	181	107-130	9
BWB-2-182	甕	縄文土器	口径	— 底径 (9.9) 器高 (1.9)	包含層	182	107-131	9
BWB-2-183	甕	縄文土器	口径	— 底径 (11.2) 器高 (1.5)	包含層	183	—	9
BWB-2-184	碗	磁器	口径	— 底径 (6.8) 器高 (5.2)	包含層	184	—	9
BWB-2-185	甕	縄文土器	口径 (16.2)	底径 — 器高 (7.0)	包含層	185	106-125	9
BWB-2-186	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (5.5)	包含層	186	106-113	9
BWB-2 187	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.4)	包含層	187	—	9
BWB-2 188	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (5.1)	包含層	188	—	9
BWB-2 189	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.3)	包含層	189	106-120	9
BWB-2 190	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.7)	包含層	190	—	9
BWB-2 191	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.1)	包含層	191	—	9
BWB-2 192	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.2)	包含層	192	106-117	9
BWB-2 193	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (3.5)	包含層	193	106-124	9
BWB-2 194	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.0)	包含層	194	106-126	9
BWB-2 195	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.1)	包含層	195	106-111	9
BWB-2 196	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.7)	包含層	196	—	9
BWB-2 197	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (2.6)	包含層	197	—	9
BWB-2 198	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.2)	包含層	198	—	9
BWB-2 199	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (4.6)	包含層	199	—	9
BWB-2 200	甕	縄文土器	口径	— 底径 — 器高 (5.0)	包含層	200	—	9
BWB-2 201	甕	縄文土器	口径	— 底径 7.6 器高 (2.1)	包含層	201	105-109	9
BWB-2 202	紡錘車	土製品	長さ	4.9 幅 — 厚さ (1.5)	表採	202	—	9
BWB-2 203	紡錘車	土製品	長さ	7.9 幅 — 厚さ (2.2)	表採	203	—	9
BWB-2 204	石鏃	石器	長さ	1.9 幅 1.4 厚さ 0.3	Aサトルンチ	204	108-134	9
BWB-2 205	石鏃	石器	長さ	2.8 幅 1.8 厚さ 0.3	Aサトルンチ	205	108-132	9

琵琶原遺跡2区 (BWB-2) I種 収藏品目録

番号	名称	種別	計測値 ( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-2-206	石鏃	石器	長さ 2.9 幅 2.2 厚さ 0.6	Aサブレンヂ	206	108-133	9
BWB-2-207	石鏃	石器	長さ 2.6 幅 0.4 厚さ 0.4	SK002	207	108-137	4
BWB-2-208	石鏃	石器	長さ 1.8 幅 0.4 厚さ 0.5	表採	208	108-135	9
BWB-2-209	石鏃	石器	長さ 1.8 幅 0.5 厚さ 0.5	表採	209	108-136	9
BWB-2-210	石鏃	石器	長さ 1.4 幅 0.5 厚さ 0.4	表採	210	108-139	9
BWB-2-211	石鏃	石器	長さ 2.4 幅 0.4 厚さ 0.4	表採	211	108-138	9
BWB-2-212	石鏃	石器	長さ 3.5 幅 2.8 厚さ 0.8	包含層	212	108-140	9
BWB-2-213	スクレイパー	石器	長さ 7.6 幅 3.6 厚さ 0.8	Aサブレンヂ	213	109-144	9
BWB-2-214	スクレイパー	石器	長さ 5.9 幅 3.2 厚さ 0.9	Aサブレンヂ	214	109-143	9
BWB-2-215	石槍	石器	長さ 7.7 幅 3.5 厚さ 1.2	表採	215	109-141	9
BWB-2-216	石匙	石器	長さ 4.2 幅 4.2 厚さ 0.6	表採	216	109-142	9
BWB-2-217	石斧	石器	長さ (7.9) 幅 (6.4) 厚さ (2.5)	表採	217	109-146	9
BWB-2-218	石包丁	石器	長さ (6.6) 幅 (4.0) 厚さ (0.5)	表採	218	109-145	9

琵琶原遺跡2区 (BWB-2) II種 収藏品目録

調査区	種別	遺構名	袋数	収納
BWB-2	弥生土器	SK001	6	13
BWB-2	弥生土器	SK001周辺表採・SK002・SK003周辺表採・SD005・SD006	9	14
BWB-2	瓦質土器・陶器・磁器	SD004・Aサブレンヂ・Bサブレンヂ	10	15
BWB-2	縄文土器・石器	C包含層	8	16
BWB-2	縄文土器	表採	6	17
BWB-2	縄文土器・弥生土器・石器	C包含層・表採	7	18

番号	名称	種別	計測値	( )内は復元値・残存値	遺構	実測図	挿図	収納
BWB-3-001	甕	弥生土器	口径 24.0 底径 (8.0) 器高 (38.0)	No. 1サブレンヂ	001	112-2	10	
BWB-3-002	甕	弥生土器	口径 23.0 底径 (8.3) 器高 38.2	No. 1サブレンヂ	002	112-1	10	
BWB-3-003	甕	弥生土器	口径 (28.2) 底径 - 器高 (4.2)	No. 1サブレンヂ	003	113-6	11	
BWB-3-004	甕	弥生土器	口径 (24.6) 底径 - 器高 (6.5)	No. 1サブレンヂ	004	-	11	
BWB-3-005	壺	弥生土器	口径 (22.6) 底径 - 器高 (4.5)	No. 1サブレンヂ	005	-	11	
BWB-3-006	壺	弥生土器	口径 - 底径 - 器高 (10.4)	No. 1サブレンヂ	006	113-10	11	
BWB-3-007	壺	弥生土器	口径 (12.8) 底径 4.0 器高 (11.4)	No. 1サブレンヂ	007	113-11	11	
BWB-3-008	甕	弥生土器	口径 - 底径 9.2 器高 (4.6)	No. 2サブレンヂ	008	-	11	
BWB-3-009	壺	弥生土器	口径 (14.4) 底径 - 器高 (6.5)	No. 2サブレンヂ	009	113-8	11	
BWB-3-010	器台	弥生土器	口径 (13.5) 底径 - 器高 (6.7)	No. 2サブレンヂ	010	-	11	
BWB-3-011	甕	弥生土器	口径 (25.8) 底径 - 器高 38.3	包含層	011	112-4	12	
BWB-3-012	甕	弥生土器	口径 25.3 底径 - 器高 42.6	包含層	012	112-3	12	
BWB-3-013	甕	弥生土器	口径 17.0 底径 - 器高 5.2	包含層	013	114-17	11	
BWB-3-014	甕	弥生土器	口径 17.6 底径 - 器高 (9.1)	包含層	014	114-15	11	
BWB-3-015	甕	弥生土器	口径 底径 - 器高 (7.5)	包含層	015	-	11	
BWB-3-016	甕	弥生土器	口径 (16.0) 底径 - 器高 (7.9)	包含層	016	114-16	11	
BWB-3-017	甕	弥生土器	口径 (27.4) 底径 - 器高 (9.9)	包含層	017	113-5	11	
BWB-3-018	甕	土師器	口径 16.8 底径 - 器高 23.9	包含層	018	114-20	11	
BWB-3-019	甕	土師器	口径 (13.8) 底径 - 器高 (8.9)	包含層	019	114-18	11	
BWB-3-020	壺	弥生土器	口径 (18.0) 底径 - 器高 (6.4)	包含層	020	114-19	11	
BWB-3-021	壺	弥生土器	口径 (19.0) 底径 - 器高 (7.1)	包含層	021	113-9	11	
BWB-3-022	壺	弥生土器	口径 - 底径 - 器高 (10.7)	包含層	022	-	11	
BWB-3-023	壺	弥生土器	口径 (21.4) 底径 - 器高 (3.2)	包含層	023	-	11	
BWB-3-024	壺	弥生土器	口径 - 底径 - 器高 (5.4)	包含層	024	-	11	
BWB-3-025	鉢	弥生土器	口径 (15.0) 底径 - 器高 8.8	包含層	025	114-22	11	
BWB-3-026	鉢	弥生土器	口径 (9.0) 底径 - 器高 4.8	包含層	026	114-24	11	
BWB-3-027	鉢	弥生土器	口径 (24.3) 底径 - 器高 (8.0)	包含層	027	113-7	11	
BWB-3-028	高坏	弥生土器	口径 - 底径 (14.2) 器高 (5.8)	包含層	028	114-26	11	
BWB-3-029	高坏	弥生土器	口径 - 底径 (9.4) 器高 (3.3)	包含層	029	114-27	11	
BWB-3-030	高坏	弥生土器	口径 - 底径 - 器高 (6.2)	包含層	030	-	11	
BWB-3-031	器台	弥生土器	口径 - 底径 (12.0) 器高 (7.1)	包含層	031	114-25	11	
BWB-3-032	器台	弥生土器	口径 - 底径 - 器高 (11.3)	包含層	032	113-12	11	
BWB-3-033	器台	弥生土器	口径 - 底径 - 器高 (10.2)	包含層	033	113-13	11	
BWB-3-034	支脚	弥生土器	口径 6.5 底径 12.7 器高 9.3	包含層	034	113-14	11	
BWB-3-035	鉢	土師器	口径 (18.2) 底径 - 器高 (9.9)	包含層	035	114-21	11	
BWB-3-036	埴	土師器	口径 - 底径 - 器高 (7.5)	包含層	036	114-23	11	
BWB-3-037	紡錘車	土製品	長さ 7.2 幅 - 厚さ (1.0)	包含層	037	114-28	11	

## 琵琶原遺跡3区(BWB-3)Ⅱ種 収蔵品目録

調査区	種別	遺構名	袋数	収納
BWB-3	弥生土器・土師器	包含層	6	19
BWB-3	弥生土器・土師器	包含層	6	20
BWB-3	弥生土器	包含層	6	21
BWB-3	弥生土器・土師器	包含層・No.1サブレンヂ No.2サブレンヂ No.3サブレンヂ 表紙	7	22

佐賀市文化財調査報告書45集

**篠木野遺跡**（2・3・4・5区）  
**琵琶原遺跡**（2・3区）

平成5年3月31日

発行 佐賀市教育委員会  
佐賀市栄町1番1号

印刷 日之出印刷株式会社  
佐賀市高木瀬西6丁目11-5